

## Copyright Notice

This document is provided under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License (CC BY-NC-SA 4.0):

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/>

You are free to:

- Share — copy and redistribute the material in any medium or format
- Adapt — remix, transform, and build upon the material

Under the following terms:

- Attribution — You must give appropriate credit to the publisher, provide a link to the license, and indicate if changes were made. You may do so in any reasonable manner, but not in any way that suggests the licensor endorses you or your use.
- NonCommercial — You may not use the material for commercial purposes.
- ShareAlike — If you remix, transform, or build upon the material, you must distribute your contributions under the same license as the original.

## About the Project

This document was created with the permission of participating publishers as part of the Japanese Multi-Volume Sets Discoverability Improvement Project, funded by the Council on East Asian Libraries and the Mellon Foundation for Innovation Grants for East Asian Librarians.

『公民教育』刊行委員会編

# 『公民教育』

総索引・目次・解説

雄松堂出版

# 総 目 次

社団法人帝国公民教育協会設立の趣旨 ……  
 公民科の中心思想 ……  
 社会生活と公民意識 ……  
 公民教育の理論 ……  
 帝国憲法の改正及び解釈について ……  
 青年の心理傾向と公民訓練(上) ……  
 青訓の一面観 ……  
 大乘仏教の精神主義(上) ……  
 公民道徳 ……  
 青年団と公民教育 ……  
 公民教育と地方自治政 ……  
 婦人公民権問題 ……  
 管理運動に乗れ 公民教育(一) ……  
 海外に学んだ先輩の努力 ……  
 公民教育の意義 ……  
 体育の精神的意義 ……  
 公民教育と職業指導 ……  
 疲弊の声なき農村と教育 ……  
 ムッソリニーの教育政策 ……  
 維新雑感 ……  
 故郷の田園 ……  
 中等学校公民科関係法令(中学校の部) ……

巻頭言 ……  
 木村正義 ……  
 岡実 ……  
 深作安文 ……  
 清水澄 ……  
 長野長廣 ……  
 中村明人 ……  
 境野黄洋 ……  
 大島正徳 ……  
 田澤義鋪 ……  
 蠟山政道 ……  
 大江すみ子 ……  
 佐藤富治 ……  
 今村均 ……  
 池岡直孝 ……  
 岩原拓 ……  
 水野常吉 ……  
 千葉敬止 ……  
 福家惣衛 ……  
 伊藤痴遊 ……  
 吉田絃二郎 ……

本誌の使命 ……  
 公民科新設の精神に就て ……  
 社会信念と仏教の願行 ……  
 公民教育の基礎観念(一) ……  
 大乘仏教の精神主義(下) ……  
 商業教育に於ける公民科と商業法規 ……  
 農村青年の心理傾向と公民訓練(下) ……  
 中学校に於ける作業科(一) ……  
 明治天皇に咫尺奉りて ……  
 管理運動に乗れ 公民教育(二) ……  
 公民教育に於ける農村財政(二) ……  
 交通につきての考察 ……  
 ローシユ学校(一) ……  
 フランス式体育の理論(一) ……  
 戦役犠牲者に対する優遇と教育 ……  
 衣食住 ……  
 産業公民訓練を主としたる ……  
 学校教員の実務修養 ……  
 中等学校公民科関係法規 ……  
 (実業補習学校の部) ……  
 実業学校修身科教授要目 ……

巻頭言 ……  
 篠原英太郎 ……  
 矢吹慶輝 ……  
 木村正義 ……  
 境野黄洋 ……  
 金井浩 ……  
 長野長廣 ……  
 鈴木静穂 ……  
 田中光顯 ……  
 佐藤富治 ……  
 關田生吉 ……  
 小林英一 ……  
 福家惣衛 ……  
 荻原井泉水 ……  
 景山鹿造 ……

R—1 第1卷第3号 (昭和6年6月)

国民的理想の建設	………	卷頭言
農村住民の団体事務直接参与に就いて	………	佐藤寛次
聖徳太子憲法の方法	………	松本彦次郎
帝国憲法緊急勅令に就いて	………	清水澄
我が国体と公民教育	………	奥田寛太郎
交通につきての考察	………	小林英一
教員俸給問題論議の要点(一)	………	加藤精三
訓練されつつある農村	………	千葉敬止
農村教育上の重点	………	長野長廣
中学校に於ける作業科(二)	………	鈴木静穂
公民教育の過去現在及び将来(一)	………	川本宇之介
児童の公民的生活	………	鹿兒島登左
学生思想問題の史的考察	………	河村只雄
世界の景気はどうなるか	………	圓地與四松
新緑に酔うて	………	島田青峰
明年開催の羅府国際オリンピック大会	………	………
中等学校公民科関係法令(師範学校の部)	………	………

R—1 第1卷第4号 (昭和6年7月)

時弊の匡救	………	卷頭言
公民教育の基礎観念(二)	………	木村正義
公民科の指導精神	………	亘理章三郎

日本と世界(一)	………	蜷川新
神道の二面観	………	加藤玄智
日本農村生活の特質	………	長野長廣
公民教育に於ける農村財政(二)	………	關田生吉
公民教育の効果に関する諸問題	………	松本喜一
公民教育の過去現在及び将来(二)	………	川本宇之介
ロースユ学校(二)	………	福家惣衛
フランス式体育の理論(二)	………	………
戦役犠牲者に対する優遇と教育(二)	………	………
学生思想問題の史的考察(二)	………	河村只雄
銀行の窓口より見た財界諸相	………	伏見寛次
中等学校公民科関係法令(実業学校の部)	………	………

R—1 第1卷第5号 (昭和6年8月)

我が国民性の弱点	………	卷頭言
公民教育の基礎観念(三)	………	木村正義
公民教育の根本問題	………	野田義夫
日本と世界(二)	………	蜷川新
神 社	………	寺本慧達
選挙の研究(一)	………	林 鐵郎
公民科教授要目に関する一考察	………	松本定敏
公民としての自覚	………	朝日融溪
公民教育の過去現在及び将来(三)	………	川本宇之介
公民教育の対象としての郷土研究	………	小田内通敏

新理想主義の社会観 .....  
 ローシユ学校の教育法に対する英人の講評 .....  
 初等中等高等の各段階の体育 .....  
 再教育の生産能率 .....  
 我が校の公民教育に就いて .....  
 考現学的立場の公民教育 .....  
 村の出来事 .....  
 中等学校公民科関係法令(各種学校の部) .....

青木 與吉  
 鈴木 徳成  
 田中 貢太郎

R—2 第1巻第7号(昭和6年10月)  
 フランクフルト・アン・マインの青年会館 .....  
 再教育の生産能率(二) .....  
 本校の公民的訓練の一端 .....  
 札幌の印象 .....  
 教育界人国記(高知県の巻・上) .....  
 中等学校公民科関係法令(職業学校の部) .....

青木 與吉  
 記者  
 佐和 三郎

R—2 第1巻第6号(昭和6年9月)

国家主義と国際主義 .....  
 我が経済国難と生活改善 .....  
 農士としての自覚 .....  
 我が子の公民教育 .....  
 文化の発達と社会環境 .....  
 選挙の研究(二) .....  
 公民教育に於ける農村財政(三三) .....  
 公民教育の過去現在及び将来(六六) .....  
 交通幹線に在る渡船場の改良速成に關する私議 .....  
 学校風聞記(東京府立第三商業学校) .....  
 新理想主義の社会観 .....  
 ドイツに於ける青年運動 .....  
 講堂に於ける映画教育 .....

巻頭 言  
 木村 増太郎  
 笠森 傳繁  
 奥田 寛太郎  
 河村 只雄  
 林 鐵郎  
 關田 生吉  
 川本 宇之介  
 眞明 正  
 記者  
 吉田 通達

赤い先生 .....  
 挙国産業兵の養成に就いて .....  
 司法に就いて .....  
 府県会議員選挙に際し .....  
 如何に公民教育を活用すべきか .....  
 自治体の党弊と婦人公民法 .....  
 府県会議員選挙と公民修養 .....  
 これを如何せんこれを如何せん .....  
 政界浄化の根本問題 .....  
 公民的判断力の欠乏 .....  
 組合の原理と労働の精神 .....  
 心学教化概観 .....  
 選挙心理 .....  
 体操王ニルス・ブックの来朝 .....  
 ニルス・ブック体操の素描 .....  
 僕の学生時代(その一) .....

巻頭 言  
 相澤 熙  
 清水 澄  
 齋藤 隆夫  
 田子 一民  
 田川 大吉郎  
 安部 磯雄  
 川本 宇之介  
 吉田 通達  
 石川 謙  
 奥田 寛太郎  
 吉田 清  
 池部 鈞

青年訓練所の学科指導に就て(一)	武政房吉
我校に於ける公民教育の実際	江原勝兵衛
学校風聞記(神奈川県立平塚農業学校)	記者
独逸の渡り鳥	シュルテ博士
普魯西体育大学の課題	シユルテ博士
フランス式体育の教育的基礎	シユルテ博士
再教育の生産能率(三)	加藤精三
教員俸給問題論議の要点	加藤精三
ウエベケレ物語	バチラー八重子

R-2 第1巻第8号(昭和6年11月)

臥薪嘗胆	巻頭言
明治大帝の御聖徳	田中光顯
公民教育と公民的訓練の徹底	龍山義亮
移植民教育運動を提唱す	長野長廣
公民科教授指導案と教授指導例	千葉敬止
公民教育より見たる社会的環境の欠陥	川本宇之介
公民教育と思想問題	松本時雄
日本民族の海外飛躍	松本定敏
理想的共同団体への到達の道	吉田通達
心学教化の普及	石川謙
公民科の基礎的考察	荻野喜三郎
青年訓練所の学科指導に就て(二)	武政房吉
吾が子の公民教育(二)	奥田寛太郎

僕の学校時代(その二)	池部鈞
我校に於ける公民教育の実際	島永久太郎
学校風聞記(東京府立第一商業学校)	記者
教育界人国記(高知県の巻・中)	佐和三郎
ユーモア二題	加能作次郎

R-2 第1巻第9号(昭和6年12月)

水塊を溶くもの	巻頭言
速かに公民教育を行うべし	林博太郎
公民教育の改善充実	川本宇之介
教科に於ける実用主義的指導に就いて	中澤信治
公民教育の新心理学的基礎	鈴木徳成
社会構成意識に於ける人及人格	荻野喜三郎
農村の財政経済	關田生吉
教材としての財産に関する一考察	松本定敏
児童の實際的公民教育	古川秀雄
支那風景	長尾利生
僕の学校時代(その三)	池部鈞
吾が子の公民教育(三)	奥田寛太郎
公民生活訓練の実際	荒岡俊文
我が校に於ける公民教育の実際	柴山禮三
郷土教育研究の实例	徳島県鴨島小学校
教育界人国記(高知県の巻・下)	澤本健三
学校風聞記(私立山脇高等女学校)	記者

本邦主要作物稲作の害虫	河田 篤
奥利根と越の奥(上)	中川 竹洞
雀と瓢	柳 英生

R-3 第2巻第1号 (昭和7年1月)

年頭更に一盛事を加う	巻 頭 言
教育施政に対する予の理想	鳩山 一郎
公民教育の要諦	徳富 猪一郎
青年教育振興運動の必然性とその対策(上)	長野 長廣
公民教育上の最重要年齢	倉橋 惣三
女子と公民科	市川 源三
教育映画の社会的機能とその対策	権田 保之助
皇室中心主義に基く国家認識	荻野 喜三郎
社会意識と公民教育	後藤 政一
実業補習学校に於ける公民教育	氷川 清一
僕の学校時代(その四)	池部 鈞
論語の教訓	西川 光二郎
公論の基調としての公民	加藤 咄堂
随感	安井 哲子
樺太の奥地	相澤 哲熙
鴻爪外遊余録	長尾 半平
新聞大学講座(一)	棟尾 松治
農業保険に就いて	下山 一二
吾輩は低気圧である	長尾 和生

全国教育統計	文部省
全国学生統計概要	文部省
土地工作愛護の精神	荒川 五郎
水戸学朗詠に就いて	雨谷 毅
我校に於ける公民教育の実際	阿部 浩
学校訪問記(東京府立第六中学校)	記 者
田園に帰らん	近松 秋江
春日抄	池田 孝次郎
上越の旅	島田 青峰
奥利根と越の奥(下)	中川 竹洞

R-3 第2巻第2号 (昭和7年2月)

師範教育の改善	巻 頭 言
奉公小言	徳富 猪一郎
公民教育の普及徹底に就いて	粟屋 謙
政党的刷新と政治教育の向上	松井 茂
青年教育振興運動の必然性とその対策(下)	長野 長廣
農村研究の台頭とその重要性	野尻 重雄
公民権の資格要件	青木 秀夫
公民科教授と経済知識の涵養	田淵 藤藏
公民教育座談会	相澤 哲熙

田澤 義鋪	千葉 龜雄	奥田 寛太郎
-------	-------	--------

公民教育座談会

澤本孟虎	澤本孟虎
中川竹洞	中川竹洞
阿部賢一	阿部賢一
仲木貞一	仲木貞一
守屋東	守屋東
島田青峰	島田青峰
守武幾太郎	守武幾太郎
澤本健三	澤本健三
奥田寛太郎	奥田寛太郎
池部鈞	池部鈞
棟尾松治	棟尾松治
文部省社会教育局	文部省社会教育局
荒川五郎	荒川五郎
記者	記者
文部省	文部省
廣田麥秀	廣田麥秀
学生思想左傾の原因	学生思想左傾の原因
早春の伊香保	早春の伊香保
福岡県下に於ける二つの特色ある社会事業	福岡県下に於ける二つの特色ある社会事業

R-3 第2卷第3号 (昭和7年3月)

公民教育の創造	鎌田榮吉
日支事変後の復員計画と再教育問題	鎌田榮吉
公民教育を一層徹底せしめよ	鎌田榮吉
日支問題と公民教育	深作安文
公民教育の方法に於ける三段階	伊東延吉

満蒙新国家の教育問題に対する一提唱

満蒙新国家の教育問題に対する一提唱	道家齊一郎
農村問題と青年教育(一)	長野長廣
美わしき公民生活	後藤文夫
我が国体の精華	奥田寛太郎
農村調査の内容と方法に就いて	奥田寛太郎
井上前蔵相の暗殺は教育界にどう響いたか	野尻重雄
刺客は公民教育の欠陥より生る	野尻重雄
僕の学校時代(その六)	奥田寛太郎
日支事件と吾等の踏むべき道	池部鈞
都市と少年保護	池部鈞
神仏教団めぐり(一)	藤村成助
創刊の頃を顧みて	江村南生
我が校の郷土教育	澤本健三
高等女学校に愈々公民科を設く	鳥谷尾友次郎
大満州建国の大業成る	鳥谷尾友次郎
紫式部日記抄	池田孝次郎

R-3 第2卷第4号 (昭和7年4月)

女子の公民教育	卷頭言
公民教育と国民警察	松井茂
近時の世相と公民教育の重要性	松井茂
女性の社会的地位と公民教育	關屋龍吉
法律、政治に対する女子の自覚	武部欣一
女子の公民教育	下田次郎
	榎山榮次

女子公民科の実施について	三輪田元道
女学校と公民教育	嘉悦孝子
女子公民科に関する諸問題	小泉郁子
女子公民教育について	藤田たき
国家及皇室と臣民	大島正徳
人と社会	永井享
町村と森林	貴島圭三
公民教育の放送に就いて	仲木貞一
美術学校時代(一)	池部鈞
刑法に於ける応法主義と目的主義	林鐵郎
井上前蔵相の暗殺は、	
教育界にどう響いたか(続)	
郷土教育の実際(一)	三重県二見小学校
金を語る(趣味の科学)	長尾和生
農作物の害虫及び蠅の駆除法に就きて	今津明
俳人英一蝶	桑原亮川
女の近江聖人	新井石龍
各府県別に依る直轄学校在学比例	文部省統計課

R-3 第2巻第5号 (昭和7年5月)

ジャーナリズムの欠陥	巻頭言
公民科の設置からして	山本良吉
我が国教育界の思想傾向を論ず	池岡直孝
ジャーナリズムと教育	

R-3 第2巻第6号 (昭和7年6月)

劇業ジャーナリズム	四方田義茂
ジャーナリズムの大衆化	後藤武夫
新聞紙と教育	千葉龜雄
憲法政治の原則	高橋清吾
我が家	永井享
私法生活と公民道徳	廣濱嘉雄
自由と統制及平等	清原貞雄
女子の二大特性と情操教育(上)	中川竹三
マルクス主義の話(吾が子の公民教育)	奥田寛太郎
小学校長の優遇案	東京日日新聞
弾圧を加味した思想対策	読売新聞
幕府の瞞着政策と志士の公憤	徳富猪一郎
女に翻弄された訓導	沖田房孝
手紙	辻民吾
運動会を利用した公民教育	青木與吉
紫式部日記抄	池田孝次郎

公民教育に就いて	山下谷次
公民教育に於ける職業教育の必要性	谷口政秀
職業問題の展望	増田抱村
公民教育に於ける女子職業の問題	奥むめお
青少年と職業指導	豊原又男
一家の生計	井上秀子

帝国議会(上) .....	清水 澄
「公民科と教育界の思想傾向」を読む .....	川本 宇之介
臨終の言葉 .....	中澤 信治
静岡の想い出 .....	田中 貢太郎
女学校に於ける公民科の難点 .....	古林 光雄
学生左傾思想問題対策案 .....	東京朝日新聞
学生思想問題の「対策」 .....	東京日日新聞
女子の二大特性と情操教育(下) .....	中川 竹三
議会主義の話(吾が子の公民教育) .....	奥田 寛太郎
農作物の害虫駆除 .....	今津 明
公民科調査資料(第一輯) .....	本会調査部
教育界人国記(静岡県の巻・上) .....	澤本 健三
枕草子抄 .....	池田 孝次郎

R | 4 第2巻第7号(昭和7年7月)

時局に対する公民教育の方法 .....	杉森 孝次郎
左右に傾く現代の悪思想の善導について .....	西山 哲治
ファッシズムと立憲政治 .....	坪内 武四郎
扶清洋滅 .....	長尾 和生
公民教育と政界の浄化 .....	田子 一民
神社と公民教育 .....	石田 馨
国務大臣 .....	松波 仁一郎
帝国議会(下) .....	清水 澄
公民教育に於ける帝国憲法の教授を論ず .....	田淵 藤藏

合法悪と新聞紙 .....	山根 眞治郎
サラリーマンの生活標準の調査 .....	社会局社会部
公民科調査資料(第二輯) .....	本会調査部
石の巻高女の公民教科資料 .....	石の巻高等女学校
美術学校時代(二) .....	池部 鈞
子供の心親知らず .....	平田 のぶ
小学校児童と公民教育 .....	黒崎 悦子
母の立場から .....	平井 恒
栃木師範の公民科の実際 .....	安藤 精一
教育界人国記(静岡県の巻・中) .....	川邊 俊夫
枕草子抄 .....	澤木 健三
十日町紀行 .....	池田 孝次郎

R | 4 第2巻第8号(昭和7年8月)

諸科目の教授による公民教育 .....	眞田 幸憲
真の家庭教育とは何か .....	倉橋 惣三
青年教育と公民科 .....	長野 長廣
女子公民教育の方法について .....	宮田 脩
小学校に於ける公民教育 .....	佐々木 秀一
教育の形態 .....	入澤 宗壽
枢密顧問 .....	松波 仁一郎
教育映画について .....	吉村 冬彦
警察会報 .....	長倉 矯介

社会人としてのイギリス人	岡本かの子
甲子園の大会を前にして	久保田 高行
山の産み出す力	田部 重治
夏の海景	新居 格
功利的な余りに功利的な	鈴木 文史朗
公民科調査資料(第三輯)	本会調査部
清淡枯泊の国民性について	中澤 信治
独裁政治の一考察	坪内 武四郎
台湾の農村	横田 勝穂
東京府立工芸の公民科の実際	茂野 俊吉
地理歴史の郷土教育	川邊 俊夫
教育界人国記(静岡県巻・下)	三重県二見小学校 澤本 健三
高等女学校長会議と公民科	
文部省主催公民教育講習会	

R | 4 第2巻第9号 (昭和7年9月)

明治時代の公民教育	海後 宗臣
公民教育と民族主義	長屋 喜一
公民遵法の要義	泉 二新熊
公民教育と宗教の問題	松原 寛
農村振興教育の根本策	東郷 實
農村更正問題と公民教育	千葉 敬止
公民科の成績考査に就て	川端 篤郎

高等女学校生徒の公民的素養に関する調査	秋月 兼一
公民教材「おち穂ひろい」(上)	松本 定敏
細民に対する公民的訓練	清水 虎男
独裁政治の一考察	坪内 武四郎
衆議院議員選挙法改正案要綱	
公民科調査資料(第四輯)	本会調査部
理科の郷土教育	三重県二見小学校
公民教育の五ヶ年計画	読売新聞
教育費負担増額に就て	東京日日新聞
変態社会の責任、制度か人か	大阪朝日新聞
貝島家の育英事業	
オリンピック日本選手戸籍調べ	

R | 4 第2巻第10号 (昭和7年10月)

公民教育と作業教育	堀 七藏
公民道徳と社会制度	安部 磯雄
都市生活と公民教育	前田 多門
都市に於ける公民的教養	大島 正徳
都市生活と公衆衛生	高野 六郎
公民科実施につきての卑見	關田 生吉
公民科に於ける学習資料の調査蒐集について	松田 克三
公民科教授の着眼	及川儀右衛門
公民教材「おち穂ひろい」(下)	松本 定敏
背後の世界の認識	中澤 信治

現下の政治と公民教育 …………… 佐藤 繼吉

大アマゾンに於ける開拓事業について …………… 上塚 清司

実際に観たる鉄道運賃 …………… 鈴木 清秀

東京市連合防護団について …………… 藤井 利譽

東京市の行政組織（東京都制案要綱） ……………

東京非常変災要務規約摘要 ……………

オリンピック競技に於ける ……………

我が国民精神の發揚 …………… 山本 忠興

公民教育関係図書一覧 ……………

R-4 第2卷第11号（昭和7年11月）

公民教育と警察 …………… 高橋 雄豹

教育社会学より見たる公民並に ……………

公民教育の意義 …………… 田制 佐重

独逸に於ける公民教育運動の現状 …………… 倉澤 剛

公民科は教育時期全体を通じて ……………

課すべきである …………… 野口 援太郎

研究教授に用いたる公民科教授案 …………… 秋月 兼一

実際に観たる鉄道運賃 …………… 鈴木 清秀

政党政治家の告白を回想して …………… 坪内 武四郎

自力更生教化運動と農村青年 …………… 前川 周太郎

美濃部博士の選挙制度と ……………

官吏制度を読み更に教えを請う …………… 武田 貞之助

凶画唱歌の郷土教育 …………… 三重県二見小学校

唐の太宗と蘭亭序 …………… 山田 雲鳳

R-4 第2卷第12号（昭和7年12月）

公民精神の激獎が根本なり …………… 原田 實

公民教育の方法と大集団意識の養成 …………… 田制 佐重

立憲政治の将来と政治教育の問題 …………… 茗荷 房吉

公民科に就て …………… 紀平 正美

職業選択に就ての一考察 …………… 秋田 達

実際に観たる鉄道運賃 …………… 鈴木 清秀

支那の国難を語る …………… 長尾 和生

公民科の歴史と改題 …………… 遠藤 隆吉

現代教育思想と公民科教育 …………… 川端 篤郎

R-5 第3卷第1号（昭和8年1月）

怒濤に抗して …………… 卷頭 言

年頭の辞 …………… 鳩山 一郎

時局と公民教育 …………… 武部 欽一

昭和八年度予算の解説及批判 …………… 青木 得三

小学校教員の問題 …………… 岡田 恒輔

国際連盟の平和維持に関する行動 …………… 永井 三樹三

日本文化の特色と日本精神 …………… 志田 延義

議会展と自治体の向上 …………… 白瀬 如水

公民科教授の実際問題 …………… 及川 儀右衛門

我校に於ける公民教育の実際	矢野西雄
「公民訓練」の提唱と其一例	仙波直心
公民教育と新聞	有原末吉
今昔頭陀袋	岡村喜代志
公吏醜悪相の診断	中島徳藏
人事相談事務の概要	及川常平
農民窮乏に関する一考察	井出梓

R | 5 第3巻第2号 (昭和8年2月)

有備無患	巻頭言
非常時と公民教育	塚原政次
インフレーションの過去現在及び未来	荒木光太郎
農村物価惨落と農家収入	長野長廣
新生共産党事件	深作安文
第三次共産党事件とその特異性	河村只雄
具象と抽象	川竹武夫
小学校に於ける公民的訓練	岩瀬六郎
尋常小学校に於ける公民教育に就て	堀田静
国民皆兵制と帝国の国防	關根郡平
時局と航空に関する公民教育	安達堅造
最近の欧米を見て	阿部宗高
公民科に於ける時事問題の取扱	松田克三
公民教科書読後感	坪内武四郎

R | 5 第3巻第3号 (昭和8年3月)

民心の和会	巻頭言
連盟脱退と其の前後	本間雅晴
公民教育に就て	浅賀辰次郎
政治教育の取扱方に就て	黒田幸雄
「ソ」連邦国民の国防思想に就て	笠原幸雄
近く開かれる国際経済会議と其の問題	永井三樹三
公民教育理念の社会哲学的考察	早瀬利雄
公民科の本質と教授指導案の実例	田淵藤藏
農業学校に於ける公民科教授の実際	仙田清吾
天皇の神聖不可侵性に対する我國民の信念	藤江喜久夫
小学校に於ける児童融和教育の具体的方法	藤範
セツトルメントと公民教育	三好豊太郎
セツトルメントに於ける公民教育	谷川貞夫
満州里籠城七十日間	山崎誠一郎

R | 5 第3巻第4号 (昭和8年4月)

新読本に関連して	巻頭言
現下の外交問題と國民の覚悟	内田康哉
新読本の編纂方針に就て	芝田徹心
公民科の難点を論じて	稲毛金七
教育と政治との關係に及ぶ	池岡直孝
家族制度と国民道德	池岡直孝

最近に於ける社会学の問題相	新明正道
米国金融恐慌の世界的影響	服部文四郎
家庭紛議と法律	我妻榮
経験と計画	關田生吉
納税の觀念の修正	澁谷治尚
七年度公民科教授の回顧	大西權一
結婚礼式の改善	松本定敏
公民科を担当して	楊井克巳
郷土に於ける寺子屋研究	古林光雄
「伊太利の教育は如何ですか」に答う	岸晃二
独逸教育の管見	丸山三郎
ソヴイエトに於ける教育	高田信三

R—5 第3卷第5号 (昭和8年5月)

教員赤化と公民教育	卷頭言
時局と政治教育の重要性	石坂豊一
国民教育・公民教育及郷土教育	小川正行
公民教育と道徳教育	田制佐重
日本歴史の特色	徳富蘇峰
日本人の生計費について	森本厚吉
「四ヶ国協約」運動の経済的基礎	阿部勇
支那最近の政情	大西齋
公民へまでの發達過程	丸山良二
幼年期に於ける公民的訓練	森川正雄

小学校の公民的訓練	堀之内恒夫
国民教育と小公民を作る教育	野村芳兵衛
非常時に於ける教育	松下專吉
フォーマリズムに墮するか女子公民科?	小泉郁子
結婚礼式の改善	松本定敏

R—5 第3卷第6号 (昭和8年6月)

五・一五事件は語る	卷頭言
民間外交の期益々迫る	新渡戸稻造
公民教育の概念と方法	入澤宗壽
家族と国家	倉澤剛
回轉すべき新外交	佐藤清勝
アメリカ人の特異性	清水博
公民教育の使命管見	湯村惣太郎
非常時局と公民教育の動向	水町清
公民教育の社会的基礎	高山潔
私の公民科指導の一面	井原孝一
公民的訓練の実際	對馬敬五郎
裁縫科に於ける公民科的内容の取扱	中澤かすめ
結婚礼式の改善	松本定敏
委任統治の由来及其根柢	南洋庁

R | 6 第3卷第7号 (昭和8年7月)

神社と宗教	.....	巻頭言
最新立憲政治学説の傾向	.....	今中次磨
議会制度に対する現代の批判	.....	堀真琴
公民教育の究竟的問題	.....	越川彌榮
教育目的としての公民	.....	伏見猛彌
公民科教授に対する一管見	.....	吉本俊二
世界経済会議の諸問題	.....	猪谷善一
我が国民教育と其宗教的心情	.....	加藤玄智
宗教と教育	.....	鶴藤幾太
宗教教育問題と公民科の宗教	.....	川村精治
公民科に於ける神社に就て	.....	長坂勝一
学校に於ける宗教教育に就て	.....	都田恒太郎
宗教の取扱に就ての卑見	.....	飯岡朗
青年日本の建設	.....	永井柳太郎
中等公民教科書にあらわれた宗教の解釈	.....	

R | 6 第3卷第8号 (昭和8年8月)

夏季休暇論	.....	巻頭言
日本精神の宣揚	.....	下村三四吉
日本及日本人の神秘的存在	.....	池園哲太郎
公民教育唱道の由来	.....	谷本富
公民教育と映画	.....	中田俊造

R | 6 第3卷第9号 (昭和8年9月)

公民教育と郷土博物館	.....	棚橋源太郎
ラジオと公民教育	.....	多田不二
公民教育上より見る新聞学習	.....	岡山光雄
非常時の認識と学生の覚悟	.....	荒木貞夫
ケルシエンシユタイネルの公民教育論	.....	井上稔
聖徳憲法寸感	.....	坪内武四郎
社会主義並に自由主義に対する	.....	
ファシストサンディカリズム	.....	E. ロッソーニ
商業都市の公民教育	.....	田淵利一郎
我々に於ける公民教育施設状況	.....	文野庄七
学校中心の理想農村へと	.....	松尾寅雄
我等の海外発展地としての南洋	.....	杉田祥夫
各科と公民教育	.....	巻頭言
共存共栄	.....	岩井龍海
西と東	.....	大槻正一
警察と公衆	.....	重田忠保
公民教育と言語の修養	.....	保科孝一
公民教育に於ける数学	.....	下村市郎
公民教育と修身科	.....	鹿兒島登左
地理科に於ける公民教育	.....	及川儀右衛門
作業科に於ける公民的訓練	.....	鈴木静穂
農村と共同貯金	.....	松本定敏

国語科に於ける公民教育と

国語読本に於ける公民的教材

日本教育道の底流

公民教育の方針と力点

本校の公民的訓練

精神と形式の合一

R-6 第3巻第10号 (昭和8年10月)

教育も国防である

思想対策と教育方針

公德は果たして不振であろうか

公民科教授要目に関する考察

公民科教授上問題となる諸点

公民教育と其の背景

公民生活の指導精神

政治的国民教育の諸問題

公民教育の指導精神

児童虐待防止法の解説(上)

文検公民科研究範囲と参考書の選択

公民科受験記

根本は教科書の理解

内山直治

長義正

林胤吉

坂川好親

岡本和一

巻頭言

山榊儀重

田川大吉郎

松本喜一

長倉矯介

野崎泰秀

北原金司

梅根金悟

東郷實

杉田三郎

藤谷三郎

今野修一郎

岡井勝美

R-6 第3巻第11号 (昭和8年11月)

教育の勘定日

郷土教育と公民教育との関係

立憲国民の権威

政治的国民教育の諸問題

公民科と他学科

公民科教授者の立場

公民科教授指針と其取扱の実際

小学校に於ける公民的訓練に就て

高等女学校公民科教授細目私案

児童虐待防止法の解説(下)

廃校の運命より救う

聖旨を奉体して

文検公民科研究範囲と参考書の選択

巻頭言

小澤恒一

林毅陸

梅根悟

都田恒太郎

川竹武夫

宮原信夫

細谷信章

秋月兼一

杉田三郎

清水一政

浅野次作

藤谷保

R-6 第3巻第12号 (昭和8年12月)

準備教育の問題

産業組合の現在と将来

極東の情勢に就て

米国に於ける公民教育思潮

歴史の興味

本校に於ける公民教育の一端

都市小学校の公民教育

巻頭言

千石興太郎

東條英機

荒井貞雄

朝日融溪

高橋久一

山崎博

東京市民教育の実際	.....	對馬	敬五郎
公民教育に関する指導案	.....	梅井	千秋
公民教育の使命と映画の任務	.....	西川	幸次郎
文検公民科研究範囲と参考書の選択	.....	藤谷	保
文検公民科の準備法	.....	渡邊	徳治
ファシスト・イタリーの十年	.....	岸	晃二
地名爐談	.....	日本国勢総覧編纂部	

R-7 第4巻第1号 (昭和9年1月)

年頭の辞	.....	鳩山	一郎
明治大帝を偲びまつりて	.....	田中	光顯
公民教育による日本精神の涵養	.....	池岡	直孝
公民教育と日本精神	.....	長	義正
公民科に於ける時事問題の扱方	.....	淺賀	辰次郎
中学校公民科の時事問題取扱について	.....	關田	生吉
公民科教授上問題となる諸点	.....	長倉	矯介
はぐくまるる人の心	.....	朝日	融溪
公民科教材の実際の取扱方	.....	宮原	信夫
受験者に望む	.....	氣賀	勘重
公民科準備より見たる時事問題	.....	藤谷	保
文検公民科口述受験記	.....	渡邊	昌雪
非常時日本を見る	.....	新居	格
地名爐談	.....	日本国勢総覧編纂部	

R-7 第4巻第2号 (昭和9年2月)

公民教育の目標	.....	橋本	増吉
公民科の教科書につきて	.....	長谷川	乙彦
日印会商成立と今後の貿易及産業	.....	小汀	利得
工業国日本の歩み	.....	門野	重九郎
公民生活指導の一面としての	.....		
娯楽及び娯楽機関の統制について	.....	野崎	泰秀
公民科に於ける時事問題の扱方	.....	淺賀	辰次郎
再び時事問題の取扱に就いて	.....	松田	克三
地方女子公民の自覚とその活動について	.....	吉井	孝次郎
本校の教育と公民教育	.....	岸田	與一
公民教育実施案に就て	.....	梅井	千秋
公民科研究範囲と参考書の選択(私法の部)	.....	藤谷	保
公民科合格の鍵	.....	松本	齋
地名爐談	.....	日本国勢総覧編纂部	

R-7 第4巻第3号 (昭和9年3月)

選挙法の運用に就て	.....	齋藤	隆夫
ナチスの教育方針と其の実施状況	.....	服部	纘
思想傾向と教育家の任務	.....	長谷川	如是閑
思想問題と公民教育	.....	龍山	義亮
婦人問題を問題とせよ	.....	小泉	郁子
我国労働運動の将来	.....	松岡	駒吉

都市と社会事業 …………… 大野木 克彦  
 方面委員制度に就て …………… 杉田 三郎  
 社会政策に於ける指導精神の轉換 …………… 長谷 孝之  
 公民科に於ける ……………

社会問題取扱上の危険とその対策 …………… 仙波 直心  
 公民科に於ける ……………

「社会改善」の教授法に就て …………… 長坂 勝一  
 時事問題、社会問題に対する ……………

女子学生の関心 …………… 有 原 末吉  
 非常に直面して農業学校卒業生に贈る …………… 仙 田 清吾  
 公民科の研究範囲と ……………

参考書の選択（経済の部） …………… 藤 谷 保  
 受験を通して見た公民科 …………… 松 尾 信資

R—7 第4巻第4号（昭和9年4月）

我国公民教育の特殊性 …………… 川 瀬 光順  
 我国公民教育の基相（上） …………… 上 石 保教

公民科教材の取扱方と日本精神の発揚 …………… 武 用 種吉  
 小学校公民教育一年間の指導計画面 …………… 岩 瀬 六郎

公民科指導講座（一） …………… 編 輯 部  
 日本文化協会成立の意義と其の事業 …………… 伊 東 延吉  
 バルカンに於ける国際的禍根 …………… 内 藤 智秀

英国農村の衰微相 …………… 赤 座 光市  
 公民科問題の解答とその構成 …………… 藤 谷 保

公民科を受験せらるる人々へ …………… 小 柳 勝太郎  
 公民教育家録 …………… 編 輯 部

R—7 第4巻第5号（昭和9年5月）

世界の強国運動と大日本精神 …………… 谷 原 義一  
 我国公民教育の基相（下） …………… 上 石 保教

公民科教授と教材の研究 …………… 千 葉 敬止  
 農業学校に於ける公民科教授と公民的訓練 …………… 鈴 木 静穂

商業学校に於ける公民科教授と公民的訓練 …………… 川 原 與作  
 生命の本性 …………… 朝 日 融溪

公民科指導講座（二） …………… 編 輯 部  
 本校揭示教育の概要 …………… 木 村 英三

公民科問題の解答とその構成 …………… 藤 谷 保  
 文検公民科より高文へ …………… 小 沼 次男

連れ子の家督相続権に就て …………… 秋 田 達  
 再検討の要ある倫理道德 …………… 木 下 喬夫

現代の教育に就て …………… 大 山 善次郎

R—7 第4巻第6号（昭和9年6月）

憲政の運用と公民教育 …………… 森 口 繁治  
 立憲政治の確立と公民教育の任務 …………… 清 水 徳太郎

立憲政治と公民教育 …………… 松 本 重敏  
 政治教育の困難と其の方針 …………… 稻 毛 金七

公民科の教授要目に就いて……………山崎 犀二  
公民科指導講座(三)……………編輯部

中学校に於ける公民教育と公民的訓練……………及川儀右衛門

高等女学校に於ける公民教育と公民的訓練……………宮田 脩

日米の生計費比較について……………森本厚吉

近代女性意識に現れた母性に就て……………磯村英一

公民科に於ける……………

「社会改善」の教授法に就いて……………長坂勝一

公民科問題の解答とその構成……………藤谷 保

公民科教授上の一考察と受験の要諦……………大久保 清四郎

R—8 第4巻第7号(昭和9年7月)

私有財産制度の経済的意義……………堀 經夫

公民科の教授要目に就いて……………山崎 犀二

日蘭会商に就いて……………石澤 豊

公民科指導講座(四)……………編輯部

職業道德と公民教育……………大伴 茂

現代職業の特殊性と其の選択……………川野温興

工業学校に於ける公民教育と公民的訓練……………川竹武夫

実業補習学校に於ける公民教育と公民的訓練……………田淵藤藏

青年訓練所に於ける公民教育と公民的訓練……………鹿兒島 登左

本年度予備試験問題の解答……………藤谷 保

本試験受験者の心得……………渡邊 徳治

R—8 第4巻第8号(昭和9年8月)

公民教育と日本精神の教育……………入澤宗壽

大日本帝国憲法と国体……………奥田寛太郎

公民教育の根本問題……………田中宗市

国民思想統一の所在……………西 晋一郎

我校に於ける公民教育……………野村一義

公民的陶冶を意図したる修身教育……………上村文二郎

生活としての郷土と国語教育の展開……………新保正夫

綴り方教育に公民的な考慮を……………内山直治

国定算術書に現れたる公民的教材とその取扱……………佐久間 卯吉

郷土に立てる公民算術教育……………牛腸 武

国史教育に於て公民教育を如何に考うべきか……………阿部只治

公民教育の実際と社会浄化について……………加藤虎男

公民的訓練と公民的精神の……………横尾大次郎

養成を旨せる我が校月曜講話……………齋藤ナリ

利己にさまよう……………朝日融溪

公民科本試験問題の解答……………藤谷 保

公民教育に於ける教授者の立場……………秋田 達

R—8 第4巻第9号(昭和9年9月)

公民教育と家庭教育……………麻生 正藏

大日本帝国憲法と国体……………奥田 寛太郎

公民科教科書批判	山崎犀二
刑法の改正に就て	池田克
人生に宗教は何故必要か	鶴藤幾太
公民科指導講座(五)	編輯部
最近に於けるソ連の外交大観	山岡道武
カフェー・バー等の取締と学生の問題	重田忠保
公民教育に於ける「都市と農村」に就いて	磯村英一
公民科と公民的訓練に就いて	湯村惣太郎
愛国公民読本(一)	アーノルド・ フォスター
公民科問題の解答とその構成	藤谷保
文検公民科模擬試験	
古文庫の底で拾った公民教育	
日本に対する強盗遠征	アルフレット・ ストロス

R—8 第4巻第10号(昭和9年10月)

社会教育に於ける公民教育	稲毛金七
外来文化の輸入と自主的精神	矢吹慶輝
私有財産制度の社会的意義	河村只雄
公民科教科書批判(その二)	山崎犀二
公民科指導講座(六)	編輯部
日支親善の方策如何	長倉矯介
我国貿易の現状及将来	勝正憲

最近に於けるソ連の外交大観	山岡道武
中学校の公民科は如何にすれば更正するや	關田正吉
愛国公民読本(二)	アーノルド・ フォスター
公民科問題の解答とその構成	藤谷保
貧しき経験を語る	高見正
昭和八年度壮丁教育調査に 於ける公民科の概況	せきだ生
国民精神文化研究所行脚録(一)	

R—8 第4巻第11号(昭和9年11月)

我が国の実業教育	清浦奎吾
発明と公民教育	山本忠興
都会生活の動向と公民教育	野崎泰秀
職業について	廣濱嘉雄
公民科教科書批判(その三)	山崎犀二
マルセイユの凶変	永井三樹三
公民科指導講座(六)	編輯部
我国人口増加の趨勢	友安亮一
農業に於ける地方的特異性	鞍田純
新理想主義と公民教育	米田稔
公民教育方法としての全村教育	松本定敏
愛国公民読本(三)	アーノルド・ フォスター

公民科問題の解答とその構成	藤谷保
文検公民科模擬試験結果発表	大西佐代吉
公民科口述試験の実際	せきだ生
国民精神文化研究所行脚録(二)	

R-8 第4巻第12号(昭和9年12月)

宗教を求めぬ心	江上利生
産業組合精神に就て	紬木志雄
公民科教科書批判(その四)	山崎犀二
公民科指導講座(八)	編輯部
公民教育的立場より観たる学級経営	上原務
映画教育の経験より公民教育を語る	宮崎和男
日滿親善と女子教育を語る	前田若尾
愛国公民読本(四)	アーノルド・フォスター
公民科問題の解答とその構成	藤谷保
文検公民科模擬試験次席答案発表	荒波忠夫
文検公民科の内容と参考書の吟味	せきだ生
国民精神文化研究所行脚録(三)	
満州国教育家の見た日本の教育	

R-9 第5巻第1号(昭和10年1月)

年頭の辞	松田源治
------	------

公民科新設の頌	建部遯吾
公民科と公民道徳	深作安文
世界の婦人と女子公民科	小泉郁子
紙屑の道徳	長谷川如是閑
新年の革命	五來素川
公民新論の種々	谷本梨庵
新春の思索	新居格
花と人生	相澤熙
住みよい社会	原田實
公民科教科書批判(その五)	山崎犀二
軍縮問題の叫ばれるに至りし由来	齋藤茂
我国現下の財政及金融に就いて	小川福太郎
愛国公民読本(五)	アーノルド・フォスター
農村問題と小作問題	松村勝治郎
不良住宅地の改良	持永義夫
我国刻下の人口問題と失業問題	美濃口時次郎
社会政策的施設とその意義	長谷孝之
公民科指導講座(九)	編輯部
公民科問題の研究	藤谷保
私の公民科受験準備法	加來利治
全女性に対して御願	前田若尾
中学修業年限四年を非とする理由	中学校長協会

R—9 第5卷第2号 (昭和10年2月)

世界思想と国民精神	江上利生
非常時に於ける公民教育	田制佐重
公民科教科書批判(その六)	山崎犀二
躍進日本の世界的地位	川原次吉郎
文化史上に於ける我国の地位	加藤咄堂
世界の立憲政治に於ける我国の地位	蜷川新
世界の財政経済に於ける我国の地位	渡邊鐵藏
世界の大勢と日本の地位	永井三樹三
軍縮問題の叫ばれるに至りし由来	齋藤茂
本願にめさむる日	朝日融溪
公民科指導講座(十)	編輯部
愛国公民読本(六)	アーノルド・フォスター
公民科問題の研究	藤谷保
金的を射るまで	太田博

R—9 第5卷第3号 (昭和10年3月)

責任ある進歩史観的認識の	杉森孝次郎
公民教育に於ける必要	永井享
一体としての社会	奥田寛太郎
日本の姿	池岡直孝
国家精神の涵養	池岡直孝

新制青年学校と公民科

総合的教科としての公民科の任務	鹿兒島登佐
公民教育の課題	小澤恒一
公民科指導講座(十一)	植田清次
公民科教材中の一研究に就て	編集部
農業学校と農民道場	武用種吉
満蒙視察旅行報告書	佐藤信夫
愛国公民読本(七)	前田若尾
公民科問題の研究	アーノルド・フォスター
文検公民科の内容と準備	藤谷保
	岡野直

R—9 第5卷第4号 (昭和10年4月)

国際的地位の躍進と公民教育	龍山義亮
神祇教育に含まるる諸要素	鶴藤幾太
青年学校に於ける修身及公民科の教授	鈴木静穂
公民科教授上の疑義数点(一)	長倉矯介
親族法に就ての若干の考察	土屋四郎
一元的及多元的國家の理論	吉村正
公民科指導講座(十二)	編集部
生徒より見たる公民科	秋月兼一
経済更生に關し青年教育に於て	太田博
施設経営すべき公民訓練方案	佐藤善次郎
英国の私立中等学校経営(上)	佐藤善次郎

農村生活管見 ……………  
愛国公民読本(八) ……………

木村 英三  
アーノルド・  
フォスター

英国の私立中等学校経営(下) ……………  
愛国公民読本(九) ……………

佐藤 善次郎  
アーノルド・  
フォスター

紙屑の道徳を読んで長谷川如是閑先生に ……………  
公民科の予備試験対策 ……………  
耕種科農業経済科を経て公民科へ ……………

九山 一信  
藤谷 保  
大西 誠喜治

公民科問題の研究 ……………  
文検公民科第一、二問の準備対策 ……………  
青年学校関係法令 ……………

藤谷 保  
坪富 司

R—9 第5巻第5号(昭和10年5月)

青年学校制度の制定に就て ……………  
青年学校の修身及公民科に就て ……………  
公民科教授上の疑義数点(二) ……………  
氏族制度と家族制度とに關して ……………  
帝国憲法制定の歴史 ……………  
天皇・国民と帝国議會 ……………  
社会と保険 ……………  
生計に苦しむ日本人 ……………  
公民科指導講座(十三) ……………  
公民的訓練と学校施設 ……………  
公民科教授に於ける農村社会研究 ……………  
公民教育の究極目的 ……………  
本年度の公民科・公民的訓練に於いて  
試み度いと思うこと ……………  
国策の根本義としての文教の振興 ……………

河原 春作  
千葉 敬止  
長倉 矯介  
山崎 犀二  
藤井 甚太郎  
松本 重敏  
末高 信  
森本 厚吉  
編輯 部  
長 義正  
田淵 藤蔵  
大西 佐代吉

青年学校の公民訓練に就て ……………  
立憲自治に關する公民教育への期待 ……………  
公民政治及道徳の基調(一) ……………  
公民教育の新使命を明かにし  
朝鮮の公民科要目の精神に及ぶ ……………  
公民科教授上の疑義数点(三) ……………  
多数決の原理について ……………  
職業と道徳 ……………  
職業指導と其の施設 ……………  
公民科指導講座(十四) ……………  
私とは何のことか ……………  
公民科と公民教育との關係 ……………  
女学校に於ける公民科二、三の問題 ……………  
公民科より見たる修学旅行 ……………  
愛国公民読本(十) ……………

野田 義夫  
武田 貞之助  
上石 保教  
鎌塚 扶  
長倉 矯介  
堀 眞琴  
小林 澄兄  
鈴木 信  
編輯 部  
辻本 與次郎  
小野 久  
小柳 勝太郎  
大西 權一

調査部

茗溪会教育制度

アーノルド・  
フォスター

公民科予備試験問題解答	藤谷 保
文検公民科口述試験案内	吉田 喜市郎
青年学校関係法令(二)	

R—10 第5巻第7号(昭和10年7月)

公民教育の主眼点	林 毅 陸
憲政振作と公民教育	關 口 泰
公民政治及道德の基調(二)	上 石 保 教
公民科教授上の疑義を解く	山 崎 犀 二
国民の教育	西 晋 一 郎
神社の本質と宗教	江 上 利 生
神社と公民教育上の一考察	河 野 省 三
官国幣社に就いて	宮 地 直 一
公民科指導講座(十五)	編 輯 部
文芸と婦人の自覚	神 近 市 子
公民科と修身との関係	小 野 久
公民科研究会記事	長 義 正
産業組合主義実習教授の実例	稻 葉 豊 次 郎
愛国公民読本(十一)	アーノルド・ フォスター
公民科本試験の対策	藤 谷 保
公民科口述試験の実際	山 本 孫 義

R—10 第5巻第8号(昭和10年8月)

選挙肅正の方法	松 波 仁 一 郎
教育界と選挙肅正運動	中 尊 量
縦観公民教育・修正公民科	上 石 保 教
選挙肅正に関する文部省訓令並通牒	
選挙肅正と公民教育に関する各方面の意見	
憲法研究の資料二題	蜷 川 新
公民科の教育的使命並教授方針	長 義 正
公民科本試験問題解答速報	藤 谷 保

R—10 第5巻第9号(昭和10年9月)

公民教育の原理としての連帯責任	深 作 安 文
公民政治及道德の基調(三)	上 石 保 教
選挙肅正と教育・教化運動	田 制 佐 重
選挙肅正運動の展望	伊 藤 博
選挙肅正と公民教育に関する各方面の意見	
公民教育としての選挙の実習	北 村 重 敬
国家総動員と青少年訓練	永 田 鐵 山
訂補国民の教育	西 晋 一 郎
氏族制度崩壊と家族制度発達	川 野 敏 夫
公民科指導講座(十六)	編 輯 部
改正選挙法の話(一)	内 務 省
政治道義の回復を冀望す	後 藤 文 夫

憲政一新の勇断	齋藤 實
買収は白蟻・干渉は豺狼	鈴木 喜三郎
政界の浄化	町田 忠治
選挙粛正と政党の責任	安達 謙藏
選挙粛正と政府の取締	安部 磯雄
選挙粛正に就いて	永田 秀次郎
国家の為に我々の為に	田澤 義鋪
正しい選挙を	丸山 鶴吉
愛国公民読本(十二)	アーノルド・ フォスター

R-10 第5巻第10号 (昭和10年10月)

公民科問題の研究	藤谷 保
文検公民科準備の経過	上木 榮一

我国に於ける公民教育の本質	入澤 宗壽
国家の本質と国家主義	鶴藤 幾太
公民政治及道德の基調(四)	上石 保教
選挙粛正と教育	三邊 長治
中学校修業年限短縮と公民科	及川儀右衛門
公民教育の立場より青年学校に就いて	金生 喜造
帝国憲法制定の精神並に	
欧米各国学者政治家の評論	金子 堅太郎
公民科指導講座(十七)	編輯部
小学校教員検定公民科の講評	秋田 達

改正選挙法の話(二)	内務 省
愛国公民読本(十三)	アーノルド・ フォスター
公民科問題の研究	藤谷 保
文検公民科受験回顧録	和田 秀義
青年学校関係法令(三)	
R-10 第5巻第11号 (昭和10年11月)	

中学校の年限短縮と公民教育	稻毛 金七
国体明徴と公民科	池岡 直孝
日本精神の本質	越川 彌榮
国史より観たる我が国体	徳富 猪一郎
公民道德小論	有賀 敦義
社会的成層より観たる職業と	

その教育的指導	野崎 泰秀
公民科指導講座(十八)	編輯部
六原青年道場の教育的検討	小澤 恒一
立憲政治教育の徹底(一)	田淵 藤藏
公民科に於て	
注意すべき現行法上の「家」に就いて	川野 敏夫
今日の農村問題の種々相(一)	赤座 光市
一学期の公民科教授を顧みて	小柳 勝太郎
愛国公民読本(十四)	アーノルド・ フォスター

中学校四年修了より専門学校連絡を

非とする理由に就いて

公民科問題の研究

十年度文検公民科を受験して

全国中学校長協会

藤谷 保

田林 豊次

文検公民科問題の研究

文検公民科の出題傾向と

参考書の選択に就いて

藤谷 保

鈴木 元平

R-10 第5巻第12号 (昭和10年12月)

公民的教養の重要性

公民教育について

公民教育と公民科

公民科の核心

公民科と時事問題

公民科指導上の難点とその対策

公民科教授に際し、国体観念を

明徴にする実地教授に就きて

我校に於ける公民訓練の実際

公民科の要目に就いて

公民科教材の宗教に就いて

第十一回中等教育研究会公民科研究会記事

公民科関係諸調査

津山 三郎

塚原 政次

守内 喜一郎

長倉 矯介

及川儀右衛門

宮崎 清明

武用 種吉

吉井 孝次郎

塚越 文雄

西岡 義融

廣島高等師範

附属中学校

編輯部

田淵 藤藏

アーノルド・

フオスター

青年日本の修養の目標

修身科と公民科との関係

新教育と公民教育

公民教育近事雑説

教学刷新運動への一提言

日本人の長所短所

ラジオと公民教育

農村青年学校の生活指導

小学校に於ける公民教育の充実

小学校公民教育の振興方法

公民科指導講座(二十)

今日の農村問題の種々相(二)

小学校に於ける模擬選挙投票

愛国公民読本(十六)

杉森 孝次郎

荻原 擴

野口 援太郎

建部 遯吾

上石 保教

荒川 五郎

小尾 範治

鈴木 静穂

山崎 犀治

山崎 博

編輯部

赤座 光市

菅原 留治

アーノルド・

フオスター

藤谷 保

大河内 清榮

愛国公民読本(十五)

立憲政治に対する報恩行為

アーノルド・

フオスター

文検公民科口述の印象

大河内 清榮

R—11 第6巻第2号(昭和11年2月)

政治・公民教育・教育者	阿部 眞之助
現代政治と公民教育	大平 進一
本邦人の公民的思想とその背景	川本 宇之介
女子の政治的関心と公民教育	黒崎 悦子
公民教育の再認識	谷本 富
教学刷新運動への一提言(二)	上石 保教
小学校における公民教育について	廣濱 嘉雄
公民科担任教員の連絡共同機関設定に 関する私見	關田 生吉
公民科と中学校修業年限短縮問題	近藤 恭一郎
公民科と中学校修業年限問題に関連して	鈴木 榮一
高等専門学校入学試験科目に 公民科を加うる問題に就いて	赤坂 右逸
公民科教科書に関する諸問題	高瀬 廣雪
公民科と時事問題に	松野 憲治
公民科指導講座(二十一)	編輯部
公民科問題の研究	藤谷 保
文検公民科受験雑感	宮崎 和生
R—11 第6巻第3号(昭和11年3月)	
国体観念と公民教育	野田 義夫
公民と国民との別	眞田 幸憲

公民教育の諸形態と其批判	渡部 政盛
公民教育最近の趨勢	田制 佐重
公民教育の基礎を培へ	北村 重敬
公民教育と社会学	早瀬 利雄
公民科指導講座(二十二)	編輯部
公民教育の方法	植田 清次
選挙粛正と公民教育	相澤 秀一
小学校の公民教育に於いて	
徹底せられねばならぬもの	内山 直治
公民訓練中心の学校経営	佐々 忠兵衛
映画に依る公民教育	下野 宗逸
多摩聖蹟健全道場の設立に就て	田中 光顯
今日の農村問題の種々相(三)	赤座 光市
公民科問題の研究	藤谷 保
公民科口述試験の実際	小野 久

R—11 第6巻第4号(昭和11年4月)

選挙粛正と政治浄化は公民教育より	麻生 正藏
『国体』の意義について	奥田 寛太郎
所謂機関説問題と教育	上石 保教
帝国憲法の根本義	稲田 正次
公民意識と人間意識	上田 庄三郎
青年学校に於ける修身及公民科の 取扱に就いて	山口 啓市

R-11 第6巻第5号 (昭和11年5月)

日本人養成を目指す教育	林重信
日本の思惟について	森本鬼義
朝鮮に於ける公民教育の特殊相	韓聖壽
公民教育の理念	張秋金
公民科教員よ何処へ行く	立仙淳三
今次の総選挙と公民教育	小野源藏
選挙の結果と肅正運動批判	金生喜造
ロカルノ条約を巡る欧州の現状勢	齊藤茂
公民科教授資料(第一講)	藤谷保
公民科教授細目案	広島高等師範
公民科問題の研究	附属中学校
公民科本試験の実際	藤谷保
	山本秀一
過渡期的現象の恒常性と公民的訓練	飯野稻城
転換期の文化と公民教育の目標	早瀬利雄
国民思想動揺の原因をたづねて	
昭和維新の指導精神に及ぶ	大杉謹一
国体明徴に基く公民科の取扱	池岡直孝
公民科より見たる近時二題	長倉矯介
統制経済の目標	有澤廣巳
高橋財政と馬場財政	野崎龍七
貴族院改革の話	關口泰

R-11 第6巻第6号 (昭和11年6月)

蔣介石政權を巡る支那の現状	高橋俊吉
ラインランド問題	外務省情報部
公民教育に於ける児童観	中沼郁
現代の伊太利	フランチェスコ・セヴェリ
公民科教授資料(第二講)	藤谷保
公民教育に於ける實際施設	安部正法
本校公民教育方針及施設	太田博
現行公民教科書調	編輯部
公民科予備試験対策	藤谷保
公民教育の障害	稻毛金七
社会不安と貧乏並びにその訓練	飯野稻城
公民教育と徳義の複雑性	原田實
国家と法に就いて	及川儀右衛門
日本の思惟の要について	河原貞夫
エチオピアの敗退と伊太利の得失	鈴木東民
各国の租税制度と増税問題	青木得三
馬場蔵相の低金利政策	笹原正志
ファッシズムの公民教育(一)	早瀬利雄
国家不滅の立脚点	徳富猪一郎
公民科教授資料(第三講)	藤谷保
国体明徴と国民精神の作興	松井茂

公民科予備試験問題解説速報	藤谷保
文検公民科受験対策	杉山藤太郎

R-12 第6巻第7号 (昭和11年7月)

公民教育と国民性	大瀬甚太郎
公民教育は小学校に於てすべし	遠藤隆吉
世論に対する教育的考察	小澤恒一
公民教育と人間性倫理学	馬場啓之助
日本的思惟の要について	河原貞夫
公民教育に対する一提言	相澤秀一
公民教育が望み見んとする所のものと 現に示している所のもの	小野正康
日満新条約の検討と其効果	山崎誠一郎
内閣調査局の現在及び将来	美濃口時次郎
オリンピック大会の歴史	編輯部
所謂統制経済論を評す	山本勝市
漢字廃止の弁と文字の進化論	松坂忠則
漢字廃止論者の迷蒙を啓く	大東文化協会研究部
公民科教授資料(第四講)	藤谷保
文検公民科本試験対策	藤谷保
文検公民科受験の要諦	小野慶太郎

R-12 第6巻第8号 (昭和11年8月)

現行公民科教授要目の批判	池岡直孝
公民科教授要目の再検討	山崎犀二
公民教育の内容改善整備の目標	高瀬莊太郎
公民科の真生命と現行教授要目	及川儀右衛門
公民教育の新基調と現行教授要目	倉澤剛
公民科の再検討と要目改善の問題	關田生吉
公民科教授要旨及要目の批判	宮川造六
公民科教授要目の研究	田淵藤藏
公民科要目中改善を要する諸点	長坂勝一
公民科教授要目に対する見方	長義正
商業学校の特質と公民科要目批判	荒木義直
現行高等女学校公民科教授要目所感	秋月兼一
青年学校修身公民科要目に期待	野田義夫
青年学校修身公民科教授要綱の問題	鈴木静穂
青年学校修身公民科要目への要望	宮瀬睦夫
青年学校修身公民科要目に望む	鹿兒島登佐
家族社会の基本単位	河村只雄
ファッシズムの公民教育(二)	早瀬利雄
現下の財政諸問題論評	諸藤良山
教育立国Ⅱ 小学教育の使命と本質	長田新
公民科教授資料(第五講)	藤谷保
文検公民科本試験問題解答速報	藤谷保

R | 12 第6巻第9号 (昭和11年9月)

公民教育の実際化	.....	建部 遯 吾
公民教育の不振と改善	.....	小川 正 行
公民科から忘れられた一項目	.....	野崎 泰 秀
如是我観公民教育(一)	.....	川本 宇之介
転回期に於ける公民教育	.....	田制 佐 重
青年学校と公民教育の重要性	.....	吉本 俊 二
時事解説三題	.....	寺田 瑛
何故義務教育は今延長すべきか	.....	義務教育延長 促進同盟
ファッシズムの公民教育(三)	.....	早瀬 利 雄
司法の運用と国民の協働	.....	小原 直
善良なる公民は家庭教育より	.....	武用 種 吉
私の日本人観	.....	ジョゼー・ジョビン
公民科統合的教授細目(上)	.....	千年 源 太
公民科教授資料(第六講)	.....	藤谷 保
文検公民科問題の研究	.....	藤谷 保
文検公民科に合格する迄	.....	飯田四郎三郎
本年度口述の一問一答	.....	宇津木正二三

R | 12 第6巻第10号 (昭和11年10月)

国民主義・人民主義と我が国	.....	杉 森 孝次郎
公民教育の歴史性	.....	海 後 宗 臣

公民教育の重点と教授要目の改善	.....	稲田 正 次
如是我観公民教育(二)	.....	川本 宇之介
選挙に見る青年の政治的関心	.....	松原 一 彦
公民教育・人・学問・健康・献身	.....	長 義 正
公民科に於ける詔勅取扱の研究	.....	松田 克 三
スペイン動乱を巡る諸問題	.....	益田 豊 彦
成都・北海両事件と日支関係	.....	三浦 一
国策と財政の現局面	.....	諸藤 良 山
ファッシズムの公民教育(四)	.....	早瀬 利 雄
庶政一新の真意義	.....	山道 襄 一
児童生徒の校外生活指導	.....	松本 浩 記
教育から観た蘭印の素描	.....	水田 信 利
公民科統合的教授細目(下)	.....	千年 源 太
公民科教授資料(第七講)	.....	藤谷 保
文検公民科問題の研究	.....	藤谷 保
資格試験としての文検公民科への要望	.....	砥上 峰 次
徹頭徹尾独学で公民科へ	.....	武田 馬 三

R | 12 第6巻第11号 (昭和11年11月)

公民教育の再検討	.....	入澤 宗 壽
公民教育の目標とその具体化	.....	川原 次吉郎
技術教育と精神教育	.....	奥田 寛太郎
如是我観公民教育(三)	.....	川本 宇之介
公民教育の徹底と教育制度	.....	北原 金 司

統制思想と公民教育	平
小学校に於ける公民教育の重点	山本二郎
師範学校二部公民科と其の取扱	井原孝一
税制改革の精神について	山田龍雄
青年学校の制度に就いて	朝比奈策太郎
帝国議会議事堂の建築を語る	大熊喜邦
公民科教授資料(第八講)	藤谷保
文検公民科問題の研究	藤谷保
千六百時間文検公民科準備(上)	川原孝治

R | 12 第6巻第12号 (昭和11年12月)

形式よりも内容	三輪田元道
我が国民教育の反省	小澤恒一
如是我観公民教育(四)	川本宇之介
再び公民教育の重点について	稲田正次
学校教育に於ける宗教教育の問題	中村健三
公民科の内容に関する一考察	中村正治
文教に於ける公民教育の地位	植田清次
日本精神と公民教育	松崎繁衛
公民教育の一考察	木村美根三
行政機構改革問題	堀真琴
昭和十一年の教育年評	上田庄三郎
支那に対する我等の態度	有吉明
公民科に関する新行事	長倉矯介

北地旅行雑感	前田若尾
公民科教授資料(第九講)	藤谷保
文検公民科問題の研究	藤谷保
千六百時間文検公民科準備(下)	川原孝治

R | 13 第7巻第1号 (昭和12年1月)

年頭の所感	平生鈺三郎
憲政の回顧と国民の覚悟	富田幸次郎
公民教育上より見たる神道	深作安文
公民教育と現代	原房孝
如是我観公民教育(五)	川本宇之介
公民教育の最近課題(二)	上石保教
先学の日本的学問観	宮瀬睦夫
宗教教育の問題と国民教育	長脇義正
公民科教授の反省と振興	西脇英逸
自由主義の公民教育(二)	早瀬利雄
御側近に奉仕して	奈良武次
聖徳太子と日本教育	福島政雄
コミンテルンの概貌と日独協定	山路章
昭和十二年度予算の解説	中島彌團次
支那共産軍に就いて	陸軍省新聞班
公民科教授資料(第十講)	藤谷保
公民生活への契機	綿貫數夫
文検公民科問題の研究	藤谷保

文検公民科の体験と問題の傾向に就いて ..... 水野 譽志松  
 文検公民科の経済に就いて ..... 天 鬼 生

R | 13 第7巻第2号 (昭和12年2月)

日本公民の必須資格 ..... 麻生 正藏  
 統制主義と皇国の道 ..... 荻原 擴  
 総合教育の思想と公民科 ..... 龍山 義亮  
 御神勅に基づく公民教育の徹底 ..... 北村 重敬  
 現代社会大衆と公民教育 ..... 渡部 政盛  
 如是我觀公民教育(六) ..... 川本 宇之介  
 公民教育の最近課題(二) ..... 上石 保教  
 価値轉換と公民科教授要目 ..... 及川儀右衛門  
 英帝の御退位と我国体の反省 ..... 北岡 健二  
 自由主義の公民教育(二) ..... 早瀬 利雄  
 人口問題と国際関係の動向 ..... 那須 皓  
 日本産業界の現状並に前途 ..... 高木 友三郎  
 世界資源の再分割論 ..... 諸藤 良山  
 公民科教授資料(第十一講) ..... 藤谷 保  
 公民科内容の類別的研究 ..... 勝賀 瀬進  
 私は現下の日支関係を如何に見るか ..... 間瀬 ハル  
 私は現下の日米関係を如何に見るか ..... 飯田 滿佐子  
 私は現下の日支関係を如何に見るか ..... 末永 千代  
 私は現下の日米関係を如何に見るか ..... 楠山 富美子  
 文検公民科問題の研究 ..... 藤谷 保

文検公民科に於ける私法 ..... 村木 武  
 文検公民科の特色とその受験準備生活相 ..... 佐藤 孝  
 文検公民科の既往問題一覽 ..... 編輯 部

R | 13 第7巻第3号 (昭和12年3月)

公民教育と郷土教育 ..... 山崎 犀二  
 公民教育の指導精神 ..... 亘理 章三郎  
 公民教育論に現れたる形式主義と  
 時宜主義について ..... 北原 金司  
 公民教育の最近課題(三) ..... 上石 保教  
 家族制度と公民教育 ..... 平 實  
 公民科と国民経済の新指標 ..... 森田 孝  
 公民科の考查法について ..... 小野 久  
 公民科教育の目標と其考查法 ..... 北岡 健二  
 公民科考查法に対する私見 ..... 近藤 恭一郎  
 軍部大臣の地位と政治的発言 ..... 大平 進一  
 我国の貴族院とその現位在 ..... 清河 政雄  
 自由主義の公民教育(三) ..... 早瀬 利雄  
 今日の問題解説 ..... 關田 生吉  
 我国公民教育の性格 ..... 西脇 英逸  
 公民科教授資料(第十二講) ..... 藤谷 保  
 社会化された学級とは果してどんなものか ..... 山本 二郎  
 文検公民科問題の研究 ..... 藤谷 保  
 文検公民科応試の経過 ..... 長谷川 喬

政治の本義と政治教育の重点	長野長廣
憲政再吟味と公民教育思潮(一)	上石保教
生活信条としての国家主義	坂巻正夫
公民科と学校行事について	阪中民一
学校行事の公民教育的実践	荒川好男
公民科教材と学校行事	上田忠雄
公民教育より見たる学校行事	金子春二
公民科教授要目改正の趣旨	中村正治
改正公民科教授要目に就いて	飯野稻城
インフレーションを中心とする	
諸経済問題の考察	勝田貞次
世界知識	田村眞一
支那最近の社会教育の概況	中原孝治
経済知識	島格太郎
予算上より見たる帝国海軍	海軍軍事普及部
今日の問題解説	關田生吉
台湾の公民科教育一ヶ年の反省	中村信二
文検公民科問題の研究	藤谷保
文検公民科の内容及び程度	川上龜義
改正中等学校公民科教授要目全文	

改正公民科教授要目の指導精神	作田莊一
中等学校公民科改正教授要目の精神	長倉矯介
公民科の本義と其教授要目の改正	建部遜吾
改正要目と其重要点の二三	大串兎代夫
改正公民科教授要目の現代的意義(一)	清水福市
改正要目に見る日本の公民教育への志向	近藤恭一郎
改正要目の根本義に対する私見	伊藤和衛
改正要目高等女学校公民科教授細目私案	山本正次
皇国不動の公民教育論	徳崎好夫
公民道徳より見たる経済諸問題	清岡雅雄
世界知識	田村眞一
第七十議會を通過した重要法律(一)	入江俊郎
第七十議會を通過した重要法律(二)	樺島千春
経済知識	島格太郎
青年学校に於ける公民教育の重要点	衛藤干城
今日の問題解説	關田生吉
文検公民科問題の研究	藤谷保
十一年度公民科口述の発問要項	砥上峰次
公民科教授事項取扱上の参考	文部省

新要目の「国民生活」及「国民経済」……藤本幸太郎

改正公民科教授要目に対する所感	池岡直孝
改正公民科教授要目の現代的意義(二)	清水福市
公民教育と経済政策	平實
憲政再吟味と公民教育思潮(二)	上石保教
最近の本誌に寄せて	田制佐重
法制知識	秋吉一男
改正公民科教授要目の概観	榎本萬吉
今日の問題解説	關田生吉
公民科に於ける時事問題の取扱	大沼喜久男
世界知識	島格太郎
企画庁の新設と其の機能及構成	企画庁
経済知識	田村眞一
文検公民科予備試験問題の解説	藤谷保
公民科予試問題の重点に対する私見	公民学人
文検公民科本試の指針	川上龜義
中等学校改正教授要目に関する通牒	
青年学校教授及訓練要目(修身及公民科)	

R-14 第7巻第7号(昭和12年7月)

改正公民科教授要目論評	稲毛金七
青年学校修身及公民科の使命	廣濱嘉雄
生活教科としての生活味	倉橋惣三
新要目に於ける家の生活の意味	戸田貞三
修身及公民科要目の實際的取扱	田淵藤藏

青年学校修身及公民科教授及訓練要目の特質と取扱上の注意点	關田生吉
法制知識	秋吉一男
二元性の諸相と議會主義	福田義郎
経済知識	島格太郎
憲政再吟味と公民教育思潮(終篇)	上石保教
世界知識	田村眞一
新要目に於ける修・公関係の検討	近藤恭一郎
修身科と公民科の相関と新要目	伊藤和衛
修身教材の三分類と公民科との関係	松田克三
教育使命としての公民科と修身科	加藤良一
今日の問題解説	關田生吉
文検公民科予備試験問題の反省	川原孝治
青年学校修身及公民科教授及訓練要目	
改正中等学校修身科教授要目全文	

R-14 第7巻第8号(昭和12年8月)

改正公民科教授要目の考察	稻田正次
独特の憲法政治と公民教育	渡部政盛
青年学校修身及公民科教授及訓練要目に対する一考察	鈴木静穂
新制修身及公民科要目と指導の實際	鹿兒島登左
公民科に於ける祭祀に就いて	宮瀬睦夫
改正要目に於ける「天皇の統治」	北岡健二

説教無力	志垣寛
してやられた私	小野源藏
公民精神第一歩	原田實
国際教育会議物語	相澤熙
欧米公民教育断想	磯村英一
今日の問題解説	關田生吉
新興ドイツの教育断片	奈良岡良二
世界知識	田村眞一
法制知識	秋吉一男
世界教育会議について	編輯部
経済知識	島格太郎
文検公民科本試験問題の解説	藤谷保
東京市青年学校教育研究会総会陪席記	大川定三
世界教育会議各部会の構成と日本側発表	.....

R | 14 第7巻第9号 (昭和12年9月)

国体の本義の明徴と公民科との関係	樋田豊太郎
改正公民科教授要目に於ける若干の疑問	北原金司
日本の公民教育への一反省	磯村英一
公民教育概念の変遷	谷本富
北支事件特別税法案に就て	石渡莊太郎
日支事変と軍事扶助事業	大村清一
今期議會を通過したる重要法律案	樋貝詮三
世界知識	田村眞一

R | 14 第7巻第10号 (昭和12年10月)

国民体位の向上と現代生活の実相	前田若尾
法制知識	秋吉一男
経済知識	島格太郎
実業学校の特異性と公民科教科書	菊池次男
公民科教科書に対する要望	加來利治
青年学校修身及公民科教科書の 特異性とその映画化に就いて	棚倉純二
今日の問題解説	關田生吉
文検公民科問題の研究	藤谷保
公民科本試験問題と新受験対策	川原孝治
国際大地区主義と日本の責任	杉森孝次郎
支那事変の認識と戦争の本質	奥田寛太郎
支那事変と非常時公民教育	川原次吉郎
現下の時局と公民教育	原房孝
国民精神総動員と公民教育	野崎泰秀
支那事変と公民教育の立場	及川儀右衛門
公民科の独自性に就いて	山崎犀二
改正要目と公民科の独自性	山本正次
法制知識	秋吉一男
臨時資金調整法に就いて	石渡莊太郎
事変後の支那の実情	松本忠雄
蘇支不可侵条約に就きて	佐藤舜

世界知識	田村眞一
時局に処する国民の覚悟	近衛文麿
事変と国民の協力一心	馬場鏖一
国民精神総動員に就いて	安井英二
経済知識	島格太郎
文検公民科問題の研究	藤谷保
我が受験道を顧みて	早川清吾

R | 14 第7巻第11号 (昭和12年11月)

時局の迫力と公民教育の反省	入澤宗壽
時局と公民教育の實踐	龍山義亮
青年期に於ける公民教育の重要性	小澤恒一
青年学校修身及公民科要目の取扱方	千葉敬止
革新よりは寧ろ是正せよ	岡村喜代志
法制知識	秋吉一男
国家総動員の態勢に就いて	松井春生
時局と国際宣伝	田代重徳
時局と満州移民	安井誠一郎
世界知識	田村眞一
精神国防と教育	徳富猪一郎
亜細亜再建の義戦	永井柳太郎
経済知識	島格太郎
国体の非合理的性質と公民科	伊藤和衛
「国体の本義」と改正公民科教授要目	菊池次男

R | 14 第7巻第12号 (昭和12年12月)

忠孝和の精神と公民科	松田克三
文検公民科問題の研究	藤谷保
本年度口述の実際と対策	福島利雄
公民教育に於ける大人の模範	佐々木秀一
「孝」の本義に就いて	大谷美隆
支那事変と国民精神	建部遜吾
事変と公民教育への反省	渡部政盛
社会正義と公民教育	平實
戦時体制の青年学校修身及公民科	山崎博
白川村の大家族制度	中村正治
法制知識	秋吉一男
満州国に於ける治外法権の撤廃	三谷隆信
軍需品と国民生活に就て	清水菊三
国民精神総動員と職業指導	内ヶ崎作三郎
世界知識	田村眞一
街頭の公民訓練	北原金司
経済知識	島格太郎
非常時局対応生活改善実行要目	生活改善中央会
文検公民科問題の研究	藤谷保
文検公民科の新動向	白澄生

R | 15 第8巻第1号 (昭和13年1月)

年頭の辞	木戸幸一
昭和十三年の公民教育	稲毛金七
戦時体制下の公民的訓練	小尾範治
如何にして公民科の効果を収むべきか	深作安文
修身科と公民科との統合問題	池岡直孝
公民教育の根本方針に就いての一見解	飯野稻城
公民科改正要目の基調	倉澤剛
修身及公民科要目実施上の注意	山口啓市
法律生活と経済生活	原龍之助
法制解説	秋吉一男
支那の海関に就いて	高木陸郎
支那の租界制度に就いて	前原光雄
農村生産力の維持に就いて	千石興太郎
経済解説	服部文四郎
時局と今後の教育への反省	相澤秀一
事変下に於ける公民教育の実践	太田博
国際事情	田村眞一
文検公民科問題の研究	藤谷保
文検公民科準備の要領と其の記録	一合格者
R   15 第8巻第2号 (昭和13年2月)	麻生正藏
聖戦の真義と教育の使命	麻生正藏

持久戦対処の公民教育	田制佐重
青年学校教育義務制の実施に就て	伊東延吉
青年学校義務制に対する所見	長野長廣
公民科教科書の選定に就いて	山崎犀二
事変下に於ける公民教育我観	近藤恭一郎
教授要目の改正に伴う	松本久雄
公民科学習指導の一私案	秋吉一男
法制解説	近藤壤太郎
事変と職業の動き	服部文四郎
経済解説	近衛文麿
事変の新段階に処する政府の所信	末次信正
長期戦と国民の覚悟	松岡洋右
須く堅忍持久せよ	田村眞一
国際事情	清岡雅雄
我国国体法解釈の統一	大内昌雄
公民教育実践としての自治訓練	下村二郎
今日の問題	赤座光一
米国民の読書と農村図書館	藤谷保
文検公民科問題の研究	笹岡薫
公民科受験体験記	笹岡薫
R   15 第8巻第3号 (昭和13年3月)	小野源藏
時局・青年・公民教育	小野源藏
科学哲学宗教と個人主義および全体主義	上野陽一

公民教育と労作教育	平 實
公民科を去つて公民科を想う	矢野 孤山
文部省視学委員復命書抄	戸田 貞三
文部省視学委員復命書抄	岩井 龍海
憲法発布五十年を回顧して	金子 堅太郎
法制解説	秋吉 一男
公民科教授に於ける郷土資料の活用	吉井 孝次郎
工業学校に於ける公民科の任務	大野 盛直
経済解説	服部 文四郎
公民道のみち草	松原 一彦
国際事情	田村 眞一
風雲漫録	相澤 熙
今日の問題	下村 二郎
新要目準拠公民科教授細目案	秋月 兼一
文検公民科問題の研究	藤谷 保
昭和十二年度本試問題とその感想	佐藤 久治

R—15 第8巻第4号 (昭和13年4月)

公民教育と法律	中川 善之助
機関説の掃蕩(一)	樋田 豊太郎
青年学校義務制と教員の問題	相澤 熙
青年学校修身及公民科雑観	島崎 晴吉
修・公統合論の根拠を観る	近藤 恭一郎
地方自治百年の大成を目指して	平林 廣人

R—15 第8巻第5号 (昭和13年5月)

文部省視学委員復命書抄	中川 善之助
文部省視学委員復命書抄	藏内 數太
文部省視学委員復命書抄	牧 健二
法制解説	秋吉 一男
中等学校改正公民科教授要目論解	山崎 犀二
青年学校修身及公民科教授及訓練要目解説(一)	池岡 直孝
経済解説	服部 文四郎
青年学校義務制実施に伴う具体案	全国連合青年 学校長会
国際事情	田村 眞一
今日の問題	下村 二郎
文検公民科問題の研究	藤谷 保
公民科筆記試験を顧る	中村 行二
新時代に対応する飛躍「公民教育」の新陣容	

忘れられんとする公民科の一面	及川儀右衛門
国防国家と公民教育	渡部 政盛
社会教育概念の一考察	不破 祐俊
機関説の掃蕩(二)	樋田 豊太郎
青年学校の義務制と修身及公民科	鈴木 静穂
隠れたる努力	廣濱 嘉雄
法制解説	秋吉 一男
市制町村制御上論を拝誦して	水野 鍊太郎

經濟解説	.....	服部文四郎
中等学校改正公民科教授要目論解(一)	.....	山崎犀二
青年学校修身及公民科教授及訓練要目解説(一)	.....	池岡直孝
公民時言	.....	矢野西雄
新要目準拠公民科教授細目案(下)	.....	秋月兼一
国際事情	.....	田村眞一
公民科予備試験及本試験対策	.....	藤谷保
文検公民科具体的準備法	.....	勝野勲
文検公民科既往問題一覽	.....	編輯部

R | 15 第8巻第6号 (昭和13年6月)

青年学校義務制に伴う公民科教員養成の必要	.....	關口泰
機関説の掃蕩(完)	.....	樋田豊太郎
再び支那事變の認識を語る	.....	奥田寛太郎
改正法令を中心とする兵役の一考察	.....	北原金司
新時代の公民教育と映画	.....	中田俊造
公民教育と映画の問題	.....	水谷徳男
修身及公民科の映画化に就て	.....	棚倉純二
時局下の映画による公民教育	.....	宮崎和男
青年学校に於ける映画教育	.....	河合富雄
法制解説	.....	秋吉一男
銃後の貯蓄報國	.....	石渡莊太郎
公衆衛生道徳	.....	高野六郎
經濟解説	.....	服部文四郎

R | 16 第8巻第7号 (昭和13年7月)

中等学校改正公民科教授要目論解(三)	.....	山崎犀二
青年学校修身及公民科要目解説(三)	.....	池岡直孝
公民時言	.....	矢野西雄
国際事情	.....	田村眞一
公民科予備試験問題解答	.....	藤谷保
私の研究法と本試の実況	.....	可忠良
公民教育の要諦	.....	建部遯吾
公民科と映画教育	.....	野崎泰秀
公民教育と民族国家の完成	.....	平崎實
青年学校修身及公民科教員の養成	.....	鈴木静穂
青年学校に於ける	.....	島崎晴吉
修身及公民科の地位と教員の問題	.....	田中子葉
時局と公民教育の一断想	.....	秋吉一男
法制解説	.....	村瀬直養
消費の節約と国民の覚悟	.....	東榮二
不足資源と其の代用品	.....	澤田謙
日本をつくる力	.....	渡邊光重
經濟解説	.....	山崎犀二
中等学校公民科教授要目論解(四)	.....	池岡直孝
青年学校修身及公民科要目解説(四)	.....	矢野西雄
公民時言	.....	田村眞一
国際事情	.....	田村眞一

文検公民科問題の研究 ..... 藤谷 保  
 公民科予備試験問題の  
 新傾向と解答の要訣(上) ..... 川原孝治

R | 16 第8巻第8号(昭和13年8月)

古代に於ける公民なる語の  
 復活は即ち生々のなり ..... 遠藤隆吉  
 公民科に於ける歴史教育的立場 ..... 千代田 謙  
 公民科に於ける学問的立場と教育的立場 ..... 植田清次  
 戦時経済生活の基礎精神 ..... 山本勝市  
 国民経済学に於ける目的論 ..... 宮田喜代藏  
 現代の新聞紙と政治生活 ..... 近藤 操  
 現代の新聞紙と経済生活 ..... 長谷川幸太郎  
 現代の新聞紙と社会生活 ..... 坂口二郎  
 教育に還る ..... 爲藤五郎  
 心臓の強弱 ..... 志垣 寛  
 ある高女生徒の答案抄 ..... 廣濱嘉雄  
 立体的公民科 ..... 田制佐重  
 法制解説 ..... 秋吉一男  
 事変解決の鍵 ..... 徳富蘇峰  
 青年学校修身及公民科要目解説(五) ..... 池岡直孝  
 旅先で拾った話 ..... 前田若尾  
 経済解説 ..... 渡邊光重  
 公民科本試験問題解説 ..... 藤谷 保

公民科予備試験問題の  
 新傾向と解答の要訣(下) ..... 川原孝治

R | 16 第8巻第9号(昭和13年9月)

非常時局と公民教育 ..... 深作安文  
 公民教育と国史の知識 ..... 牧 健二  
 日本精神の形成と公民科教育 ..... 井本農一  
 帝国憲法の独特性 ..... 稲田正次  
 アルバイツディンストと公民教育 ..... 渡部政盛  
 修身及公民科教授及訓練の批判と希望 ..... 田淵藤藏  
 実践的公民教育としての集団勤行 ..... 鶴岡 彌  
 時局と公民科教育の新動向 ..... 菊池次男  
 経済解説 ..... 渡邊光重  
 時局に協力する公民科の態度 ..... 松田克三  
 修身及公民科と時局下の青年学校 ..... 加藤春二  
 青年学校修身及公民科要目解説(六) ..... 池岡直孝  
 公民時言 ..... 矢野西雄  
 公民科教育断片 ..... 八田 薫  
 文検公民科問題の研究 ..... 藤谷 保  
 文検公民科研究講座(第一講) ..... 川原孝治  
 本年度公民科受験概記 ..... 澤田良一  
 青年学校普通科教授及訓練要目 ..... 文 部 省  
 非常時国民生活様式二関スル決定事項 ..... 国民精神総動員  
 中央連盟

R | 16 第8卷第10号 (昭和13年10月)

青年学校教員養成問題	千葉敬止
公民科関係問題三件	長倉矯介
職業とその分野の変遷	戸田貞三
生産経済の促進と公民教育	平 實
公民科の精神並に其の取扱方(一)	樋田豊太郎
時局と事上錬磨の教育	關口泰
法制解説	秋吉一男
公民に育つみち	甲藤義治
中等学校公民科教授要目論解(五)	山崎犀二
青年学校修身及公民科要目解説(七)	池岡直孝
経済解説	渡邊光重
文検公民科問題の研究	藤谷保
文検公民科研究講座(第二講)	川原孝治
本年度公民科受験の回顧	村上義男

R | 16 第8卷第11号 (昭和13年11月)

事変の意義と国家理念の拡大	大串 兎代夫
公民科の精神並に其の取扱方(二)	樋田豊太郎
集団勤労作業に就いて	松岡忠一
現代と公民教育の方法	井本農一
経済警察の使命	清水重雄
時局と簡易保険制度の改正	小野 猛

国民健康保険に就て	清水 玄
法制解説	秋吉一男
時局下の経済問題に就いて	木村増太郎
中等学校公民科教授要目論解(六)	山崎犀二
青年学校修身及公民科要目解説(八)	池岡直孝
公民科は健在なりや	中村信二
経済解説	渡邊光重
刑事補償法について	太田 博
文検公民科問題の研究	藤谷保
文検公民科研究講座(第三講)	川原孝治
文検公民科口述の印象	上田忠雄

R | 16 第8卷第12号 (昭和13年12月)

飛躍期に処する大国民的公民教育	稻毛金七
全体主義と公民教育	渡部政盛
教育目標の推移	金生喜造
日本学より見たる公民科の諸問題	小野正康
公民科の精神並に其の取扱方(三)	樋田豊太郎
事変下に於ける職業の問題	倉橋 定
銀杏の樹	相澤 熙
法制解説	秋吉一男
大陸発展と女性の協働	前田若尾
経済解説	渡邊光重
中等学校公民科教授要目論解(七)	山崎犀二

青年学校修身及公民科要目解説(九)	池岡直孝
時局の新段階認識資料	藤谷保
文検公民科問題の研究	川原孝治
文検公民科研究講座(第四講)	尹成容
公民科予備試験雜観	

R | 17 第9卷第1号 (昭和14年1月)

年頭の所感	荒木貞夫
現時に於ける公民教育の欠陥とその克服	小川正行
大国民としての教養	入澤宗壽
時局教育の意義とその方法	小尾範治
公民科の精神並に其の取扱方(完)	樋田豊太郎
地方自治制に於ける	
求心的要素と遠心的要素	杉村章三郎
戦争と立憲自治	小野源藏
樂器国産の裏面に潜む貴き精神並に苦心	鎌塚扶
婦人によびかける	及川儀右衛門
青年学校の義務制実施と	
修身及公民科教育の振興策	景山鹿造
法制解説	秋吉一男
世界の最新情勢	上石保教
支那事變の意義と大亜細亞主義	松井石根
中等学校改正公民科教授要目論解(八)	山崎犀二
青年学校修身及公民科要目解説(十)	池岡直孝

經濟解説	渡邊光重
公債の發行限度に就いて	八田薫
文検公民科問題の研究	藤谷保
文検公民科研究講座(第五講)	川原孝治

R | 17 第9卷第2号 (昭和14年2月)

政治と教育編成	海後宗臣
公民知徳の再建設	原田義藏
公民教材の生活化	小澤恒一
子供の社会性と公民教育	尾高豊作
青年学校教育義務制の実施に就て	田中重之
国民登録制の実施に就て	岡田文秀
宗教団体法案に就て	松尾長造
街頭で拾う公民訓練の問題	矢野西雄
法制解説	秋吉一男
我が財政の推進力	太田正孝
中等学校改正公民科教授要目論解(九)	山崎犀二
青年学校修身及公民科要目解説(十二)	池岡直孝
青年学校修身及公民科	
教授及訓練細目私案(一)	山本正次
現行公民科教科書調	編輯部
經濟解説	渡邊光重
文検公民科問題の研究	藤谷保
文検公民科研究講座(第六講)	川原孝治

R—17 第9卷第3号 (昭和14年3月)

学科考察の根本的出發	馬場文翁
皇道精神と東亜協同体	田村浩
現下公民教育上の諸問題	龍山義亮
普通学科と修身及公民科との関連	千葉敬止
実業教育と公民精神	平實
融和問題と修身・公民科(一)	近藤恭一郎
英米の最新態不承認と我が立場	金生喜造
法制解説	秋吉一男
国民皆兵総突撃	永井柳太郎
中等学校改正公民科教授要目論解(十)	山崎犀二
青年学校修身及公民科要目解説(十二)	池岡直孝
青年学校修身及公民科	
教授及訓練細目私案(二)	山本正次
国務大臣と枢密顧問	井下田繁雄
経済解説	渡邊光重
文検公民科問題の研究	藤谷保
文検公民科研究講座(第七講)	川原孝治
R—17 第9卷第4号 (昭和14年4月)	
全体主義とデモクラシーの問題	杉森孝次郎
日本主義と全体主義	渡部政盛
公民科教員再教育問題(一)	立仙淳三

誰が公民教育を歪曲するか	植田清次
公民教育の現代的課題	井本農一
融和問題と修身・公民科(二)	近藤恭一郎
昭和十四年度予算の話	大野龍太
今期議會を通過したる法律案に就いて	樋貝詮三
青年学校義務制実施と修身及公民科の再認識	棚倉純二
経済解説	渡邊光重
中等学校改正公民科教授要目論解(十一)	山崎犀二
青年学校修身及公民科要目解説(十三)	池岡直孝
青年学校修身及公民科	
教授及訓練細目私案(完)	山本正次
趣味の法律	片山義雄
公民時事	澤本嘉郎
文検公民科問題の研究	藤谷保
文検公民科研究講座(第八講)	川原孝治

R—17 第9卷第5号 (昭和14年5月)

公人関係と私人関係	戸田貞三
新秩序建設と更生支那の指導理念	荻原擴
政治と法律との連関	田畑忍
實際指導より観たる	
青年学校修身及公民科の一考察	島崎晴吉
公民科の歴史的取扱について	渡邊保
公民科教員再教育問題(二)	立仙淳三

輓近に於ける植民政策の動向

五箇条の御誓文謹解

経済解説

国家総動員法第十一条の発動に就て

青年学校修身及公民科要目解説(十四)

趣味の法律

公民時事

文検公民科予備試験問題解答

文検公民科研究講座(第九講)

R-17 第9巻第6号(昭和14年6月)

現代観照と歴史観照

公民教育を中心として

時局と公民教育(上)

公民科教授実状の投影種々相

東亜協同体と今後の公民教育

青年学校教育義務制実施に際して

青年学校修身及公民科の重点

本邦教育の長所と短所(一)

明治天皇の憲法に関する御軫念

経済解説

貝原益軒先生の偉さ

青年学校修身及公民科要目解説(十五)

趣味の法律

北原金司

外山節夫

渡邊光重

大野龍太

池岡直孝

片山義雄

澤本嘉郎

藤谷保

川原孝治

及川儀右衛門

關口泰

廣濱嘉雄

長倉矯介

田制佐重

田中重之

鈴木静穂

川本宇之介

稲田正次

渡邊光重

井原孝一

池岡直孝

片山義雄

文検公民科問題の研究

文検公民科研究講座(第十講)

義務制青年学校令全文

義務制青年学校令施行規則

R-18 第9巻第7号(昭和14年7月)

民族主義と国際協同体の問題

公民科と青年教育

青年学校修身及公民科の難点とその克服

本年の大衆教育問題

本邦教育の長所と短所(二)

公民教育の今昔

長期建設と教育者の任務

経済解説

趣味の法律

文検公民科問題の研究

文検公民科研究講座(第十一講)

青年学校普通科教授及訓練要目

青年学校令改正及同施行規則制定ノ  
要旨並ニ施行上ノ注意事項

公民教育と新道德原理

R-18 第9巻第8号(昭和14年8月)

藤谷保

川原孝治

渡部政盛

小尾範治

田淵藤藏

相澤熙

川本宇之介

鶴岡彌

渡邊光重

片山義雄

藤谷保

川原孝治

文部省

文部省

文部省

文部省

早瀬利雄

公民教育とヒューマニズム …………… 平 實

本邦教育の長所と短所(三) …………… 川 本 宇之介

戦争と公民教育の道標 …………… 上 田 庄三郎

師範公民書編纂の趣旨 …………… 樋 田 豊太郎

法と道徳 …………… 伊 藤 和 衛

経済解説 …………… 渡 邊 光 重

青年学校修身及公民科要目解説(十六) …………… 池 岡 直 孝

公民教育を通じて見たる …………… 清 岡 雅 雄

銚後に動く生徒の生活 …………… 間 賀 卓 次

女子公民教育の重要性 …………… 太 田 博

時局と公民教育の再吟味 …………… 鳥 井 行 雄

公民科の考查と採点 …………… 吉 江 勳

公民教育と国史教育の緊密化 …………… 片 山 義 雄

趣味の法律 …………… 坪 内 如 水

回教に就いて …………… 藤 谷 保

公民科本試験問題解答例 …………… 川 原 孝 治

文検公民科研究講座(第十二講) ……………

改正青年学校令及同施行規則ノ ……………

運用二関スル件 …………… 文部省社会教育局

R | 18 第9巻第9号(昭和14年9月)

国際政局と選挙 …………… 深 作 安 文

公民教育の時局への寄与 …………… 廣 濱 嘉 雄

公民教育の名と実 …………… 岩 瀬 六 郎

青年学校教員養成所に於ける

修身及公民科の教育方針 ……………

公民教育に於ける都会と地方 ……………

公民科論考(一) ……………

本邦教育の長所と短所(完) ……………

集団勤勞奉仕の教育的意義 ……………

経済解説 ……………

青年学校修身及公民科要目解説(十七) ……………

趣味の法律 ……………

英国海運の衰退(上) ……………

文検公民科問題の研究 ……………

文検公民科研究講座(第十三講) ……………

本年度口述の一問一答 ……………

R | 18 第9巻第10号(昭和14年10月)

福井 武治

井本 農一

樋田 豊太郎

川本 宇之介

山本 正次

渡邊 光重

池岡 直孝

片山 義雄

金生 喜造

藤谷 保

川原 孝治

杉山 兼吉

渡部 政盛

野崎 泰秀

樋田 豊太郎

中村 明人

美濃部 洋次

武部 六藏

渡邊 光重

相澤 光熙

池岡 直孝

趣味の法律	片山義雄
英国海運の衰退(下)	金生喜造
文検公民科問題の研究	藤谷保
文検公民科研究講座(第十四講)	川原孝治
本年度公民教育概論の問題を通して	吉田悦郎

R-18 第9巻第11号 (昭和14年11月)

理想的教育者	馬場文翁
「日本公民学会」設立の提唱	立仙淳三
公民科論考(三)	樋田豊太郎
満州国の政治組織概観	稲田正次
時局と青年	後藤文夫
第三の教育	西脇英逸
経済教育と女子公民教育	間賀卓次
欧州戦争と日本	蘆田均
経済解説	渡邊光重
青年学校修身及公民科要目解説(十九)	池岡直孝
時局下に於ける我校の公民訓練	馬場孫一朗
趣味の法律	片山義雄
文検公民科問題の研究	藤谷保
文検公民科研究講座(第十五講)	川原孝治

R-18 第9巻第12号 (昭和14年12月)

公民教育と日本的性格	渡部政盛
教育昭和十四年の回顧	上田庄三郎
公民科に関する試験の可否	植田清次
公民教育と学校拡張	井本農一
青年学校修身及公民科に対する一つの望み	島崎晴吉
公民科論考(四)	樋田豊太郎
司法の独立と国民の協力	泉二新熊
現下の戦時食糧問題	千石興太郎
経済解説	渡邊光重
青年学校修身及公民科要目解説(二十)	池岡直孝
輔翼の本質に就いて	井下田繁雄
趣味の法律	片山義雄
文検公民科問題の研究	藤谷保
文検公民科研究講座(第十六講)	川原孝治

R-19 第10巻第1号 (昭和15年1月)

年頭所感	河原田稼吉
復古と維新	及川儀右衛門
時局を巡る公民教育	鈴木静穂
旧教育に対する反省より	鎌塚扶
日本の教育の確立へ	岡本恒治
公民科の時代の使命と日本学的公民教授	岡本恒治

公民科論考(三)	.....	樋田	豊太郎
公民教育上より見たる洪範の価値	.....	宮瀬	陸夫
専門学校入試に公民科の登場と	.....	近藤	恭一郎
出題者及教授者に望む	.....	千葉	敬止
修身及公民科の授業を見て	.....	渡邊	光重
経済解説	.....	大野	龍太
昭和十五年度予算について	.....	馬場	孫一朗
皇民錬成と公民訓練の問題	.....	片山	義雄
趣味の法律	.....	藤谷	保
文検公民科問題の研究	.....	川原	孝治
文検公民科研究講座(第十七講)	.....		

R | 19 第10巻第2号 (昭和15年2月)

公民教育と現下世相	.....	小野	源藏
公民教育と生活環境	.....	北原	金司
国民教材の総合的取扱	.....	小澤	恒一
日本の特殊性と公民教育	.....	井本	農一
公民科に於ける自律的学習態度の指導	.....	岡本	恒治
公民科論考(六)	.....	樋田	豊太郎
消費経済と公民教育	.....	間賀	卓次
経済解説	.....	渡邊	光重
青年学校修身及公民科要目解説(二十一)	.....	池岡	直孝
趣味の法律	.....	片山	義雄
文検公民科問題の研究	.....	藤谷	保

文検公民科研究講座(第十八講)	.....	川原	孝治
-----------------	-------	----	----

R | 19 第10巻第3号 (昭和15年3月)

公民的錬成	.....	稻毛	金七
皇国紀元に関する国民的自覚の要望	.....	鎌塚	扶
勅語解釈の心	.....	小野	正康
公民科論考(七)	.....	樋田	豊太郎
支那事変の意義	.....	陸軍省情報部	
東亜新秩序の枢軸は日滿一体より始まる	.....	徳富	蘇峰
産業組合の保険事業を中心として	.....	有馬	頼寧
経済解説	.....	渡邊	光重
青年学校修身及公民科要目解説(二十二)	.....	池岡	直孝
我が国体と憲法	.....	井下田	繁雄
支那事変の解決と公民教育	.....	宮本	哲僊
趣味の法律	.....	片山	義雄
文検公民科問題の研究	.....	藤谷	保
文検公民科研究講座(第十九講)	.....	川原	孝治

R | 19 第10巻第4号 (昭和15年4月)

公民教育と其の理論的基礎づけの問題	.....	渡部	政盛
議会・政府・世論	.....	川原	次吉郎
公民教育の新展望	.....	田制	佐重
公民科論考(八)	.....	樋田	豊太郎

本年度の我国財政に就て ..... 櫻内幸雄  
今議會を通過した法律案 ..... 森山銳一

經濟解説 ..... 渡邊光重  
人事調停の話 ..... 山崎一郎

青年学校修身及公民科要目解説(二十三) ..... 池岡直孝  
今議會に現れた義務教育問題 ..... 清岡雅雄

趣味の法律 ..... 片山義雄  
文檢公民科問題の研究 ..... 藤谷保

文檢公民科研究講座(第二十講) ..... 川原孝治

R | 19 第10卷第5号(昭和15年5月)

女子の公民的覚醒 ..... 深作安文

分限思想と公民教育 ..... 井本農一  
物の生産に於ける魂の裏附 ..... 鎌塚扶

公民科論考(九) ..... 樋田(豊太郎)  
時局下に於ける ..... 島崎晴吉

青年学校修身及公民科指導の一課題 ..... 渡邊光重  
經濟解説 ..... 支那派遣軍總司令部

派遣軍將兵に告ぐ ..... 池岡直孝  
青年学校修身及公民科要目解説(二十四) ..... 金生喜造

欧州形勢の新様相 ..... 片山義雄  
趣味の法律 ..... 藤谷保

文檢公民科予備試験問題解答 ..... 藤谷保  
文檢公民科問題の研究 ..... 藤谷保

文檢公民科研究講座(第二十一講) ..... 川原孝治

R | 19 第10卷第6号(昭和15年6月)

都市生活と公民教育 ..... 平倉實

師範公民書を読み ..... 長倉矯介  
公民科論考(十) ..... 樋田豊太郎

都市民の読書生活相 ..... 赤座光市  
戦争と国民優生 ..... 下村宏

經濟解説 ..... 渡邊光重  
青年学校修身及公民科要目解説(二十五) ..... 池岡直孝

趣味の法律 ..... 片山義雄  
文檢公民科問題の研究 ..... 藤谷保

文檢公民科研究講座(第二十二講) ..... 川原孝治

R | 20 第10卷第7号(昭和15年7月)

一國一党と憲政の問題 ..... 渡部政盛  
佐藤一齋の「言志四録」に ..... 鎌塚扶

現れたる師道精神に就いて ..... 樋田豊太郎  
公民科論考(十一) ..... 赤座光市

農村民の読書生活相(上) ..... 高橋龜吉  
統制經濟の現段階と其の将来 ..... 渡邊光重

經濟解説 ..... 片山義雄  
趣味の法律 ..... 片山義雄

昭和十五年度全国専門学校

公民科入学試験問題調 ……………

文検公民科本試験問題解答 ……………

文検公民科研究講座(第二十三講) ……………

編輯部  
藤谷保  
川原孝治

R | 20 第10巻第8号(昭和15年8月)

新体制と公民教育の着眼 ……………

新体制と公民教育の指標 ……………

新政治体制と公民教育の発展 ……………

公民教育と新政治体制 ……………

「教学新体制と公民教育」問答 ……………

公民科論考(十二) ……………

農村民の読書生活相(下) ……………

経済解説 ……………

伊太利の陸軍と空軍 ……………

趣味の法律 ……………

国民学校教則案説明要領 ……………

文検公民科問題の研究 ……………

文検公民科研究講座(第二十四講) ……………

及川儀右衛門  
稲毛金七  
上田庄三郎  
植田清次  
田制佐重  
樋田豊太郎  
赤座光市  
渡邊光重  
オト・モストルフ  
片山義雄  
文部省  
藤谷保  
川原孝治

新政治体制と公民教育 ……………

「日本経済学」建設者なきか ……………

師範公民書(下巻)に就いて ……………

国体・憲法と新体制 ……………

時局下公民教育の重要性 ……………

公民科論考(十三) ……………

経済解説 ……………

金融統制と物価統制 ……………

青年学校修身及公民科要目解説(二十六) ……………

文検公民科問題の研究 ……………

文検公民科研究講座(第二十五講) ……………

渡部政盛  
立仙淳三  
樋田豊太郎  
稲田正次  
井本農一  
樋田豊太郎  
渡邊光重  
間賀卓次  
池岡直孝  
藤谷保  
川原孝治

R | 20 第10巻第10号(昭和15年10月)

公民教育者の矜持 ……………

公論尊重と菊池武重の家憲 ……………

新体制下青少年学徒の指導的態度 ……………

技術としての公民教育 ……………

強調すべき現時の修身教育・公民教育 ……………

皇国文政の新体制 ……………

皇国民としての立場 ……………

イタリアの新体制 ……………

経済解説 ……………

文字のナヤミとその対策 ……………

青年学校修身及公民科要目解説(二十七) ……………

廣濱嘉雄  
宮瀬陸夫  
北原金司  
平崎晴吉  
島崎英逸  
西脇英逸  
鶴岡彌  
アルデマーニ  
渡邊光重  
松坂忠則  
池岡直孝

R | 20 第10巻第9号(昭和15年9月)

新政治体制と公民教育的「課題」 ……………

新体制下に於ける公民教育の任務 ……………

野崎泰秀  
小澤恒一

趣味の法律	片山義雄
文検公民科問題の研究	藤谷保
文検公民科研究講座(第二十六講)	川原孝治

R | 20 第10巻第11号 (昭和15年11月)

教育と政治	稲毛金七
新体制と教育的視野の拡大	石山脩平
公民教育と日本民族学	大藤時彦
隣組を中心とする社会意識の発展	磯村英一
自由主義経済の功罪と	
新体制下の経済理念について	清岡雅雄
トカラの島々	河村只雄
三国同盟成立と米国	徳富蘇峰
新体制下の中小工業問題	山本生
日滿支経済建設要綱	
青年学校修身及公民科要目解説(二十八)	池岡直孝
趣味の法律	片山義雄
文検公民科問題の研究	藤谷保

R | 20 第10巻第12号 (昭和15年12月)

国家倫理論	大串 兎代夫
政治の高度化と知識層の問題	上田 庄三郎
維新と復古	池岡直孝

事変下公民教育上反省すべき公民的欠陥	渡部政盛
教育勅語と明治思想史	小野正康
経済新体制と食糧問題	菊池萬輔
トカラの島々(二)	河村只雄

R | 21 第11巻第1号 (昭和16年1月)

経済解説	渡邊光重
趣味の法律	片山義雄
文検公民科問題の研究	藤谷保
公民科口述試験の実際	三島新吉
年頭所感	橋田邦彦
学校教育の政治性と政治運動	小澤恒一
公民科に於ける	
宗教教授の目的及びその内容の問題	鶴藤幾太
梅嶺の思想摂取と公民教育	波多野 述
垂教聖諭の深厚と臣下奉体の至誠	鎌塚 扶
「統・南方文化の探究」の一篇	河村只雄
経済解説	渡邊光重
趣味の法律	片山義雄
戦陣訓	
文官制度の改正	
青年学校修身及公民科要目解説(二十九)	池岡直孝
文検公民科問題の研究	藤谷保
文検公民科直前準備法	仲榮 眞助八

R—21 第11卷第2号 (昭和16年2月)

国防と外交	渡部政盛
公民道実践の政治体制	上田庄三郎
教師教養生活の充実	本山政雄
垂教聖諭の深厚と臣下奉体の至誠(一)	鎌塚扶
「統・南方文化の探求」の一篇(二)	河村只雄
経済解説	渡邊光重
新体制と公民科教材との関係	太刀川判次
教学一体の教師	平田正
趣味の法律	片山義雄
国民学校令	
近衛首相、経済新体制翼賛会の性格説明	
国家総動員法改正案全文	
青年学校修身及公民科要目解説(三十)	池岡直孝
文検公民科問題の研究	藤谷保
公民道徳受験記	小寺土平

R—21 第11卷第3号 (昭和16年3月)

時の流に棹さす	及川儀右衛門
教育の新体制と公民教育	鈴木静穂
世界建設とルネサンス運動	渡部政盛
公民科の新体制的使命と其の遂行形態	岡本恒治
垂教聖諭の深厚と臣下奉体の至誠(二)	鎌塚扶

新体制と公民科教授要目	菊池次男
経済解説	渡邊光重
国防保安法案全文	
国民学校令施工規則	宮本武之輔
大政翼賛と技術の問題	片山義雄
趣味の法律	池岡直孝
青年学校修身及公民科要目解説(三十一)	藤谷保
文検公民科問題の研究	丸山勝衛
文検公民科合格の回顧	

R—21 第11卷第4号 (昭和16年4月)

国民学校と公民教育	稲毛金七
経済的国家と先験的国家	渡部政盛
大政翼賛運動と公民科教授の実際	松田克三
新体制と公民教育	棚倉純二
トカラの島々(三)	河村只雄
ドイツの経済政策と大陸の安定	金生喜造
経済解説	渡邊光重
泰仏印協定の重大意義	宮原武雄
青年学校修身及公民科要目解説(三十二)	池岡直孝
趣味の法律	片山義雄
翼賛会規約と職制	
日独交換図書	
文検公民科問題の研究	藤谷保

公民科私法経済問題の動向に就て……………南 山 生  
民法・予試・本試・筆記・口述……………出水 清 治

R | 21 第11巻第5号 (昭和16年5月)

時局と公民教育……………深 作 安 文  
所謂政治性とは何ぞや……………渡 部 政 盛  
希臘悲劇を通じて見たる古代アテネの市民……………茂 手 木 元 藏  
国民学校と公民教育……………安 部 隆 範  
教育の一断面……………平 田 正  
物の考へ方について……………岸 田 国 士  
経済解説……………渡 邊 光 重  
趣味の法律……………片 山 義 雄  
青年学校修身及公民科要目解説(三十三)……………池 岡 直 孝  
文検公民科問題の研究……………藤 谷 保  
公民科本試験受験対策……………三 瓶 泰 造

R | 21 第11巻第6号 (昭和16年6月)

大御宝の教育と公民教育……………小 尾 範 治  
国土計画と公民教育……………平 實  
皇道と臣道……………渡 部 政 盛  
経済解説……………渡 邊 光 重  
隣保強化の根本問題……………桑 山 三 郎  
子供と時局の認識……………中 野 佐 三

「日本的なもの」への考察……………井 本 農 一  
青年学校修身及公民科の本質……………鹿 兒 島 登 左  
学校報国団論考……………清 岡 政 雄  
青年学校修身及公民科要目解説(三十四)……………池 岡 直 孝  
文検公民科問題の研究……………藤 谷 保

R | 21 第11巻第7号 (昭和16年7月)

公民の名に恥づる勿れ……………遠 藤 隆 吉  
翼賛体制の公民教育的基調……………田 制 佐 重  
国防国家と公民教育……………植 田 清 次  
皇祖の神勅を拝読せよ……………宮 瀬 睦 夫  
現代の知識人と宗教……………鶴 藤 幾 太  
高度国防国家の法的構造……………稻 田 正 次  
時局と政治教育の喫緊……………渡 邊 保  
国家と道徳(上)……………伊 藤 榮 四 郎  
反省すべき修身及公民科指導……………島 崎 晴 吉  
日本は日本の道を行く……………近 衛 文 麿  
隣組と公民教育夜話……………辻 本 與 次 郎  
青年学校修身及公民科要目解説(三十五)……………池 岡 直 孝  
趣味の法律……………片 山 義 雄  
文検公民科本試験問題解答……………藤 谷 保  
公民時事資料……………



大東亜戦争劈頭政府声明	.....	深作安文
武力的快捷と精神的快捷	.....	小尾範治
大東亜戦争と教育の「とき」	.....	及川儀右衛門
第二の肇国・天地開闢としての大東亜戦争	.....	稲毛金七
必勝戦下の公民教育	.....	辻本與次郎
聖戦我の見直し	.....	上田庄三郎
大東亜戦争と公民教育	.....	宮瀬睦夫
文部省編纂青年修身公民書編纂の趣旨と内容	.....	森川覺三
独逸に於ける統制経済	.....	平出英夫
世界を開く日本	.....	八田嘉明
大東亜戦争と日本の技術	.....	岩村道世
戦時下に於ける国内治安	.....	小泉親彦
大東亜戦争と産業戦線	.....	寺島健
大東亜戦争と海運	.....	友次壽太郎
公民科教材 時の法令解説(一)	.....	

R | 22 第12卷第2号 (昭和17年2月)

公民鍊成と創造性	.....	小澤恒一
公民の意識徹底へ	.....	川本宇之介
大戦の教訓	.....	花見朔巳
新時代の世界観	.....	佐藤慶二
大詔に拝し奉る宣戦の理由と征戦の目的	.....	伊藤榮四郎
教育の革新	.....	赤堀孝

R | 22 第12卷第3号 (昭和17年3月)

大東亜教育体制の確立	.....	永井柳太郎
第二段階に入った大東亜戦争と印度及びビルマ	.....	東進太郎
我等を巡る世界の動き	.....	土屋信介
決戦経済への協力	.....	岸信介
大東亜戦争と戦費の調達	.....	結城豊太郎
日本銀行の改組と管理通貨制度の意義	.....	岡島次司郎
公民科教材 時の法令解説(二)	.....	友次壽太郎
青年教育の振興	.....	橋田邦彦
躍進途上の青年学校教育	.....	額綱彌三
翼賛選挙の認識と実践	.....	野崎泰秀
翼賛選挙と公民教育	.....	小野源藏
公民教育としての大国民教育	.....	鈴木静穂
『御手身吾れ』の一票	.....	矢野西雄
大東亜戦争と修身及公民科教育	.....	福井武治
翼賛選挙の国民的課題と公民科教育	.....	岡本恒治
独逸に於ける労働者指導	.....	森川覺三
工場青年学校生徒の趣味娯楽	.....	茂手木元藏
清新議会の建設	.....	安藤紀三郎
公民教育より見たる現代女子教育の諸難点	.....	赤堀孝
隣組から大東亜へ	.....	辻本與次郎
戦争と青年と公民科	.....	渡邊三郎

新意識に於ける公民科教授	鶴岡彌
我經濟史に流れる日本精神	間賀卓次
我が校戦時公民訓練の実際	川原孝治
公民科教材 時の法令解説(二)	友次壽太郎
新家庭教育訓	文部省

R | 22 第12卷第4号 (昭和17年4月)

戦時即応の公民教育	龍山義亮
アメリカニズム超克の教育	上田庄三郎
新經濟倫理と公民教育	平山松吉
遵法精神	池岡直孝
公民科教授上の革新問題	鹿兒島登左
皇民錬成と公民教育	平林廣人
隣組と公民教育の現段階	島崎晴吉
勤勞青年と徳育	小林英雄
新らしき倫理について	中村正治
翼賛議会と総選挙	岩村通世
翼賛選挙と遵法	波多野述麿
山鹿素行の「士道」に就て	鶴藤幾太
師範学校宗教科に就て	佐々木良助
実践的翼賛選挙教育問答	松田克三
大東亜戦争と公民教育者の実践態度	友次壽太郎
公民科教材 時の法令解説(四)	大政翼賛会
翼賛選挙訓	大政翼賛会

東京の青少年学徒と翼賛選挙

R | 22 第12卷第5号 (昭和17年5月)

文教の新示標	小尾範治
教育者の政治的教養	小澤恒一
我が国政治の倫理	伊藤榮四郎
生活認識の教育	大藤時彦
公民教育及び公民科の公民の意義	長倉矯介
国策と教育	倉澤剛
金融統制団体の設立	谷口恒二
大東亜戦争下に於ける青少年学徒の指導	志水義璋
翼賛壯年団の性格について	景山鹿造
公民科教材としての国民学校教育	二之宮英雄
修身科・公民科の分離統合の問題	草場弘
団結	辻本與次郎
最近我が国に於ける健民運動	浅原梅一
チーレンの国家の経済的経綸論	金生喜造
公民科教材 時の法令解説(五)	友次壽太郎
菊水授業の公民教育的意義	小寺幸正

R | 22 第12卷第6号 (昭和17年6月)

大東亜戦争と日本国民の責任	友枝高彦
皇民と新文化	吉川尚

教育に於ける主体的活動 …………… 今田 竹千代  
 国体とは如何なるものたるかを ……………

知る依憑とその順序に就て …………… 小野 正康

公民教育の理念と現実 …………… 渡部 政盛

公民科要目の活用方策(一) …………… 倉澤 剛

教材行脚 …………… 宮瀬 睦夫

公民科教材観の転換 …………… 菊池 次男

青年学校修身及公民科教授の完成 …………… 小谷野 義方

大東亜建設と自主的研究態度 …………… 守田 義廣

隣組の科学と実践(一) …………… 平林 廣人

陸軍の教育と実践 …………… 北村 一夫

含笑上船 …………… 高橋 幸雄

企業整備と転業対策 …………… 豊田 雅孝

本年度資金計画並に貿易計画に就て …………… 松田 令輔

皇道文化の創造 …………… 宇田 尚

公民科教材 時の法令解説(六) …………… 友次 壽太郎

東京市会議員選挙と東京の青少年学徒 …………… 東京府・東京市

「いろは」の書けない中等教育 …………… 編輯部

公民教育者の任務 …………… 赤堀 孝

公民科教授の実際問題 …………… 秋山 篤英

隣組の科学と実践(二) …………… 平林 廣人

常会と公民教育 …………… 山田 義雄

翼賛政治と公民教育 …………… 金子 親

日本の興廢は人類の盛衰 …………… 東條 英機

翼賛政治会の意義 …………… 阿部 信行

大東亜戦争と支那経済開発の意義 …………… 宇佐美 珍彦

支那に於ける英米の策動 …………… 堀 公一

金屬増産の戦い …………… 伊藤 文吉

映画の感化力 …………… 薄金 兼次郎

島 …………… 高橋 幸雄

公民科教材 時の法令解説(七) …………… 友次 壽太郎

公民科予備試験問題解答 …………… 藤谷 保

公民科予備試験初陣記 …………… 高木 孝男

高等女学校に於ける ……………

学科目の臨時取扱について …………… 文部省

R | 22 第12卷第7号(昭和17年7月)

我が国の礼法の精神 …………… 木下 一雄

肅正選挙から見た公民教育的収獲 …………… 松原 一彦

日本の世界人生觀の確立 …………… 宮西 一積

公民科要目の活用方策(二) …………… 倉澤 剛

〈論文名〉 〈著者名〉 〈収録巻号・頁〉 〈リール番号〉

あ

愛国公民読本 (一)	ア-ノルド・フォスター	4巻 9号 89	(R- 8)
愛国公民読本 (二)	ア-ノルド・フォスター	4巻10号108	(R- 8)
愛国公民読本 (三)	ア-ノルド・フォスター	4巻11号 95	(R- 8)
愛国公民読本 (四)	ア-ノルド・フォスター	4巻12号 93	(R- 8)
愛国公民読本 (五)	ア-ノルド・フォスター	5巻 1号 65	(R- 9)
愛国公民読本 (六)	ア-ノルド・フォスター	5巻 2号100	(R- 9)
愛国公民読本 (七)	ア-ノルド・フォスター	5巻 3号112	(R- 9)
愛国公民読本 (八)	ア-ノルド・フォスター	5巻 4号108	(R- 9)
愛国公民読本 (九)	ア-ノルド・フォスター	5巻 5号118	(R- 9)
愛国公民読本 (十)	ア-ノルド・フォスター	5巻 6号107	(R- 9)
愛国公民読本 (十一)	ア-ノルド・フォスター	5巻 7号108	(R-10)
愛国公民読本 (十二)	ア-ノルド・フォスター	5巻 9号122	(R-10)
愛国公民読本 (十三)	ア-ノルド・フォスター	5巻10号119	(R-10)
愛国公民読本 (十四)	ア-ノルド・フォスター	5巻11号118	(R-10)
愛国公民読本 (十五)	ア-ノルド・フォスター	5巻12号123	(R-10)
愛国公民読本 (十六)	ア-ノルド・フォスター	6巻 1号109	(R-11)
赤い先生	巻 頭 言	1巻 7号 1	(R- 2)
亜細亜再建の義戦	永井柳太郎	7巻11号 73	(R-14)
新らしき倫理について	小林英雄	12巻 4号 59	(R-22)
アメリカ人の特異性	清水博	3巻 6号 34	(R- 5)
アメリカニズム超克の教育	上田庄三郎	12巻 4号 14	(R-22)
ある高女生徒の答案抄	廣濱嘉雄	8巻 8号 66	(R-16)
アルバイツディンストと公民教育	渡部政盛	8巻 9号 31	(R-16)

い

如何にして公民科の効果を収むべきか	深作安文	8巻 1号 15	(R-15)
石の巻高女の公民教科資料	石の巻高等女学校	2巻 7号 70	(R- 4)
衣食住	荻原井泉水	1巻 2号 80	(R- 1)
移植民教育運動を提唱す	長野長廣	1巻 8号 16	(R- 2)
維新雑感	伊藤痴遊	1巻 1号108	(R- 1)

維新と復古	池岡直孝	10巻12号	21	(R-20)
「伊太利の教育は如何ですか」に答う	岸晃二	3巻4号	96	(R-5)
イタリアの新体制	アルデマーニ	10巻10号	64	(R-20)
伊太利の陸軍と空軍	オート・モスドルフ	10巻8号	71	(R-20)
一学期の公民科教授を顧みて	小柳勝太郎	5巻11号	110	(R-10)
一元的及多元的國家の理論	吉村正	5巻4号	42	(R-9)
銀杏の樹	相澤熙	8巻12号	54	(R-16)
一家の生計	井上秀子	2巻6号	32	(R-3)
一国一党と憲政の問題	渡部政盛	10巻7号	1	(R-20)
一体としての社会	永井享	5巻3号	4	(R-9)
委任統治の由来及其根拠	南洋庁	3巻6号	105	(R-5)
井上前蔵相の暗殺は教育界にどう響いたか		2巻3号	54	(R-3)
井上前蔵相の暗殺は、教育界にどう響いたか(続)		2巻4号	85	(R-3)
「いろは」の書けない中等教育	編集部	12巻6号	114	(R-22)
所謂機関説問題と教育	上石保教	6巻4号	14	(R-11)
所謂政治性とは何ぞや	渡部政盛	11巻5号	7	(R-21)
所謂統制經濟論を評す	山本勝市	6巻7号	75	(R-12)
インフレーションの過去現在及び未来	荒木光太郎	3巻2号	8	(R-5)
インフレーションを中心とする諸經濟問題の考察	勝田貞次	7巻4号	65	(R-13)

## う

ウエベケレ物語	バチラー八重子	1巻7号	125	(R-2)
美わしき公民生活	後藤文夫	2巻3号	30	(R-3)
運動会を利用した公民教育	青木與吉	2巻5号	114	(R-3)

## え

映画教育の経験より公民教育を語る	宮崎和男	4巻12号	62	(R-8)
映画場は如何に児童生徒を吸収するか	文部省社会教育局	2巻2号	94	(R-3)
映画に依る公民教育	下野宗逸	6巻3号	103	(R-11)
映画の感化力	薄金兼次郎	12巻7号	68	(R-22)
英国海運の衰退(上)	金生喜造訳	9巻9号	83	(R-18)
英国海運の衰退(下)	金生喜造訳	9巻10号	89	(R-18)

英国農村の衰微相	赤座光市	4巻 4号 77	(R- 7)
英国の私立中等学校経営 (上)	佐藤善次郎	5巻 4号 85	(R- 9)
英国の私立中等学校経営 (下)	佐藤善次郎	5巻 5号112	(R- 9)
英帝の御退位と我国体の反省	北岡健二	7巻 2号 56	(R-13)
英米の新事態不承認と我が立場	金生喜造	9巻 3号 52	(R-17)
エチオピアの敗退と伊太利の得失	鈴木東民	6巻 6号 40	(R-11)

## お

欧州形勢の新様相	金生喜造	10巻 5号 67	(R-19)
欧州戦争と日本	蘆田均	9巻11号 72	(R-18)
欧米公民教育断想	磯村英一	7巻 8号 71	(R-14)
大詔に拝し奉る宣戦の理由と征戦の目的	伊藤榮四郎	12巻 2号 32	(R-22)
オリ根と越の奥 (上)	中川竹洞	1巻 9号106	(R- 2)
オリ根と越の奥 (下)	中川竹洞	2巻 1号129	(R- 3)
オリンピック競技に於ける我が国民精神の発揚	山本忠興	2巻10号100	(R- 4)
オリンピック大会の歴史	編集部	6巻 7号 63	(R-12)
オリンピック日本選手戸籍調べ		2巻 9号110	(R- 4)
「御手身吾れ」の一票	矢野西雄	12巻 3号 37	(R-22)
女に翻弄された訓導	沖田房孝	2巻 5号123	(R- 3)
女の近江聖人	新井石龍	2巻 4号114	(R- 3)

## か

海外に学んだ先輩の努力	今村均	1巻 1号 76	(R- 1)
回教に就いて	坪内如水	9巻 8号 85	(R-18)
貝島家の育英事業		2巻 9号106	(R- 4)
買収は白蟻・干渉は豺狼	鈴木喜三郎	5巻 9号116	(R-10)
改正公民科教授要目に於ける若干の疑問	北原金司	7巻 9号 18	(R-14)
改正公民科教授要目に対する所感	池岡直孝	7巻 6号 7	(R-13)
改正公民科教授要目に就いて	飯野稻城	7巻 4号 15	(R-13)
改正公民科教授要目の概観	榎本萬吉	7巻 6号 75	(R-13)
改正公民科教授要目の現代的意義 (一)	清水福市	7巻 5号 32	(R-13)
改正公民科教授要目の現代的意義 (二)	清水福市	7巻 6号 15	(R-13)

改正公民科教授要目の考察	稲田正次	7巻 8号 1	(R-14)
改正公民科教授要目の指導精神	作田莊一	7巻 5号 1	(R-13)
改正公民科教授要目論評	稲毛金七	7巻 7号 1	(R-14)
改正青年学校令及同施行規則ノ運用ニ関スル件	文部省社会教育局	9巻 8号120	(R-18)
改正選挙法の話 (一)	内務省	5巻 9号102	(R-10)
改正選挙法の話 (二)	内務省	5巻10号105	(R-10)
改正中等学校公民科教授要目全文		7巻 4号132	(R-13)
改正中等学校修身科教授要目全文		7巻 7号108	(R-14)
改正法令を中心とする兵役の一考察	北原金司	8巻 6号 21	(R-15)
改正要目高等女学校公民科教授細目私案	山本正次	7巻 5号 51	(R-13)
改正要目と公民科の独自性	山本正次	7巻10号105	(R-14)
改正要目と其重要点の二三	大串兎代夫	7巻 5号 27	(R-13)
改正要目に於ける「天皇の統治」	北岡健二	7巻 8号 43	(R-14)
改正要目に見る日本的公民教育への志向	近藤恭一郎	7巻 5号 37	(R-13)
改正要目の根本義に対する私見	伊藤和衛	7巻 5号 45	(R-13)
回転すべき新外交	佐藤清勝	3巻 6号 26	(R- 5)
街頭で拾う公民訓練の問題	矢野西雄	9巻 2号 38	(R-17)
街頭の公民訓練	北原金司	7巻12号 55	(R-14)
貝原益軒先生の偉さ	井原孝一	9巻 6号 76	(R-17)
外来文化の輸入と自主的精神	矢吹慶輝	4巻10号 10	(R- 8)
科学・哲学・宗教と個人主義および全体主義	上野陽一	8巻 3号 7	(R-15)
夏季休暇論	巻頭言	3巻 8号 1	(R- 6)
各科と公民教育	巻頭言	3巻 9号 1	(R- 6)
革新よりは寧ろ是正せよ	岡村喜代志	7巻11号 25	(R-14)
学生左傾思想問題対策案	東京朝日新聞	2巻 6号 80	(R- 3)
学生思想左傾の原因	文部省	2巻 2号100	(R- 3)
学生思想問題の史的考察	河村只雄	1巻 3号 67	(R- 1)
学生思想問題の史的考察 (二)	河村只雄	1巻 4号 88	(R- 1)
学生思想問題の「対策」	東京日日新聞	2巻 6号 81	(R- 3)
各府県別に依る直轄学校在学比例	文部省統計課	2巻 4号116	(R- 3)
隠れたる努力	廣濱嘉雄	8巻 5号 43	(R-15)
臥薪嘗胆	巻頭言	1巻 8号 1	(R- 2)
家族社会の基本単位	河村只雄	6巻 8号 2	(R-12)
家族制度と公民教育	平實	7巻 3号 28	(R-13)

家族制度と国民道徳	池岡直孝	3巻 4号 17	(R- 5)
家族と国家	倉澤剛	3巻 6号 11	(R- 5)
形と影	及川儀右衛門	11巻 8号 8	(R-21)
価値転換と公民科教授要目	及川儀右衛門	7巻 2号 50	(R-13)
学科考察の根本的出発	馬場文翁	9巻 3号 1	(R-17)
楽器国産の裏面に潜む貴き精神並に苦心	鎌塚扶	9巻 1号 36	(R-17)
学校教育に於ける宗教教育の問題	中村健三	6巻12号 34	(R-12)
学校教育の政治性と政治運動	小澤恒一	11巻 1号 4	(R-21)
学校行事の公民教育的実践	荒川好男	7巻 4号 42	(R-13)
学校中心の理想農村へと	松尾寅雄	3巻 8号 98	(R- 6)
学校に於ける宗教教育に就て	都田恒太郎	3巻 7号 77	(R- 6)
学校風聞記 (神奈川県立平塚農業学校)	記者	1巻 7号 94	(R- 2)
学校風聞記 (私立山脇高等女学校)	記者	1巻 9号 98	(R- 2)
学校風聞記 (東京府立第一商業学校)	記者	1巻 8号100	(R- 2)
学校風聞記 (東京府立第三商業学校)	記者	1巻 6号 61	(R- 2)
学校報国団論考	清岡雅雄	11巻 6号105	(R-21)
学校訪問記 (成城学園)	記者	2巻 2号 98	(R- 3)
学校訪問記 (東京府立第六中学校)	記者	2巻 1号114	(R- 3)
各国の国民運動 (一)	庄山茂次	11巻10号 34	(R-21)
各国の租税制度と増税問題	青木得三	6巻 6号 47	(R-11)
合戦態勢と学徒体育	北澤清	11巻 9号 89	(R-21)
家庭紛議と法律	我妻榮	3巻 4号 50	(R- 5)
過渡期的現象の恒常性と公民的訓練	飯野稻城	6巻 5号 2	(R-11)
カフェー・バー等の取締と学生の問題	重田忠保	4巻 9号 69	(R- 8)
紙屑の道徳	長谷川如是閑	5巻 1号 30	(R- 9)
紙屑の道徳を読んで長谷川如是閑先生に	九山一信	5巻 4号116	(R- 9)
樺太の奥地	相澤熙	2巻 1号 58	(R- 3)
官国幣社に就いて	宮地直一	5巻 7号 79	(R- 9)
漢字廃止の弁と文字の進化論	松坂忠則	6巻 7号 87	(R-12)
漢字廃止論者の迷蒙を啓く	大東文化協会研究部	6巻 7号 96	(R-12)
含笑上船	高橋幸雄	12巻 6号102	(R-22)
管理運動に乗れ 公民教育 (一)	佐藤富治	1巻 1号 73	(R- 1)
管理運動に乗れ 公民教育 (二)	佐藤富治	1巻 2号 48	(R- 1)

き

議会・政府・世論	川原次吉郎	10巻 4号 11	(R-19)
議会主義の話 (吾が子の公民教育)	奥田寛太郎	2巻 6号 89	(R- 3)
議会振粛と自治体の向上	白瀬如水	3巻 1号 41	(R- 5)
議会制度に対する現代の批判	堀 眞琴	3巻 7号 10	(R- 6)
企画庁の新設と其の機能及構成	企画庁	7巻 6号 90	(R-13)
機関説の掃蕩 (一)	樋田豊太郎	8巻 4号 6	(R-15)
機関説の掃蕩 (二)	樋田豊太郎	8巻 5号 22	(R-15)
機関説の掃蕩 (完)	樋田豊太郎	8巻 6号 6	(R-15)
企業整備と転業対策	豊田雅孝	12巻 6号 88	(R-22)
菊水授業の公民教育的意義	小寺幸正	12巻 5号110	(R-22)
技術教育と精神教育	奥田寛太郎	6巻11号 9	(R-12)
技術としての公民教育	平 實	10巻10号 30	(R-20)
貴族院改革の話	關口 泰	6巻 5号 52	(R-11)
義務制青年学校令施行規則		9巻 6号104	(R-17)
義務制青年学校令全文		9巻 6号100	(R-17)
旧教育に対する反省より日本の教育の確立へ	鎌塚 扶	10巻 1号 15	(R-19)
教育映画について	吉村冬彦	2巻 8号 34	(R- 4)
教育映画の社会的機能とその対策	權田保之助	2巻 1号 22	(R- 3)
教育界人国記 (高知県の巻・上)	佐和三郎	1巻 6号 95	(R- 2)
教育界人国記 (高知県の巻・中)	佐和三郎	1巻 8号104	(R- 2)
教育界人国記 (高知県の巻・下)	澤本健三	1巻 9号 90	(R- 2)
教育界人国記 (静岡県の巻・上)	澤本健三	2巻 6号111	(R- 3)
教育界人国記 (静岡県の巻・中)	澤本健三	2巻 7号100	(R- 4)
教育界人国記 (静岡県の巻・下)	澤本健三	2巻 8号 92	(R- 4)
教育界と選挙肅正運動	中 尊量	5巻 8号 8	(R-10)
教育から観た蘭印の素描	水田信利	6巻10号 91	(R-12)
教育施政に対する予の理想	鳩山一郎	2巻 1号 2	(R- 3)
教育使命としての公民科と修身科	加藤良一	7巻 7号 57	(R-14)
教育社会学より見たる公民並に公民教育の意義	田制佐重	2巻11号 8	(R- 4)
教育者の政治的教養	小澤恒一	12巻 5号 11	(R-22)
教育昭和十四年の回顧	上田庄三郎	9巻12号 11	(R-18)
教育勅語と明治思想史	小野正康	10巻12号 25	(R-20)

教育と政治	稲毛金七	10巻11号	1	(R-20)
教育に於ける主体的活動	今田竹千代	12巻6号	13	(R-22)
教育に還る	爲藤五郎	8巻8号	57	(R-16)
教育の一断面	平田正	11巻5号	51	(R-21)
教育の革新	赤堀孝	12巻2号	90	(R-22)
教育の勘定日	巻頭言	3巻11号	1	(R-6)
教育の形態	入澤宗壽	2巻8号	18	(R-4)
教育の新体制と公民教育	鈴木静穂	11巻3号	8	(R-21)
教育費負担増額に就て	東京日日新聞	2巻9号	103	(R-4)
教育目的としての公民	伏見猛彌	3巻7号	26	(R-6)
教育目標の推移	金生喜造	8巻12号	15	(R-16)
教育も国防である	巻頭言	3巻10号	1	(R-6)
教育立国＝小学教育の使命と本質	長田新	6巻8号	112	(R-12)
教員赤化と公民教育	巻頭言	3巻5号	1	(R-5)
教員俸給問題論議の要点	加藤精三	1巻3巻	27	(R-1)
教員俸給問題論議の要点(二)	加藤精三	1巻7号	117	(R-2)
教学一体の教師	平田正	11巻2号	96	(R-21)
教学刷新運動への一提言	上石保教	6巻1号	27	(R-11)
教学刷新運動への一提言(二)	上石保教	6巻2号	35	(R-11)
「教学新体制と公民教育」問答	田制佐重	10巻8号	24	(R-20)
教科に於ける実用主義的指導に就いて	中澤信治	1巻9号	20	(R-2)
教材行脚	宮瀬睦夫	12巻6号	52	(R-22)
教材としての財産に関する一考察	松本定敏	1巻9号	44	(R-2)
教師教養生活の充実	本山政雄	11巻2号	14	(R-21)
教授要目の改正に伴う公民科学習指導の一私案	松本久雄	8巻2号	43	(R-15)
行政機構改革問題	堀真琴	6巻12号	70	(R-12)
共存共栄	岩井龍海	3巻9号	2	(R-6)
強調すべき現時の修身教育・公民教育	島崎晴吉	10巻10号	38	(R-20)
郷土教育研究の実例	徳島県鴨島小学校	1巻9号	81	(R-2)
郷土教育と公民教育との関係	小澤恒一	3巻11号	2	(R-6)
郷土教育の実際(一)	三重県二見小学校	2巻4号	86	(R-3)
郷土に於ける寺子屋研究	古林光雄	3巻4号	89	(R-5)
郷土に立てる公民算術教育	阿部只治	4巻8号	78	(R-8)
極東の情勢に就て	東條英機	3巻12号	7	(R-6)

挙国産業兵の養成に就いて	相澤 熙	1巻 7号 2	(R- 2)
希臘悲劇を通じて見たる古代アテネの市民	茂手木元藏	11巻 5号 18	(R-21)
銀行の窓口より見た財界諸相	伏見 寛次	1巻 4号 98	(R- 1)
近時の世相と公民教育の重要性	關屋 龍吉	2巻 4号 6	(R- 3)
金属増産の戦い	伊藤 文吉	12巻 7号 92	(R-22)
近代女性意識に現れた母性に就て	磯村 英一	4巻 6号 76	(R- 7)
金的を射るまで	太田 博	5巻 2号116	(R- 9)
金融統制団体の設立	谷口 恒二	12巻 5号 66	(R-22)
金融統制と物価統制	間賀 卓次	10巻 9号 72	(R-20)
勤労青年と徳育	島崎 晴吉	12巻 4号 54	(R-22)
金を語る (趣味の科学)	長尾 和生	2巻 4号 92	(R- 3)

く

具象と抽象	川竹 武夫	3巻 2号 39	(R- 5)
組合の原理と労働の精神	吉田 通達	1巻 7号 40	(R- 2)
軍縮問題の叫ばるるに至りし由来	齋藤 茂	5巻 1号 52	(R- 9)
軍縮問題の叫ばるるに至りし由来	齋藤 茂	5巻 2号 93	(R- 9)
軍需品と国民生活に就て	清水 菊三	7巻12号 89	(R-14)
軍部大臣の地位と政治的発言	大平 進一	7巻 3号 67	(R-13)
訓練されつつある農村	千葉 敬止	1巻 3号 32	(R- 1)

け

経験と計画	關田 生吉	3巻 4号 60	(R- 5)
経済解説	服部文四郎	8巻 1号 84	(R-15)
経済解説	服部文四郎	8巻 2号 64	(R-15)
経済解説	服部文四郎	8巻 3号 52	(R-15)
経済解説	服部文四郎	8巻 4号 76	(R-15)
経済解説	服部文四郎	8巻 5号 60	(R-15)
経済解説	服部文四郎	8巻 6号 80	(R-15)
経済解説	渡邊 光重	8巻 7号 72	(R-16)
経済解説	渡邊 光重	8巻 8号 90	(R-16)
経済解説	渡邊 光重	8巻 9号 64	(R-16)

経済解説	渡邊光重	8卷10号	68	(R-16)
経済解説	渡邊光重	8卷11号	74	(R-16)
経済解説	渡邊光重	8卷12号	72	(R-16)
経済解説	渡邊光重	9卷 1号	80	(R-17)
経済解説	渡邊光重	9卷 2号	71	(R-17)
経済解説	渡邊光重	9卷 3号	100	(R-17)
経済解説	渡邊光重	9卷 4号	66	(R-17)
経済解説	渡邊光重	9卷 5号	68	(R-17)
経済解説	渡邊光重	9卷 6号	66	(R-17)
経済解説	渡邊光重	9卷 7号	85	(R-18)
経済解説	渡邊光重	9卷 8号	58	(R-18)
経済解説	渡邊光重	9卷 9号	66	(R-18)
経済解説	渡邊光重	9卷10号	71	(R-18)
経済解説	渡邊光重	9卷11号	62	(R-18)
経済解説	渡邊光重	9卷12号	76	(R-18)
経済解説	渡邊光重	10卷 1号	80	(R-19)
経済解説	渡邊光重	10卷 2号	58	(R-19)
経済解説	渡邊光重	10卷 3号	75	(R-19)
経済解説	渡邊光重	10卷 4号	66	(R-19)
経済解説	渡邊光重	10卷 5号	34	(R-19)
経済解説	渡邊光重	10卷 6号	67	(R-19)
経済解説	渡邊光重	10卷 7号	62	(R-20)
経済解説	渡邊光重	10卷 8号	62	(R-20)
経済解説	渡邊光重	10卷 9号	63	(R-20)
経済解説	渡邊光重	10卷10号	55	(R-20)
経済解説	渡邊光重	10卷12号	74	(R-20)
経済解説	渡邊光重	11卷 1号	62	(R-21)
経済解説	渡邊光重	11卷 2号	46	(R-21)
経済解説	渡邊光重	11卷 3号	40	(R-21)
経済解説	渡邊光重	11卷 4号	50	(R-21)
経済解説	渡邊光重	11卷 5号	54	(R-21)
経済解説	渡邊光重	11卷 6号	26	(R-21)
経済教育と女子公民教育	間賀卓次	9卷11号	58	(R-18)
経済警察の使命	清水重雄	8卷11号	40	(R-16)

経済更生に関し青年教育に於て施設経営すべき公民訓練方案	太田 博	5巻 4号 81	(R- 9)
経済新体制と食糧問題	菊池 萬輔	10巻12号 37	(R-20)
経済知識	島格 太郎	7巻 4号 80	(R-13)
経済知識	島格 太郎	7巻 5号102	(R-13)
経済知識	島格 太郎	7巻 6号 94	(R-13)
経済知識	島格 太郎	7巻 7号 84	(R-14)
経済知識	島格 太郎	7巻 8号 98	(R-14)
経済知識	島格 太郎	7巻 9号 70	(R-14)
経済知識	島格 太郎	7巻10号112	(R-14)
経済知識	島格 太郎	7巻11号121	(R-14)
経済知識	島格 太郎	7巻12号104	(R-14)
経済的国家と先験的国家	渡部 政盛	11巻 4号 6	(R-21)
警察会報	長倉 矯介	2巻 8号 38	(R- 4)
警察と公衆	重田 忠保	3巻 9号 19	(R- 6)
形式よりも内容	三輪田元道	6巻12号 2	(R-12)
刑事補償法について	太田 博	8巻11号 84	(R-16)
刑法に於ける応法主義と目的主義	林 鐵郎	2巻 4号 76	(R- 3)
刑法の改正に就て	池田 克	4巻 9号 26	(R- 8)
劇薬ジャーナリズム	四方田義茂	2巻 5号 13	(R- 3)
結婚礼式の改善	松本 定敏	3巻 4号 78	(R- 5)
結婚礼式の改善	松本 定敏	3巻 5号100	(R- 5)
結婚礼式の改善	松本 定敏	3巻 6号 99	(R- 5)
決戦経済への協力	岸 信介	12巻 2号 57	(R-22)
ケルシエンシュタイネルの公民教育論	井上 稔	3巻 8号 59	(R- 6)
現下公民教育上注意すべき二、三の問題	渡部 政盛	11巻 8号 14	(R-21)
現下公民教育上の諸問題	龍山 義亮	9巻 3号 17	(R-17)
現下の外交問題と国民の覚悟	内田 康哉	3巻 4号 2	(R- 5)
現下の財政諸問題論評	諸藤 良山	6巻 8号104	(R-12)
現下の時局と公民教育	原 房孝	7巻10号 22	(R-14)
現下の政治と公民教育	佐藤 繼吉	2巻10号 75	(R- 4)
現下の戦時食糧問題	千石興太郎	9巻12号 62	(R-18)
研究教授に用いたる公民科教授案	秋月 兼一	2巻11号 47	(R- 4)
現行高等女学校公民科教授要目所感	秋月 兼一	6巻 8号 79	(R-12)
現行公民科教科書調	編輯 部	6巻 5号120	(R-11)

現行公民科教科書調	編輯部	9巻 2号129	(R-17)
現行公民科教授要目の批判	池岡直孝	6巻 8号 22	(R-12)
現時に於ける公民教育の欠陥とその克服	小川正行	9巻 1号 4	(R-17)
憲政一新の勇断	齋藤實	5巻 9号116	(R-10)
憲政再吟味と公民教育思潮 (一)	上石保教	7巻 4号 25	(R-13)
憲政再吟味と公民教育思潮 (二)	上石保教	7巻 6号 29	(R-13)
憲政再吟味と公民教育思潮 (終篇)	上石保教	7巻 7号 65	(R-14)
憲政振作と公民教育	關口泰	5巻 7号 6	(R-10)
憲政の運用と公民教育	森口繁治	4巻 6号 1	(R- 7)
憲政の回顧と国民の覚悟	富田幸次郎	7巻 1号 3	(R-13)
現代觀照と歴史觀照	及川儀右衛門	9巻 6号 1	(R-17)
現代教育思想と公民科教育	川端篤郎	2巻12号 87	(R- 4)
現代社会大衆と公民教育	渡部政盛	7巻 2号 24	(R-13)
現代職業の特殊性と其の選択	川野温興	4巻 7号 69	(R- 8)
現代政治と公民教育	大平進一	6巻 2号 5	(R-11)
現代と公民教育の方法	井本農一	8巻11号 33	★
現代の伊太利	フランチェスコ・セヴェリ	6巻 5号 82	(R-11)
現代の教育に就て	大山善次郎	4巻 5号 95	(R- 7)
現代の新聞紙と經濟生活	長谷川幸太郎	8巻 8号 45	(R-16)
現代の新聞紙と社会生活	坂口二郎	8巻 8号 52	(R-16)
現代の新聞紙と政治生活	近藤操	8巻 8号 37	(R-16)
現代の知識人と宗教	鶴藤幾太	11巻 7号 24	(R-21)
憲法研究の資料二題	蜷川新	5巻 8号 18	(R-10)
憲法政治の原則	高橋清吾	2巻 5号 28	(R- 3)
憲法發布五十年を回顧して	金子堅太郎	8巻 3号 61	(R-15)

## こ

五・一五事件は語る	卷頭言	3巻 6号 1	(R- 5)
興亜建設の教化工作	野崎泰秀	9巻10号 11	(R-18)
工業学校に於ける公民科の任務	大野盛直	8巻 3号104	(R-15)
工業学校に於ける公民教育と公民的訓練	川竹武夫	4巻 7号 77	(R- 8)
工業国日本の歩み	門野重九郎	4巻 2号 21	(R- 7)
考現学的立場の公民教育	鈴木徳成	1巻 5号 80	(R- 1)

皇国紀元に関する国民的自覚の要望	鎌塚 扶	10巻 3号 5	(R-19)
皇国不動の公民教育論	徳崎 好夫	7巻 5号 60	(R-13)
皇国文政の新体制	西脇 英逸	10巻10号 50	(R-20)
皇国民としての立場	鶴岡 彌	10巻10号 44	(R-20)
公債の発行限度に就いて	八田 薫	9巻 1号 91	(R-17)
甲子園の大会を前にして	久保田 高行	2巻 8号 44	(R- 4)
皇室中心主義に基く国家認識	荻野喜三郎	2巻 1号 26	(R- 3)
公衆衛生道德	高野 六郎	8巻 6号 75	(R-15)
耕種科農業経済科を経て公民科へ	大西誠喜治	5巻 4号124	(R- 9)
工場青年学校生徒の趣味娯楽	茂手木元藏	12巻 3号 58	(R-22)
公人関係と私人関係	戸田 貞三	9巻 5号 1	(R-17)
鴻爪外遊余録	長尾 半平	2巻 1号 70	(R- 3)
皇祖の神勅を拜読せよ	宮瀬 睦夫	11巻 7号 21	(R-21)
交通幹線に在る渡船場の改良速成に関する私議	眞明 正	1巻 6号 58	(R- 2)
交通につきての考察	小林 英一	1巻 2号 62	(R- 1)
交通につきての考察	小林 英一	1巻 3号 24	(R- 1)
高等女学校公民科教授細目私案	秋月 兼一	3巻11号 53	(R- 6)
高等女学校生徒の公民的素養に関する調査	秋月 兼一	2巻 9号 50	(R- 4)
高等女学校長会議と公民科		2巻 8号 76	(R- 4)
高等女学校に愈々公民科を設く		2巻 3号106	(R- 3)
高等女学校に於ける学科目の臨時取扱について	文 部 省	12巻 7号114	(R-22)
高等女学校に於ける公民教育と公民的訓練	宮田 脩	4巻 6号 67	(R- 7)
皇道精神と東亜協同体	田村 浩	9巻 3号 7	(R-17)
高等専門学校入学試験科目に公民科を加うる問題に就いて	赤坂 右逸	6巻 2号 77	(R-11)
皇道と臣道	渡部 政盛	11巻 6号 16	(R-21)
講堂に於ける映画教育		1巻 6号 73	(R- 2)
皇道文化の創造	宇田 尚	12巻 6号 98	(R-22)
公德は果たして不振であろうか	田川大吉郎	3巻10号 4	(R- 6)
高度国防国家の建設	秋永 月三	11巻 9号 40	(R-21)
高度国防国家の法的構造	稲田 正次	11巻 7号 31	(R-21)
「孝」の本義に就いて	大谷 美隆	7巻12号 3	(R-14)
合法悪と新聞紙	山根眞治郎	2巻 7号 58	(R- 4)
公民意識と人間意識	上田庄三郎	6巻 4号 36	(R-11)
公民科改正要目の基調	倉澤 剛	8巻 1号 36	(R-15)

公民科から忘れられた一項目	野崎泰秀	6巻 9号 15	(R-12)
公民科関係諸調査	広島高等師範附属中学校	5巻12号 81	(R-10)
公民科関係問題三件	長倉矯介	8巻10号 8	(R-16)
公民科教育断片	八田 薫	8巻 9号 61	(R-16)
公民科教育の目標と其考査法	北岡健二	7巻 3号 53	(R-13)
公民科教員再教育問題 (一)	立仙淳三	9巻 4号 15	(R-17)
公民科教員再教育問題 (二)	立仙淳三	9巻 5号 40	(R-17)
公民科教員よ何処へ行く	立仙淳三	6巻 4号 69	(R-11)
公民科教科書に関する諸問題	高瀬廣雪	6巻 2号 81	(R-11)
公民科教科書に対する要望	加來利治	7巻 9号104	(R-14)
公民科教科書の選定に就いて	山崎犀二	8巻 2号 29	(R-15)
公民科教科書批判	山崎犀二	4巻 9号 13	(R- 8)
公民科教科書批判 (その二)	山崎犀二	4巻10号 32	(R- 8)
公民科教科書批判 (その三)	山崎犀二	4巻11号 24	(R- 8)
公民科教科書批判 (その四)	山崎犀二	4巻12号 15	(R- 8)
公民科教科書批判 (その五)	山崎犀二	5巻 1号 45	(R- 9)
公民科教科書批判 (その六)	山崎犀二	5巻 2号 19	(R- 9)
公民科教材観の転換	菊池次男	12巻 6号 54	(R-22)
公民科教材中の一研究に就て	武用種吉	5巻 3号 91	(R- 9)
公民科教材と学校行事	上田忠雄	7巻 4号 48	(R-13)
公民科教材 時の法令解説 (一)	友次壽太郎	12巻 1号 94	(R-22)
公民科教材 時の法令解説 (二)	友次壽太郎	12巻 2号 84	(R-22)
公民科教材 時の法令解説 (三)	友次壽太郎	12巻 3号102	(R-22)
公民科教材 時の法令解説 (四)	友次壽太郎	12巻 4号110	(R-22)
公民科教材 時の法令解説 (五)	友次壽太郎	12巻 5号100	(R-22)
公民科教材 時の法令解説 (六)	友次壽太郎	12巻 6号106	(R-22)
公民科教材 時の法令解説 (七)	友次壽太郎	12巻 7号100	(R-22)
公民科教材としての国民学校教育	二之宮英雄	12巻 5号 62	(R-22)
公民科教材の実際的取扱方	宮原信夫	4巻 1号 68	(R- 7)
公民科教材の宗教に就いて	西岡義融	5巻12号 49	(R-10)
公民科教材の取扱方と日本精神の発揚	武用種吉	4巻 4号 25	(R- 7)
公民科教授細目案	広島高等師範附属中学校	6巻 4号104	(R-11)
公民科教授事項取扱上の参考	文 部 省	7巻 5号140	(R-13)
公民科教授指針と其取扱の実際	宮原信夫	3巻11号 39	(R- 6)

公民科教授実状の投影種々相	長 倉 矯 介	9巻 6号 19	(R-17)
公民科教授指導案と教授指導例	千 葉 敬 止	1巻 8号 20	(R- 2)
公民科教授者の立場	川 竹 武 夫	3巻11号 35	(R- 6)
公民科教授上の一考察と受験の要諦	大久保清四郎	4巻 6号108	(R- 7)
公民科教授上の革新問題	池 岡 直 孝	12巻 4号 33	(R-22)
公民科教授上の疑義数点 (一)	長 倉 矯 介	5巻 4号 28	(R- 9)
公民科教授上の疑義数点 (二)	長 倉 矯 介	5巻 5号 16	(R- 9)
公民科教授上の疑義数点 (三)	長 倉 矯 介	5巻 6号 39	(R- 9)
公民科教授上の疑義を解く	山 崎 犀 二	5巻 7号 25	(R-10)
公民科教授上問題となる諸点	長 倉 矯 介	3巻10号 17	(R- 6)
公民科教授上問題となる諸点	長 倉 矯 介	4巻 1号 45	(R- 7)
公民科教授資料 (第一講)	藤 谷 保	6巻 4号 92	(R-11)
公民科教授資料 (第二講)	藤 谷 保	6巻 5号 94	(R-11)
公民科教授資料 (第三講)	藤 谷 保	6巻 6号 89	(R-11)
公民科教授資料 (第四講)	藤 谷 保	6巻 7号111	(R-12)
公民科教授資料 (第五講)	藤 谷 保	6巻 8号126	(R-12)
公民科教授資料 (第六講)	藤 谷 保	6巻 9号101	(R-12)
公民科教授資料 (第七講)	藤 谷 保	6巻10号108	(R-12)
公民科教授資料 (第八講)	藤 谷 保	6巻11号 99	(R-12)
公民科教授資料 (第九講)	藤 谷 保	6巻12号106	(R-12)
公民科教授資料 (第十講)	藤 谷 保	7巻 1号110	(R-13)
公民科教授資料 (第十一講)	藤 谷 保	7巻 2号 90	(R-13)
公民科教授資料 (第十二講)	藤 谷 保	7巻 3号104	(R-13)
公民科教授と教材の研究	千 葉 敬 止	4巻 5号 18	(R- 7)
公民科教授と経済知識の涵養	田 淵 藤 藏	2巻 2号 30	(R- 3)
公民科教授に於ける郷土資料の活用	吉 井 孝 次 郎	8巻 3号 99	(R-15)
公民科教授に於ける農村社会研究	田 淵 藤 藏	5巻 5号 92	(R- 9)
公民科教授に際し、国体観念を明徹にする実地教授に就きて	武 用 種 吉	5巻12号 34	(R-10)
公民科教授に対する一管見	吉 本 俊 二	3巻 7号 33	(R- 6)
公民科教授の実際問題	及川儀右衛門	3巻 1号 54	(R- 5)
公民科教授の実際問題	秋 山 篤 英	12巻 7号 42	(R-22)
公民科教授の着眼	及川儀右衛門	2巻10号 39	(R- 4)
公民科教授の反省と振興	西 脇 英 逸	7巻 1号 48	(R-13)
公民科教授要旨及要目の批判	宮 川 造 六	6巻 8号 52	(R-12)

公民科教授要目改正の趣旨	中村正治	7巻4号4	(R-13)
公民科教授要目に関する一考察	松本定敏	1巻5号36	(R-1)
公民科教授要目に関する考察	松本喜一	3巻10号12	(R-6)
公民科教授要目に対する見方	長義正	6巻8号70	(R-12)
公民科教授要目の研究	田淵藤藏	6巻8号59	(R-12)
公民科教授要目の再検討	山崎犀二	6巻8号27	(R-12)
公民学の構成と科学主義	菊池次男	11巻10号11	(R-21)
公民科研究会記事	長義正	5巻7号98	(R-10)
公民科研究範囲と参考書の選択(私法の部)	藤谷保	4巻2号99	(R-7)
公民科合格の鍵	松本齋	4巻2号109	(R-7)
公民科考査法に対する私見	近藤恭一郎	7巻3号60	(R-13)
公民科口述試験の実際	大西佐代吉	4巻11号117	(R-8)
公民科口述試験の実際	山本孫義	5巻7号116	(R-10)
公民科口述試験の実際	小野久	6巻3号131	(R-11)
公民科口述試験の実際	三島新吉	10巻12号107	(R-20)
公民科時事資料		11巻8号91	(R-21)
公民科時事資料		11巻9号93	(R-21)
公民科時事資料		11巻10号86	(R-21)
公民科実施につきての卑見	關田生吉	2巻10号24	(R-4)
公民科指導講座(一)	編輯部	4巻4号42	(R-7)
公民科指導講座(二)	編輯部	4巻5号36	(R-7)
公民科指導講座(三)	編輯部	4巻6号30	(R-7)
公民科指導講座(四)	編輯部	4巻7号24	(R-8)
公民科指導講座(五)	編輯部	4巻9号36	(R-8)
公民科指導講座(六)	編輯部	4巻10号42	(R-8)
公民科指導講座(七)	編輯部	4巻11号42	(R-8)
公民科指導講座(八)	編輯部	4巻12号27	(R-8)
公民科指導講座(九)	編輯部	5巻1号98	(R-9)
公民科指導講座(十)	編輯部	5巻2号68	(R-9)
公民科指導講座(十一)	編輯部	5巻3号70	(R-9)
公民科指導講座(十二)	編輯部	5巻4号58	(R-9)
公民科指導講座(十三)	編輯部	5巻5号65	(R-9)
公民科指導講座(十四)	編輯部	5巻6号63	(R-9)
公民科指導講座(十五)	編輯部	5巻7号48	(R-9)

公民科指導講座 (十六)	編輯部	5卷 9号 79	(R-10)
公民科指導講座 (十七)	編輯部	5卷10号 75	(R-10)
公民科指導講座 (十八)	編輯部	5卷11号 64	(R-10)
公民科指導講座 (十九)	編輯部	5卷12号 98	(R-10)
公民科指導講座 (二十)	編輯部	6卷 1号 72	(R-11)
公民科指導講座 (二十一)	編輯部	6卷 2号 91	(R-11)
公民科指導講座 (二十二)	編輯部	6卷 3号 47	(R-11)
公民科指導上の難点とその対策	宮崎 清明	5卷12号 31	(R-10)
公民科私法経済問題の動向に就て	南山 生	11卷 4号104	(R-21)
公民科受験記	今野 修一郎	3卷10号100	(R- 6)
公民科受験体験記	笹岡 薫	8卷 2号130	(R-15)
公民科受験への栞	清原 左一	11卷10号108	(R-21)
公民科準備より見たる時事問題	藤谷 保	4卷 1号 82	(R- 7)
公民科新設の頌	建部 遯吾	5卷 1号 3	(R- 9)
公民科新設の精神に就て	篠原 英太郎	1卷 2号 2	(R- 1)
公民科担任教員の連絡共同機関設定に関する私見	關田 生吉	6卷 2号 58	(R-11)
公民科調査資料 (第一輯)	本会調査部	2卷 6号106	(R- 3)
公民科調査資料 (第二輯)	本会調査部	2卷 7号 66	(R- 4)
公民科調査資料 (第三輯)	本会調査部	2卷 8号 58	(R- 4)
公民科調査資料 (第四輯)	本会調査部	2卷 9号 90	(R- 4)
公民科統合的教授細目 (上)	千年 源太	6卷 9号 90	(R-12)
公民科統合的教授細目 (下)	千年 源太	6卷10号 97	(R-12)
公民科と映画教育	野崎 泰秀	8卷 7号 10	(R-16)
公民科と学校行事について	阪中 民一	7卷 4号 36	(R-13)
「公民科と教育界の思想傾向」を読む	川本 宇之介	2卷 6号 55	(R- 3)
公民科と公民教育との関係	小野 久	5卷 6号 93	(R- 9)
公民科と公民的訓練に就いて	湯村 惣太郎	4卷 9号 82	(R- 8)
公民科と公民道徳	深作 安文	5卷 1号 14	(R- 9)
公民科と国民経済の新指標	森田 孝	7卷 3号 37	(R-13)
公民科と時事問題	及川儀右衛門	5卷12号 26	(R-10)
公民科と時事問題に	松野 憲治	6卷 2号 86	(R-11)
公民科と修身との関係	小野 久	5卷 7号 89	(R-10)
公民科と青年教育	小尾 範治	9卷 7号 40	(R-18)
公民科と他学科	都田 恒太郎	3卷11号 30	(R- 6)

公民科と中学校修業年限短縮問題	近藤恭一郎	6巻 2号 64	(R-11)
公民科と中学校修業年限問題に関連して	鈴木榮一	6巻 2号 72	(R-11)
公民科内容の類別的研究	勝賀瀬進	7巻 2号107	(R-13)
公民科に於ける学習資料の調査蒐集について	松田克三	2巻10号 26	(R- 4)
公民科に於ける学問的立場と教育的立場	植田清次	8巻 8号 12	(R-16)
公民科に於ける祭祀に就いて	宮瀬睦夫	7巻 8号 32	(R-14)
公民科に於ける時事問題の扱方	浅賀辰次郎	4巻 1号 35	(R- 7)
公民科に於ける時事問題の扱方	浅賀辰次郎	4巻 2号 52	(R- 7)
公民科に於ける時事問題の取扱	松田克三	3巻 2号 98	(R- 5)
公民科に於ける時事問題の取扱	大沼喜久男	7巻 6号 54	(R-13)
公民科に於ける「社会改善」の教授法に就て	長坂勝一	4巻 3号 81	(R- 7)
公民科に於ける「社会改善」の教授法に就て	長坂勝一	4巻 6号 82	(R- 7)
公民科に於ける社会問題取扱上の危険とその対策	仙波直心	4巻 3号 76	(R- 7)
公民科に於ける宗教教授の目的及びその内容の問題	鶴藤幾太	11巻 1号 9	(R-21)
公民科に於ける詔勅取扱の研究	松田克三	6巻10号 42	(R-12)
公民科に於ける自律的学習態度の指導	岡本恒治	10巻 2号 30	(R-19)
公民科に於ける神社に就て	長坂勝一	3巻 7号 68	(R- 6)
公民科に於ける歴史教育的立場	千代田謙	8巻 8号 7	(R-16)
公民科に関する試験の可否	植田清次	9巻12号 19	(R-18)
公民科に関する新行事	長倉矯介	6巻12号 91	(R-12)
公民科に就て	紀平正美	2巻12号 36	(R- 4)
公民科に於て注意すべき現行法上の「家」に就いて	川野敏夫	5巻11号 94	(R-10)
公民科の核心	長倉矯介	5巻12号 15	(R-10)
公民科の基礎的考察	萩野喜三郎	1巻 8号 66	(R-22)
公民科の教育的使命並教授方針	長義正	5巻 8号 93	(R-10)
公民科の教科書につきて	長谷川乙彦	4巻 2号 9	(R- 7)
公民科の教授要目に就いて	山崎犀二	4巻 6号 23	(R- 7)
公民科の教授要目に就いて	山崎犀二	4巻 7号 7	(R- 8)
公民科の研究範囲と参考書の選択 (経済の部)	藤谷保	4巻 3号113	(R- 7)
公民科の考査と採点	鳥井行雄	9巻 8号 80	(R-18)
公民科の考査法について	小野久	7巻 3号 45	(R-13)
公民科の再検討と要目改善の問題	關田生吉	6巻 8号 49	(R-12)
公民科の時代的使命と日本学的公民教授	岡本恒治	10巻 1号 44	(R-19)
公民科の指導精神	亘理章三郎	1巻 4号 8	(R- 1)

公民科の真生命と現行教授要目	及川儀右衛門	6巻 8号 36	(R-12)
公民科の新体制的使命と其の遂行形態	岡本恒治	11巻 3号 32	(R-21)
公民科の精神並に其の取扱方(一)	樋田豊太郎	8巻10号 34	(R-16)
公民科の精神並に其の取扱方(二)	樋田豊太郎	8巻11号 9	(R-16)
公民科の精神並に其の取扱方(三)	樋田豊太郎	8巻12号 33	(R-16)
公民科の精神並に其の取扱方(完)	樋田豊太郎	9巻 1号 19	(R-17)
公民科の成績考査に就て	川端篤郎	2巻 9号 44	(R- 4)
公民科の設置からして我が国教育界の思想傾向を論ず	山本良吉	2巻 5号 2	(R- 3)
公民科の中心思想	木村正義	1巻 1号 2	(R- 1)
公民科の独自性に就いて	山崎犀二	7巻10号 43	(R-14)
公民科の内容に関する一考察	中村正治	6巻12号 44	(R-12)
公民科の難点を論じて教育と政治との関係に及ぶ	稻毛金七	3巻 4号 11	(R- 5)
公民科の本義と其教授要目の改正	建部遯吾	7巻 5号 18	(R-13)
公民科の本質と教授指導案の実例	田淵藤藏	3巻 3号 44	(R- 5)
公民科の要目に就いて	塚越文雄	5巻12号 45	(R-10)
公民科の予備試験対策	藤谷保	5巻 4号118	(R- 9)
公民科の歴史的取扱について	渡邊保	9巻 5号 29	(R-17)
公民科の歴史と改題	遠藤隆吉	2巻12号 80	(R- 4)
公民科は教育時期全体を通じて課すべきである	野口援太郎	2巻11号 42	(R- 4)
公民科は健在なりや	中村信二	8巻11号 71	(R-16)
公民科筆記試験を顧る	中村行二	8巻 4号115	(R-15)
公民科本試験受験対策	三瓶泰造	11巻 5号100	(R-21)
公民科本試験の実際	山本秀一	6巻 4号125	(R-11)
公民科本試験の対策	藤谷保	5巻 7号112	(R-10)
公民科本試験問題解説	藤谷保	8巻 8号108	(R-16)
公民科本試験問題解答速報	藤谷保	5巻 8号110	(R-10)
公民科本試験問題解答例	藤谷保	9巻 8号 95	(R-18)
公民科本試験問題と新受験対策	川原孝治	7巻 9号125	(R-14)
公民科本試験問題の解答	藤谷保	4巻 8号112	(R- 8)
公民科問題の解答とその構成	藤谷保	4巻 4号 85	(R- 7)
公民科問題の解答とその構成	藤谷保	4巻 5号 77	(R- 7)
公民科問題の解答とその構成	藤谷保	4巻 6号 97	(R- 7)
公民科問題の解答とその構成	藤谷保	4巻 9号 97	(R- 8)
公民科問題の解答とその構成	藤谷保	4巻10号114	(R- 8)

公民科問題の解答とその構成	藤 谷 保	4巻11号102	(R- 8)
公民科問題の解答とその構成	藤 谷 保	4巻12号100	(R- 8)
公民科問題の研究	藤 谷 保	5巻 1号125	(R- 9)
公民科問題の研究	藤 谷 保	5巻 2号110	(R- 9)
公民科問題の研究	藤 谷 保	5巻 3号117	(R- 9)
公民科問題の研究	藤 谷 保	5巻 5号122	(R- 9)
公民科問題の研究	藤 谷 保	5巻 9号127	(R-10)
公民科問題の研究	藤 谷 保	5巻10号123	(R-10)
公民科問題の研究	藤 谷 保	5巻11号126	(R-10)
公民科問題の研究	藤 谷 保	5巻12号127	(R-10)
公民科問題の研究	藤 谷 保	6巻 1号113	(R-11)
公民科問題の研究	藤 谷 保	6巻 2号119	(R-11)
公民科問題の研究	藤 谷 保	6巻 3号127	(R-11)
公民科問題の研究	藤 谷 保	6巻 4号120	(R-11)
公民科問題の研究	藤 谷 保	11巻 8号 58	(R-21)
公民科問題の研究	藤 谷 保	11巻 9号 70	(R-21)
公民科問題の研究	藤 谷 保	11巻10号 80	(R-21)
公民科要目中改善を要する諸点	長 坂 勝 一	6巻 8号 64	(R-12)
公民科要目の活用方策 (一)	倉 澤 剛	12巻 6号 30	(R-22)
公民科要目の活用方策 (二)	倉 澤 剛	12巻 7号 27	(R-22)
公民科予試問題の重点に対する私見	公 民 学 人	7巻 6号113	(R-13)
公民科予備試験初陣記	高 木 孝 男	12巻 7号111	(R-22)
公民科予備試験及本試験対策	藤 谷 保	8巻 5号 90	(R-15)
公民科予備試験雑観	尹 成 容	8巻12号126	(R-16)
公民科予備試験対策	藤 谷 保	6巻 5号125	(R-11)
公民科予備試験問題解説速報	藤 谷 保	6巻 6号122	(R-11)
公民科予備試験問題解答	藤 谷 保	5巻 6号112	(R- 9)
公民科予備試験問題解答	藤 谷 保	8巻 6号 98	(R-15)
公民科予備試験問題解答	藤 谷 保	12巻 7号104	(R-22)
公民科予備試験問題の新傾向と解答の要訣(上)	川 原 孝 治	8巻 7号111	(R-16)
公民科予備試験問題の新傾向と解答の要訣(下)	川 原 孝 治	8巻 8号116	(R-16)
公民科より見たる近時二題	長 倉 矯 介	6巻 5号 33	(R-11)
公民科より見たる修学旅行	大 西 権 一	5巻 6号101	(R- 9)
公民科論考 (一)	樋 田 豊 太 郎	9巻 9号 29	(R-18)

公民科論考 (二)	樋田豊太郎	9巻10号	27	(R-18)
公民科論考 (三)	樋田豊太郎	9巻11号	15	(R-18)
公民科論考 (四)	樋田豊太郎	9巻12号	37	(R-18)
公民科論考 (五)	樋田豊太郎	10巻 1号	23	(R-19)
公民科論考 (六)	樋田豊太郎	10巻 2号	39	(R-19)
公民科論考 (七)	樋田豊太郎	10巻 3号	13	(R-19)
公民科論考 (八)	樋田豊太郎	10巻 4号	33	(R-19)
公民科論考 (九)	樋田豊太郎	10巻 5号	21	(R-19)
公民科論考 (十)	樋田豊太郎	10巻 6号	27	(R-19)
公民科論考 (十一)	樋田豊太郎	10巻 7号	19	(R-20)
公民科論考 (十二)	樋田豊太郎	10巻 8号	33	(R-20)
公民科論考 (十三)	樋田豊太郎	10巻 9号	53	(R-20)
公民科を去って公民科を想う	矢野孤山	8巻 3号	23	(R-15)
公民科を受験せらるる人々へ	小柳勝太郎	4巻 4号	95	(R- 7)
公民科を担当して	楊井克巳	3巻 4号	84	(R- 5)
公民教育・人・学問・健康・献身	長義正	6巻10号	35	(R-12)
公民教育及び公民科の公民の意義	長倉矯介	12巻 5号	24	(R-22)
公民教育概念の変遷	谷本富	7巻 9号	33	(R-14)
公民教育が望み見んとする所のものと現に示している所のもの	小野正康	6巻 7号	45	(R-12)
公民教育家録	編輯部	4巻 4号	101	(R- 7)
公民教育関係図書一覧		2巻10号	129	(R- 4)
公民教育近事雑説	建部遯吾	6巻 1号	20	(R-11)
公民教育最近の趨勢	田制佐重	6巻 3号	27	(R-11)
公民教育座談会	相澤熙	2巻 2号	36	(R-3)
公民教育座談会	阿部賢一	2巻 2号	36	(R-3)
公民教育座談会	奥田寛太郎	2巻 2号	36	(R-3)
公民教育座談会	澤本健三	2巻 2号	36	(R-3)
公民教育座談会	澤本孟虎	2巻 2号	36	(R-3)
公民教育座談会	島田青峰	2巻 2号	36	(R-3)
公民教育座談会	田澤義鋪	2巻 2号	36	(R-3)
公民教育座談会	千葉龜雄	2巻 2号	36	(R-3)
公民教育座談会	中川竹洞	2巻 2号	36	(R-3)
公民教育座談会	仲木貞一	2巻 2号	36	(R-3)
公民教育座談会	守武幾太郎	2巻 2号	36	(R-3)

公民教育座談会	守屋 東	2巻 2号 36	(R- 3)
公民教育実施案に就て	梅井 千秋	4巻 2号 89	(R- 7)
公民教育実践としての自治訓練	大内 昌雄	8巻 2号100	(R-15)
公民教育者の矜持	廣濱 嘉雄	10巻10号 1	(R-20)
公民教育者の任務	赤堀 孝	12巻 7号 35	(R-22)
公民教育唱道の由来	谷本 富	3巻 8号 10	(R- 6)
公民教育上の最重要年齢	倉橋 惣三	2巻 1号 12	(R- 3)
公民教育上より見たる洪範の価値	宮瀬 睦夫	10巻 1号 53	(R-19)
公民教育上より見たる神道	深作 安文	7巻 1号 8	(R-13)
公民教育上より見る新聞学習	岡山 光雄	3巻 8号 27	(R- 6)
公民教育的立場より観たる学級経営	上原 務	4巻12号 54	(R- 8)
公民教育と映画	中田 俊造	3巻 8号 16	(R- 6)
公民教育と映画の問題	水谷 徳男	8巻 6号 34	(R-15)
公民教育と学校拡張	井本 農一	9巻12号 24	(R-18)
公民教育と家庭教育	麻生 正藏	4巻 9号 1	(R- 8)
公民教育と郷土教育	山崎 犀二	7巻 3号 1	(R-13)
公民教育と郷土博物館	棚橋 源太郎	3巻 8号 20	(R- 6)
公民教育と経済政策	平 實	7巻 6号 21	(R-13)
公民教育と警察	高橋 雄豹	2巻11号 2	(R- 4)
公民教育と現下世相	小野 源藏	10巻 2号 1	(R-19)
公民教育と言語の修養	保科 孝一	3巻 9号 27	(R- 6)
公民教育と現代	原 房孝	7巻 1号 15	(R-13)
公民教育と公民科	守内 喜一郎	5巻12号 6	(R-10)
公民教育と公民的訓練の徹底	龍山 義亮	1巻 8号 9	(R- 2)
公民教育と国史教育の緊密化	吉江 勵	9巻 8号 83	(R-18)
公民教育と国史の知識	牧 健二	8巻 9号 6	(R-16)
公民教育と国民警察	松井 茂	2巻 4号 2	(R- 3)
公民教育と国民性	大瀬 甚太郎	6巻 7号 2	(R-12)
公民教育と作業教育	堀 七藏	2巻10号 2	(R- 4)
公民教育と思想問題	松本 時雄	1巻 8号 32	(R- 2)
公民教育としての選挙の実習	北村 重敬	5巻 9号 46	(R-10)
公民教育としての大国民教育	鈴木 静穂	12巻 3号 30	(R-22)
公民教育と社会学	早瀬 利雄	6巻 3号 38	(R-11)
公民教育と宗教の問題	松原 寛	2巻 9号 25	(R- 4)

公民教育と修身科	鹿兒島登左	3巻 9号	39	(R- 6)
公民教育と職業指導	水野常吉	1巻 1号	92	(R- 1)
公民教育と新政治体制	植田清次	10巻 8号	19	(R-20)
公民教育と新道德原理	早瀬利雄	9巻 8号	1	(R-18)
公民教育と新聞	有原末吉	3巻 1号	76	(R- 5)
公民教育と政界の浄化	田子一民	2巻 7号	26	(R- 4)
公民教育と生活環境	北原金司	10巻 2号	9	(R-19)
公民教育と其の背景	野崎泰秀	3巻10号	48	(R- 6)
公民教育と其の理論的基礎づけの問題	渡部政盛	10巻 4号	1	(R-19)
公民教育と地方自治政	蠟山政道	1巻 1号	60	(R- 1)
公民教育と道德教育	田制佐重	3巻 5号	11	(R- 5)
公民教育と徳義の複雑性	原田實	6巻 6号	15	(R-11)
公民教育と日本精神	長義正	4巻 1号	21	(R- 7)
公民教育と日本精神の教育	入澤宗壽	4巻 8号	1	(R- 8)
公民教育と日本的性格	渡部政盛	9巻12号	1	(R-18)
公民教育と日本民族学	大藤時彦	10巻11号	16	(R-20)
公民教育と人間性倫理学	馬場啓之助	6巻 7号	21	(R-12)
公民教育とヒューマニズム	平實	9巻 8号	7	(R-18)
公民教育と法律	中川善之助	8巻 4号	1	(R-15)
公民教育と民族国家の完成	平實	8巻 7号	18	★
公民教育と民族主義	長屋喜一	2巻 9号	14	(R- 4)
公民教育と労作教育	平實	8巻 3号	15	(R-15)
公民教育乃至公民科と新体制	長倉矯介	11巻 8号	54	(R-21)
公民教育に於ける大人の模範	佐々木秀一	7巻12号	1	(R-14)
公民教育に於ける教授者の立場	秋田達	4巻 8号	121	(R- 8)
公民教育に於ける實際施設	安部正法	6巻 5号	110	(R-11)
公民教育に於ける児童観	中沼郁	6巻 5号	73	(R-11)
公民教育に於ける職業教育の必要性	谷口政秀	2巻 6号	4	(R- 3)
公民教育に於ける女子職業の問題	奥むめお	2巻 6号	23	(R- 3)
公民教育に於ける数学	下村市郎	3巻 9号	31	(R- 6)
公民教育に於ける帝国憲法の教授を論ず	田淵藤藏	2巻 7号	51	(R- 4)
公民教育に於ける都会と地方	井本農一	9巻 9号	23	(R-18)
公民教育に於ける「都市と農村」に就いて	磯村英一	4巻 9号	75	(R- 8)
公民教育に於ける農村財政 (一)	關田生吉	1巻 2号	53	(R- 1)

公民教育に於ける農村財政 (二)	關田生吉	1巻4号50	(R-1)
公民教育に於ける農村財政 (三)	關田生吉	1巻6号43	(R-2)
公民教育に関する指導案	梅井千秋	3巻12号65	(R-6)
公民教育に対する一提言	相澤秀一	6巻7号39	(R-12)
公民教育に就いて	山下谷次	2巻6号2	(R-3)
公民教育に就て	淺賀辰次郎	3巻3号11	(R-5)
公民教育について	塚原政次	5巻12号4	(R-10)
公民教育による日本精神の涵養	池岡直孝	4巻1号11	(R-7)
公民教育の意義	池岡直孝	1巻1号80	(R-1)
公民教育の一考察	木村美根三	6巻12号65	(R-12)
公民教育の改善充実	川本宇之介	1巻9号10	(R-2)
公民教育の概念と方法	入澤宗壽	3巻6号7	(R-5)
公民教育の過去現在及び将来 (一)	川本宇之介	1巻3号49	(R-1)
公民教育の過去現在及び将来 (二)	川本宇之介	1巻4号66	(R-1)
公民教育の過去現在及び将来 (三)	川本宇之介	1巻5号51	(R-1)
公民教育の過去現在及び将来 (四)	川本宇之介	1巻6号53	(R-2)
公民教育の課題	植田清次	5巻3号61	(R-9)
公民教育の基礎觀念 (一)	木村正義	1巻2号12	(R-1)
公民教育の基礎觀念 (二)	木村正義	1巻4号2	(R-1)
公民教育の基礎觀念 (三)	木村正義	1巻5号2	(R-1)
公民教育の基礎を培へ	北村重敬	6巻3号34	(R-11)
公民教育の究竟的問題	越川彌榮	3巻7号20	(R-6)
公民教育の究極目的	大西佐代吉	5巻5号96	(R-9)
公民教育の行者小林榮先生	宮瀬睦夫	11巻8号23	(R-21)
公民教育の現代的課題	井本農一	9巻4号32	★
公民教育の原理としての連帯責任	深作安文	5巻9号1	(R-10)
公民教育の効果に関する諸問題	松本喜一	1巻4号61	(R-1)
公民教育の五ヶ年計画	読売新聞	2巻9号102	(R-4)
公民教育の今昔		9巻7号42	(R-18)
公民教育の根本方針に就いての一見解	飯野稻城	8巻1号32	(R-15)
公民教育の根本問題	野田義夫	1巻5号7	(R-1)
公民教育の根本問題	田中宗市	4巻8号14	(R-8)
公民教育の最近課題 (一)	上石保教	7巻1号26	(R-13)
公民教育の最近課題 (二)	上石保教	7巻2号42	(R-13)

公民教育の最近課題 (三)	上石保教	7巻 3号 21	(R-13)
公民教育の再検討	入澤宗壽	6巻11号 2	(R-12)
公民教育の再認識	谷本富	6巻 2号 29	(R-11)
公民教育の時局への寄与	廣濱嘉雄	9巻 9号 8	(R-18)
公民教育の実際化	建部遯吾	6巻 9号 2	(R-12)
公民教育の実際と社会浄化について	横尾大次郎	4巻 8号 92	(R- 8)
公民教育の指導精神	東郷實	3巻10号 72	(R- 6)
公民教育の指導精神	亘理章三郎	7巻 3号 4	(R-13)
公民教育の使命管見	湯村惣太郎	3巻 6号 54	(R- 5)
公民教育の使命と映画の任務	西川幸次郎	3巻12号 78	(R- 6)
公民教育の社会的基礎	高山潔	3巻 6号 76	(R- 5)
公民教育の重点と教授要目の改善	稻田正次	6巻10号 11	(R-12)
公民教育の主眼点	林毅陸	5巻 7号 1	(R-10)
公民教育の障害	稻毛金七	6巻 6号 2	(R-11)
公民教育の諸形態と其批判	渡部政盛	6巻 3号 18	(R-11)
公民教育の新基調と現行教授要目	倉澤剛	6巻 8号 39	(R-12)
公民教育の新使命を明かにし朝鮮の公民科要目の精神に及ぶ	鎌塚扶	5巻 6号 27	(R- 9)
公民教育の新心理学的基礎	鈴木徳成	1巻 9号 27	(R- 2)
公民教育の新展望	田制佐重	10巻 4号 22	(R-19)
公民教育の創造	巻頭言	2巻 3号 1	(R- 3)
公民教育の対象としての郷土研究	小田内通敏	1巻 5号 55	(R- 1)
公民教育の立場より青年学校に就いて	金生喜造	5巻10号 44	(R-10)
公民教育の徹底と教育制度	北原金司	6巻11号 26	(R-12)
公民教育の内容改善整備の目標	高瀬莊太郎	6巻 8号 33	(R-12)
公民教育の名と実	岩瀬六郎	9巻 9号 14	(R-18)
公民教育の普及徹底に就いて	粟屋謙	2巻 2号 6	(R- 3)
公民教育の不振と改善	小川正行	6巻 9号 9	(R-12)
公民教育の方針と力点	林胤吉	3巻 9号100	(R- 6)
公民教育の放送に就いて	仲木貞一	2巻 4号 68	(R- 3)
公民教育の方法	植田清次	6巻 3号 67	(R-11)
公民教育の方法と大集団意識の養成	田制佐重	2巻12号 10	(R- 4)
公民教育の方法に於ける三段階	伊東延吉	2巻 3号 12	(R- 3)
公民教育の目標	橋本増吉	4巻 2号 1	(R- 7)
公民教育の目標とその具体化	川原次吉郎	6巻11号 6	(R-12)

公民教育の要諦	徳富猪一郎	2巻 1号 4	(R- 3)
公民教育の要諦	建部 遯吾	8巻 7号 1	(R-16)
公民教育の理念	張 秋 金	6巻 4号 67	(R-11)
公民教育の理念と現実	渡部政盛	12巻 6号 38	(R-22)
公民教育の理論	深作安文	1巻 1号 23	(R- 1)
公民教育の歴史性	海後宗臣	6巻10号 4	(R-12)
公民教育は小学校に於てすべし	遠藤隆吉	6巻 7号 9	(R-12)
公民教育方法としての全村教育	松本定敏	4巻11号 88	(R- 8)
公民教育より見たる学校行事	金子春二	7巻 4号 52	(R-13)
公民教育より見たる現代女子教育の諸難点	赤堀 孝	12巻 3号 66	(R-22)
公民教育より見たる社会的環境の欠陥	川本宇之介	1巻 8号 28	(R- 2)
公民教育理念の社会哲学的考察	早瀬利雄	3巻 3号 36	(R- 5)
公民教育論に現れたる形式主義と時宜主義について	北原金司	7巻 3号 10	(R-13)
公民教育を一層徹底せしめよ	鎌田榮吉	2巻 3号 4	(R- 3)
公民教育を中心として	關口 泰	9巻 6号 7	(R-17)
公民教育を通じて見たる銃後に動く生徒の生活	清岡雅雄	9巻 8号 68	(R-18)
公民教科書読後感	坪内武四郎	3巻 2号103	(R- 5)
公民教材「おち穂ひろい」(上)	松本定敏	2巻 9号 60	(R- 4)
公民教材「おち穂ひろい」(下)	松本定敏	2巻10号 47	(R- 4)
公民教材の生活化	小澤恒一	9巻 2号 12	(R-17)
公民訓練中心の学校経営	佐々忠兵衛	6巻 3号 95	(R-11)
「公民訓練」の提唱と其一例	仙波直心	3巻 1号 71	(R- 5)
公民権の資格要件	青木秀夫	2巻 2号 24	(R- 3)
公民時言	矢野西雄	8巻 5号 80	(R-15)
公民時言	矢野西雄	8巻 6号 89	(R-15)
公民時言	矢野西雄	8巻 7号 86	(R-16)
公民時言	矢野西雄	8巻 9号 90	(R-16)
公民時事	澤本嘉郎	9巻 4号 80	(R-17)
公民時事	澤本嘉郎	9巻 5号 90	(R-17)
公民時事資料		11巻 7号101	(R-21)
公民遵法の要義	泉二新熊	2巻 9号 21	(R- 4)
公民新論の種々	谷本梨庵	5巻 1号 34	(R- 9)
公民生活訓練の実際	荒岡俊文	1巻 9号 72	(R- 2)
公民生活指導の一面としての娯楽及び娯楽機関の統制について	野崎泰秀	4巻 2号 39	(R- 7)

公民生活の指導精神	北原金司	3巻10号	55	(R- 6)
公民生活への契機	綿貫數夫	7巻 1号	124	(R-13)
公民政治及道德の基調 (一)	上石保教	5巻 6号	18	(R- 9)
公民政治及道德の基調 (二)	上石保教	5巻 7号	14	(R-10)
公民政治及道德の基調 (三)	上石保教	5巻 9号	5	(R-10)
公民政治及道德の基調 (四)	上石保教	5巻10号	16	(R-10)
公民精神第一步	原田 實	7巻 8号	64	(R-14)
公民精神の激奨が根本なり	原田 實	2巻12号	2	(R- 4)
公民知徳の再建設	原田義藏	9巻 2号	6	(R-17)
公民的教養の重要性	津山三郎	5巻12号	1	(R-10)
公民的訓練と学校施設	長 義正	5巻 5号	87	(R- 9)
公民的訓練と公民的精神の養成を指せる我が校月曜講話	齋藤ナリ	4巻 8号	100	(R- 8)
公民的訓練の実際	對馬敬五郎	3巻 6号	86	(R- 5)
公民的陶冶を意図したる修身教育	上村文二郎	4巻 8号	46	(R- 8)
公民的判断力の欠乏	川本宇之介	1巻 7号	36	(R- 2)
公民的鍊成	稻毛金七	10巻 3号	1	(R-19)
公民道実践の政治体制	上田庄三郎	11巻 2号	7	(R-21)
公民道德	大島正徳	1巻 1号	48	(R- 1)
公民道德受験記	小寺土平	11巻 2号	98	(R-21)
公民道德小論	有賀敦義	5巻11号	41	(R-10)
公民道德と社会制度	安部磯雄	2巻10号	9	(R- 4)
公民道德より見たる経済諸問題	清岡雅雄	7巻 5号	67	(R-13)
公民道のみち草	松原一彦	8巻 3号	80	(R-15)
公民と国民との別	眞田幸憲	6巻 3号	11	(R-11)
公民としての自覚	朝日融溪	1巻 5号	46	(R- 1)
皇民と新文化	吉川 尚	12巻 6号	18	(R-22)
公民に育つみち	甲藤義治	8巻10号	58	(R-16)
公民の意識徹底へ	川本宇之介	12巻 2号	11	(R-22)
公民の名に恥づる勿れ	遠藤隆吉	11巻 7号	1	(R-21)
公民へまでの発達過程	丸山良二	3巻 5号	65	(R- 5)
皇民鍊成と公民教育	鹿兒島登左	12巻 4号	39	(R-22)
皇民鍊成と公民訓練の問題	馬場孫一朗	10巻 1号	90	(R-19)
公民鍊成と創造性	小澤恒一	12巻 2号	5	(R-22)
公吏醜悪相の診断	中島徳藏	3巻 1号	90	(R- 5)

功利的な余りに功利的な	鈴木文史朗	2巻 8号 51	(R- 4)
公論尊重と菊池武重の家憲	宮瀬 睦 夫	10巻10号 5	(R-20)
公論の基調としての公民	加藤 咄 堂	2巻 1号 53	(R- 3)
五箇条の御誓文謹解	外山 節 夫	9巻 5号 33	(R-17)
故郷の田園	吉田 絃二郎	1巻 1号117	(R- 1)
国語科に於ける公民教育と国語読本に於ける公民的教材	内山 直 治	3巻 9号 61	(R- 6)
国際教育会議物語	相澤 熙	7巻 8号 68	(R-14)
国際事情	田村 眞 一	8巻 1号 94	(R-15)
国際事情	田村 眞 一	8巻 2号 86	(R-15)
国際事情	田村 眞 一	8巻 3号 72	(R-15)
国際事情	田村 眞 一	8巻 4号 85	(R-15)
国際事情	田村 眞 一	8巻 5号 84	(R-15)
国際事情	田村 眞 一	8巻 6号 92	(R-15)
国際事情	田村 眞 一	8巻 7号 90	(R-16)
国際政局と選挙	深作 安 文	9巻 9号 1	(R-18)
国際大地区主義と日本の責任	杉森 孝次郎	7巻10号 1	(R-14)
国際的地位の躍進と公民教育	龍山 義 亮	5巻 4号 1	(R- 9)
国際連盟の平和維持に関する行動	永井三樹三	3巻 1号 22	(R- 5)
国策と教育	倉澤 剛	12巻 5号 37	(R-22)
国策と財政の現局面	諸藤 良 山	6巻10号 64	(R-12)
国策の根本義としての文教の振興	茗溪会教育制度調査部	5巻 5号106	(R- 9)
国史教育に於て公民教育を如何に考うべきか	加藤 虎 男	4巻 8号 85	(R- 8)
国史より観たる我が国体	徳富猪一郎	5巻11号 30	(R-10)
国体・憲法と新体制	稻田 正 次	10巻 9号 42	(R-20)
「国体」の意義について	奥田寛太郎	6巻 4号 7	(R-11)
国体観念と公民教育	野田 義 夫	6巻 3号 2	(R-11)
国体とは如何なるものたるかを知る依憑とその順序に就て	小野 正 康	12巻 6号 26	(R-22)
国体の非合理的性質と公民科	伊藤 和 衛	7巻11号 98	(R-14)
「国体の本義」と改正公民科教授要目	菊池 次 男	7巻11号105	(R-14)
国体の本義の明徴と公民科との関係	樋田豊太郎	7巻 9号 1	(R-14)
国体明徴と公民科	池岡 直 孝	5巻11号 6	(R-10)
国体明徴と国民精神の作興	松井 茂	6巻 6号106	(R-11)
国体明徴に基く公民科の取扱	池岡 直 孝	6巻 5号 26	(R-11)
国定算術書に現れたる公民的教材とその取扱	牛腸 武	4巻 8号 72	(R- 8)

国土計画と公民教育	平 實	11巻 6号 8	(R-21)
国防国家と公民教育	渡部政盛	8巻 5号 6	(R-15)
国防国家と公民教育	植田清次	11巻 7号 16	(R-21)
国防と外交	渡部政盛	11巻 2号 1	(R-21)
国防保安法案全文		11巻 3号 84	(R-21)
国民皆兵制と帝国の国防	關根郡平	3巻 2号 65	(R- 5)
国民皆兵総突撃	永井柳太郎	9巻 3号 85	(R-17)
国民学校教則案説明要領	文 部 省	10巻 8号 78	(R-20)
国民学校と公民教育	稻毛金七	11巻 4号 1	(R-21)
国民学校と公民教育	安部隆範	11巻 5号 32	(R-21)
国民学校令		11巻 2号100	(R-21)
国民学校令施工規則		11巻 3号 99	(R-21)
国民教育・公民教育及郷土教育	小川正行	3巻 5号 4	(R- 5)
国民教育と小公民を作る教育	野村芳兵衛	3巻 5号 81	(R- 5)
国民教材の総合的取扱	小澤恒一	10巻 2号 17	(R-19)
国民経済学に於ける目的論	宮田喜代藏	8巻 8号 31	(R-16)
国民警察法制定の緊要	荒川五郎	2巻 2号 96	(R- 3)
国民健康保険に就て	清水玄	8巻11号 48	(R-16)
国民思想統一の所在	西 晋一郎	4巻 8号 21	(R- 8)
国民思想動搖の原因をたづねて昭和維新の指導精神に及ぶ	大杉謹一	6巻 5号 21	(R-11)
国民主義・人民主義と我が国	杉森孝次郎	6巻10号 2	(R-12)
国民精神総動員と公民教育	野崎泰秀	7巻10号 32	(R-14)
国民精神総動員と職業指導	内ヶ崎作三郎	7巻12号 97	(R-14)
国民精神総動員に就いて	安井英二	7巻10号 84	(R-14)
国民精神文化研究所行脚録 (一)	せきだ生	4巻10号127	(R- 8)
国民精神文化研究所行脚録 (二)	せきだ生	4巻11号124	(R- 8)
国民精神文化研究所行脚録 (三)	せきだ生	4巻12号118	(R- 8)
国民体位の向上と現代生活の実相	前田若尾	7巻 9号 66	(R-14)
国民的理想の建設	巻 頭 言	1巻 3号 1	(R- 1)
国民登録制の実施に就て	岡田文秀	9巻 2号 33	(R-17)
国民の教育	西 晋一郎	5巻 7号 33	(R-10)
国務大臣	松波仁一郎	2巻 7号 33	(R- 4)
国務大臣と枢密顧問	井下田繁雄	9巻 3号116	(R-17)
御神勅に基く公民教育の徹底	北村重敬	7巻 2号 22	(R-13)

御側近に奉仕して	奈良武次	7巻 1号 64	(R-13)
古代に於ける公民なる語の復活は即ち生々のなり	遠藤隆吉	8巻 8号 1	(R-16)
国家及皇室と臣民	大島正徳	2巻 4号 46	(R- 3)
国家主義と国際主義	巻頭言	1巻 6号 1	(R- 2)
国家精神の涵養	池岡直孝	5巻 3号 39	(R- 9)
国家総動員と青少年訓練	永田鐵山	5巻 9号 50	(R-10)
国家総動員の態勢に就いて	松井春生	7巻11号 33	(R-14)
国家総動員法改正案全文		11巻 2号 79	(R-22)
国家総動員法第十一条の発動に就て	大野龍太	9巻 5号 78	(R-17)
国家と道德 (上)	伊藤榮四郎	11巻 7号 44	(R-21)
国家と道德 (中)	伊藤榮四郎	11巻 8号 32	(R-21)
国家と道德 (下)	伊藤榮四郎	11巻 9号 12	(R-21)
国家と法に就いて	及川儀右衛門	6巻 6号 28	(R-11)
国家の教育性	稻毛金七	11巻10号 1	(R-21)
国家の為に我々の為に	田澤義鋪	5巻 9号120	(R- 9)
国家の本質と国家主義	鶴藤幾太	5巻10号 6	(R-10)
国家不滅の立脚点	徳富猪一郎	6巻 6号 72	(R-11)
国家倫理論	大串兎代夫	10巻12号 1	(R-20)
子供と時局の認識	中野佐三	11巻 6号 90	(R-21)
子供の心親知らず	平田のぶ	2巻 7号 76	(R- 4)
子供の社会性と公民教育	尾高豊作	9巻 2号 19	(R-17)
近衛首相、経済新体制翼賛会の性格説明		11巻 2号108	(R-21)
コミンテルンの概貌と日独協定	山路章	7巻 1号 85	(R-13)
これを如何せんこれを如何せん	田川大吉郎	1巻 7号 22	(R- 2)
今議会に現れた義務教育問題	清岡雅雄	10巻 4号 28	(R-19)
今議会を通過した法律案	森山鋭一	10巻 4号 60	(R-19)
今期議会を通過したる重要法律案	樋貝詮三	7巻 9号 51	(R-14)
今期議会を通過したる法律案に就いて	樋貝詮三	9巻 4号 53	(R-17)
今次の総選挙と公民教育	小野源藏	6巻 4号 76	(R-11)
今昔頭陀袋	岡村喜代志	3巻 1号 83	(R- 5)
今日の農村問題の種々相 (一)	赤座光市	5巻11号 99	(R-10)
今日の農村問題の種々相 (二)	赤座光市	6巻 1号 96	(R-11)
今日の農村問題の種々相 (三)	赤座光市	6巻 3号114	(R-11)
今日の問題	下村二郎	8巻 2号110	(R-15)

今日の問題	下村二郎	8巻 3号 84	(R-15)
今日の問題	下村二郎	8巻 4号 93	(R-15)
今日の問題解説	關田生吉	7巻 3号 89	(R-13)
今日の問題解説	關田生吉	7巻 4号 98	(R-13)
今日の問題解説	關田生吉	7巻 5号 118	(R-13)
今日の問題解説	關田生吉	7巻 6号 62	(R-13)
今日の問題解説	關田生吉	7巻 7号 95	(R-14)
今日の問題解説	關田生吉	7巻 8号 74	(R-14)
今日の問題解説	關田生吉	7巻 9号 78	(R-14)
根本は教科書の理解	岡井勝美	3巻 10号 104	(R-6)

さ

再教育の生産能率		1巻 5号 68	(R-1)
再教育の生産能率 (二)		1巻 6号 79	(R-2)
再教育の生産能率 (三)		1巻 7号 114	(R-2)
最近に於ける社会学の問題相	新明正道	3巻 4号 29	(R-5)
最近に於けるソ連の外交大観	山岡道武	4巻 9号 61	(R-8)
最近に於けるソ連の外交大観	山岡道武	4巻 10号 89	(R-8)
最近の欧米を見て	阿部宗高	3巻 2号 82	(R-5)
最近の本誌に寄せて	田制佐重	7巻 6号 37	(R-13)
最近我が国に於ける健民運動	朝原梅一	12巻 5号 93	(R-22)
再検討の要ある倫理道德	木下喬夫	4巻 5号 95	(R-7)
最新立憲政治学説の傾向	今中次磨	3巻 7号 2	(R-6)
裁縫科に於ける公民科的内容の取扱	中澤かすめ	3巻 6号 93	(R-5)
細民に対する公民的訓練	清水虎男	2巻 9号 68	(R-4)
作業科に於ける公民的訓練	鈴木静穂	3巻 9号 55	(R-6)
札幌の印象	記者	1巻 6号 88	(R-2)
佐藤一齋の「言志四録」に現れたる師道精神に就いて	鎌塚扶	10巻 7号 10	(R-20)
左右に傾く現代の悪思想の善導について	西山哲治	2巻 7号 5	(R-4)
サラリーマンの生活標準の調査	社会局社会部	2巻 7号 61	(R-4)
産業組合主義実習教授の実例	稲葉豊次郎	5巻 7号 92	(R-10)
産業組合精神に就て	紬木志雄	4巻 12号 7	(R-8)
産業組合の現在と将来	千石興太郎	3巻 12号 2	(R-6)

産業組合の保険事業を中心として	有馬頼寧	10巻 3号 46	(R-19)
産業公民訓練を主としたる学校教員の実務修養	景山鹿造	1巻 2号 92	(R- 1)
三国同盟成立と米国	徳富蘇峰	10巻11号 62	(R-20)

し

資格試験としての文検公民科への要望	砥上峰次	6巻10号127	(R-12)
刺客は公民教育の欠陥より生る	奥田寛太郎	2巻 3号 61	(R- 3)
持久戦対処の公民教育	田制佐重	8巻 2号 7	(R-15)
時局・青年・公民教育	小野源藏	8巻 3号 1	(R-15)
時局下公民教育の重要性	井本農一	10巻 9号 50	★
時局下に於ける青年学校修身及公民科指導の一課題	島崎晴吉	10巻 5号 18	(R-19)
時局下に於ける我校の公民訓練	馬場孫一朗	9巻11号102	(R-18)
時局下の映画による公民教育	宮崎和男	8巻 6号 49	(R-15)
時局下の経済問題に就いて	木村増太郎	8巻11号 59	(R-16)
時局教育の意義とその方法	小尾範治	9巻 1号 14	(R-17)
時局と簡易保険制度の改正	小野 猛	8巻11号 45	(R-16)
時局と航空に関する公民教育	安達堅造	3巻 2号 71	(R- 5)
時局と公民科教育の新動向	菊池次男	8巻 9号 56	(R-16)
時局と公民教育	武部欽一	3巻 1号 5	(R- 5)
時局と公民教育	深作安文	11巻 5号 1	(R-21)
時局と公民教育(上)	廣濱嘉雄	9巻 6号 11	(R-17)
時局と公民教育の一断想	田中子葉	8巻 7号 50	(R-16)
時局と公民教育の再吟味	太田 博	9巻 8号 77	(R-18)
時局と公民教育の実践	龍山義亮	7巻11号 4	(R-14)
時局と国際宣伝	田代重徳	7巻11号 40	(R-14)
時局と今後の教育への反省	相澤秀一	8巻 1号101	(R-15)
時局と事上錬磨の教育	關口 泰	8巻10号 51	(R-16)
時局と政治教育の喫緊	渡邊 保	11巻 7号 58	(R-21)
時局と政治教育の重要性	石坂豊一	3巻 5号 2	(R- 5)
時局と青年	後藤文夫	9巻11号 43	(R-18)
時局と満州移民	安井誠一郎	7巻11号 48	(R-14)
時局に協力する公民科の態度	松田克三	8巻 9号 77	(R-16)
時局に処する檢察の運用	松阪廣政	11巻10号 20	(R-21)

時局に処する国民の覚悟	近衛文麿	7巻10号	72	(R-14)
時局に対する公民教育の方法	杉森孝次郎	2巻7号	2	(R-4)
時局の新段階認識資料		8巻12号	86	(R-16)
時局の迫力と公民教育の反省	入澤宗壽	7巻11号	1	(R-14)
時局を巡る公民教育	鈴木静穂	10巻1号	8	(R-19)
時事解説三題	寺田瑛	6巻9号	46	(R-12)
時事問題、社会問題に対する女子学生の関心	有原末吉	4巻3号	92	(R-7)
静岡の思い出	田中貢太郎	2巻6号	72	(R-3)
市制町村制御上諭を拝誦して	水野鍊太郎	8巻5号	49	(R-15)
思想傾向と教育家の任務	長谷川如是閑	4巻3号	11	(R-7)
思想対策と教育方針	山榊儀重	3巻10号	2	(R-6)
思想問題と公民教育	龍山義亮	4巻3号	16	(R-7)
氏族制度と家族制度とに関して	山崎犀二	5巻5号	27	(R-9)
氏族制度崩壊と家族制度発達	川野敏夫	5巻9号	73	(R-10)
自治体の党弊と婦人公民権	齋藤隆夫	1巻7号	13	(R-2)
実業学校修身科教授要目		1巻2号	126	(R-1)
実業学校の特異性と公民科教科書	菊池次男	7巻9号	95	(R-14)
実業教育と公民精神	平實	9巻3号	29	(R-17)
実業補習学校に於ける公民教育	氷川清一	2巻1号	38	(R-3)
実業補習学校に於ける公民教育と公民的訓練	田淵藤藏	4巻7号	82	(R-8)
実際指導より観たる青年学校修身及公民科の一考察	島崎晴吉	9巻5号	23	(R-17)
実際より観たる鉄道運賃	鈴木清秀	2巻10号	83	(R-4)
実際より観たる鉄道運賃	鈴木清秀	2巻11号	54	(R-4)
実際より観たる鉄道運賃	鈴木清秀	2巻12号	50	(R-4)
実践的公民教育としての集団勤行	鶴岡彌	8巻9号	47	(R-16)
実践的翼賛選挙教育問答	佐々木良助	12巻4号	89	(R-22)
してやられた私	小野源藏	7巻8号	61	(R-14)
児童虐待防止法の解説(上)	杉田三郎	3巻10号	78	(R-6)
児童虐待防止法の解説(下)	杉田三郎	3巻11号	86	(R-6)
児童生徒の校外生活指導	松本浩記	6巻10号	83	(R-12)
児童の公民的生活	鹿兒島登左	1巻3号	60	(R-1)
児童の实际的公民教育	古川秀雄	1巻9号	49	(R-2)
支那共産軍に就いて	陸軍省新聞班	7巻1号	99	(R-13)
支那最近の社会教育の概況	中原孝治	7巻4号	109	(R-13)

支那最近の政情	大西 齋	3巻 5号 60	(R- 5)
支那事変と公民教育の立場	及川儀右衛門	7巻10号 38	(R-14)
支那事変と国民精神	建 部 遯 吾	7巻12号 12	(R-14)
支那事変と非常時公民教育	川原次吉郎	7巻10号 17	(R-14)
支那事変の意義	陸軍省情報部	10巻 3号 36	(R-19)
支那事変の意義と大亜細亜主義	松 井 石 根	9巻 1号 74	(R-17)
支那事変の解決と公民教育	宮 本 哲 僊	10巻 3号 91	(R-19)
支那事変の認識と戦争の本質	奥田寛太郎	7巻10号 3	(R-14)
支那に於ける英米の策動	堀 公 一	12巻 7号 81	(R-22)
支那に対する我等の態度	有 吉 明	6巻12号 85	(R-12)
支那の海関に就いて	高 木 陸 郎	8巻 1号 47	(R-15)
支那の国難を語る	長 尾 和 生	2巻12号 75	(R- 4)
支那の租界制度に就いて	前 原 光 雄	8巻 1号 56	(R-15)
支那風景	長 尾 和 生	1巻 9号 52	(R- 2)
師範学校宗教科に就て	鶴 藤 幾 太	12巻 4号 83	(R-22)
師範学校二部公民科と其の取扱	井 原 孝 一	6巻11号 48	(R-12)
師範教育の改善	卷 頭 言	2巻 2号 1	(R- 3)
師範公民書(下巻)に就いて	樋田豊太郎	10巻 9号 31	(R-20)
師範公民書編纂の趣旨	樋田豊太郎	9巻 8号 35	(R-18)
師範公民書を読みて	長 倉 矯 介	10巻 6号 9	(R-19)
時弊の匡救	卷 頭 言	1巻 4号 1	(R- 1)
事変解決の鍵	徳 富 蘇 峰	8巻 8号 82	(R-16)
事変下公民教育上反省すべき公民的欠陥	渡 部 政 盛	10巻12号 83	(R-20)
事変下に於ける公民教育我観	近 藤 恭 一 郎	8巻 2号 35	(R-15)
事変下に於ける公民教育の実践	太 田 博	8巻 1号108	(R-15)
事変下に於ける職業の問題	倉 橋 定	8巻12号 45	(R-16)
事変後の支那の実情	松 本 忠 雄	7巻10号 51	(R-14)
事変と公民教育への反省	渡 部 政 盛	7巻12号 27	(R-14)
事変と国民の協力一心	馬 場 鎂 一	7巻10号 76	(R-14)
事変と職業の動き	近 藤 壤 太 郎	8巻 2号 51	(R-15)
事変の意義と国家理念の拡大	大 串 兎 代 夫	8巻11号 1	(R-16)
事変の新段階に処する政府の所信	近 衛 文 麿	8巻 2号 74	(R-15)
私法生活と公民道徳	廣 濱 嘉 雄	2巻 5号 46	(R- 3)
司法に就いて	清 水 澄	1巻 7号 6	(R- 2)

司法の運用と国民の協働	小原直	6巻9号64	(R-12)
司法の独立と国民の協力	泉二新熊	9巻12号34	(R-18)
島	高橋幸雄	12巻7号96	(R-22)
ジャーナリズムと教育	池岡直孝	2巻5号8	(R-3)
ジャーナリズムの欠陥	巻頭言	2巻5号1	(R-3)
ジャーナリズムの大衆化	後藤武夫	2巻5号18	(R-3)
社会意識と公民教育	後藤政一	2巻1号34	(R-3)
社会化された学級とは果してどんなものか	山本二郎	7巻3号119	(R-13)
社会教育概念の一考察	不破祐俊	8巻5号16	(R-15)
社会教育に於ける公民教育	稲毛金七	4巻10号1	(R-8)
「社会教育に関する件」答申	教育審議会	11巻8号65	(R-21)
「社会教育に関する件」答申説明要領	教育審議会特別委員長	11巻8号73	(R-21)
社会構成意識に於ける人及人格	荻野喜三郎	1巻9号30	(R-2)
社会主義並に自由主義に対するファシストサンディカリズム	E. ロッソーニ	3巻8号78	(R-6)
社会人としてのイギリス人	岡本かの子	2巻8号41	(R-4)
社会信念と仏教の願行	矢吹慶輝	1巻2号5	(R-1)
社会生活と公民意識	岡實	1巻1号12	(R-1)
社会正義と公民教育	平實	7巻12号36	(R-14)
社会政策的施設とその意義	長谷孝之	5巻1号92	(R-9)
社会政策に於ける指導精神の転換	長谷孝之	4巻3号71	(R-7)
社会的成層より観たる職業とその教育的指導	野崎泰秀	5巻11号52	(R-10)
社会と保険	末高信	5巻5号50	(R-9)
社会不安と貧乏並びにその訓練	飯野稻城	6巻6号4	(R-11)
社団法人帝国公民教育協会設立の趣旨	巻頭言	1巻1号1	(R-1)
修・公統合論の根拠を観る	近藤恭一郎	8巻4号29	(R-15)
十一年度公民科口述の発問要項	砥上峰次	7巻5号138	(R-13)
縦観公民教育・修正公民科	上石保教	5巻8号12	(R-10)
衆議院議員選挙法改正案要綱		2巻9号77	(R-4)
宗教教育の問題と国民教育	長義正	7巻1号41	(R-13)
宗教教育問題と公民科の宗教	川村精治	3巻7号61	(R-6)
宗教団体法案に就て	松尾長造	9巻2号35	(R-17)
宗教と教育	鶴藤幾太	3巻7号54	(R-6)
宗教の取扱に就ての卑見	飯岡朗	3巻7号82	(R-6)
宗教を求める心	江上利生	4巻12号1	(R-8)

銃後の貯蓄報国	石渡 莊太郎	8巻 6号 69	(R-15)
私有財産制度の経済的意義	堀 經夫	4巻 7号 1	(R-8)
私有財産制度の社会的意義	河村 只雄	4巻10号 23	(R-8)
自由主義経済の功罪と新体制下の経済理念について	清岡 雅雄	10巻11号 10	(R-20)
自由主義の公民教育 (一)	早瀬 利雄	7巻 1号 55	(R-13)
自由主義の公民教育 (二)	早瀬 利雄	7巻 2号 64	(R-13)
自由主義の公民教育 (三)	早瀬 利雄	7巻 3号 82	(R-13)
修身及公民科教授及訓練の批判と希望	田淵 藤藏	8巻 9号 40	(R-16)
修身及公民科と時局下の青年学校	加藤 春二	8巻 9号 84	(R-16)
修身及公民科の映画化に就て	棚倉 純二	8巻 6号 40	(R-15)
修身及公民科の授業を見て	千葉 敬止	10巻 1号 67	(R-19)
修身及公民科要目実施上の注意	山口 啓市	8巻 1号 42	(R-15)
修身及公民科要目の実際的取扱	田淵 藤藏	7巻 7号 24	(R-14)
修身科・公民科の分離統合の問題	草場 弘	12巻 5号 57	(R-22)
修身科と公民科との関係	荻原 擴	6巻 1号 4	(R-11)
修身科と公民科との統合問題	池岡 直孝	8巻 1号 21	(R-15)
修身科と公民科の相関と新要目	伊藤 和衛	7巻 7号 40	(R-14)
修身教材の三分類と公民科との関係	松田 克三	7巻 7号 50	(R-14)
集団勤労作業に就いて	松岡 忠一	8巻11号 28	(R-16)
集団勤労奉仕の教育的意義	山本 正次	9巻 9号 62	(R-18)
自由と統制及平等	清原 貞雄	2巻 5号 58	(R- 3)
十年度文検公民科を受験して	田林 豊次	5巻11号130	(R-10)
肅正選挙から見た公民教育的收穫	松原 一彦	12巻 7号 12	(R-22)
受験者に望む	氣賀 勘重	4巻 1号 80	(R- 7)
受験を通して見た公民科	松尾 信資	4巻 3号123	(R- 7)
趣味の法律	片山 義雄	9巻 4号 77	(R-17)
趣味の法律	片山 義雄	9巻 5号 85	(R-17)
趣味の法律	片山 義雄	9巻 6号 82	(R-17)
趣味の法律	片山 義雄	9巻 7号 99	(R-18)
趣味の法律	片山 義雄	9巻 8号 91	(R-18)
趣味の法律	片山 義雄	9巻 9号 76	(R-18)
趣味の法律	片山 義雄	9巻10号 94	(R-18)
趣味の法律	片山 義雄	9巻11号 98	(R-18)
趣味の法律	片山 義雄	9巻12号 85	(R-18)

趣味の法律	片山義雄	10巻 1号	94	(R-19)
趣味の法律	片山義雄	10巻 2号	90	(R-19)
趣味の法律	片山義雄	10巻 3号	94	(R-19)
趣味の法律	片山義雄	10巻 4号	82	(R-19)
趣味の法律	片山義雄	10巻 5号	75	(R-19)
趣味の法律	片山義雄	10巻 6号	96	(R-19)
趣味の法律	片山義雄	10巻 7号	73	(R-20)
趣味の法律	片山義雄	10巻 8号	76	(R-20)
趣味の法律	片山義雄	10巻10号	93	(R-20)
趣味の法律	片山義雄	10巻11号	70	(R-20)
趣味の法律	片山義雄	10巻12号	80	(R-20)
趣味の法律	片山義雄	11巻 1号	80	(R-21)
趣味の法律	片山義雄	11巻 2号	68	(R-21)
趣味の法律	片山義雄	11巻 3号	68	(R-21)
趣味の法律	片山義雄	11巻 4号	70	(R-21)
趣味の法律	片山義雄	11巻 5号	102	(R-21)
趣味の法律	片山義雄	11巻 7号	98	(R-21)
趣味の法律	片山義雄	11巻 8号	88	(R-21)
趣味の法律	片山義雄	11巻 9号	58	(R-21)
趣味の法律	片山義雄	11巻10号	50	(R-21)
春日抄	池田孝次郎	2巻 1号	121	(R- 3)
準備教育の問題	巻頭言	3巻12号	1	(R- 6)
遵法精神	小山松吉	12巻 4号	25	(R-22)
上越の旅	島田青峰	2巻 1号	128	(R- 3)
蔣介石政權を巡る支那の現状	高橋俊吉	6巻 5号	57	(R-11)
常会と公民教育	山田義雄	12巻 7号	46	(R-22)
小学校教員検定公民科の講評	秋田達	5巻10号	96	(R-10)
小学校教員の思想問題	岡田恒輔	3巻 1号	17	(R- 5)
小学校公民教育一年間の指導計画案	岩瀬六郎	4巻 4号	29	(R- 7)
小学校公民教育の振興方法	山崎博	6巻 1号	63	(R-11)
小学校児童と公民教育	黒崎悦子	2巻 7号	83	(R- 4)
小学校長の優遇案	東京日日新聞	2巻 5号	120	(R- 3)
小学校に於ける公民教育	佐々木秀一	2巻 8号	13	(R- 4)
小学校における公民教育について	廣濱嘉雄	6巻 2号	49	(R-11)

小学校に於ける公民教育の充実	山崎 犀 二	6巻 1号 60	(R-11)
小学校に於ける公民教育の重点	山本 二郎	6巻11号 42	(R-12)
小学校に於ける公民的訓練	岩瀬 六郎	3巻 2号 45	(R- 5)
小学校に於ける公民的訓練に就て	細谷 章	3巻11号 48	(R- 6)
小学校に於ける児童融和教育の具体的方法	藤 範 晃	3巻 3号 62	(R- 5)
小学校に於ける模擬選挙投票	菅原 留治	6巻 1号103	(R-11)
小学校の公民教育に於いて徹底せられねばならぬもの	内山 直治	6巻 3号 80	(R-11)
小学校の公民的訓練	堀之内 恒夫	3巻 5号 72	(R- 5)
商業学校に於ける公民科教授と公民的訓練	川原 興作	4巻 5号 27	(R- 7)
商業学校の特質と公民科要目批判	荒木 直	6巻 8号 76	(R-12)
商業教育に於ける公民科と商業法規	金井 浩	1巻 2号 24	(R- 1)
商業都市の公民教育	田淵利一郎	3巻 8号 89	(R- 6)
詔書		12巻 1号 2	(R-22)
聖徳太子憲法の精神	松本彦次郎	1巻 3号 10	(R- 1)
聖徳太子と日本教育	福島 政雄	7巻 1号 76	(R-13)
少年休養施設の試み	朝原 梅一	11巻 9号 35	(R-21)
消費経済と公民教育	間賀 卓次	10巻 2号 86	(R-19)
消費の節約と国民の覚悟	村瀬 直養	8巻 7号 94	(R-16)
昭和八年度壮丁教育調査に於ける公民科の概況		4巻10号123	(R- 8)
昭和八年度予算の解説及批判	青木 得三	3巻 1号 8	(R- 5)
昭和十一年の教育年評	上田庄三郎	6巻12号 77	(R-12)
昭和十二年度本試問題とその感想	佐藤 久治	8巻 3号127	(R-15)
昭和十二年度予算の解説	中島彌團次	7巻 1号 92	(R-13)
昭和十三年の公民教育	稻毛 金七	8巻 1号 4	(R-15)
昭和十四年度予算の話	大野 龍太	9巻 4号 46	(R-17)
昭和十五年度全国専門学校公民科入学試験問題調	編輯 部	10巻 7号 77	(R-20)
昭和十五年度予算について	大野 龍太	10巻 1号 72	(R-19)
昭和の神風	相澤 熙	9巻10号 81	(R-18)
女学校と公民教育	嘉悦 孝子	2巻 4号 30	(R- 3)
女学校に於ける公民科二、三の問題	小柳勝太郎	5巻 6号 97	(R- 9)
女学校に於ける公民科の難点	古林 光雄	2巻 6号 74	(R- 3)
諸科目の教授による公民教育	眞田 幸憲	2巻 8号 2	(R- 4)
職業指導と其の施設	鈴木 信	5巻 6号 56	(R-9 )
職業選択に就ての一考察	秋田 達	2巻12号 43	(R- 4)

職業道德と公民教育	大伴 茂	4巻 7号 62	(R- 8)
職業とその分野の変遷	戸田 貞三	8巻10号 18	(R-16)
職業と道德	小林 澄兄	5巻 6号 54	(R- 9)
職業について	廣濱 嘉雄	4巻11号 16	(R- 8)
職業問題の展望	増田 抱村	2巻 6号 9	(R- 3)
女子公民科に関する諸問題	小泉 郁子	2巻 4号 32	(R- 3)
女子公民科の実施について	三輪田元道	2巻 4号 24	(R- 3)
女子公民教育について	藤田 たき	2巻 4号 42	(R- 3)
女子公民教育の重要性	間賀 卓次	9巻 8号 73	(R-18)
女子公民教育の方法について	宮田 脩	2巻 8号 11	(R- 4)
女子と公民科	市川 源三	2巻 1号 18	(R- 3)
女子の公民教育	巻 頭 言	2巻 4号 1	(R- 3)
女子の公民教育	槇山 榮次	2巻 4号 19	(R- 3)
女子の公民的覚醒	深作 安文	10巻 5号 1	(R-19)
女子の政治的関心と公民教育	黒崎 悦子	6巻 2号 23	(R-11)
女子の二大特性と情操教育 (上)	中川 竹三	2巻 5号 62	(R- 3)
女子の二大特性と情操教育 (下)	中川 竹三	2巻 6号 84	(R- 3)
庶政一新の真意義	山道 襄一	6巻10号 77	(R-12)
女性の社会的地位と公民教育	武部 欣一	2巻 4号 9	(R- 3)
初等中等高等の各段階の体育		1巻 5号 64	(R- 1)
白川村の大家族制度	中村 正治	7巻12号 51	(R-14)
自力更生教化運動と農村青年	前川 周太郎	2巻11号 83	(R- 4)
新意識に於ける公民科教授	鶴岡 彌	12巻 3号 86	(R-22)
心学教化概観	石川 謙	1巻 7号 46	(R- 2)
心学教化の普及	石川 謙	1巻 8号 54	(R- 2)
新家庭教育訓	文部 省	12巻 3号111	(R-22)
神祇教育に含まるる諸要素	鶴藤 幾太	5巻 4号 9	(R- 9)
新教育と公民教育	野口 援太郎	6巻 1号 15	(R-11)
新経済倫理と公民教育	平 實	12巻 4号 20	(R-22)
新興ドイツの教育断片	奈良岡良二	7巻 8号 81	(R-14)
人口問題と国際関係の動向	那須 皓	7巻 2号 71	(R-13)
人事相談事務の概要	及川 常平	3巻 1号 95	(R- 5)
新時代に対応する飛躍「公民教育」の新陣容		8巻 4号102	(R-15)
新時代の公民教育と映画	中田 俊造	8巻 6号 29	(R-15)

新時代の世界観	佐藤慶二	12巻 2号 27	(R-22)
人事調停の話	山崎一郎	10巻 4号 76	(R-19)
神社	寺本慧達	1巻 5号 25	(R- 1)
神社と公民教育	石田馨	2巻 7号 30	(R- 4)
神社と公民教育上の一考察	河野省三	5巻 7号 75	(R- 9)
神社と宗教	巻頭言	3巻 7号 1	(R- 6)
神社の本質と宗教	江上利生	5巻 7号 69	(R- 9)
新春の思索	新居格	5巻 1号 37	(R- 9)
尋常小学校に於ける公民教育に就て	堀田静	3巻 2号 56	(R- 5)
新生共産党事件	深作安文	3巻 2号 23	(R- 5)
新政治体制と公民教育	渡部政盛	10巻 9号 12	(R-20)
新政治体制と公民教育的「課題」	野崎泰秀	10巻 9号 1	(R-20)
新政治体制と公民教育の発展	上田庄三郎	10巻 8号 14	(R-20)
新制修身及公民科要目と指導の実際	鹿兒島登左	7巻 8号 23	(R-14)
新制青年学校と公民科	鹿兒島登左	5巻 3号 47	(R- 9)
人生に宗教は何故必要か	鶴藤幾太	4巻 9号 33	(R- 8)
心臓の強弱	志垣寛	8巻 8号 62	(R-16)
親族法に就ての若干の考察	土屋四郎	5巻 4号 35	(R- 9)
新体制下青少年学徒の指導的態度	北原金司	10巻10号 19	(R-20)
新体制下に於ける公民教育の任務	小澤恒一	10巻 9号 7	(R-20)
新体制下の心構へと家の精神	川野敏夫	11巻 9号 77	(R-21)
新体制下の中小商工業問題	山本生	10巻11号 74	(R-20)
新体制と教育的視野の拡大	石山脩平	10巻11号 6	(R-20)
新体制と公民科教材との関係	太刀川判次	11巻 2号 84	(R-21)
新体制と公民科教授要目	菊池次男	11巻 3号 49	(R-21)
新体制と公民教育	棚倉純二	11巻 4号 59	(R-21)
新体制と公民教育の指標	稻毛金七	10巻 8号 9	(R-20)
新体制と公民教育の着眼	及川儀右衛門	10巻 8号 1	(R-20)
新秩序建設と更生支那の指導理念	荻原擴	9巻 5号 9	(R-17)
神道の二面観	加藤玄智	1巻 4号 34	(R- 1)
新読本に関連して	巻頭言	3巻 4号 1	(R- 5)
新読本の編纂方針に就て	芝田徹心	3巻 4号 4	(R- 5)
新年の革命	五來素川	5巻 1号 32	(R- 9)
真の家庭教育とは何か	倉橋惣三	2巻 8号 5	(R- 4)

神仏教団めぐり (一)	江 南 生	2巻 3号 86	(R- 3)
新聞紙と教育	千 葉 龜 雄	2巻 5号 20	(R- 3)
新聞大学講座 (一)	棟 尾 松 治	2巻 1号 74	(R- 3)
新聞大学講座 (二)	棟 尾 松 治	2巻 2号 86	(R- 3)
新要目準拠公民科教授細目案 (上)	秋 月 兼 一	8巻 3号108	(R-15)
新要目準拠公民科教授細目案 (下)	秋 月 兼 一	8巻 5号 69	(R-15)
新要目に於ける家の生活の意味	戸 田 貞 三	7巻 7号 14	(R-14)
新要目に於ける修・公関係の検討	近 藤 恭 一 郎	7巻 7号 32	(R-14)
新要目の「国民生活」及「国民経済」	藤 本 幸 太 郎	7巻 6号 1	(R-13)
新理想主義と公民教育	米 田 稔	4巻11号 84	(R- 8)
新理想主義の社会観		1巻 5号 58	(R- 1)
新理想主義の社会観	吉 田 通 達	1巻 6号 65	(R- 2)
新緑に酔うて	鳥 田 青 峰	1巻 3号 84	(R- 1)

## す

随感	安 井 哲 子	2巻 1号 56	(R- 3)
垂教聖諭の深厚と臣下奉体の至誠	鎌 塚 扶	11巻 1号 22	(R-21)
垂教聖諭の深厚と臣下奉体の至誠 (二)	鎌 塚 扶	11巻 2号 17	(R-21)
垂教聖諭の深厚と臣下奉体の至誠 (三)	鎌 塚 扶	11巻 3号 23	(R-21)
数学教育より見たる公民教育の展開	二 之 宮 英 雄	11巻10号 27	(R-21)
枢密顧問	松 波 仁 一 郎	2巻 8号 28	(R- 4)
図画唱歌の郷土教育	三重県二見小学校	2巻11号102	(R- 4)
雀 と 瓢	柳 英 生	1巻 9号112	(R- 2)
スペイン動乱を巡る諸問題	益 田 豊 彦	6巻10号 52	(R-12)
須く堅忍持久せよ	松 岡 洋 右	8巻 2号 79	(R-15)
速かに公民教育を行うべし	林 博 太 郎	1巻 9号 2	(R- 2)
住みよい社会	原 田 實	5巻 1号 42	(R- 9)

## せ

政界浄化の根本問題	安 部 磯 雄	1巻 7号 28	(R- 2)
政界の浄化	町 田 忠 治	5巻 9号117	(R-10)
生活教科としての生活味	倉 橋 惣 三	7巻 7号 10	(R-14)

生活信条としての国家主義	坂 卷 正 夫	7巻 4号 32	(R-13)
生活としての郷土と国語教育の展開	新 保 正 夫	4巻 8号 56	(R- 8)
生活認識の教育	大 藤 時 彦	12巻 5号 18	(R-22)
青訓の一面観	中 村 明 人	1巻 1号 39	(R- 1)
生計に苦しむ日本人	森 本 厚 吉	5巻 5号 60	(R- 9)
生産経済の促進と公民教育	平 實	8巻10号 26	(R-16)
生産力拡充と価格対策	森 島 種 雄	11巻 9号 53	(R-21)
政治・公民教育・教育者	阿 部 眞 之 助	6巻 2号 2	(R-11)
政治教育の困難と其の方針	稻 毛 金 七	4巻 6号 17	(R- 7)
政治教育の取扱方に就て	黒 田 覺	3巻 3号 20	(R- 5)
政治的国民教育の諸問題	梅 根 悟	3巻10号 63	(R- 6)
政治的国民教育の諸問題	梅 根 悟	3巻11号 19	(R- 6)
政治道義の回復を翼望す	後 藤 文 夫	5巻 9号115	(R-10)
政治と教育編成	海 後 宗 臣	9巻 2号 1	(R-17)
政治と法律との連関	田 畑 忍	9巻 5号 17	(R-17)
政治の高度化と知識層の問題	上 田 庄 三 郎	10巻12号 6	(R-20)
政治の本義と政治教育の重点	長 野 長 廣	7巻 4号 1	(R-13)
青少年と職業指導	豊 原 又 男	2巻 6号 27	(R- 3)
聖旨を奉体して	淺 野 次 作	3巻11号101	(R- 6)
清新議会の建設	安 藤 紀 三 郎	12巻 3号 42	(R-22)
精神国防と教育	徳 富 猪 一 郎	7巻11号 55	(R-14)
精神的新体制の建設	渡 部 政 盛	11巻 9号 1	(R-21)
精神と形式の合一	岡 本 和 一	3巻 9号106	(R- 6)
税制改革の精神について	山 田 龍 雄	6巻11号 54	(R-12)
聖戦の真義と教育の使命	麻 生 正 藏	8巻 2号 1	(R-15)
聖戦我の見直し	辻 本 與 次 郎	12巻 1号 30	(R-22)
清淡枯泊の国民性について	中 澤 信 治	2巻 8号 62	(R- 4)
成都・北海両事件と日支関係	三 浦 一	6巻10号 57	(R-12)
政党政治家の告白を回想して	坪 内 武 四 郎	2巻11号 76	(R- 4)
政党の刷新と政治教育の向上	松 井 茂	2巻 2号 9	(R- 3)
聖徳憲法寸感	坪 内 武 四 郎	3巻 8号 72	(R- 6)
生徒より見たる公民科	秋 月 兼 一	5巻 4号 51	(R- 9)
青年学校関係法令		5巻 5号130	(R- 9)
青年学校関係法令 (二)		5巻 6号125	(R- 9)

青年学校関係法令（三）		5巻10号131	(R-10)
青年学校義務制実施と修身及公民科の再認識	棚 倉 純 二	9巻 4号 60	(R-17)
青年学校義務制実施に伴う具体案	全国連合青年学校長会	8巻 4号104	(R-15)
青年学校義務制と教員の問題	相 澤 熙	8巻 4号 18	(R-15)
青年学校義務制に対する所見	長 野 長 廣	8巻 2号 18	(R-15)
青年学校義務制に伴う公民科教員養成の必要	關 口 泰	8巻 6号 1	(R-15)
青年学校教育義務制実施に際して	田 中 重 之	9巻 6号 39	(R-17)
青年学校教育義務制の実施に就て	伊 東 延 吉	8巻 2号 15	(R-15)
青年学校教育義務制の実施に就て	田 中 重 之	9巻 2号 26	(R-17)
青年学校教員養成所に於ける修身及公民科の教育方針	福 井 武 治	9巻 9号 20	(R-18)
青年学校教員養成問題	千 葉 敬 止	8巻10号 1	(R-16)
青年学校教授及訓練要目（修身及公民科）		7巻 6号124	(R-13)
青年学校修身及公民科教員の養成	鈴 木 静 穂	8巻 7号 27	(R-16)
青年学校修身及公民科教科書の特異性と其の映画化に就いて	棚 倉 純 二	7巻 9号109	(R-14)
青年学校修身及公民科教授及訓練要目		7巻 7号115	(R-14)
青年学校修身及公民科教授及訓練要目に対する一考察	鈴 木 静 穂	7巻 8号 16	(R-14)
青年学校修身及公民科教授及訓練要目の特質と取扱上の注意点	關 田 生 吉	7巻 7号 17	(R-14)
青年学校修身及公民科教授及訓練細目私案(一)	山 本 正 次	9巻 2号 81	(R-17)
青年学校修身及公民科教授及訓練細目私案(二)	山 本 正 次	9巻 3号110	(R-17)
青年学校修身及公民科教授及訓練細目私案(完)	山 本 正 次	9巻 4号 96	(R-17)
青年学校修身及公民科教授の完成	小 谷 野 義 方	12巻 6号 47	(R-22)
青年学校修身及公民科雑観	島 崎 晴 吉	8巻 4号 24	(R-15)
青年学校修身及公民科に対する一つの望み	島 崎 晴 吉	9巻12号 30	(R-18)
青年学校修身及公民科の使命	廣 濱 嘉 雄	7巻 7号 7	(R-14)
青年学校修身及公民科の重点	鈴 木 静 穂	9巻 6号 45	(R-17)
青年学校修身及公民科の難点とその克服	田 淵 藤 藏	9巻 7号 13	(R-18)
青年学校修身及公民科の本質	鹿 兒 島 登 左	11巻 6号101	(R-21)
青年学校修身及公民科教授及訓練要目解説(一)	池 岡 直 孝	8巻 4号126	(R-15)
青年学校修身及公民科教授及訓練要目解説(二)	池 岡 直 孝	8巻 5号125	(R-15)
青年学校修身及公民科要目解説（三）	池 岡 直 孝	8巻 6号123	(R-15)
青年学校修身及公民科要目解説（四）	池 岡 直 孝	8巻 7号127	(R-16)
青年学校修身及公民科要目解説（五）	池 岡 直 孝	8巻 8号123	(R-16)
青年学校修身及公民科要目解説（六）	池 岡 直 孝	8巻 9号119	(R-16)
青年学校修身及公民科要目解説（七）	池 岡 直 孝	8巻10号115	(R-16)

青年学校修身及公民科要目解説 (八)	池岡直孝	8卷11号117	(R-16)
青年学校修身及公民科要目解説 (九)	池岡直孝	8卷12号103	(R-16)
青年学校修身及公民科要目解説 (十)	池岡直孝	9卷 1号123	(R-17)
青年学校修身及公民科要目解説 (十一)	池岡直孝	9卷 2号115	(R-17)
青年学校修身及公民科要目解説 (十二)	池岡直孝	9卷 3号 69	(R-17)
青年学校修身及公民科要目解説 (十三)	池岡直孝	9卷 4号103	(R-17)
青年学校修身及公民科要目解説 (十四)	池岡直孝	9卷 5号 95	(R-17)
青年学校修身及公民科要目解説 (十五)	池岡直孝	9卷 6号115	(R-17)
青年学校修身及公民科要目解説 (十六)	池岡直孝	9卷 8号109	(R-18)
青年学校修身及公民科要目解説 (十七)	池岡直孝	9卷 9号111	(R-18)
青年学校修身及公民科要目解説 (十八)	池岡直孝	9卷10号113	(R-18)
青年学校修身及公民科要目解説 (十九)	池岡直孝	9卷11号 85	(R-18)
青年学校修身及公民科要目解説 (二十)	池岡直孝	9卷12号107	(R-18)
青年学校修身及公民科要目解説 (二十一)	池岡直孝	10卷 2号 69	(R-19)
青年学校修身及公民科要目解説 (二十二)	池岡直孝	10卷 3号 59	(R-19)
青年学校修身及公民科要目解説 (二十三)	池岡直孝	10卷 4号 97	(R-19)
青年学校修身及公民科要目解説 (二十四)	池岡直孝	10卷 5号 45	(R-19)
青年学校修身及公民科要目解説 (二十五)	池岡直孝	10卷 6号 77	(R-19)
青年学校修身及公民科要目解説 (二十六)	池岡直孝	10卷 9号 79	(R-20)
青年学校修身及公民科要目解説 (二十七)	池岡直孝	10卷10号 77	(R-20)
青年学校修身及公民科要目解説 (二十八)	池岡直孝	10卷11号 83	(R-20)
青年学校修身及公民科要目解説 (二十九)	池岡直孝	11卷 1号 83	(R-21)
青年学校修身及公民科要目解説 (三十)	池岡直孝	11卷 2号 55	(R-21)
青年学校修身及公民科要目解説 (三十一)	池岡直孝	11卷 3号 73	(R-21)
青年学校修身及公民科要目解説 (三十二)	池岡直孝	11卷 4号 75	(R-21)
青年学校修身及公民科要目解説 (三十三)	池岡直孝	11卷 5号 71	(R-21)
青年学校修身及公民科要目解説 (三十四)	池岡直孝	11卷 6号 47	(R-21)
青年学校修身及公民科要目解説 (三十五)	池岡直孝	11卷 7号 65	(R-21)
青年学校修身及公民科要目の取扱方	千葉敬止	7卷11号 17	(R-14)
青年学校修身公民科教授要綱の問題	鈴木静穂	6卷 8号 84	(R-12)
青年学校修身公民科要目に期待	野田義夫	6卷 8号 83	(R-12)
青年学校修身公民科要目に望む	鹿兒島登左	6卷 8号 97	(R-12)
青年学校修身公民科要目への要望	宮瀬睦夫	6卷 8号 90	(R-12)
青年学校制度の制定に就て	河原春作	5卷 5号 1	(R- 9)

青年学校と公民教育の重要性	吉本俊二	6巻 9号 41	(R-12)
青年学校に於ける映画教育	河合富雄	8巻 6号 55	(R-15)
青年学校に於ける公民教育の重要点	衛藤干城	7巻 5号112	(R-13)
青年学校に於ける修身及公民科の教授	鈴木静穂	5巻 4号 18	(R- 9)
青年学校に於ける修身及公民科の地位と教員の問題	島崎晴吉	8巻 7号 34	(R-16)
青年学校に於ける修身及公民科の取扱に就いて	山口啓市	6巻 4号 43	(R-11)
青年学校の義務制実施と修身及公民科教育の振興策	景山鹿造	9巻 1号 52	(R-17)
青年学校の義務制と修身及公民科	鈴木静穂	8巻 5号 37	(R-15)
青年学校の公民訓練に就て	野田義夫	5巻 6号 1	(R- 9)
青年学校の修身及公民科に就て	千葉敬止	5巻 5号 8	(R- 9)
青年学校の制度に就いて	朝比奈策太郎	6巻11号 62	(R-12)
青年学校普通科教授及訓練要目	文 部 省	8巻 9号113	(R-16)
青年学校普通科教授及訓練要目	文 部 省	9巻 7号125	(R-18)
青年学校令改正及同施行規則制定ノ要旨並ニ施行上ノ注意事項	文 部 省	9巻 7号120	(R-18)
青年期に於ける公民教育の重要性	小澤恒一	7巻11号 12	(R-14)
青年教育振興運動の必然性とその対策 (上)	長野長廣	2巻 1号 6	(R- 3)
青年教育振興運動の必然性とその対策 (下)	長野長廣	2巻 2号 12	(R- 3)
青年教育と公民科	長野長廣	2巻 8号 7	(R- 4)
青年教育の振興	橋田邦彦	12巻 3号 5	(R-22)
青年訓練所に於ける公民教育と公民的訓練	鹿兒島登左	4巻 7号 90	(R- 8)
青年訓練所の学科指導に就て (一)	武政房吉	1巻 7号 74	(R- 2)
青年訓練所の学科指導に就て (二)	武政房吉	1巻 8号 72	(R- 2)
青年団と公民教育	田澤義鋪	1巻 1号 55	(R- 1)
青年日本の建設	永井柳太郎	3巻 7号 86	(R- 6)
青年日本の修養の目標	杉森孝次郎	6巻 1号 2	(R-11)
青年の心理傾向と公民訓練 (上)	長野長廣	1巻 1号 33	(R- 1)
生命の本然性	朝日融溪	4巻 5号 30	(R- 7)
世界教育会議各部会の構成と日本側発表		7巻 8号123	(R-14)
世界教育会議について	編 輯 部	7巻 8号104	(R-14)
世界経済会議の諸問題	猪谷善一	3巻 7号 38	(R- 6)
世界建設とルネサンス運動	渡部政盛	11巻 3号 15	(R-21)
世界資源の再分割論	諸藤良山	7巻 2号 85	(R-13)
世界思想と国民精神	江上利生	5巻 2号 1	(R- 9)
世界知識	田村真一	7巻 4号 58	(R-13)

世界知識	田村 眞一	7巻 5号 74	(R-13)
世界知識	田村 眞一	7巻 6号 80	(R-13)
世界知識	田村 眞一	7巻 7号 90	(R-14)
世界知識	田村 眞一	7巻 8号 86	(R-14)
世界知識	田村 眞一	7巻 9号 88	(R-14)
世界知識	田村 眞一	7巻10号 96	(R-14)
世界知識	田村 眞一	7巻11号 81	(R-14)
世界知識	田村 眞一	7巻12号 76	(R-14)
世界的動搖の二つの中心とそれを巡る国家群の対立	相澤 熙	11巻 8号 48	(R-21)
世界の強国運動と大日本精神	谷原 義一	4巻 5号 1	(R- 7)
世界の景気はどうなるか	圓地與四松	1巻 3号 76	(R- 1)
世界の財政経済に於ける我国の地位	渡邊 鐵藏	5巻 2号 53	(R- 9)
世界の新情勢	上石 保教	9巻 1号 65	(R-17)
世界の大事と日本の地位	永井三樹三	5巻 2号 62	(R- 9)
世界の婦人と女子公民科	小泉 郁子	5巻 1号 21	(R- 9)
世界の立憲政治に於ける我国の地位	蜷川 新	5巻 2号 44	(R- 9)
世界を開く日本	平出 英夫	12巻 1号 68	(R-22)
責任ある進歩史觀的認識の公民教育に於ける必要	杉森 孝次郎	5巻 3号 1	(R- 9)
説教無力	志垣 寛	7巻 8号 58	(R-14)
セツルメントと公民教育	三好 豊太郎	3巻 3号 78	(R- 5)
セツルメントに於ける公民教育	谷川 貞夫	3巻 3号 86	(R- 5)
戦役犠牲者に対する優遇と教育		1巻 2号 76	(R- 1)
戦役犠牲者に対する優遇と教育(二)		1巻 4号 83	(R- 1)
先学の日本的学問觀	宮瀬 睦夫	7巻 1号 30	(R-13)
選挙肅正運動の展望	伊藤 博	5巻 9号 28	(R-10)
選挙肅正と教育	三邊 長治	5巻10号 29	(R-10)
選挙肅正と教育・教化運動	田制 佐重	5巻 9号 15	(R-10)
選挙肅正と公民教育	相澤 秀一	6巻 3号 74	(R-11)
選挙肅正と公民教育に関する各方面の意見		5巻 8号 27	(R-10)
選挙肅正と公民教育に関する各方面の意見		5巻 9号 34	(R-10)
選挙肅正と政治浄化は公民教育より	麻生 正藏	6巻 4号 2	(R-11)
選挙肅正と政党の責任	安達 謙藏	5巻 9号118	(R-10)
選挙肅正と政府の取締	安部 磯雄	5巻 9号119	(R-10)
選挙肅正に関する文部省訓令並通牒		5巻 8号 25	(R-10)

選挙肅正に就いて	永田秀次郎	5巻 9号119	(R-10)
選挙肅正の方法	松波仁一郎	5巻 8号 1	(R-10)
選挙心理	奥田寛太郎	1巻 7号 52	(R- 2)
選挙に見る青年の政治的関心	松原一彦	6巻10号 28	(R-12)
選挙の結果と肅正運動批判	金生喜造	6巻 4号 81	(R-11)
選挙の研究 (一)	林鐵郎	1巻 5号 30	(R- 1)
選挙の研究 (二)	林鐵郎	1巻 6号 38	(R- 2)
選挙法の運用に就て	齋藤隆夫	4巻 3号 1	(R- 7)
全国学生統計概要	文部省	2巻 1号 91	(R- 3)
全国教育統計	文部省	2巻 1号 90	(R- 3)
戦時下国民の心構へ	馬淵陸軍報道部長	11巻 9号 83	(R-21)
戦時下に於ける国内治安	岩村通世	12巻 1号 91	(R-22)
戦時経済生活の基礎精神	山本勝市	8巻 8号 19	(R-16)
戦時即応の公民教育	龍山義亮	12巻 4号 5	(R-22)
戦時体制下の公民的訓練	小尾範治	8巻 1号 9	(R-15)
戦時体制の青年学校修身及公民科	山崎博	7巻12号 44	(R-14)
全女性に対して御願	前田若尾	5巻 1号132	(R- 9)
戦陣訓		11巻 1号 95	(R-21)
戦争と公民教育の道標	上田庄三郎	9巻 8号 29	(R-18)
戦争と国民優生	下村宏	10巻 6号 54	(R-19)
戦争と青年と公民科	渡邊三郎	12巻 3号 80	(R-22)
戦争と選挙	渡部政盛	9巻10号 1	(R-18)
戦争と立憲自治	小野源藏	9巻 1号 31	(R-17)
全体主義と公民教育	渡部政盛	8巻12号 5	(R-16)
全体主義とデモクラシーの問題	杉森孝次郎	9巻 4号 1	(R-17)
専門学校入試に公民科の登場と出題者及教授者に望む	近藤恭一郎	10巻 1号 61	(R-19)
善良なる公民は家庭教育より	武用種吉	6巻 9号 81	(R-12)
千六百時間文検公民科準備 (上)	川原孝治	6巻11号116	(R-12)
千六百時間文検公民科準備 (下)	川原孝治	6巻12号125	(R-12)

## そ

創刊の頃を顧みて	澤本健三	2巻 3号 96	(R- 3)
総合教育の思想と公民科	龍山義亮	7巻 2号 15	(R-13)

総合的教科としての公民科の任務	小澤恒一	5巻 3号 54	(R- 9)
早春の伊香保	廣田麥秀	2巻 2号104	(R- 3)
「続・南方文化の探究」の一篇	河村只雄	11巻 1号 32	(R-21)
「続・南方文化の探求」の一篇(二)	河村只雄	11巻 2号 28	(R-21)
蘇支不可侵条約に就きて	佐藤舜	7巻10号 60	(R-14)
ソヴィエトに於ける教育	高田信三	3巻 4号103	(R- 5)
「ソ」連邦国民の国防思想に就て	笠原幸雄	3巻 3号 24	(R- 5)

## た

大アマゾンに於ける開拓事業について	上塚司	2巻10号 78	(R- 4)
大御宝の教育と公民教育	小尾範治	11巻 6号 2	(R-21)
体育の精神的意義	岩原拓	1巻 1号 86	(R- 1)
大国民としての教養	入澤宗壽	9巻 1号 10	(R-17)
第三次共産党事件とその特異性	河村只雄	3巻 2号 27	(R- 5)
第三の教育	西脇英逸	9巻11号 48	(R-18)
第十一回中等教育研究会公民科研究会記事		5巻12号 53	(R-10)
大乘仏教の精神主義(上)	境野黄洋	1巻 1号 43	(R- 1)
大乘仏教の精神主義(下)	境野黄洋	1巻 2号 18	(R- 1)
大政翼賛運動と公民科教授の実際	松田克三	11巻 4号 64	(R-21)
大政翼賛と技術の問題	宮本武之輔	11巻 3号 56	(R-21)
大戦の教訓	花見朔巳	12巻 2号 22	(R-22)
体操王ニルス・ブックの来朝		1巻 7号 62	(R- 2)
大東亜教育体制の確立	永井柳太郎	12巻 2号 40	(R-22)
大東亜共栄圏の建設と日本民族の使命	川原次吉郎	11巻 8号 1	(R-21)
大東亜建設と自主的研究態度	守田義廣	12巻 6号 60	(R-22)
大東亜戦争下に於ける青少年学徒の指導	志水義暲	12巻 5号 70	(R-22)
大東亜戦争と海運	寺島健	12巻 1号 82	(R-22)
大東亜戦争と教育の「とき」	小尾範治	12巻 1号 12	(R-22)
大東亜戦争と公民教育	上田庄三郎	12巻 1号 22	(R-22)
大東亜戦争と公民教育者の実践態度	松田克三	12巻 4号 95	(R-22)
大東亜戦争と産業戦線	小泉親彦	12巻 1号 78	(R-22)
大東亜戦争と支那経済開発の意義	宇佐美珍彦	12巻 7号 87	(R-22)
大東亜戦争と修身及公民科教育	福井武治	12巻 3号 47	(R-22)

大東亜戦争と戦費の調達	結城豊太郎	12巻 2号109	(R-22)
大東亜戦争と日本国民の責任	友枝高彦	12巻 6号 5	(R-22)
大東亜戦争と日本の技術	八田嘉明	12巻 1号 86	(R-22)
大東亜戦争劈頭政府声明		12巻 1号 4	(R-22)
第七十議会を通過した重要法律 (一)	入江俊郎	7巻 5号 83	(R-13)
第七十議会を通過した重要法律 (二)	樺島千春	7巻 5号 92	(R-13)
第二段階に入った大東亜戦争と印度及びビルマ	東進太郎	12巻 2号 60	(R-22)
第二の肇国・天地開闢としての大東亜戦争	及川儀右衛門	12巻 1号 16	(R-22)
大日本帝国憲法と国体	奥田寛太郎	4巻 8号 6	(R- 8)
大日本帝国憲法と国体	奥田寛太郎	4巻 9号 8	(R- 8)
泰仏印協定の重大意義	宮原武雄	11巻 4号 38	(R-21)
大満州建国の大業成る		2巻 3号109	(R- 3)
大陸発展と女性の協働	前田若尾	8巻12号 83	(R-16)
台湾の公民科教育一ヶ年の反省	中村信二	7巻 4号114	(R-13)
台湾の農村	横田勝穂	2巻 8号 62	(R- 4)
高橋財政と馬場財政	野崎龍七	6巻 5号 46	(R-11)
多数決の原理について	堀真琴	5巻 6号 48	(R- 9)
正しい選挙を	丸山鶴吉	5巻 9号121	(R-10)
旅先で拾った話	前田若尾	8巻 8号101	(R-16)
多摩聖蹟健全道場の設立に就て	田中光顯	6巻 3号109	(R-11)
誰が公民教育を歪曲するか	植田清次	9巻 4号 26	(R-17)
弾圧を加味した思想対策	読売新聞	2巻 5号121	(R- 3)
団結	辻本與次郎	12巻 5号105	(R-22)

## ち・つ

チェーレンの国家の経済的経綸論	金生喜造	12巻 5号 76	(R-22)
近く開かれる国際経済会議と其の問題	永井三樹三	3巻 3号 28	(R- 5)
地方自治制に於ける求心的要素と遠心的要素	杉村章三郎	9巻 1号 26	(R-17)
地方自治百年の大成を目指して	平林廣人	8巻 4号 39	(R-15)
地方女子公民の自覚とその活動について	吉井孝次郎	4巻 2号 72	(R- 7)
地名爐談	日本国勢総覧編集部	3巻12号124	(R- 6)
地名爐談	日本国勢総覧編集部	4巻 1号128	(R- 7)
地名爐談	日本国勢総覧編集部	4巻 2号125	(R- 7)

中学修業年限四年を非とする理由	中学校長協会	5巻 1号138	(R- 9)
中学校公民科の時事問題取扱について	關田生吉	4巻 1号 41	(R- 7)
中学校修業年限短縮と公民科	及川儀右衛門	5巻10号 38	(R-10)
中学校に於ける公民教育と公民的訓練	及川儀右衛門	4巻 6号 60	(R- 7)
中学校に於ける作業科 (一)	鈴木静穂	1巻 2号 37	(R- 1)
中学校に於ける作業科 (二)	鈴木静穂	1巻 3号 44	(R- 1)
中学校の公民科は如何にすれば更正するや	關田正吉	4巻10号102	(R- 8)
中学校の年限短縮と公民教育	稻毛金七	5巻11号 1	(R-10)
中学校四年修了より専門学校連絡を非とする理由に就いて	全国中学校長協会	5巻11号122	(R-10)
忠孝和の精神と公民科	松田克三	7巻11号114	(R-14)
中等学校改正教授要目に関する通牒		7巻 6号121	(R-13)
中等学校改正公民科教授要目論解	山崎犀二	8巻 4号118	(R-15)
中等学校改正公民科教授要目論解 (二)	山崎犀二	8巻 5号101	(R-15)
中等学校改正公民科教授要目論解 (三)	山崎犀二	8巻 6号113	(R-15)
中等学校公民科教授要目論解 (四)	山崎犀二	8巻 7号117	(R-16)
中等学校公民科教授要目論解 (五)	山崎犀二	8巻10号101	(R-16)
中等学校公民科教授要目論解 (六)	山崎犀二	8巻11号109	(R-16)
中等学校公民科教授要目論解 (七)	山崎犀二	8巻12号 93	(R-16)
中等学校改正公民科教授要目論解 (八)	山崎犀二	9巻 1号111	(R-17)
中等学校改正公民科教授要目論解 (九)	山崎犀二	9巻 2号101	(R-17)
中等学校改正公民科教授要目論解 (十)	山崎犀二	9巻 3号 59	(R-17)
中等学校改正公民科教授要目論解 (十一)	山崎犀二	9巻 4号 87	(R-17)
中等学校公民科改正教授要目の精神	長倉矯介	7巻 5号 6	(R-13)
中等学校公民科関係法規 (実業補習学校の部)		1巻 2号120	(R- 1)
中等学校公民科関係法令 (各種学校の部)		1巻 5号100	(R- 1)
中等学校公民科関係法令 (実業学校の部)		1巻 4号125	(R- 1)
中等学校公民科関係法令 (師範学校の部)		1巻 3号121	(R- 1)
中等学校公民科関係法令 (職業学校の部)		1巻 6号102	(R- 2)
中等学校公民科関係法令 (中学校の部)		1巻 1号132	(R- 1)
中等公民教科書にあらわれた宗教の解釈		3巻 7号101	(R- 6)
長期建設と教育者の任務	鶴岡 彌	9巻 7号 79	(R-18)
長期戦と国民の覚悟	末次信正	8巻 2号 77	(R-15)
朝鮮に於ける公民教育の特殊相	韓 聖 壽	6巻 4号 58	(R-11)
町村と森林	貴島圭三	2巻 4号 63	(R- 3)

勅語解釈の心	小野正康	10巻 3号 8	(R-19)
地理科に於ける公民教育	及川儀右衛門	3巻 9号 48	(R- 6)
地理歴史の郷土教育	三重県二見小学校	2巻 8号 88	(R- 4)
綴り方教育に公民的な考慮を	内山直治・佐久間卯吉	4巻 8号 60	(R- 8)
連れ子の家督相続権に就て	秋田 達	4巻 5号 91	(R- 7)

## て

帝国議会（上）	清水 澄	2巻 6号 47	(R- 3)
帝国議会（下）	清水 澄	2巻 7号 42	(R- 4)
帝国議会議事堂の建築を語る	大熊喜邦	6巻11号 79	(R-12)
帝国憲法緊急勅令に就いて	清水 澄	1巻 3号 14	(R- 1)
帝国憲法制定の精神並に欧米各国学者政治家の評論	金子堅太郎	5巻10号 52	(R-10)
帝国憲法制定の歴史	藤井甚太郎	5巻 5号 36	(R- 9)
帝国憲法の改正及び解釈について	清水 澄	1巻 1号 29	(R- 1)
帝国憲法の根本義	稻田正次	6巻 4号 27	(R-11)
帝国憲法の独特性	稻田正次	8巻 9号 20	(R-16)
訂補国民の教育	西晋一郎	5巻 9号 62	(R-10)
手紙	辻 民吾	2巻 5号123	(R- 3)
徹頭徹尾独学で公民科へ	武田馬三	6巻10号129	(R-12)
田園に帰らん	近松秋江	2巻 1号118	(R- 3)
転回期に於ける公民教育	田制佐重	6巻 9号 29	(R-12)
転換期の文化と公民教育の目標	早瀬利雄	6巻 5号 9	(R-11)
天皇・国民と帝国議会	松本重敏	5巻 5号 44	(R- 9)
天皇の神聖不可侵性に対する我國民の信念	藤江喜久夫	3巻 3号 55	(R- 5)
転廃業者の資産評価方法	庄山茂次	11巻 9号 63	(R-21)

## と

独逸教育の管見	丸山三郎	3巻 4号100	(R- 5)
独逸に於ける公民教育運動の現状	倉澤 剛	2巻11号 22	(R- 4)
ドイツに於ける青年運動		1巻 6号 71	(R- 2)
独逸に於ける統制経済	森川覺三	11巻10号 55	(R-21)
独逸に於ける統制経済	森川覺三	12巻 1号 98	(R-22)

独逸に於ける労働者指導	森川覺三	12卷 3号107	(R-22)
ドイツの經濟政策と大陸の安定	金生喜造	11卷 4号 85	(R-21)
独逸の渡り鳥		1卷 7号 97	(R- 2)
東亜協同体と今後の公民教育	田制佐重	9卷 6号 26	(R-17)
東亜新秩序の枢軸は日滿一体より始まる	徳富蘇峰	10卷 3号 41	(R-19)
十日町紀行	中川竹洞	2卷 7号114	(R- 4)
東京市會議員選挙と東京の青少年学徒	東京府・東京市	12卷 6号110	(R-22)
東京市青年学校教育研究会総会陪席記	大川定三	7卷 8号119	(R-14)
東京市の行政組織 (東京都制案要綱)		2卷10号 54	(R- 4)
東京市民教育の實際	對馬敬五郎	3卷12号 60	(R- 6)
東京市連合防護団について	藤井利譽	2卷10号 90	(R- 4)
東京の青少年学徒と翼賛選挙	東京市	12卷 4号105	(R-22)
東京非常変災要務規約摘要		2卷10号 72	(R- 4)
東京府立工芸の公民科の實際	茂野俊吉・川邊俊夫	2卷 8号 80	(R- 4)
統制經濟下の物資配給	美濃部洋次	9卷10号 60	(R-18)
統制經濟の現段階と其の将来	高橋龜吉	10卷 7号 46	(R-20)
統制經濟の目標	有澤廣巳	6卷 5号 40	(R-11)
統制思想と公民教育	平實	6卷11号 36	(R-12)
統制主義と皇国の道	荻原擴	7卷 2号 6	(R-13)
唐の太宗と蘭亭序	山田雲鳳	2卷11号107	(R- 4)
都会生活の動向と公民教育	野崎泰秀	4卷11号 9	(R- 8)
トカラの島々	河村只雄	10卷11号 34	(R-20)
トカラの島々 (二)	河村只雄	10卷12号 45	(R-20)
トカラの島々 (三)	河村只雄	11卷 4号 16	(R-21)
時の流に棹さす	及川儀右衛門	11卷 3号 1	(R-21)
独裁政治の一考察	坪内武四郎	2卷 8号 70	(R- 4)
独裁政治の一考察	坪内武四郎	2卷 9号 77	(R- 4)
独特の憲法政治と公民教育	渡部政盛	7卷 8号 8	(R-14)
都市小学校の公民教育	山崎博	3卷12号 48	(R- 6)
都市生活と公衆衛生	高野六郎	2卷10号 21	(R- 4)
都市生活と公民教育	前田多門	2卷10号 14	(R- 4)
都市生活と公民教育	平實	10卷 6号 1	(R-19)
都市と社会事業	大野木克彦	4卷 3号 54	(R- 7)
都市と少年保護	藤村成助	2卷 3号 77	(R- 3)

都市に於ける公民的教養	大島正徳	2巻10号	18	(R- 4)
都市民の読書生活相	赤座光市	10巻 6号	16	(R-19)
栃木師範の公民科の実際	安藤精一・川邊俊夫	2巻 7号	92	(R- 4)
土地工作愛護の精神	荒川五郎	2巻 1号	96	(R- 3)
怒濤に抗して	巻頭言	3巻 1号	1	(R- 5)
隣組から大東亜へ	辻本與次郎	12巻 3号	74	(R-22)
隣組と公民教育の現段階	平林廣人	12巻 4号	47	(R-22)
隣組と公民教育夜話	辻本與次郎	11巻 7号	82	(R-21)
隣組と知識	折居千一	11巻 9号	47	(R-21)
隣組の科学と実践 (一)	平林廣人	12巻 6号	66	(R-22)
隣組の科学と実践 (二)	平林廣人	12巻 7号	52	(R-22)
隣組を中心とする社会意識の発展	磯村英一	10巻11号	29	(R-20)

## な

内閣調査局の現在及び将来	美濃口時次郎	6巻 7号	58	(R-12)
何故義務教育は今延長すべきか	義務教育延長促進同盟	6巻 9号	52	(R-12)
ナチスの教育方針と其の実施状況	服部 續	4巻 3号	5	(R- 7)
夏の海景	新居 格	2巻 8号	49	(R- 4)
七年度公民科教授の回顧	大西 權 一	3巻 4号	70	(R- 5)

## に

二元性の諸相と議会主義	福田義郎	7巻 7号	71	(R-14)
西と東	大槻正一	3巻 9号	13	(R- 6)
日印会商成立と今後の貿易及産業	小汀利得	4巻 2号	14	(R- 7)
日独交換図書		11巻 4号	102	(R-21)
日米の生計費比較について	森本厚吉	4巻 6号	72	(R- 7)
日満支経済建設要綱		10巻11号	78	(R-20)
日満新条約の検討と其効果	山崎誠一郎	6巻 7号	52	(R-12)
日満親善と女子教育を語る	前田若尾	4巻12号	70	(R- 8)
日蘭会商に就いて	石澤 豊	4巻 7号	16	(R- 8)
日支事件と吾等の踏むべき道	佐藤金造	2巻 3号	72	(R- 3)
日支事変後の復員計画と再教育問題		2巻 3号	2	(R- 3)

日支事変と軍事扶助事業	大村清一	7巻 9号 45	(R-14)
日支親善の方策如何	長倉矯介	4巻10号 69	(R- 8)
日支問題と公民教育	深作安文	2巻 3号 6	(R- 3)
日本及日本人の神秘的存在	池園哲太郎	3巻 8号 8	(R- 6)
日本学より見たる公民科の諸問題	小野正康	8巻12号 22	(R-16)
日本教育道の底流	長義正	3巻 9号 92	(R- 6)
日本銀行の改組と管理通貨制度の意義	岡島次司郎	12巻 2号 76	(R-22)
「日本経済学」建設者なきか	立仙淳三	10巻 9号 23	(R-20)
「日本公民学会」設立の提唱	立仙淳三	9巻11号 7	(R-18)
日本公民の必須資格	麻生正藏	7巻 2号 1	(R-13)
日本産業界の現状並に前途	高木友三郎	7巻 2号 81	(R-13)
日本主義と全体主義	渡部政盛	9巻 4号 3	(R-17)
日本人の生計費について	森本厚吉	3巻 5号 43	(R- 5)
日本人の長所短所	荒川五郎	6巻 1号 38	(R-11)
日本人養成を目指す教育	林重信	6巻 4号 47	(R-11)
日本精神と公民教育	松崎繁衛	6巻12号 56	(R-12)
日本精神の形成と公民科教育	井本農一	8巻 9号 12	★
日本精神の宣揚	下村三四吉	3巻 8号 2	(R- 6)
日本精神の本質	越川彌榮	5巻11号 19	(R-10)
日本的公民教育への一反省	磯村英一	7巻 9号 28	(R-14)
日本的思惟について	森本鬼義	6巻 4号 54	(R-11)
日本的思惟の要について	河原貞夫	6巻 6号 33	(R-11)
日本的思惟の要について	河原貞夫	6巻 7号 30	(R-12)
日本的世界人生観の確立	宮西一積	12巻 7号 18	(R-22)
日本の特殊性と公民教育	井本農一	10巻 2号 24	(R-19)
「日本的なもの」への考察	井本農一	11巻 6号 96	★
日本と世界(一)	蜷川新	1巻 4号 29	(R- 1)
日本と世界(二)	蜷川新	1巻 5号 18	(R- 1)
日本に対する強盗遠征	アルフレット・ストース	4巻 9号120	(R- 8)
日本農村生活の特質	長野長廣	1巻 4号 38	(R- 1)
日本の興廃は人類の盛衰	東條英機	12巻 7号 72	(R-22)
日本の姿	奥田寛太郎	5巻 3号 21	(R- 9)
日本は日本の道を行く	近衛文麿	11巻 7号 76	(R-21)
日本文化協会成立の意義と其の事業	伊東延吉	4巻 4号 64	(R- 7)

日本文化の特色と日本精神	志田延義	3巻 1号 34	(R- 5)
日本民族の海外飛躍	松本定敏	1巻 8号 40	(R- 2)
日本歴史の特色	徳富蘇峰	3巻 5号 31	(R- 5)
日本をつくる力	澤田謙	8巻 7号 57	(R-16)
如是我觀公民教育 (一)	川本宇之介	6巻 9号 20	(R-12)
如是我觀公民教育 (二)	川本宇之介	6巻10号 19	(R-12)
如是我觀公民教育 (三)	川本宇之介	6巻11号 16	(R-12)
如是我觀公民教育 (四)	川本宇之介	6巻12号 17	(R-12)
如是我觀公民教育 (五)	川本宇之介	7巻 1号 20	(R-13)
如是我觀公民教育 (六)	川本宇之介	7巻 2号 34	(R-13)
ニルス・ブック体操の素描	吉田清	1巻 7号 64	(R- 2)

## ね

年頭更に一盛事を加う	巻頭言	2巻 1号 1	(R- 3)
年頭所感	河原田稼吉	10巻 1号 1	(R-19)
年頭所感	橋田邦彦	11巻 1号 1	(R-21)
年頭の辞	鳩山一郎	3巻 1号 2	(R- 5)
年頭の辞	鳩山一郎	4巻 1号 1	(R- 7)
年頭の辞	松田源治	5巻 1号 1	(R- 9)
年頭の辞	木戸幸一	8巻 1号 1	(R-15)
年頭在所感	平生釵三郎	7巻 1号 1	(R-13)
年頭在所感	荒木貞夫	9巻 1号 1	(R-17)

## の

農業学校と農民道場	佐藤信夫	5巻 3号 93	(R- 9)
農業学校に於ける公民科教授と公民的訓練	鈴木静穂	4巻 5号 23	(R- 7)
農業学校に於ける公民科教授の実際	仙田清吾	3巻 3号 48	(R- 5)
農業に於ける地方的特異性	鞍田純	4巻11号 76	(R- 8)
農業保険に就いて	下山一二	2巻 1号 81	(R- 3)
農作物の害虫及び蠅の駆除法に就きて	今津明	2巻 4号 96	(R- 3)
農作物の害虫駆除	今津明	2巻 6号104	(R- 3)
農士としての自覚	笠森傳繁	1巻 6号 10	(R- 2)

納税の観念の修正	澁谷 治 尚	3巻 4号 62	(R- 5)
農村教育上の重点	長野 長 廣	1巻 3号 41	(R- 1)
農村研究の台頭とその重要性	野尻 重 雄	2巻 2号 18	(R- 3)
農村更正問題と公民教育	千葉 敬 止	2巻 9号 38	(R- 4)
農村住民の団体事務直接参与に就いて	佐藤 寛 次	1巻 3号 2	(R- 1)
農村振興教育の根本策	東 郷 實	2巻 9号 34	(R- 4)
農村生活管見	木村 英 三	5巻 4号 93	(R- 9)
農村生産力の維持に就いて	千石 興 太郎	8巻 1号 63	(R-15)
農村青年学校の生活指導	鈴木 静 穂	6巻 1号 54	(R-11)
農村青年の心理傾向と公民訓練 (下)	長野 長 廣	1巻 2号 32	(R- 1)
農村調査の内容と方法に就いて	野尻 重 雄	2巻 3号 44	(R- 3)
農村と共同貯金	松本 定 敏	3巻 9号 81	(R- 6)
農村の財政経済	關田 生 吉	1巻 9号 38	(R- 2)
農村物価惨落と農家収入	長野 長 廣	3巻 2号 19	(R- 5)
農村民の読書生活相 (上)	赤座 光 市	10巻 7号 38	(R-20)
農村民の読書生活相 (下)	赤座 光 市	10巻 8号 49	(R-20)
農村問題と小作問題	松村 勝 治郎	5巻 1号 70	(R- 9)
農村問題と青年教育 (一)	長野 長 廣	2巻 3号 22	(R- 3)
農民窮乏に関する一考察	井出 梓	3巻 1号108	(R- 5)

## は

梅巖の思想摂取と公民教育	波多野 述 磨	11巻 1号 55	(R-21)
廢校の運命より救う	清水 一 政	3巻11号 96	(R- 6)
背後の世界の認識	中澤 信 治	2巻10号 54	(R- 4)
俳人英一蝶	桑原 亮 川	2巻 4号100	(R- 3)
はぐくまるる人の心	朝日 融 溪	4巻 1号 64	(R- 7)
幕府の瞞着政策と志士の公憤	徳富 猪 一 郎	2巻 5号 96	(R- 3)
派遣軍將兵に告ぐ	支那派遣軍總司令部	10巻 5号 55	(R-19)
発明と公民教育	山本 忠 興	4巻11号 5	(R- 8)
花と人生	相澤 熙	5巻 1号 39	(R- 9)
馬場蔵相の低金利政策	笹原 正 志	6巻 6号 54	(R-11)
母の立場から	平井 恒	2巻 7号 88	(R- 4)
バルカンに於ける国際的禍根	内藤 智 秀	4巻 4号 70	(R- 7)

輓近に於ける植民政策の動向	北原金司	9巻 5号 58	(R-17)
反省すべき修身及公民科指導	島崎晴吉	11巻 7号 38	(R-21)

## ひ

美術学校時代 (一)	池部 鈞	2巻 4号 72	(R- 3)
美術学校時代 (二)	池部 鈞	2巻 7号 72	(R- 4)
非常時局対応生活改善実行要目	生活改善中央会	7巻12号110	(R-14)
非常時局と公民教育	深作安文	8巻 9号 1	(R-16)
非常時局と公民教育の動向	水町 清	3巻 6号 60	(R- 5)
非常時国民生活様式ニ関スル決定事項	国民精神総動員中央連盟	8巻 9号110	(R-16)
非常時と公民教育	塚原政次	3巻 2号 2	(R- 5)
非常時に於ける教育	松下 専吉	3巻 5号 87	(R- 5)
非常時に於ける公民教育	田制佐重	5巻 2号 7	(R- 9)
非常時に直面して農業学校卒業生に贈る	仙田清吾	4巻 3号102	(R- 7)
非常時日本を見る	新居 格	4巻 1号 97	(R- 7)
非常時の認識と学生の覚悟	荒木 貞夫	3巻 8号 35	(R- 6)
必勝戦下の公民教育	稲毛金七	12巻 1号 65	(R-22)
人と社会	永井 享	2巻 4号 55	(R- 3)
疲弊の声なき農村と教育	千葉敬止	1巻 1号 96	(R- 1)
飛躍期に処する大国民的公民教育	稲毛金七	8巻12号 1	(R-16)
氷塊を溶くもの	巻 頭 言	1巻 9号 1	(R- 2)

## ふ

ファシスト・イタリーの十年	岸 晃 二	3巻12号103	(R- 6)
ファシズムと立憲政治	坪内武四郎	2巻 7号 10	(R- 4)
ファシズムの公民教育 (一)	早瀬利雄	6巻 6号 61	(R-11)
ファシズムの公民教育 (二)	早瀬利雄	6巻 8号 9	(R-12)
ファシズムの公民教育 (三)	早瀬利雄	6巻 9号 58	(R-12)
ファシズムの公民教育 (四)	早瀬利雄	6巻10号 69	(R-12)
風雲漫録	相澤 熙	8巻 3号 92	(R-15)
殖える日本こそ伸びる日本	中村明人	9巻10号 20	(R-18)
フォーマリズムに墮するか女子公民科?	小泉郁子	3巻 5号 90	(R- 5)

福岡県下に於ける二つの特色ある社会事業		2巻 2号122	(R- 3)
府県会議員選挙と公民修養	田子一民	1巻 7号 16	(R- 2)
府県会議員選挙に際し如何に公民教育を活用すべきか		1巻 7号 12	(R- 2)
婦人公民権問題	大江すみ子	1巻 1号 67	(R- 1)
婦人によびかける	及川儀右衛門	9巻 1号 46	(R-17)
婦人問題を問題とせよ	小泉郁子	4巻 3号 22	(R- 7)
扶清洋減	長尾和生	2巻 7号 21	(R- 4)
不足資源と其の代用品	東 榮二	8巻 7号 98	(R-16)
再び公民教育の重点について	稲田正次	6巻12号 26	(R-12)
再び時事問題の取扱に就いて	松田克三	4巻 2号 62	(R- 7)
再び支那事変の認識を語る	奥田寛太郎	8巻 6号 15	(R-15)
普通学科と修身及公民科との関連	千葉敬止	9巻 3号 24	(R-17)
物価賃金等の引上禁止に就て	武部六藏	9巻10号 66	(R-18)
復古と維新	及川儀右衛門	10巻 1号 4	(R-19)
フランクフルト・アン・マインの青年会館		1巻 6号 76	(R- 2)
フランス式体育の教育的基礎		1巻 7号109	(R- 2)
フランス式体育の理論 (一)		1巻 2号 73	(R- 1)
フランス式体育の理論 (二)		1巻 4号 80	(R- 1)
不良住宅地の改良	持永義夫	5巻 1号 78	(R- 9)
武力的快捷と精神的快捷	深作安文	12巻 1号 6	(R-22)
古文庫の底で拾った公民教育		4巻 9号111	(R- 8)
普魯西体育大学の課題	シュルテ博士	1巻 7号102	(R- 2)
文化史上に於ける我国の地位	加藤咄堂	5巻 2号 37	(R- 9)
文化の発達と社会環境	河村只雄	1巻 6号 31	(R- 2)
文官制度の改正		11巻 1号102	(R-21)
文教に於ける公民教育の地位	植田清次	6巻12号 49	(R-12)
文教の新示標	小尾範治	12巻 5号 5	(R-22)
文芸と婦人の自覚	神近市子	5巻 7号 84	(R-10)
文検公民科応試の経過	長谷川喬	7巻 3号136	(R-13)
文検公民科既往問題一覧	編輯部	8巻 5号 99	(R-15)
文検公民科具体的準備法	勝野勲	8巻 5号 97	(R-15)
文検公民科研究講座 (第一講)	川原孝治	8巻 9号101	(R-16)
文検公民科研究講座 (第二講)	川原孝治	8巻10号 90	(R-16)
文検公民科研究講座 (第三講)	川原孝治	8巻11号 98	(R-16)

文検公民科研究講座 (第四講)	川原孝治	8巻12号120	(R-16)
文検公民科研究講座 (第五講)	川原孝治	9巻 1号102	(R-17)
文検公民科研究講座 (第六講)	川原孝治	9巻 2号 95	(R-17)
文検公民科研究講座 (第七講)	川原孝治	9巻 3号126	(R-17)
文検公民科研究講座 (第八講)	川原孝治	9巻 4号130	(R-17)
文検公民科研究講座 (第九講)	川原孝治	9巻 5号124	(R-17)
文検公民科研究講座 (第十講)	川原孝治	9巻 6号 94	(R-17)
文検公民科研究講座 (第十一講)	川原孝治	9巻 7号114	(R-18)
文検公民科研究講座 (第十二講)	川原孝治	9巻 8号103	(R-18)
文検公民科研究講座 (第十三講)	川原孝治	9巻 9号 96	(R-18)
文検公民科研究講座 (第十四講)	川原孝治	9巻10号105	(R-18)
文検公民科研究講座 (第十五講)	川原孝治	9巻11号117	(R-18)
文検公民科研究講座 (第十六講)	川原孝治	9巻12号 99	(R-18)
文検公民科研究講座 (第十七講)	川原孝治	10巻 1号105	(R-19)
文検公民科研究講座 (第十八講)	川原孝治	10巻 2号103	(R-19)
文検公民科研究講座 (第十九講)	川原孝治	10巻 3号104	(R-19)
文検公民科研究講座 (第二十講)	川原孝治	10巻 4号 92	(R-19)
文検公民科研究講座 (第二十一講)	川原孝治	10巻 5号 95	(R-19)
文検公民科研究講座 (第二十二講)	川原孝治	10巻 6号107	(R-19)
文検公民科研究講座 (第二十三講)	川原孝治	10巻 7号 91	(R-20)
文検公民科研究講座 (第二十四講)	川原孝治	10巻 8号 97	(R-20)
文検公民科研究講座 (第二十五講)	川原孝治	10巻 9号107	(R-20)
文検公民科研究講座 (第二十六講)	川原孝治	10巻10号105	(R-20)
文検公民科研究範囲と参考書の選択	藤谷保	3巻10号 90	(R- 6)
文検公民科研究範囲と参考書の選択	藤谷保	3巻11号104	(R- 6)
文検公民科研究範囲と参考書の選択	藤谷保	3巻12号 89	(R- 6)
文検公民科合格の回顧	丸山勝衛	11巻 3号106	(R-21)
文検公民科口述試験案内	吉田喜市郎	5巻 6号121	(R- 9)
文検公民科口述受験記	渡邊昌雪	4巻 1号 92	(R- 7)
文検公民科口述の印象	大河内清榮	6巻 1号118	(R-11)
文検公民科口述の印象	上田忠雄	8巻11号104	(R-16)
文検公民科受験回顧録	和田秀義	5巻10号127	(R-10)
文検公民科受験雑感	宮崎和生	6巻 2号123	(R-11)
文検公民科受験対策	杉山藤太郎	6巻 6号129	(R-11)

文検公民科受験の要諦	小野慶太郎	6巻 7号133	(R-12)
文検公民科準備の経過	上木榮一	5巻 9号131	(R-10)
文検公民科準備の要領と其の記録	一合格者	8巻 1号124	(R-15)
文検公民科第一、二問の準備対策	坪富司	5巻 5号127	(R-9)
文検公民科直前準備法	仲榮眞助八	11巻 1号108	(R-21)
文検公民科に於ける私法	村木武	7巻 2号128	(R-13)
文検公民科に合格する迄	飯田四郎三郎	6巻 9号120	(R-12)
文検公民科の既往問題一覧	編集部	7巻 2号135	(R-13)
文検公民科の経済に就いて	天鬼生	7巻 1号140	(R-13)
文検公民科の出題傾向と参考書の選択に就いて	鈴木元平	5巻12号131	(R-10)
文検公民科の準備法	渡邊徳治	3巻12号100	(R-6)
文検公民科の新動向	白澄生	7巻12号123	(R-14)
文検公民科の体験と問題の傾向に就いて	水野譽志松	7巻 1号137	(R-13)
文検公民科の特色とその受験準備生活相	佐藤孝	7巻 2号132	(R-13)
文検公民科の内容及び程度	川上龜義	7巻 4号128	(R-13)
文検公民科の内容と参考書の吟味	荒波忠夫	4巻12号114	(R-8)
文検公民科の内容と準備	岡野直	5巻 3号122	(R-9)
文検公民科本試験対策	藤谷保	6巻 7号129	(R-12)
文検公民科本試験問題解答	藤谷保	10巻 7号 83	(R-20)
文検公民科本試験問題解答	藤谷保	11巻 7号 91	(R-21)
文検公民科本試験問題解答速報	藤谷保	6巻 8号140	(R-12)
文検公民科本試験問題の解説	藤谷保	7巻 8号110	(R-14)
文検公民科本試の指針	川上龜義	7巻 6号116	(R-13)
文検公民科明春突破への道	飯塚重三	11巻10号106	(R-21)
文検公民科模擬試験		4巻 9号110	(R-8)
文検公民科模擬試験結果発表		4巻11号107	(R-8)
文検公民科模擬試験次席答案発表		4巻12号107	(R-8)
文検公民科問題の研究	藤谷保	6巻 9号116	(R-12)
文検公民科問題の研究	藤谷保	6巻10号123	(R-12)
文検公民科問題の研究	藤谷保	6巻11号112	(R-12)
文検公民科問題の研究	藤谷保	6巻12号120	(R-12)
文検公民科問題の研究	藤谷保	7巻 1号132	(R-13)
文検公民科問題の研究	藤谷保	7巻 2号124	(R-13)
文検公民科問題の研究	藤谷保	7巻 3号132	(R-13)

文検公民科問題の研究	藤 谷 保	7巻 4号120	(R-13)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	7巻 5号129	(R-13)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	7巻 9号117	(R-14)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	7巻10号120	(R-14)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	7巻11号128	(R-14)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	7巻12号115	(R-14)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	8巻 1号116	(R-15)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	8巻 2号122	(R-15)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	8巻 3号119	(R-15)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	8巻 4号108	(R-15)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	8巻 7号103	(R-16)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	8巻 9号 94	(R-16)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	8巻10号 83	(R-16)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	8巻11号 90	(R-16)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	8巻12号112	(R-16)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	9巻 1号 95	(R-17)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	9巻 2号 86	(R-17)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	9巻 3号118	(R-17)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	9巻 4号121	(R-17)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	9巻 6号 86	(R-17)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	9巻 7号106	(R-18)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	9巻 9号 88	(R-18)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	9巻10号 97	(R-18)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	9巻11号109	(R-18)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	9巻12号 91	(R-18)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	10巻 1号 97	(R-19)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	10巻 2号 95	(R-19)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	10巻 3号 97	(R-19)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	10巻 4号 86	(R-19)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	10巻 5号 87	(R-19)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	10巻 6号100	(R-19)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	10巻 8号 89	(R-20)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	10巻 9号 99	(R-20)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	10巻10号 97	(R-20)

文検公民科問題の研究	藤 谷 保	10巻11号 94	(R-20)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	10巻12号 92	(R-20)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	11巻 1号 72	(R-21)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	11巻 2号 72	(R-21)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	11巻 3号 92	(R-21)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	11巻 4号 90	(R-21)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	11巻 5号 62	(R-21)
文検公民科問題の研究	藤 谷 保	11巻 6号 40	(R-21)
文検公民科予備試験問題解答	藤 谷 保	9巻 5号113	(R-17)
文検公民科予備試験問題解答	藤 谷 保	10巻 5号 79	(R-19)
文検公民科予備試験問題の解説	藤 谷 保	7巻 6号103	(R-13)
文検公民科予備試験問題の反省	川 原 孝 治	7巻 7号103	(R-14)
文検公民科より高文へ	小 沼 次 男	4巻 5号 88	(R- 7)
分限思想と公民教育	井 本 農 一	10巻 5号 7	★

へ

米国金融恐慌の世界的影響	服 部 文 四 郎	3巻 4号 40	(R- 5)
米国に於ける公民教育思潮	荒 井 貞 雄	3巻12号 21	(R- 6)
米国農民の読書と農村図書館	赤 座 光 市	8巻 2号117	(R-15)
変態社会の責任、制度か人か	大阪朝日新聞	2巻 9号104	(R- 4)

ほ

奉公小言	徳 富 猪 一 郎	2巻 2号 2	(R- 3)
法制解説	秋 吉 一 男	8巻 1号 76	(R-15)
法制解説	秋 吉 一 男	8巻 2号 58	(R-15)
法制解説	秋 吉 一 男	8巻 3号 46	(R-15)
法制解説	秋 吉 一 男	8巻 4号 68	(R-15)
法制解説	秋 吉 一 男	8巻 5号 53	(R-15)
法制解説	秋 吉 一 男	8巻 6号 62	(R-15)
法制解説	秋 吉 一 男	8巻 7号 42	(R-16)
法制解説	秋 吉 一 男	8巻 8号 76	(R-16)
法制解説	秋 吉 一 男	8巻10号 44	(R-16)

法制解説	秋吉一男	8巻11号	52	(R-16)
法制解説	秋吉一男	8巻12号	64	(R-16)
法制解説	秋吉一男	9巻1号	58	(R-17)
法制解説	秋吉一男	9巻2号	44	(R-17)
法制解説	秋吉一男	9巻3号	46	(R-17)
法制知識	秋吉一男	7巻6号	46	(R-13)
法制知識	秋吉一男	7巻7号	77	(R-14)
法制知識	秋吉一男	7巻8号	92	(R-14)
法制知識	秋吉一男	7巻9号	58	(R-14)
法制知識	秋吉一男	7巻10号	88	(R-14)
法制知識	秋吉一男	7巻11号	88	(R-14)
法制知識	秋吉一男	7巻12号	68	(R-14)
法と道徳	伊藤和衛	9巻8号	44	(R-18)
方面委員制度に就て	杉田三郎	4巻3号	61	(R-7)
法律、政治に対する女子の自覚	下田次郎	2巻4号	14	(R-3)
法律生活と経済生活	原龍之助	8巻1号	68	(R-15)
北支事件特別税法案に就て	石渡莊太郎	7巻9号	40	(R-14)
北地旅行雑感	前田若尾	6巻12号	99	(R-12)
僕の学生時代(その一)	池部鈞	1巻7号	70	(R-2)
僕の学校時代(その二)	池部鈞	1巻8号	90	(R-2)
僕の学校時代(その三)	池部鈞	1巻9号	56	(R-2)
僕の学校時代(その四)	池部鈞	2巻1号	44	(R-3)
僕の学校時代(その五)	池部鈞	2巻2号	82	(R-3)
僕の学校時代(その六)	池部鈞	2巻3号	68	(R-3)
輔翼の本質に就いて	井下田繁雄	9巻12号	57	(R-18)
本願にめさむる日	朝日融溪	5巻2号	97	(R-9)
本校掲示教育の概要	木村英三	4巻5号	62	(R-7)
本校公民教育方針及施設	太田博	6巻5号	115	(R-11)
本校に於ける公民教育の一端	高橋久一	3巻12号	34	(R-6)
本校の教育と公民教育	岸田與一	4巻2号	81	(R-7)
本校の公民的訓練	坂川好親	3巻9号	104	(R-6)
本校の公民的訓練の一端	青木與吉	1巻6号	82	(R-2)
本試験受験者の心得	渡邊徳治	4巻7号	110	(R-8)
本誌の使命	巻頭言	1巻2号	1	(R-1)

本年度口述の一問一答	宇津木正二三	6巻 9号126	(R-12)
本年度口述の一問一答	杉山兼吉	9巻 9号102	(R-18)
本年度口述の実際と対策	福島利雄	7巻11号134	(R-14)
本年度公民科受験概記	澤田良一	8巻 9号107	(R-16)
本年度公民科受験の回顧	村上義男	8巻10号 96	(R-16)
本年度公民教育概論の問題を通して	吉田悦郎	9巻10号111	(R-18)
本年度資金計画並に貿易計画に就て	松田令輔	12巻 6号 94	(R-22)
本年度の公民科・公民的訓練に於いて試み度いと思うこと	實際家十六氏	5巻 5号101	(R- 9)
本年度の我国財政に就て	櫻内幸雄	10巻 4号 50	(R-19)
本年度予備試験問題の解答	藤谷保	4巻 7号100	(R- 8)
本年の大衆教育問題	相澤熙	9巻 7号 34	(R-18)
本邦教育の長所と短所 (一)	川本宇之介	9巻 6号 49	(R-17)
本邦教育の長所と短所 (二)	川本宇之介	9巻 7号 19	(R-18)
本邦教育の長所と短所 (三)	川本宇之介	9巻 8号 15	(R-18)
本邦教育の長所と短所 (完)	川本宇之介	9巻 9号 46	(R-18)
本邦主要作物稲作の害虫	河田黨	1巻 9号100	(R- 2)
本邦人の公民的思想とその背景	川本宇之介	6巻 2号 11	(R-11)

## ま

枕草子抄	池田孝次郎	2巻 6号118	(R- 3)
枕草子抄	池田孝次郎	2巻 7号108	(R- 4)
貧しき経験を語る	高見正	4巻10号121	(R- 8)
マルクス主義の話 (吾が子の公民教育)	奥田寛太郎	2巻 5号 70	(R- 3)
マルセイユの凶変	永井三樹三	4巻11号 37	(R- 8)
満州国教育家の見た日本の教育		4巻12号123	(R- 8)
満州国に於ける治外法権の撤廃	三谷隆信	7巻12号 85	(R-14)
満州国の政治組織概観	稻田正次	9巻11号 34	(R-18)
満州里籠城七十日間	山崎誠一郎	3巻 3号 94	(R- 5)
満蒙視察旅行報告書	前田若尾	5巻 3号 95	(R- 9)
満蒙新国家の教育問題に対する一提唱	道家齊一郎	2巻 3号 17	(R- 3)

## み

水戸学朗詠に就いて	雨谷 毅	2巻 1号 98	(R- 3)
美濃部博士の選挙制度と官吏制度を読み更に教えを請う	武田 貞之助	2巻11号 93	(R- 4)
明年開催の羅府国際オリンピック大会		1巻 3号 91	(R- 1)
民間外交の期益々迫る	新渡戸 稻造	3巻 6号 2	(R- 5)
民心の和会	巻 頭 言	3巻 3号 1	(R- 5)
民族主義と国際協同体の問題	渡部 政盛	9巻 7号 1	(R-18)
民法・予試・本試・筆記・口述	出水 清治	11巻 4号107	(R-21)

## む

ムッソリーニの教育政策	福家 惣衛	1巻 1号101	(R- 1)
六原青年道場の教育的検討	小澤 恒一	5巻11号 57	(R-10)
紫式部日記抄	池田 孝次郎	2巻 3号114	(R- 3)
紫式部日記抄	池田 孝次郎	2巻 5号136	(R- 3)
村の出来事	田中 貢太郎	1巻 5号 87	(R- 1)

## め

明治時代の公民教育	海後 宗臣	2巻 9号 2	(R- 4)
明治大帝の御聖徳	田中 光顯	1巻 8号 2	(R- 2)
明治大帝を偲びまつりて	田中 光顯	4巻 1号 6	(R- 7)
明治天皇に咫尺奉りて	田中 光顯	1巻 2号 42	(R- 1)
明治天皇の憲法に関する御軫念	稲田 正次	9巻 6号 60	(R-17)

## も

文字のナヤミとその対策	松坂 忠則	10巻10号 89	(R-20)
物の考へ方について	岸田 国士	11巻 5号 40	(R-21)
物の生産に於ける魂の裏附	鎌塚 扶	10巻 5号 11	(R-19)
文部省視学委員復命書抄	岩井 龍海	8巻 3号 41	(R-15)
文部省視学委員復命書抄	戸田 貞三	8巻 3号 33	(R-15)
文部省視学委員復命書抄	藏内 數太	8巻 4号 50	(R-15)

文部省視学委員復命書抄	中川善之助	8巻 4号 45	(R-15)
文部省視学委員復命書抄	牧 健二	8巻 4号 53	(R-15)
文部省主催公民教育講習会		2巻 8号 86	(R- 4)
文部省編纂青年修身公民書編纂の趣旨と内容	宮瀬睦夫	12巻 1号 51	(R-22)

## や

躍進途上の青年学校教育	瀨 瀨 彌三	12巻 3号 10	(R-22)
躍進日本の世界的地位	川原次吉郎	5巻 2号 28	(R- 9)
山鹿素行の「士道」に就て	波多野述磨	12巻 4号 77	(R-22)
山の産み出す力	田部重治	2巻 8号 46	(R- 4)

## ゆ

有備無患	巻 頭 言	3巻 2号 1	(R- 5)
ユーモア二題	加能作次郎	1巻 8号110	(R- 2)
融和問題と修身・公民科 (一)	近藤恭一郎	9巻 3号 38	(R-17)
融和問題と修身・公民科 (二)	近藤恭一郎	9巻 4号 40	(R-17)

## よ

幼年期に於ける公民的訓練	森川正雄	3巻 5号 70	(R- 5)
翼賛会規約と職制		11巻 4号 98	(R-21)
翼賛議会と総選挙	中村正治	12巻 4号 67	(R-22)
翼賛政治会の意義	阿部信行	12巻 7号 78	(R-22)
翼賛政治と公民教育	金子親	12巻 7号 61	(R-22)
翼賛選挙訓	大政翼賛会	12巻 4号101	(R-22)
翼賛選挙と公民教育	小野源藏	12巻 3号 24	(R-22)
翼賛選挙と遵法	岩村通世	12巻 4号 92	(R-22)
翼賛選挙の国民的課題と公民科教育	岡本恒治	12巻 3号 52	(R-22)
翼賛選挙の認識と実践	野崎泰秀	12巻 3号 19	(R-22)
翼賛壮年団の性格について	景山鹿造	12巻 5号 88	(R-22)
翼賛体制の公民教育的基調	田制佐重	11巻 7号 6	(R-21)
予算上より見たる帝国海軍	海軍軍事普及部	7巻 4号 90	(R-13)

世論に対する教育的考察	小澤恒一	6巻7号16	(R-12)
「四ヶ国協約」運動の経済的基礎	阿部勇	3巻5号53	(R-5)

ら

ラインランド問題	外務省情報部	6巻5号64	(R-11)
ラジオと公民教育	多田不二	3巻8号22	(R-6)
ラジオと公民教育	小尾範治	6巻1号49	(R-11)

り

理科の郷土教育	三重県二見小学校	2巻9号98	(R-4)
陸軍の教育と実戦	北村一夫	12巻6号74	(R-22)
利己にさまよう	朝日融溪	4巻8号109	(R-8)
理想的教育者	馬場文翁	9巻11号1	(R-18)
理想的共同体への到達の道	吉田通達	1巻8号46	(R-2)
立憲国民の権威	林毅陸	3巻11号6	(R-6)
立憲自治に関する公民教育への期待	武田貞之助	5巻6号11	(R-9)
立憲政治教育の徹底(一)	田淵藤藏	5巻11号85	(R-10)
立憲政治と公民教育	松本重敏	4巻6号10	(R-7)
立憲政治に対する報恩行為	田淵藤藏	5巻12号114	(R-10)
立憲政治の確立と公民教育の任務	清水徳太郎	4巻6号7	(R-7)
立憲政治の将来と政治教育の問題	茗荷房吉	2巻12号23	(R-4)
立体的公民科	田制佐重	8巻8号71	(R-16)
臨時資金調整法に就いて	石渡莊太郎	7巻10号45	(R-14)
臨終の言葉	中澤信治	2巻6号66	(R-3)
隣保強化の根本問題	桑山三郎	11巻6号80	(R-21)

れ

歴史の興味	朝日融溪	3巻12号30	(R-6)
連盟脱退と其の前後	本間雅晴	3巻3号2	(R-5)

## ろ

ローシュ学校 (一)	福家惣衛	1巻 2号 64	(R- 1)
ローシュ学校 (二)	福家惣衛	1巻 4号 72	(R- 1)
ローシュ学校の教育法に対する英人の講評		1巻 5号 61	(R- 1)
ロカルノ条約を巡る欧州の現状勢	齊藤 茂	6巻 4号 85	(R-11)
論語の教訓	西川光二郎	2巻 1号 48	(R- 3)

## わ

我国現下の財政及金融に就いて	小川福太郎	5巻 1号 58	(R- 9)
我国公民教育の基相 (上)	上石保教	4巻 4号 10	(R- 7)
我国公民教育の基相 (下)	上石保教	4巻 5号 9	(R- 7)
我国公民教育の性格	西脇英逸	7巻 3号 98	(R-13)
我国公民教育の特殊性	川瀬光順	4巻 4号 1	(R- 7)
我国国体法解釈の統一	清岡雅雄	8巻 2号 95	(R-15)
我国刻下の人口問題と失業問題	美濃口時次郎	5巻 1号 85	(R- 9)
我国人口増加の趨勢	友安亮一	4巻11号 68	(R- 8)
我が国政治の倫理	伊藤榮四郎	12巻 5号 46	(R-22)
我国に於ける公民教育の本質	入澤宗壽	5巻10号 1	(R-10)
我国の貴族院とその現位在	清河政雄	7巻 3号 72	(R-13)
我が国の実業教育	清浦奎吾	4巻11号 1	(R- 8)
我が国の礼法の精神	木下一雄	12巻 7号 5	(R-22)
我国貿易の現状及将来	勝 正憲	4巻10号 83	(R- 8)
我国労働運動の将来	松岡駒吉	4巻 3号 29	(R- 7)
我が経済国難と生活改善	木村増太郎	1巻 6号 2	(R- 2)
我経済史に流れる日本精神	間賀卓次	12巻 3号 98	(R-22)
我が校戦時公民訓練の実際	川原孝治	12巻 3号 92	(R-22)
我校に於ける公民教育	野村一義	4巻 8号 33	(R- 8)
我校に於ける公民教育施設状況	文野庄七	3巻 8号 95	(R- 6)
我校に於ける公民教育の実際	江原勝兵衛	1巻 7号 83	(R- 2)
我校に於ける公民教育の実際	島永久太郎	1巻 8号 94	(R- 2)
我校に於ける公民教育の実際	柴山禮三	1巻 9号 76	(R- 2)
我校に於ける公民教育の実際	阿部 浩	2巻 1号100	(R- 3)

我が校に於ける公民教育の実際	矢野 酉雄	3巻 1号 60	(R- 5)
我が校に於ける公民訓練の実際	吉井孝次郎	5巻12号 40	(R-10)
我が校の郷土教育	鳥谷尾友次郎	2巻 3号100	(R- 3)
我が校の公民教育に就いて	青木 與吉	1巻 5号 75	(R- 1)
我が国体と憲法	井下田繁雄	10巻 3号 86	(R-19)
我が国体と公民教育	奥田寛太郎	1巻 3号 18	(R- 1)
我が国体の精華	奥田寛太郎	2巻 3号 34	(R- 3)
我が国民教育と其宗教的心情	加藤 玄智	3巻 7号 50	(R- 6)
我が国民教育の反省	小澤 恒一	6巻12号 7	(R-12)
我が国民性の弱点	巻 頭 言	1巻 5号 1	(R- 1)
我が子の公民教育	奥田寛太郎	1巻 6号 19	(R- 2)
我が子の公民教育 (二)	奥田寛太郎	1巻 8号 80	(R- 2)
我が子の公民教育 (三)	奥田寛太郎	1巻 9号 60	(R- 2)
我が子の公民教育 (四)	奥田寛太郎	2巻 2号 77	(R- 3)
我が財政の推進力	太田 正孝	9巻 2号 52	(R-17)
我が受験道を顧みて	早川 清吾	7巻10号127	(R-14)
吾輩は低気圧である	長尾 和生	2巻 1号 87	(R- 3)
我が家	永井 享	2巻 5号 33	(R- 3)
忘れられんとする公民科の一面	及川儀右衛門	8巻 5号 1	(R-15)
私とは何のことか	辻本與次郎	5巻 6号 86	(R- 9)
私の研究法と本試の実況	可 忠良	8巻 6号106	(R-15)
私の公民科指導の一面	井原 孝一	3巻 6号 83	(R- 5)
私の公民科受験準備法	加来 利治	5巻 1号128	(R- 9)
私の日本人観	ジョゼー・ジョビン	6巻 9号 85	(R-12)
私は現下の日米関係を如何に見るか	飯田満佐子	7巻 2号113	(R-13)
私は現下の日米関係を如何に見るか	楠山富美子	7巻 2号120	(R-13)
私は現下の日支関係を如何に見るか	間瀬 ハル	7巻 2号111	(R-13)
私は現下の日支関係を如何に見るか	末永千代	7巻 2号117	(R-13)
我等の海外発展地としての南洋	杉田 祥夫	3巻 8号104	(R- 6)
我等を巡る世界の動き	土屋 準	12巻 2号 48	(R-22)

# 総 索 引

「著者名・団体名」

「論文名」

## 索引凡例

この索引は、雑誌『公民教育』に掲載された、「論文名」による索引とそれを執筆した者の「著者名・団体名」による索引とから成り、それぞれを50音順に配列した。

### <論文名>

1. 旧漢字は原則として常用漢字に直し、常用漢字表にない漢字は、旧漢字を採用した。
1. 目次と本文で論文名の表記に相違がある場合は、本文で使用されている表記を採用した。
1. 明らかに誤植と判断されるものは、これを正した。

### <著者名・団体名>

1. 個人名の場合は、原則として旧漢字をそのままに残した。団体名の場合は、これを常用漢字に直した。
1. 読み方については、日本著作権協議会刊『著作権台帳第9版』1961年版を参考にした。
  - (1) 個人名
    - ・個人名は、姓と名をそれぞれ一単位として配列した。
    - ・同一人の別名（筆名、雅号、改姓など）は、別名をそのまま採用した。
    - ・漢字文化圏の人名は漢字を日本語読みにし、日本人名に準じて配列した。
  - (2) 団体名は、正式名称を一単位として配列し、下部機関の名称はそれが属する上部機関を採った。

例：帝国公民教育協会調査部→帝国公民教育協会

※リール番号欄に★印で表示した7論文につきましては、残念ながら著作権者の許諾が得られず、マイクロフィルム版からは削除いたしました。

〈著者名〉	〈論文名〉	〈収録巻号・頁〉	〈リール番号〉
あ			
相澤 秀一	選挙肅正と公民教育	6巻 3号 74	(R-11)
	公民教育に対する一提言	6巻 7号 39	(R-12)
	時局と今後の教育への反省	8巻 1号101	(R-15)
相澤 熙	拳国産業兵の養成に就いて	1巻 7号 2	(R- 2)
	樺太の奥地	2巻 1号 58	(R- 3)
	公民教育座談会	2巻 2号 36	(R- 3)
	花と人生	5巻 1号 39	(R- 9)
	国際教育会議物語	7巻 8号 68	(R-14)
	風雲漫録	8巻 3号 92	(R-15)
	青年学校義務制と教員の問題	8巻 4号 18	(R-15)
	銀杏の樹	8巻12号 54	(R-16)
	本年の大衆教育問題	9巻 7号 34	(R-18)
	昭和の神風	9巻10号 81	(R-18)
	世界的動搖の二つの中心とそれを巡る国家群の対立	11巻 8号 48	(R-21)
青木 得三	昭和八年度予算の解説及批判	3巻 1号 8	(R- 5)
	各国の租税制度と増税問題	6巻 6号 47	(R-11)
青木 秀夫	公民権の資格要件	2巻 2号 24	(R- 3)
青木 與吉	我が校の公民教育に就いて	1巻 5号 75	(R- 1)
	本校の公民的訓練の一端	1巻 6号 82	(R- 2)
	運動会を利用した公民教育	2巻 5号114	(R- 3)
赤座 光市	英国農村の衰微相	4巻 4号 77	(R- 7)
	今日の農村問題の種々相 (一)	5巻11号 99	(R-10)
	今日の農村問題の種々相 (二)	6巻 1号 96	(R-11)
	今日の農村問題の種々相 (三)	6巻 3号114	(R-11)
	米国民の読書と農村図書館	8巻 2号117	(R-15)
	都市民の読書生活相	10巻 6号 16	(R-19)
	農村民の読書生活相 (上)	10巻 7号 38	(R-20)
	農村民の読書生活相 (下)	10巻 8号 49	(R-20)
赤坂 右逸	高等専門学校入学試験科目に公民科を加うる問題に就いて	6巻 2号 77	(R-11)
赤堀 孝	教育の革新	12巻 2号 90	(R-22)
	公民教育より見たる現代女子教育の諸難点	12巻 3号 66	(R-22)

赤堀	孝	公民教育者の任務	12巻 7号 35	(R-22)
秋田	達	職業選択に就ての一考察	2巻12号 43	(R- 4)
		連れ子の家督相続権に就て	4巻 5号 91	(R- 7)
		公民教育に於ける教授者の立場	4巻 8号121	(R- 8)
		小学校教員検定公民科の講評	5巻10号 96	(R-10)
秋月	兼一	高等女学校生徒の公民的素養に関する調査	2巻 9号 50	(R- 4)
		研究教授に用いたる公民科教授案	2巻11号 47	(R- 4)
		高等女学校公民科教授細目私案	3巻11号 53	(R- 6)
		生徒より見たる公民科	5巻 4号 51	(R- 9)
		現行高等女学校公民科教授要目所感	6巻 8号 79	(R-12)
		新要目準拠公民科教授細目案 (上)	8巻 3号108	(R-15)
		新要目準拠公民科教授細目案 (下)	8巻 5号 69	(R-15)
秋永	月三	高度国防国家の建設	11巻 9号 40	(R-21)
秋山	篤英	公民科教授の実際問題	12巻 7号 42	(R-22)
秋吉	一男	法制知識	7巻 6号 46	(R-13)
		法制知識	7巻 7号 77	(R-14)
		法制知識	7巻 8号 92	(R-14)
		法制知識	7巻 9号 58	(R-14)
		法制知識	7巻10号 88	(R-14)
		法制知識	7巻11号 88	(R-14)
		法制知識	7巻12号 68	(R-14)
		法制解説	8巻 1号 76	(R-15)
		法制解説	8巻 2号 58	(R-15)
		法制解説	8巻 3号 46	(R-15)
		法制解説	8巻 4号 68	(R-15)
		法制解説	8巻 5号 53	(R-15)
		法制解説	8巻 6号 62	(R-15)
		法制解説	8巻 7号 42	(R-16)
		法制解説	8巻 8号 76	(R-16)
		法制解説	8巻10号 44	(R-16)
		法制解説	8巻11号 52	(R-16)
		法制解説	8巻12号 64	(R-16)
		法制解説	9巻 1号 58	(R-17)
		法制解説	9巻 2号 44	(R-17)

秋吉一男	法制解説	9巻 3号 46	(R-17)
浅賀辰次郎	公民教育に就て	3巻 3号 11	(R- 5)
	公民科に於ける時事問題の扱方	4巻 1号 35	(R- 7)
	公民科に於ける時事問題の扱方	4巻 2号 52	(R- 7)
浅野次作	聖旨を奉体して	3巻11号101	(R- 6)
朝原梅一	少年休養施設の試み	11巻 9号 35	(R-21)
	最近我が国に於ける健民運動	12巻 5号 93	(R-22)
朝日融溪	公民としての自覚	1巻 5号 46	(R- 1)
	歴史の興味	3巻12号 30	(R- 6)
	はぐくまるる人の心	4巻 1号 64	(R- 7)
	生命の本然性	4巻 5号 30	(R- 7)
	利己にさまよう	4巻 8号109	(R- 8)
	本願にめさむる日	5巻 2号 97	(R- 9)
朝比奈策太郎	青年学校の制度に就いて	6巻11号 62	(R-12)
蘆田均	欧州戦争と日本	9巻11号 72	(R-18)
東榮二	不足資源と其の代用品	8巻 7号 98	(R-16)
東進太郎	第二段階に入った大東亜戦争と印度及びビルマ	12巻 2号 60	(R-22)
麻生正藏	公民教育と家庭教育	4巻 9号 1	(R- 8)
	選挙肅正と政治浄化は公民教育より	6巻 4号 2	(R-11)
	日本公民の必須資格	7巻 2号 1	(R-13)
	聖戦の真義と教育の使命	8巻 2号 1	(R-15)
安達堅造	時局と航空に関する公民教育	3巻 2号 71	(R- 5)
安達謙藏	選挙肅正と政党の責任	5巻 9号118	(R-10)
阿部勇	「四ヶ国協約」運動の経済的基礎	3巻 5号 53	(R- 5)
安部磯雄	政界浄化の根本問題	1巻 7号 28	(R- 2)
	公民道徳と社会制度	2巻10号 9	(R- 4)
	選挙肅正と政府の取締	5巻 9号119	(R-10)
阿部賢一	公民教育座談会	2巻 2号 36	(R- 3)
阿部眞之助	政治・公民教育・教育者	6巻 2号 2	(R-11)
安部隆範	国民学校と公民教育	11巻 5号 32	(R-21)
阿部只治	郷土に立てる公民算術教育	4巻 8号 78	(R- 8)
阿部信行	翼賛政治会の意義	12巻 7号 78	(R-22)
阿部浩	我校に於ける公民教育の実際	2巻 1号100	(R- 3)
安部正法	公民教育に於ける実際施設	6巻 5号110	(R-11)

阿部宗高	最近の欧米を見て	3巻 2号 82	(R- 5)
雨谷毅	水戸学朗詠に就いて	2巻 1号 98	(R- 3)
荒井貞雄	米国に於ける公民教育思潮	3巻12号 21	(R- 6)
新井石龍	女の近江聖人	2巻 4号114	(R- 3)
新居格	夏の海景	2巻 8号 49	(R- 4)
	非常時日本を見る	4巻 1号 97	(R- 7)
	新春の思索	5巻 1号 37	(R- 9)
荒岡俊文	公民生活訓練の実際	1巻 9号 72	(R- 2)
荒川五郎	土地工作愛護の精神	2巻 1号 96	(R- 3)
	国民警察法制定の緊要	2巻 2号 96	(R- 3)
	日本人の長所短所	6巻 1号 38	(R-11)
荒川好男	学校行事の公民教育的実践	7巻 4号 42	(R-13)
荒木貞夫	非常時の認識と学生の覚悟	3巻 8号 35	(R- 6)
	年頭の所感	9巻 1号 1	(R-17)
荒木直	商業学校の特質と公民科要目批判	6巻 8号 76	(R-12)
荒木光太郎	インフレーションの過去現在及び未来	3巻 2号 8	(R- 5)
荒波忠夫	文検公民科の内容と参考書の吟味	4巻12号114	(R- 8)
有賀敦義	公民道徳小論	5巻11号 41	(R-10)
有澤廣巳	統制経済の目標	6巻 5号 40	(R-11)
有馬頼寧	産業組合の保険事業を中心として	10巻 3号 46	(R-19)
有吉明	支那に対する我等の態度	6巻12号 85	(R-12)
有原末吉	公民教育と新聞	3巻 1号 76	(R- 5)
	時事問題、社会問題に対する女子学生の関心	4巻 3号 92	(R- 7)
アルデマーニ	イタリアの新体制	10巻10号 64	(R-20)
栗屋謙	公民教育の普及徹底に就いて	2巻 2号 6	(R- 3)
安藤紀三郎	清新議会の建設	12巻 3号 42	(R-22)
安藤精一・川邊俊夫	栃木師範の公民科の実際	2巻 7号 92	(R- 4)

## い

飯岡朗	宗教の取扱に就ての卑見	3巻 7号 82	(R- 6)
飯田四郎三郎	文検公民科に合格する迄	6巻 9号120	(R-12)
飯田満佐子	私は現下の日米関係を如何に見るか	7巻 2号113	(R-13)
飯塚重三	文検公民科明春突破への道	11巻10号106	(R-21)

飯野 稻城	過渡期的現象の恒常性と公民的訓練	6巻 5号 2	(R-11)
	社会不安と貧乏並びにその訓練	6巻 6号 4	(R-11)
	改正公民科教授要目に就いて	7巻 4号 15	(R-13)
	公民教育の根本方針に就いての一見解	8巻 1号 32	(R-15)
池岡 直孝	公民教育の意義	1巻 1号 80	(R- 1)
	ジャーナリズムと教育	2巻 5号 8	(R- 3)
	家族制度と国民道徳	3巻 4号 17	(R- 5)
	公民教育による日本精神の涵養	4巻 1号 11	(R- 7)
	国家精神の涵養	5巻 3号 39	(R- 9)
	国体明徴と公民科	5巻11号 6	(R-10)
	国体明徴に基く公民科の取扱	6巻 5号 26	(R-11)
	現行公民科教授要目の批判	6巻 8号 22	(R-12)
	改正公民科教授要目に対する所感	7巻 6号 7	(R-13)
	修身科と公民科との統合問題	8巻 1号 21	(R-15)
	青年学校修身及公民科教授及訓練要目解説(一)	8巻 4号126	(R-15)
	青年学校修身及公民科教授及訓練要目解説(二)	8巻 5号125	(R-15)
	青年学校修身及公民科要目解説 (三)	8巻 6号123	(R-15)
	青年学校修身及公民科要目解説 (四)	8巻 7号127	(R-16)
	青年学校修身及公民科要目解説 (五)	8巻 8号123	(R-16)
	青年学校修身及公民科要目解説 (六)	8巻 9号119	(R-16)
	青年学校修身及公民科要目解説 (七)	8巻10号115	(R-16)
	青年学校修身及公民科要目解説 (八)	8巻11号117	(R-16)
	青年学校修身及公民科要目解説 (九)	8巻12号103	(R-16)
	青年学校修身及公民科要目解説 (十)	9巻 1号123	(R-17)
	青年学校修身及公民科要目解説 (十一)	9巻 2号115	(R-17)
	青年学校修身及公民科要目解説 (十二)	9巻 3号 69	(R-17)
	青年学校修身及公民科要目解説 (十三)	9巻 4号103	(R-17)
	青年学校修身及公民科要目解説 (十四)	9巻 5号 95	(R-17)
	青年学校修身及公民科要目解説 (十五)	9巻 6号115	(R-17)
	青年学校修身及公民科要目解説 (十六)	9巻 8号109	(R-18)
青年学校修身及公民科要目解説 (十七)	9巻 9号111	(R-18)	
青年学校修身及公民科要目解説 (十八)	9巻10号113	(R-18)	
青年学校修身及公民科要目解説 (十九)	9巻11号 85	(R-18)	
青年学校修身及公民科要目解説 (二十)	9巻12号107	(R-18)	

池岡直孝	青年学校修身及公民科要目解説 (二十一)	10巻 2号 69	(R-19)
	青年学校修身及公民科要目解説 (二十二)	10巻 3号 59	(R-19)
	青年学校修身及公民科要目解説 (二十三)	10巻 4号 97	(R-19)
	青年学校修身及公民科要目解説 (二十四)	10巻 5号 45	(R-19)
	青年学校修身及公民科要目解説 (二十五)	10巻 6号 77	(R-19)
	青年学校修身及公民科要目解説 (二十六)	10巻 9号 79	(R-20)
	青年学校修身及公民科要目解説 (二十七)	10巻10号 77	(R-20)
	青年学校修身及公民科要目解説 (二十八)	10巻11号 83	(R-20)
	維新と復古	10巻12号 21	(R-20)
	青年学校修身及公民科要目解説 (二十九)	11巻 1号 83	(R-21)
	青年学校修身及公民科要目解説 (三十)	11巻 2号 55	(R-21)
	青年学校修身及公民科要目解説 (三十一)	11巻 3号 73	(R-21)
	青年学校修身及公民科要目解説 (三十二)	11巻 4号 75	(R-21)
	青年学校修身及公民科要目解説 (三十三)	11巻 5号 71	(R-21)
	青年学校修身及公民科要目解説 (三十四)	11巻 6号 47	(R-21)
	青年学校修身及公民科要目解説 (三十五)	11巻 7号 65	(R-21)
	公民科教授上の革新問題	12巻 4号 33	(R-22)
池園哲太郎	日本及日本人の神秘的存在	3巻 8号 8	(R- 6)
池田 克	刑法の改正に就て	4巻 9号 26	(R- 8)
池田孝次郎	春日抄	2巻 1号121	(R- 3)
	紫式部日記抄	2巻 3号114	(R- 3)
	紫式部日記抄	2巻 5号136	(R- 3)
	枕草子抄	2巻 6号118	(R- 3)
	枕草子抄	2巻 7号108	(R- 4)
井下田繁雄	国務大臣と枢密顧問	9巻 3号116	(R-17)
	輔翼の本質に就いて	9巻12号 57	(R-18)
	我が国体と憲法	10巻 3号 86	(R-19)
池部 鈞	僕の学生時代 (その一)	1巻 7号 70	(R- 2)
	僕の学校時代 (その二)	1巻 8号 90	(R- 2)
	僕の学校時代 (その三)	1巻 9号 56	(R- 2)
	僕の学校時代 (その四)	2巻 1号 44	(R- 3)
	僕の学校時代 (その五)	2巻 2号 82	(R- 3)
	僕の学校時代 (その六)	2巻 3号 68	(R- 3)
	美術学校時代 (一)	2巻 4号 72	(R- 3)

池部 鈞	美術学校時代 (二)	2巻 7号 72	(R- 4)
石川 謙	心学教化概観	1巻 7号 46	(R- 2)
	心学教化の普及	1巻 8号 54	(R- 2)
石坂 豊一	時局と政治教育の重要性	3巻 5号 2	(R- 5)
石澤 豊	日蘭会商に就いて	4巻 7号 16	(R- 8)
石田 馨	神社と公民教育	2巻 7号 30	(R- 4)
石山 脩平	新体制と教育的視野の拡大	10巻11号 6	(R-20)
石渡 莊太郎	北支事件特別税法案に就て	7巻 9号 40	(R-14)
	臨時資金調整法に就いて	7巻10号 45	(R-14)
	銃後の貯蓄報国	8巻 6号 69	(R-15)
磯村 英一	近代女性意識に現れた母性に就て	4巻 6号 76	(R- 7)
	公民教育に於ける「都市と農村」に就いて	4巻 9号 75	(R- 8)
	欧米公民教育断想	7巻 8号 71	(R-14)
	日本的公民教育への一反省	7巻 9号 28	(R-14)
	隣組を中心とする社会意識の発展	10巻11号 29	(R-20)
猪谷 善一	世界経済会議の諸問題	3巻 7号 38	(R- 6)
市川 源三	女子と公民科	2巻 1号 18	(R- 3)
井出 梓	農民窮乏に関する一考察	3巻 1号108	(R- 5)
出水 清治	民法・予試・本試・筆記・口述	11巻 4号107	(R-21)
伊藤 榮四郎	国家と道德 (上)	11巻 7号 44	(R-21)
	国家と道德 (中)	11巻 8号 32	(R-21)
	国家と道德 (下)	11巻 9号 12	(R-21)
	大詔に拝し奉る宣戦の理由と征戦の目的	12巻 2号 32	(R-22)
	我が国政治の倫理	12巻 5号 46	(R-22)
伊藤 和衛	改正要目の根本義に対する私見	7巻 5号 45	(R-13)
	修身科と公民科の相関と新要目	7巻 7号 40	(R-14)
	国体の非合理的性質と公民科	7巻11号 98	(R-14)
	法と道德	9巻 8号 44	(R-18)
伊藤 痴遊	維新雑感	1巻 1号108	(R- 1)
伊東 延吉	公民教育の方法に於ける三段階	2巻 3号 12	(R- 3)
	日本文化協会成立の意義と其の事業	4巻 4号 64	(R- 7)
	青年学校教育義務制の実施に就て	8巻 2号 15	(R-15)
伊藤 博	選挙肅正運動の展望	5巻 9号 28	(R-10)
伊藤 文吉	金属増産の戦い	12巻 7号 92	(R-22)

稲毛金七	公民科の難点を論じて教育と政治との関係に及ぶ	3巻 4号 11	(R- 5)
	政治教育の困難と其の方針	4巻 6号 17	(R- 7)
	社会教育に於ける公民教育	4巻10号 1	(R- 8)
	中学校の年限短縮と公民教育	5巻11号 1	(R-10)
	公民教育の障害	6巻 6号 2	(R-11)
	改正公民科教授要目論評	7巻 7号 1	(R-14)
	昭和十三年の公民教育	8巻 1号 4	(R-15)
	飛躍期に処する大国民的公民教育	8巻12号 1	(R-16)
	公民的錬成	10巻 3号 1	(R-19)
	新体制と公民教育の指標	10巻 8号 9	(R-20)
	教育と政治	10巻11号 1	(R-20)
	国民学校と公民教育	11巻 4号 1	(R-21)
	国家の教育性	11巻10号 1	(R-21)
	必勝戦下の公民教育	12巻 1号 65	(R-22)
稲田正次	帝国憲法の根本義	6巻 4号 27	(R-11)
	公民教育の重点と教授要目の改善	6巻10号 11	(R-12)
	再び公民教育の重点について	6巻12号 26	(R-12)
	改正公民科教授要目の考察	7巻 8号 1	(R-14)
	帝国憲法の独特性	8巻 9号 20	(R-16)
	明治天皇の憲法に関する御軫念	9巻 6号 60	(R-17)
	満州国の政治組織概観	9巻11号 34	(R-18)
	国体・憲法と新体制	10巻 9号 42	(R-20)
	高度国防国家の法的構造	11巻 7号 31	(R-21)
稲葉豊次郎	産業組合主義実習教授の実例	5巻 7号 92	(R-10)
井上秀子	一家の生計	2巻 6号 32	(R- 3)
井上稔	ケルシエンシュタイネルの公民教育論	3巻 8号 59	(R- 6)
井原孝一	私の公民科指導の一面	3巻 6号 83	(R- 5)
	師範学校二部公民科と其の取扱	6巻11号 48	(R-12)
	貝原益軒先生の偉さ	9巻 6号 76	(R-17)
今津明	農作物の害虫及び蠅の駆除法に就きて	2巻 4号 96	(R- 3)
	農作物の害虫駆除	2巻 6号104	(R- 3)
今田竹千代	教育に於ける主体的活動	12巻 6号 13	(R-22)
今中次麿	最新立憲政治学説の傾向	3巻 7号 2	(R- 6)
今村均	海外に学んだ先輩の努力	1巻 1号 76	(R- 1)

井本 農一	日本精神の形成と公民科教育	8巻 9号 12	★
	現代と公民教育の方法	8巻11号 33	★
	公民教育の現代的課題	9巻 4号 32	★
	公民教育に於ける都会と地方	9巻 9号 23	(R-18)
	公民教育と学校拡張	9巻12号 24	(R-18)
	日本の特殊性と公民教育	10巻 2号 24	(R-19)
	分限思想と公民教育	10巻 5号 7	★
	時局下公民教育の重要性	10巻 9号 50	★
	「日本的なもの」への考察	11巻 6号 96	★
入江 俊郎	第七十議会を通過した重要法律 (一)	7巻 5号 83	(R-13)
入澤 宗壽	教育の形態	2巻 8号 18	(R- 4)
	公民教育の概念と方法	3巻 6号 7	(R- 5)
	公民教育と日本精神の教育	4巻 8号 1	(R- 8)
	我国に於ける公民教育の本質	5巻10号 1	(R-10)
	公民教育の再検討	6巻11号 2	(R-12)
	時局の迫力と公民教育の反省	7巻11号 1	(R-14)
	大国民としての教養	9巻 1号 10	(R-17)
岩井 龍海	共存共栄	3巻 9号 2	(R- 6)
	文部省視学委員復命書抄	8巻 3号 41	(R-15)
岩瀬 六郎	小学校に於ける公民的訓練	3巻 2号 45	(R- 5)
	小学校公民教育一年間の指導計画案	4巻 4号 29	(R- 7)
	公民教育の名と実	9巻 9号 14	(R-18)
岩原 拓	体育の精神的意義	1巻 1号 86	(R- 1)
岩村 通世	戦時下に於ける国内治安	12巻 1号 91	(R-22)
	翼賛選挙と遵法	12巻 4号 92	(R-22)
尹 成容	公民科予備試験雑観	8巻12号126	(R-16)

## う

上木 榮一	文検公民科準備の経過	5巻 9号131	(R-10)
上田庄三郎	公民意識と人間意識	6巻 4号 36	(R-11)
	昭和十一年の教育年評	6巻12号 77	(R-12)
	戦争と公民教育の道標	9巻 8号 29	(R-18)
	教育昭和十四年の回顧	9巻12号 11	(R-18)

上田庄三郎	新政治体制と公民教育の発展	10巻 8号 14	(R-20)
	政治の高度化と知識層の問題	10巻12号 6	(R-20)
	公民道実践の政治体制	11巻 2号 7	(R-21)
	大東亜戦争と公民教育	12巻 1号 22	(R-22)
	アメリカニズム超克の教育	12巻 4号 14	(R-22)
植田清次	公民教育の課題	5巻 3号 61	(R- 9)
	公民教育の方法	6巻 3号 67	(R-11)
	文教に於ける公民教育の地位	6巻12号 49	(R-12)
	公民科に於ける学問的立場と教育的立場	8巻 8号 12	(R-16)
	誰が公民教育を歪曲するか	9巻 4号 26	(R-17)
	公民科に関する試験の可否	9巻12号 19	(R-18)
	公民教育と新政治体制	10巻 8号 19	(R-20)
	国防国家と公民教育	11巻 7号 16	(R-21)
上田忠雄	公民科教材と学校行事	7巻 4号 48	(R-13)
	文検公民科口述の印象	8巻11号104	(R-16)
上塚司	大アマゾンに於ける開拓事業について	2巻10号 78	(R- 4)
上野陽一	科学・哲学・宗教と個人主義および全体主義	8巻 3号 7	(R-15)
上原務	公民教育的立場より観たる学級経営	4巻12号 54	(R- 8)
上村文二郎	公民的陶冶を意図したる修身教育	4巻 8号 46	(R- 8)
宇佐美珍彦	大東亜戦争と支那経済開発の意義	12巻 7号 87	(R-22)
薄金兼次郎	映画の感化力	12巻 7号 68	(R-22)
宇田尚	皇道文化の創造	12巻 6号 98	(R-22)
内ヶ崎作三郎	国民精神総動員と職業指導	7巻12号 97	(R-14)
内田康哉	現下の外交問題と国民の覚悟	3巻 4号 2	(R- 5)
内山直治	国語科に於ける公民教育と国語読本に於ける公民的教材	3巻 9号 61	(R- 6)
	小学校の公民教育に於いて徹底せられねばならぬもの	6巻 3号 80	(R-11)
内山直治・佐久間卯吉	綴り方教育に公民的な考慮を	4巻 8号 60	(R- 8)
宇津木正二三	本年度口述の一問一答	6巻 9号126	(R-12)
梅井千秋	公民教育に関する指導案	3巻12号 65	(R- 6)
梅根悟	政治的国民教育の諸問題	3巻10号 63	(R- 6)
	政治的国民教育の諸問題	3巻11号 19	(R- 6)

## え

江上利生	宗教を求め心	4巻12号	1	(R- 8)
	世界思想と国民精神	5巻	2号	1 (R- 9)
	神社の本質と宗教	5巻	7号	69 (R- 9)
衛藤干城	青年学校に於ける公民教育の重要点	7巻	5号	112 (R-13)
榎本萬吉	改正公民科教授要目の概観	7巻	6号	75 (R-13)
江原勝兵衛	我校に於ける公民教育の実際	1巻	7号	83 (R- 2)
圓地與四松	世界の景気はどうなるか	1巻	3号	76 (R- 1)
遠藤隆吉	公民科の歴史と改題	2巻12号	80	(R- 4)
	公民教育は小学校に於てすべし	6巻	7号	9 (R-12)
	古代に於ける公民なる語の復活は即ち生々のなり	8巻	8号	1 (R-16)
	公民の名に恥づる勿れ	11巻	7号	1 (R-21)

## お

及川儀右衛門	公民科教授の着眼	2巻10号	39	(R- 4)
	公民科教授の実際問題	3巻	1号	54 (R- 5)
	地理科に於ける公民教育	3巻	9号	48 (R- 6)
	中学校に於ける公民教育と公民的訓練	4巻	6号	60 (R- 7)
	中学校修業年限短縮と公民科	5巻10号	38	(R-10)
	公民科と時事問題	5巻12号	26	(R-10)
	国家と法に就いて	6巻	6号	28 (R-11)
	公民科の真生命と現行教授要目	6巻	8号	36 (R-12)
	価値転換と公民科教授要目	7巻	2号	50 (R-13)
	支那事変と公民教育の立場	7巻10号	38	(R-14)
	忘れられんとする公民科の一面	8巻	5号	1 (R-15)
	婦人によびかける	9巻	1号	46 (R-17)
	現代観照と歴史観照	9巻	6号	1 (R-17)
	復古と維新	10巻	1号	4 (R-19)
	新体制と公民教育の着眼	10巻	8号	1 (R-20)
	時の流に棹さす	11巻	3号	1 (R-21)
	形と影	11巻	8号	8 (R-21)
	第二の肇国・天地開闢としての大東亜戦争	12巻	1号	16 (R-22)

及川常平	人事相談事務の概要	3巻 1号 95	(R- 5)
大内昌雄	公民教育実践としての自治訓練	8巻 2号100	(R-15)
大江すみ子	婦人公民権問題	1巻 1号 67	(R- 1)
大川定三	東京市青年学校教育研究会総会陪席記	7巻 8号119	(R-14)
大串兎代夫	改正要目と其重要点の二三	7巻 5号 27	(R-13)
	事変の意義と国家理念の拡大	8巻11号 1	(R-16)
	国家倫理論	10巻12号 1	(R-20)
大久保清四郎	公民科教授上の一考察と受験の要諦	4巻 6号108	(R- 7)
大熊喜邦	帝国議会議事堂の建築を語る	6巻11号 79	(R-12)
大河内清榮	文検公民科口述の印象	6巻 1号118	(R-11)
大島正徳	公民道德	1巻 1号 48	(R- 1)
	国家及皇室と臣民	2巻 4号 46	(R- 3)
	都市に於ける公民的教養	2巻10号 18	(R- 4)
大杉謹一	国民思想動搖の原因をたづねて昭和維新の指導精神に及ぶ	6巻 5号 21	(R-11)
大瀬甚太郎	公民教育と国民性	6巻 7号 2	(R-12)
太田博	金的を射るまで	5巻 2号116	(R- 9)
	経済更生に関し青年教育に於て施設経営すべき公民訓練方案	5巻 4号 81	(R- 9)
	本校公民教育方針及施設	6巻 5号115	(R-11)
	事変下に於ける公民教育の実践	8巻 1号108	(R-15)
	刑事補償法について	8巻11号 84	(R-16)
	時局と公民教育の再吟味	9巻 8号 77	(R-18)
太田正孝	我が財政の推進力	9巻 2号 52	(R-17)
大谷美隆	「孝」の本義に就いて	7巻12号 3	(R-14)
大槻正一	西と東	3巻 9号 13	(R- 6)
大伴茂	職業道德と公民教育	4巻 7号 62	(R- 8)
大西齋	支那最近の政情	3巻 5号 60	(R- 5)
大西権一	七年度公民科教授の回顧	3巻 4号 70	(R- 5)
	公民科より見たる修学旅行	5巻 6号101	(R- 9)
大西佐代吉	公民科口述試験の実際	4巻11号117	(R- 8)
	公民教育の究極目的	5巻 5号 96	(R- 9)
大西誠喜治	耕種科農業経済科を経て公民科へ	5巻 4号124	(R- 9)
大沼喜久男	公民科に於ける時事問題の取扱	7巻 6号 54	(R-13)
大野盛直	工業学校に於ける公民科の任務	8巻 3号104	(R-15)
大野龍太	昭和十四年度予算の話	9巻 4号 46	(R-17)

大野龍太	国家総動員法第十一条の発動に就て	9巻 5号 78	(R-17)
	昭和十五年度予算について	10巻 1号 72	(R-19)
大野木克彦	都市と社会事業	4巻 3号 54	(R- 7)
大平進一	現代政治と公民教育	6巻 2号 5	(R-11)
	軍部大臣の地位と政治的発言	7巻 3号 67	(R-13)
大藤時彦	公民教育と日本民族学	10巻11号 16	(R-20)
	生活認識の教育	12巻 5号 18	(R-22)
大村清一	日支事変と軍事扶助事業	7巻 9号 45	(R-14)
大山善次郎	現代の教育に就て	4巻 5号 95	(R- 7)
岡 實	社会生活と公民意識	1巻 1号 12	(R- 1)
岡井勝美	根本は教科書の理解	3巻10号104	(R- 6)
岡島次司郎	日本銀行の改組と管理通貨制度の意義	12巻 2号 76	(R-22)
岡田恒輔	小学校教員の思想問題	3巻 1号 17	(R- 5)
岡田文秀	国民登録制の実施に就て	9巻 2号 33	(R-17)
岡野直	文検公民科の内容と準備	5巻 3号122	(R- 9)
岡村喜代志	今昔頭陀袋	3巻 1号 83	(R- 5)
	革新よりは寧ろ是正せよ	7巻11号 25	(R-14)
岡本和一	精神と形式の合一	3巻 9号106	(R- 6)
岡本かの子	社会人としてのイギリス人	2巻 8号 41	(R- 4)
岡本恒治	公民科の時代的使命と日本学的公民教授	10巻 1号 44	(R-19)
	公民科に於ける自律的学習態度の指導	10巻 2号 30	(R-19)
	公民科の新体制的使命と其の遂行形態	11巻 3号 32	(R-21)
	翼賛選挙の国民的課題と公民科教育	12巻 3号 52	(R-22)
岡山光雄	公民教育上より見る新聞学習	3巻 8号 27	(R- 6)
小川福太郎	我国現下の財政及金融に就いて	5巻 1号 58	(R- 9)
小川正行	国民教育・公民教育及郷土教育	3巻 5号 4	(R- 5)
	公民教育の不振と改善	6巻 9号 9	(R-12)
	現時に於ける公民教育の欠陥とその克服	9巻 1号 4	(R-17)
沖田房孝	女に翻弄された訓導	2巻 5号123	(R- 3)
荻野喜三郎	公民科の基礎的考察	1巻 8号 66	(R-22)
	社会構成意識に於ける人及人格	1巻 9号 30	(R- 2)
	皇室中心主義に基く国家認識	2巻 1号 26	(R- 3)
荻原 擴	修身科と公民科との関係	6巻 1号 4	(R-11)
	統制主義と皇国の道	7巻 2号 6	(R-13)

荻原 擴	新秩序建設と更生支那の指導理念	9巻 5号 9	(R-17)
荻原井泉水	衣食住	1巻 2号 80	(R- 1)
奥 む め お	公民教育に於ける女子職業の問題	2巻 6号 23	(R- 3)
奥田寛太郎	我が国体と公民教育	1巻 3号 18	(R- 1)
	我が子の公民教育	1巻 6号 19	(R- 2)
	選挙心理	1巻 7号 52	(R- 2)
	我が子の公民教育 (二)	1巻 8号 80	(R- 2)
	我が子の公民教育 (三)	1巻 9号 60	(R- 2)
	公民教育座談会	2巻 2号 36	(R- 3)
	我が子の公民教育 (四)	2巻 2号 77	(R- 3)
	我が国体の精華	2巻 3号 34	(R- 3)
	刺客は公民教育の欠陥より生る	2巻 3号 61	(R- 3)
	マルクス主義の話 (我が子の公民教育)	2巻 5号 70	(R- 3)
	議会主義の話 (我が子の公民教育)	2巻 6号 89	(R- 3)
	大日本帝国憲法と国体	4巻 8号 6	(R- 8)
	大日本帝国憲法と国体	4巻 9号 8	(R- 8)
	日本の姿	5巻 3号 21	(R- 9)
	「国体」の意義について	6巻 4号 7	(R-11)
	技術教育と精神教育	6巻11号 9	(R-12)
	支那事変の認識と戦争の本質	7巻10号 3	(R-14)
	再び支那事変の認識を語る	8巻 6号 15	(R-15)
長田 新	教育立国=小学教育の使命と本質	6巻 8号112	(R-12)
小澤 恒一	郷土教育と公民教育との関係	3巻11号 2	(R- 6)
	総合的教科としての公民科の任務	5巻 3号 54	(R- 9)
	六原青年道場の教育的検討	5巻11号 57	(R-10)
	世論に対する教育的考察	6巻 7号 16	(R-12)
	我が国民教育の反省	6巻12号 7	(R-12)
	青年期に於ける公民教育の重要性	7巻11号 12	(R-14)
	公民教材の生活化	9巻 2号 12	(R-17)
	国民教材の総合的取扱	10巻 2号 17	(R-19)
	新体制下に於ける公民教育の任務	10巻 9号 7	(R-20)
	学校教育の政治性と政治運動	11巻 1号 4	(R-21)
	公民錬成と創造性	12巻 2号 5	(R-22)
	教育者の政治的教養	12巻 5号 11	(R-22)

小田内通敏	公民教育の対象としての郷土研究	1巻 5号 55	(R- 1)
尾高豊作	子供の社会性と公民教育	9巻 2号 19	(R-17)
小野慶太郎	文検公民科受験の要諦	6巻 7号133	(R-12)
小野源藏	今次の総選挙と公民教育	6巻 4号 76	(R-11)
	してやられた私	7巻 8号 61	(R-14)
	時局・青年・公民教育	8巻 3号 1	(R-15)
	戦争と立憲自治	9巻 1号 31	(R-17)
	公民教育と現下世相	10巻 2号 1	(R-19)
	翼賛選挙と公民教育	12巻 3号 24	(R-22)
小野 猛	時局と簡易保険制度の改正	8巻11号 45	(R-16)
小野 久	公民科と公民教育との関係	5巻 6号 93	(R- 9)
	公民科と修身との関係	5巻 7号 89	(R-10)
	公民科口述試験の実際	6巻 3号131	(R-11)
	公民科の考査法について	7巻 3号 45	(R-13)
小野正康	公民教育が望み見んとする所のものと現に示している所のもの	6巻 7号 45	(R-12)
	日本学より見たる公民科の諸問題	8巻12号 22	(R-16)
	勅語解釈の心	10巻 3号 8	(R-19)
	教育勅語と明治思想史	10巻12号 25	(R-20)
	国体とは如何なるものたるかを知る依憑とその順序に就て	12巻 6号 26	(R-22)
小汀利得	日印会商成立と今後の貿易及産業	4巻 2号 14	(R- 7)
小原 直	司法の運用と国民の協働	6巻 9号 64	(R-12)
小尾範治	ラジオと公民教育	6巻 1号 49	(R-11)
	戦時体制下の公民的訓練	8巻 1号 9	(R-15)
	時局教育の意義とその方法	9巻 1号 14	(R-17)
	公民科と青年教育	9巻 7号 40	(R-18)
	大御宝の教育と公民教育	11巻 6号 2	(R-21)
	大東亜戦争と教育の「とき」	12巻 1号 12	(R-22)
	文教の新示標	12巻 5号 5	(R-22)
折居千一	隣組と知識	11巻 9号 47	(R-21)

## か

可 忠 良	私の研究法と本試の実況	8巻 6号106	(R-15)
海 後 宗 臣	明治時代の公民教育	2巻 9号 2	(R- 4)

海 後 宗 臣	公民教育の歴史性	6巻10号	4	(R-12)
	政治と教育編成	9巻	2号 1	(R-17)
嘉 悦 孝 子	女学校と公民教育	2巻	4号 30	(R- 3)
加 来 利 治	私の公民科受験準備法	5巻	1号128	(R- 9)
	公民科教科書に対する要望	7巻	9号104	(R-14)
景 山 鹿 造	産業公民訓練を主としたる学校教員の実務修養	1巻	2号 92	(R- 1)
	青年学校の義務制実施と修身及公民科教育の振興策	9巻	1号 52	(R-17)
	翼賛壮年団の性格について	12巻	5号 88	(R-22)
鹿 兒 島 登 左	児童の公民的生活	1巻	3号 60	(R- 1)
	公民教育と修身科	3巻	9号 39	(R- 6)
	青年訓練所に於ける公民教育と公民的訓練	4巻	7号 90	(R- 8)
	新制青年学校と公民科	5巻	3号 47	(R- 9)
	青年学校修身公民科要目に望む	6巻	8号 97	(R-12)
	新制修身及公民科要目と指導の実際	7巻	8号 23	(R-14)
	青年学校修身及公民科の本質	11巻	6号101	(R-21)
	皇民錬成と公民教育	12巻	4号 39	(R-22)
笠 原 幸 雄	「ソ」連邦国民の国防思想に就て	3巻	3号 24	(R- 5)
笠 森 傳 繁	農士としての自覚	1巻	6号 10	(R- 2)
片 山 義 雄	趣味の法律	9巻	4号 77	(R-17)
	趣味の法律	9巻	5号 85	(R-17)
	趣味の法律	9巻	6号 82	(R-17)
	趣味の法律	9巻	7号 99	(R-18)
	趣味の法律	9巻	8号 91	(R-18)
	趣味の法律	9巻	9号 76	(R-18)
	趣味の法律	9巻	10号 94	(R-18)
	趣味の法律	9巻	11号 98	(R-18)
	趣味の法律	9巻	12号 85	(R-18)
	趣味の法律	10巻	1号 94	(R-19)
	趣味の法律	10巻	2号 90	(R-19)
	趣味の法律	10巻	3号 94	(R-19)
	趣味の法律	10巻	4号 82	(R-19)
	趣味の法律	10巻	5号 75	(R-19)
	趣味の法律	10巻	6号 96	(R-19)
	趣味の法律	10巻	7号 73	(R-20)

片山義雄	趣味の法律	10巻 8号 76	(R-20)
	趣味の法律	10巻10号 93	(R-20)
	趣味の法律	10巻11号 70	(R-20)
	趣味の法律	10巻12号 80	(R-20)
	趣味の法律	11巻 1号 80	(R-21)
	趣味の法律	11巻 2号 68	(R-21)
	趣味の法律	11巻 3号 68	(R-21)
	趣味の法律	11巻 4号 70	(R-21)
	趣味の法律	11巻 5号102	(R-21)
	趣味の法律	11巻 7号 98	(R-21)
	趣味の法律	11巻 8号 88	(R-21)
	趣味の法律	11巻 9号 58	(R-21)
	趣味の法律	11巻10号 50	(R-21)
勝正憲	我国貿易の現状及将来	4巻10号 83	(R- 8)
勝賀瀬進	公民科内容の類別的研究	7巻 2号107	(R-13)
勝田貞次	インフレーションを中心とする諸経済問題の考察	7巻 4号 65	(R-13)
甲藤義治	公民に育つみち	8巻10号 58	(R-16)
勝野勲	文検公民科具体的準備法	8巻 5号 97	(R-15)
加藤玄智	神道の二面観	1巻 4号 34	(R- 1)
	我が国民教育と其宗教的心情	3巻 7号 50	(R- 6)
加藤春二	修身及公民科と時局下の青年学校	8巻 9号 84	(R-16)
加藤精三	教員俸給問題論議の要点	1巻 3号 27	(R- 1)
	教員俸給問題論議の要点 (二)	1巻 7号117	(R- 2)
加藤咄堂	公論の基調としての公民	2巻 1号 53	(R- 3)
	文化史上に於ける我国の地位	5巻 2号 37	(R- 9)
加藤虎男	国史教育に於て公民教育を如何に考うべきか	4巻 8号 85	(R- 8)
加藤良一	教育使命としての公民科と修身科	7巻 7号 57	(R-14)
門野重九郎	工業国日本の歩み	4巻 2号 21	(R- 7)
金井浩	商業教育に於ける公民科と商業法規	1巻 2号 24	(R- 1)
金生喜造	公民教育の立場より青年学校に就いて	5巻10号 44	(R-10)
	選挙の結果と肅正運動批判	6巻 4号 81	(R-11)
	教育目標の推移	8巻12号 15	(R-16)
	英米の新事態不承認と我が立場	9巻 3号 52	(R-17)
	欧州形勢の新様相	10巻 5号 67	(R-19)

金 生 喜 造	ドイツの経済政策と大陸の安定	11巻 4号 85	(R-21)
	チェーレンの国家の経済的経綸論	12巻 5号 76	(R-22)
金子堅太郎	帝国憲法制定の精神並に欧米各国学者政治家の評論	5巻10号 52	(R-10)
	憲法発布五十年を回顧して	8巻 3号 61	(R-15)
金子春二	公民教育より見たる学校行事	7巻 4号 52	(R-13)
金子親	翼賛政治と公民教育	12巻 7号 61	(R-22)
加能作次郎	ユーモア二題	1巻 8号110	(R- 2)
樺島千春	第七十議会を通過した重要法律 (二)	7巻 5号 92	(R-13)
鎌田榮吉	公民教育を一層徹底せしめよ	2巻 3号 4	(R- 3)
鎌塚扶	公民教育の新使命を明かにし朝鮮の公民科要目の精神に及ぶ	5巻 6号 27	(R- 9)
	楽器国産の裏面に潜む貴き精神並に苦心	9巻 1号 36	(R-17)
	旧教育に対する反省より日本的教育の確立へ	10巻 1号 15	(R-19)
	皇国紀元に関する国民的自覚の要望	10巻 3号 5	(R-19)
	物の生産に於ける魂の裏附	10巻 5号 11	(R-19)
	佐藤一齋の「言志四録」に現れたる師道精神に就いて	10巻 7号 10	(R-20)
	垂教聖諭の深厚と臣下奉体の至誠	11巻 1号 22	(R-21)
	垂教聖諭の深厚と臣下奉体の至誠 (二)	11巻 2号 17	(R-21)
	垂教聖諭の深厚と臣下奉体の至誠 (三)	11巻 3号 23	(R-21)
上石保教	我国公民教育の基相 (上)	4巻 4号 10	(R- 7)
	我国公民教育の基相 (下)	4巻 5号 9	(R- 7)
	公民政治及道德の基調 (一)	5巻 6号 18	(R- 9)
	公民政治及道德の基調 (二)	5巻 7号 14	(R-10)
	縦観公民教育・修正公民科	5巻 8号 12	(R-10)
	公民政治及道德の基調 (三)	5巻 9号 5	(R-10)
	公民政治及道德の基調 (四)	5巻10号 16	(R-10)
	教学刷新運動への一提言	6巻 1号 27	(R-11)
	教学刷新運動への一提言 (二)	6巻 2号 35	(R-11)
	所謂機関説問題と教育	6巻 4号 14	(R-11)
	公民教育の最近課題 (一)	7巻 1号 26	(R-13)
	公民教育の最近課題 (二)	7巻 2号 42	(R-13)
	公民教育の最近課題 (三)	7巻 3号 21	(R-13)
	憲政再吟味と公民教育思潮 (一)	7巻 4号 25	(R-13)
	憲政再吟味と公民教育思潮 (二)	7巻 6号 29	(R-13)
	憲政再吟味と公民教育思潮 (終篇)	7巻 7号 65	(R-14)

上石保教	世界の新情勢	9巻 1号 65	(R-17)
神近市子	文芸と婦人の自覚	5巻 7号 84	(R-10)
河合富雄	青年学校に於ける映画教育	8巻 6号 55	(R-15)
川上龜義	文検公民科の内容及び程度	7巻 4号128	(R-13)
	文検公民科本試の指針	7巻 6号116	(R-13)
川瀬光順	我国公民教育の特殊性	4巻 4号 1	(R- 7)
河田 黨	本邦主要作物稲作の害虫	1巻 9号100	(R- 2)
川竹武夫	具象と抽象	3巻 2号 39	(R- 5)
	公民科教授者の立場	3巻11号 35	(R- 6)
	工業学校に於ける公民教育と公民的訓練	4巻 7号 77	(R- 8)
川野温興	現代職業の特殊性と其の選択	4巻 7号 69	(R- 8)
川野敏夫	氏族制度崩壊と家族制度発達	5巻 9号 73	(R-10)
	公民科に於て注意すべき現行法上の「家」に就いて	5巻11号 94	(R-10)
	新体制下の心構へと家の精神	11巻 9号 77	(R-21)
川端篤郎	公民科の成績考査に就て	2巻 9号 44	(R- 4)
	現代教育思想と公民科教育	2巻12号 87	(R- 4)
川原孝治	千六百時間文検公民科準備 (上)	6巻11号116	(R-12)
	千六百時間文検公民科準備 (下)	6巻12号125	(R-12)
	文検公民科予備試験問題の反省	7巻 7号103	(R-14)
	公民科本試験問題と新受験対策	7巻 9号125	(R-14)
	公民科予備試験問題の新傾向と解答の要訣 (上)	8巻 7号111	(R-16)
	公民科予備試験問題の新傾向と解答の要訣 (下)	8巻 8号116	(R-16)
	文検公民科研究講座 (第一講)	8巻 9号101	(R-16)
	文検公民科研究講座 (第二講)	8巻10号 90	(R-16)
	文検公民科研究講座 (第三講)	8巻11号 98	(R-16)
	文検公民科研究講座 (第四講)	8巻12号120	(R-16)
	文検公民科研究講座 (第五講)	9巻 1号102	(R-17)
	文検公民科研究講座 (第六講)	9巻 2号 95	(R-17)
	文検公民科研究講座 (第七講)	9巻 3号126	(R-17)
	文検公民科研究講座 (第八講)	9巻 4号130	(R-17)
	文検公民科研究講座 (第九講)	9巻 5号124	(R-17)
	文検公民科研究講座 (第十講)	9巻 6号 94	(R-17)
	文検公民科研究講座 (第十一講)	9巻 7号114	(R-18)
	文検公民科研究講座 (第十二講)	9巻 8号103	(R-18)

川原孝治	文検公民科研究講座（第十三講）	9巻 9号 96	(R-18)
	文検公民科研究講座（第十四講）	9巻10号105	(R-18)
	文検公民科研究講座（第十五講）	9巻11号117	(R-18)
	文検公民科研究講座（第十六講）	9巻12号 99	(R-18)
	文検公民科研究講座（第十七講）	10巻 1号105	(R-19)
	文検公民科研究講座（第十八講）	10巻 2号103	(R-19)
	文検公民科研究講座（第十九講）	10巻 3号104	(R-19)
	文検公民科研究講座（第二十講）	10巻 4号 92	(R-19)
	文検公民科研究講座（第二十一講）	10巻 5号 95	(R-19)
	文検公民科研究講座（第二十二講）	10巻 6号107	(R-19)
	文検公民科研究講座（第二十三講）	10巻 7号 91	(R-20)
	文検公民科研究講座（第二十四講）	10巻 8号 97	(R-20)
	文検公民科研究講座（第二十五講）	10巻 9号107	(R-20)
	文検公民科研究講座（第二十六講）	10巻10号105	(R-20)
	我が校戦時公民訓練の実際	12巻 3号 92	(R-22)
河原貞夫	日本的思惟の要について	6巻 6号 33	(R-11)
	日本的思惟の要について	6巻 7号 30	(R-12)
川原次吉郎	躍進日本の世界的地位	5巻 2号 28	(R- 9)
	公民教育の目標とその具体化	6巻11号 6	(R-12)
	支那事変と非常時公民教育	7巻10号 17	(R-14)
	議会・政府・世論	10巻 4号 11	(R-19)
	大東亜共栄圏の建設と日本民族の使命	11巻 8号 1	(R-21)
河原春作	青年学校制度の制定に就て	5巻 5号 1	(R- 9)
川原與作	商業学校に於ける公民科教授と公民的訓練	4巻 5号 27	(R- 7)
河原田稼吉	年頭所感	10巻 1号 1	(R-19)
川村精治	宗教教育問題と公民科の宗教	3巻 7号 61	(R- 6)
河村只雄	学生思想問題の史的考察	1巻 3号 67	(R- 1)
	学生思想問題の史的考察（二）	1巻 4号 88	(R- 1)
	文化の発達と社会環境	1巻 6号 31	(R- 2)
	第三次共産党事件とその特異性	3巻 2号 27	(R- 5)
	私有財産制度の社会的意義	4巻10号 23	(R- 8)
	家族社会の基本単位	6巻 8号 2	(R-12)
	トカラの島々	10巻11号 34	(R-20)
	トカラの島々（二）	10巻12号 45	(R-20)

河村 只雄	「続・南方文化の探究」の一篇	11巻 1号 32	(R-21)
	「続・南方文化の探求」の一篇 (二)	11巻 2号 28	(R-21)
	トカラの島々 (三)	11巻 4号 16	(R-21)
川本 宇之介	公民教育の過去現在及び将来 (一)	1巻 3号 49	(R- 1)
	公民教育の過去現在及び将来 (二)	1巻 4号 66	(R- 1)
	公民教育の過去現在及び将来 (三)	1巻 5号 51	(R- 1)
	公民教育の過去現在及び将来 (四)	1巻 6号 53	(R- 2)
	公民的判断力の欠乏	1巻 7号 36	(R- 2)
	公民教育より見たる社会的環境の欠陥	1巻 8号 28	(R- 2)
	公民教育の改善充実	1巻 9号 10	(R- 2)
	「公民科と教育界の思想傾向」を読む	2巻 6号 55	(R- 3)
	本邦人の公民的思想とその背景	6巻 2号 11	(R-11)
	如是我觀公民教育 (一)	6巻 9号 20	(R-12)
	如是我觀公民教育 (二)	6巻10号 19	(R-12)
	如是我觀公民教育 (三)	6巻11号 16	(R-12)
	如是我觀公民教育 (四)	6巻12号 17	(R-12)
	如是我觀公民教育 (五)	7巻 1号 20	(R-13)
	如是我觀公民教育 (六)	7巻 2号 34	(R-13)
	本邦教育の長所と短所 (一)	9巻 6号 49	(R-17)
	本邦教育の長所と短所 (二)	9巻 7号 19	(R-18)
	本邦教育の長所と短所 (三)	9巻 8号 15	(R-18)
	本邦教育の長所と短所 (完)	9巻 9号 46	(R-18)
	公民の意識徹底へ	12巻 2号 11	(R-22)
間賀 卓次	女子公民教育の重要性	9巻 8号 73	(R-18)
	経済教育と女子公民教育	9巻11号 58	(R-18)
	消費経済と公民教育	10巻 2号 86	(R-19)
	金融統制と物価統制	10巻 9号 72	(R-20)
	我経済史に流れる日本精神	12巻 3号 98	(R-22)
間瀬 ハル	私は現下の日支関係を如何に見るか	7巻 2号111	(R-13)
韓 聖 壽	朝鮮に於ける公民教育の特殊相	6巻 4号 58	(R-11)

## き

氣賀 勸重	受験者に望む	4巻 1号 80	(R- 7)
-------	--------	----------	--------

菊池次男	実業学校の特異性と公民科教科書	7巻 9号 95	(R-14)
	「国体の本義」と改正公民科教授要目	7巻11号105	(R-14)
	時局と公民科教育の新動向	8巻 9号 56	(R-16)
	新体制と公民科教授要目	11巻 3号 49	(R-21)
	公民学の構成と科学主義	11巻10号 11	(R-21)
	公民科教材観の転換	12巻 6号 54	(R-22)
菊池萬輔	経済新体制と食糧問題	10巻12号 37	(R-20)
岸 晃二	「伊太利の教育は如何ですか」に答う	3巻 4号 96	(R- 5)
	ファシスト・イタリーの十年	3巻12号103	(R- 6)
岸 信介	決戦経済への協力	12巻 2号 57	(R-22)
岸田国士	物の考へ方について	11巻 5号 40	(R-21)
岸田與一	本校の教育と公民教育	4巻 2号 81	(R- 7)
貴島圭三	町村と森林	2巻 4号 63	(R- 3)
北岡健二	英帝の御退位と我国体の反省	7巻 2号 56	(R-13)
	公民科教育の目標と其考査法	7巻 3号 53	(R-13)
	改正要目に於ける「天皇の統治」	7巻 8号 43	(R-14)
北澤清	合戦態勢と学徒体育	11巻 9号 89	(R-21)
北原金司	公民生活の指導精神	3巻10号 55	(R- 6)
	公民教育の徹底と教育制度	6巻11号 26	(R-12)
	公民教育論に現れたる形式主義と時直主義について	7巻 3号 10	(R-13)
	改正公民科教授要目に於ける若干の疑問	7巻 9号 18	(R-14)
	街頭の公民訓練	7巻12号 55	(R-14)
	改正法令を中心とする兵役の一考察	8巻 6号 21	(R-15)
	輓近に於ける植民政策の動向	9巻 5号 58	(R-17)
	公民教育と生活環境	10巻 2号 9	(R-19)
	新体制下青少年学徒の指導的態度	10巻10号 19	(R-20)
北村一夫	陸軍の教育と実戦	12巻 6号 74	(R-22)
北村重敬	公民教育としての選挙の実習	5巻 9号 46	(R-10)
	公民教育の基礎を培へ	6巻 3号 34	(R-11)
	御神勅に基く公民教育の徹底	7巻 2号 22	(R-13)
木戸幸一	年頭の辞	8巻 1号 1	(R-15)
木下一雄	我が国の礼法の問題	12巻 7号 5	(R-22)
木下喬夫	再検討の要ある倫理道徳	4巻 5号 95	(R- 7)
紀平正美	公民科に就て	2巻12号 36	(R- 4)

木村英三	本校掲示教育の概要	4巻 5号 62	(R- 7)
	農村生活管見	5巻 4号 93	(R- 9)
木村正義	公民科の中心思想	1巻 1号 2	(R- 1)
	公民教育の基礎観念 (一)	1巻 2号 12	(R- 1)
	公民教育の基礎観念 (二)	1巻 4号 2	(R- 1)
	公民教育の基礎観念 (三)	1巻 5号 2	(R- 1)
木村増太郎	我が経済国難と生活改善	1巻 6号 2	(R- 2)
	時局下の経済問題に就いて	8巻11号 59	(R-16)
木村美根三	公民教育の一考察	6巻12号 65	(R-12)
清浦奎吾	我が国の実業教育	4巻11号 1	(R- 8)
清岡雅雄	公民道徳より見たる経済諸問題	7巻 5号 67	(R-13)
	我国国体法解釈の統一	8巻 2号 95	(R-15)
	公民教育を通じて見たる銃後に動く生徒の生活	9巻 8号 68	(R-18)
	今議会に現れた義務教育問題	10巻 4号 28	(R-19)
	自由主義経済の功罪と新体制下の経済理念について	10巻11号 10	(R-20)
	学校報国団論考	11巻 6号105	(R-21)
清河政雄	我国の貴族院とその現位在	7巻 3号 72	(R-13)
清原左一	公民科受験への栞	11巻10号108	(R-21)
清原貞雄	自由と統制及平等	2巻 5号 58	(R- 3)

く

草場弘	修身科・公民科の分離統合の問題	12巻 5号 57	(R-22)
楠山富美子	私は現下の日米関係を如何に見るか	7巻 2号120	(R-13)
久保田高行	甲子園の大会を前にして	2巻 8号 44	(R- 4)
九山一信	紙屑の道徳を読んで長谷川如是閑先生に	5巻 4号116	(R- 9)
藏内數太	文部省視学委員復命書抄	8巻 4号 50	(R-15)
倉澤剛	独逸に於ける公民教育運動の現状	2巻11号 22	(R- 4)
	家族と国家	3巻 6号 11	(R- 5)
	公民教育の新基調と現行教授要目	6巻 8号 39	(R-12)
	公民科改正要目の基調	8巻 1号 36	(R-15)
	国策と教育	12巻 5号 37	(R-22)
	公民科要目の活用方策 (一)	12巻 6号 30	(R-22)
	公民科要目の活用方策 (二)	12巻 7号 27	(R-22)

鞍田 純	農業に於ける地方的特異性	4巻11号 76	(R- 8)
倉橋 惣三	公民教育上の最重要年齢	2巻 1号 12	(R- 3)
	真の家庭教育とは何か	2巻 8号 5	(R- 4)
	生活教科としての生活味	7巻 7号 10	(R-14)
倉橋 定	事変下に於ける職業の問題	8巻12号 45	(R-16)
黒崎 悦子	小学校児童と公民教育	2巻 7号 83	(R- 4)
	女子の政治的関心と公民教育	6巻 2号 23	(R-11)
黒田 覺	政治教育の取扱方に就て	3巻 3号 20	(R- 5)
桑原 亮川	俳人英一蝶	2巻 4号100	(R- 3)
桑山 三郎	隣保強化の根本問題	11巻 6号 80	(R-21)

## こ

小泉 郁子	女子公民科に関する諸問題	2巻 4号 32	(R- 3)
	フォーマリズムに墮するか女子公民科?	3巻 5号 90	(R- 5)
	婦人問題を問題とせよ	4巻 3号 22	(R- 7)
	世界の婦人と女子公民科	5巻 1号 21	(R- 9)
小泉 親彦	大東亜戦争と産業戦線	12巻 1号 78	(R-22)
纈 纈 彌三	躍進途上の青年学校教育	12巻 3号 10	(R-22)
江南 生	神仏教団めぐり (一)	2巻 3号 86	(R- 3)
河野 省三	神社と公民教育上の一考察	5巻 7号 75	(R- 9)
公民学 人	公民科予試問題の重点に対する私見	7巻 6号113	(R-13)
越川 彌 榮	公民教育の究竟的問題	3巻 7号 20	(R- 6)
	日本精神の本質	5巻11号 19	(R-10)
牛 腸 武	国定算術書に現れたる公民的教材とその取扱	4巻 8号 72	(R- 8)
小寺 土平	公民道徳受験記	11巻 2号 98	(R-21)
小寺 幸正	菊水授業の公民教育的意義	12巻 5号110	(R-22)
後藤 政一	社会意識と公民教育	2巻 1号 34	(R- 3)
後藤 武夫	ジャーナリズムの大衆化	2巻 5号 18	(R- 3)
後藤 文夫	美わしき公民生活	2巻 3号 30	(R- 3)
	政治道義の回復を翼望す	5巻 9号115	(R-10)
	時局と青年	9巻11号 43	(R-18)
小沼 次男	文検公民科より高文へ	4巻 5号 88	(R- 7)
近衛 文 磨	時局に処する国民の覚悟	7巻10号 72	(R-14)

近 衛 文 麿	事変の新段階に処する政府の所信	8巻 2号 74	(R-15)
	日本は日本の道を行く	11巻 7号 76	(R-21)
小 林 英 一	交通につきての考察	1巻 2号 62	(R- 1)
	交通につきての考察	1巻 3号 24	(R- 1)
小 林 澄 兄	職業と道德	5巻 6号 54	(R- 9)
小 林 英 雄	新らしき倫理について	12巻 4号 59	(R-22)
小 柳 勝 太 郎	公民科を受験せらるる人々へ	4巻 4号 95	(R- 7)
	女学校に於ける公民科二、三の問題	5巻 6号 97	(R- 9)
	一学期の公民科教授を顧みて	5巻11号110	(R-10)
小 谷 野 義 方	青年学校修身及公民科教授の完成	12巻 6号 47	(R-22)
小 山 松 吉	遵法精神	12巻 4号 25	(R-22)
五 來 素 川	新年の革命	5巻 1号 32	(R- 9)
權 田 保 之 助	教育映画の社会的機能とその対策	2巻 1号 22	(R- 3)
近 藤 恭 一 郎	公民科と中学校修業年限短縮問題	6巻 2号 64	(R-11)
	公民科考査法に対する私見	7巻 3号 60	(R-13)
	改正要目に見る日本的公民教育への志向	7巻 5号 37	(R-13)
	新要目に於ける修・公関係の検討	7巻 7号 32	(R-14)
	事変下に於ける公民教育我観	8巻 2号 35	(R-15)
	修・公統合論の根拠を觀る	8巻 4号 29	(R-15)
	融和問題と修身・公民科 (一)	9巻 3号 38	(R-17)
	融和問題と修身・公民科 (二)	9巻 4号 40	(R-17)
	専門学校入試に公民科の登場と出題者及教授者に望む	10巻 1号 61	(R-19)
近 藤 壤 太 郎	事変と職業の動き	8巻 2号 51	(R-15)
近 藤 操	現代の新聞紙と政治生活	8巻 8号 37	(R-16)
今 野 修 一 郎	公民科受験記	3巻10号100	(R- 6)

## さ

齋 藤 茂	軍縮問題の叫ばるるに至りし由来	5巻 1号 52	(R- 9)
	軍縮問題の叫ばるるに至りし由来	5巻 2号 93	(R- 9)
	ロカルノ条約を巡る欧州の現状勢	6巻 4号 85	(R-11)
齋 藤 隆 夫	自治体の党弊と婦人公民権	1巻 7号 13	(R- 2)
	選挙法の運用に就て	4巻 3号 1	(R- 7)
齋 藤 ナ リ	公民的訓練と公民的精神の養成を目指せる我が校月曜講話	4巻 8号100	(R- 8)

齋藤 實	憲政一新の勇断	5巻 9号116	(R-10)
境野 黄洋	大乘仏教の精神主義 (上)	1巻 1号 43	(R- 1)
	大乘仏教の精神主義 (下)	1巻 2号 18	(R- 1)
坂川 好親	本校の公民的訓練	3巻 9号104	(R- 6)
坂口 二郎	現代の新聞紙と社会生活	8巻 8号 52	(R-16)
阪中 民一	公民科と学校行事について	7巻 4号 36	(R-13)
坂巻 正夫	生活信条としての国家主義	7巻 4号 32	(R-13)
作田 莊一	改正公民科教授要目の指導精神	7巻 5号 1	(R-13)
櫻内 幸雄	本年度の我国財政に就て	10巻 4号 50	(R-19)
笹岡 薫	公民科受験体験記	8巻 2号130	(R-15)
佐々木 秀一	小学校に於ける公民教育	2巻 8号 13	(R- 4)
	公民教育に於ける大人の模範	7巻12号 1	(R-14)
佐々木 良助	実践的翼賛選挙教育問答	12巻 4号 89	(R-22)
笹原 正志	馬場蔵相の低金利政策	6巻 6号 54	(R-11)
佐々 忠兵衛	公民訓練中心の学校経営	6巻 3号 95	(R-11)
佐藤 寛次	農村住民の団体事務直接参与に就いて	1巻 3号 2	(R- 1)
佐藤 久治	昭和十二年度本試問題とその感想	8巻 3号127	(R-15)
佐藤 清勝	回転すべき新外交	3巻 6号 26	(R- 5)
佐藤 金造	日支事件と吾等の踏むべき道	2巻 3号 72	(R- 3)
佐藤 慶二	新時代の世界観	12巻 2号 27	(R-22)
佐藤 舜	蘇支不可侵条約に就きて	7巻10号 60	(R-14)
佐藤 善次郎	英国の私立中等学校経営 (上)	5巻 4号 85	(R- 9)
	英国の私立中等学校経営 (下)	5巻 5号112	(R- 9)
佐藤 孝	文検公民科の特色とその受験準備生活相	7巻 2号132	(R-13)
佐藤 繼吉	現下の政治と公民教育	2巻10号 75	(R- 4)
佐藤 富治	管理運動に乗れ 公民教育 (一)	1巻 1号 73	(R- 1)
	管理運動に乗れ 公民教育 (二)	1巻 2号 48	(R- 1)
佐藤 信夫	農業学校と農民道場	5巻 3号 93	(R- 9)
眞田 幸憲	諸科目の教授による公民教育	2巻 8号 2	(R- 4)
	公民と国民との別	6巻 3号 11	(R-11)
佐和 三郎	教育界人国記 (高知県の巻・上)	1巻 6号 95	(R- 2)
	教育界人国記 (高知県の巻・中)	1巻 8号104	(R- 2)
澤木 健三	教育界人国記 (静岡県の巻・中)	2巻 7号100	(R- 4)
澤田 謙	日本をつくる力	8巻 7号 57	(R-16)

澤田良一	本年度公民科受験概記	8巻 9号107	(R-16)
澤本健三	教育界人国記 (高知県の巻・下)	1巻 9号 90	(R- 2)
	公民教育座談会	2巻 2号 36	(R- 3)
	創刊の頃を顧みて	2巻 3号 96	(R- 3)
	教育界人国記 (静岡県の巻・上)	2巻 6号111	(R- 3)
	教育界人国記 (静岡県の巻・下)	2巻 8号 92	(R- 4)
澤本孟虎	公民教育座談会	2巻 2号 36	(R- 3)
澤本嘉郎	公民時事	9巻 4号 80	(R-17)
	公民時事	9巻 5号 90	(R-17)
三瓶泰造	公民科本試験受験対策	11巻 5号100	(R-21)

し

志垣寛	説教無力	7巻 8号 58	(R-14)
	心臓の強弱	8巻 8号 62	(R-16)
重田忠保	警察と公衆	3巻 9号 19	(R- 6)
	カフェー・バー等の取締と学生の問題	4巻 9号 69	(R- 8)
茂野倭吉・川邊俊夫	東京府立工芸の公民科の実際	2巻 8号 80	(R- 4)
志田延義	日本文化の特色と日本精神	3巻 1号 34	(R- 5)
篠原英太郎	公民科新設の精神に就て	1巻 2号 2	(R- 1)
芝田徹心	新読本の編纂方針に就て	3巻 4号 4	(R- 5)
柴山禮三	我校に於ける公民教育の実際	1巻 9号 76	(R- 2)
澁谷治尚	納税の観念の修正	3巻 4号 62	(R- 5)
島格太郎	経済知識	7巻 4号 80	(R-13)
	経済知識	7巻 5号102	(R-13)
	経済知識	7巻 6号 94	(R-13)
	経済知識	7巻 7号 84	(R-14)
	経済知識	7巻 8号 98	(R-14)
	経済知識	7巻 9号 70	(R-14)
	経済知識	7巻10号112	(R-14)
	経済知識	7巻11号121	(R-14)
	経済知識	7巻12号104	(R-14)
島崎晴吉	青年学校修身及公民科雑観	8巻 4号 24	(R-15)
	青年学校に於ける修身及公民科の地位と教員の問題	8巻 7号 34	(R-16)

島崎晴吉	実際指導より観たる青年学校修身及公民科の一考察	9巻 5号 23	(R-17)
	青年学校修身及公民科に対する一つの望み	9巻12号 30	(R-18)
	時局下に於ける青年学校修身及公民科指導の一課題	10巻 5号 18	(R-19)
	強調すべき現時の修身教育・公民教育	10巻10号 38	(R-20)
	反省すべき修身及公民科指導	11巻 7号 38	(R-21)
	勤労青年と徳育	12巻 4号 54	(R-22)
島田青峰	新緑に酔うて	1巻 3号 84	(R- 1)
	上越の旅	2巻 1号128	(R- 3)
	公民教育座談会	2巻 2号 36	(R- 3)
島永久太郎	我校に於ける公民教育の実際	1巻 8号 94	(R- 2)
清水一政	廃校の運命より救う	3巻11号 96	(R- 6)
清水菊三	軍需品と国民生活に就て	7巻12号 89	(R-14)
志水義暲	大東亜戦争下に於ける青少年学徒の指導	12巻 5号 70	(R-22)
清水玄	国民健康保険に就て	8巻11号 48	(R-16)
清水重雄	経済警察の使命	8巻11号 40	(R-16)
清水澄	帝国憲法の改正及び解釈について	1巻 1号 29	(R- 1)
	帝国憲法緊急勅令に就いて	1巻 3号 14	(R- 1)
	司法に就いて	1巻 7号 6	(R- 2)
	帝国議会 (上)	2巻 6号 47	(R- 3)
	帝国議会 (下)	2巻 7号 42	(R- 4)
清水徳太郎	立憲政治の確立と公民教育の任務	4巻 6号 7	(R- 7)
清水虎男	細民に対する公民的訓練	2巻 9号 68	(R- 4)
清水博	アメリカ人の特異性	3巻 6号 34	(R- 5)
清水福市	改正公民科教授要目の現代的意義 (一)	7巻 5号 32	(R-13)
	改正公民科教授要目の現代的意義 (二)	7巻 6号 15	(R-13)
下田次郎	法律、政治に対する女子の自覚	2巻 4号 14	(R- 3)
下野宗逸	映画に依る公民教育	6巻 3号103	(R-11)
下村市郎	公民教育に於ける数学	3巻 9号 31	(R- 6)
下村二郎	今日の問題	8巻 2号110	(R-15)
	今日の問題	8巻 3号 84	(R-15)
	今日の問題	8巻 4号 93	(R-15)
下村宏	戦争と国民優生	10巻 6号 54	(R-19)
下村三四吉	日本精神の宣揚	3巻 8号 2	(R- 6)
下山一二	農業保険に就いて	2巻 1号 81	(R- 3)

シュルテ博士	普魯西体育大学の課題	1巻 7号102	(R- 2)
庄山茂次	転廃業者の資産評価方法	11巻 9号 63	(R-21)
	各国の国民運動 (一)	11巻10号 34	(R-21)
ジョビン・J	私の日本人観	6巻 9号 85	(R-12)
白瀬如水	議会振粛と自治体の向上	3巻 1号 41	(R- 5)
新保正夫	生活としての郷土と国語教育の展開	4巻 8号 56	(R- 8)
眞明正	交通幹線に在る渡船場の改良速成に関する私議	1巻 6号 58	(R- 2)
新明正道	最近に於ける社会学の問題相	3巻 4号 29	(R- 5)

## す

末高信	社会と保険	5巻 5号 50	(R- 9)
末次信正	長期戦と国民の覚悟	8巻 2号 77	(R-15)
末永千代	私は現下の日支関係を如何に見るか	7巻 2号117	(R-13)
菅原留治	小学校に於ける模擬選挙投票	6巻 1号103	(R-11)
杉田祥夫	我等の海外発展地としての南洋	3巻 8号104	(R- 6)
杉田三郎	児童虐待防止法の解説 (上)	3巻10号 78	(R- 6)
	児童虐待防止法の解説 (下)	3巻11号 86	(R- 6)
	方面委員制度に就て	4巻 3号 61	(R- 7)
杉村章三郎	地方自治制に於ける求心的要素と遠心的要素	9巻 1号 26	(R-17)
杉森孝次郎	時局に対する公民教育の方法	2巻 7号 2	(R- 4)
	責任ある進歩史観的認識の公民教育に於ける必要	5巻 3号 1	(R- 9)
	青年日本の修養の目標	6巻 1号 2	(R-11)
	国民主義・人民主義と我が国	6巻10号 2	(R-12)
	国際大地区主義と日本の責任	7巻10号 1	(R-14)
	全体主義とデモクラシーの問題	9巻 4号 1	(R-17)
杉山兼吉	本年度口述の一問一答	9巻 9号102	(R-18)
杉山藤太郎	文検公民科受験対策	6巻 6号129	(R-11)
鈴木榮一	公民科と中学校修業年限問題に関連して	6巻 2号 72	(R-11)
鈴木喜三郎	買収は白蟻・干渉は豺狼	5巻 9号116	(R-10)
鈴木元平	文検公民科の出題傾向と参考書の選択に就いて	5巻12号131	(R-10)
鈴木静穂	中学校に於ける作業科 (一)	1巻 2号 37	(R- 1)
	中学校に於ける作業科 (二)	1巻 3号 44	(R- 1)
	作業科に於ける公民的訓練	3巻 9号 55	(R- 6)

鈴木 静穂	農業学校に於ける公民科教授と公民的訓練	4巻 5号 23	(R- 7)
	青年学校に於ける修身及公民科の教授	5巻 4号 18	(R- 9)
	農村青年学校の生活指導	6巻 1号 54	(R-11)
	青年学校修身公民科教授要綱の問題	6巻 8号 84	(R-12)
	青年学校修身及公民科教授及訓練要目に対する一考察	7巻 8号 16	(R-14)
	青年学校の義務制と修身及公民科	8巻 5号 37	(R-15)
	青年学校修身及公民科教員の養成	8巻 7号 27	(R-16)
	青年学校修身及公民科の重点	9巻 6号 45	(R-17)
	時局を巡る公民教育	10巻 1号 8	(R-19)
	教育の新体制と公民教育	11巻 3号 8	(R-21)
	公民教育としての大国民教育	12巻 3号 30	(R-22)
鈴木 信	職業指導と其の施設	5巻 6号 56	(R- 9)
鈴木 清秀	実際より観たる鉄道運賃	2巻10号 83	(R- 4)
	実際より観たる鉄道運賃	2巻11号 54	(R- 4)
	実際より観たる鉄道運賃	2巻12号 50	(R- 4)
鈴木 東民	エチオピアの敗退と伊太利の得失	6巻 6号 40	(R-11)
鈴木 徳成	考現学的立場の公民教育	1巻 5号 80	(R- 1)
	公民教育の新心理学的基礎	1巻 9号 27	(R- 2)
鈴木 文史朗	功利的な余りに功利的な	2巻 8号 51	(R- 4)
ストース・A	日本に対する強盗遠征	4巻 9号120	(R- 8)

## せ

セヴェリ・F	現代の伊太利	6巻 5号 82	(R-11)
關口 泰	憲政振作と公民教育	5巻 7号 6	(R-10)
	貴族院改革の話	6巻 5号 52	(R-11)
	青年学校義務制に伴う公民科教員養成の必要	8巻 6号 1	(R-15)
	時局と事上錬磨の教育	8巻10号 51	(R-16)
	公民教育を中心として	9巻 6号 7	(R-17)
關田 生吉	公民教育に於ける農村財政 (一)	1巻 2号 53	(R- 1)
	公民教育に於ける農村財政 (二)	1巻 4号 50	(R- 1)
	公民教育に於ける農村財政 (三)	1巻 6号 43	(R- 2)
	農村の財政経済	1巻 9号 38	(R- 2)
	公民科実施につきての卑見	2巻10号 24	(R- 4)

關田生吉	経験と計画	3巻 4号 60	(R- 5)
	中学校公民科の時事問題取扱について	4巻 1号 41	(R- 7)
	中学校の公民科は如何にすれば更正するや	4巻 10号 102	(R- 8)
	公民科担任教員の連絡共同機関設定に関する私見	6巻 2号 58	(R-11)
	公民科の再検討と要目改善の問題	6巻 8号 49	(R-12)
	今日の問題解説	7巻 3号 89	(R-13)
	今日の問題解説	7巻 4号 98	(R-13)
	今日の問題解説	7巻 5号 118	(R-13)
	今日の問題解説	7巻 6号 62	(R-13)
	青年学校修身及公民科教授及訓練要目の特質と取扱上の注意点	7巻 7号 17	(R-14)
	今日の問題解説	7巻 7号 95	(R-14)
	今日の問題解説	7巻 8号 74	(R-14)
	今日の問題解説	7巻 9号 78	(R-14)
せきだ生	国民精神文化研究所行脚録 (一)	4巻 10号 127	(R- 8)
	国民精神文化研究所行脚録 (二)	4巻 11号 124	(R- 8)
	国民精神文化研究所行脚録 (三)	4巻 12号 118	(R- 8)
關根郡平	国民皆兵制と帝国の国防	3巻 2号 65	(R- 5)
關屋龍吉	近時の世相と公民教育の重要性	2巻 4号 6	(R- 3)
千石興太郎	産業組合の現在と将来	3巻 12号 2	(R- 6)
	農村生産力の維持に就いて	8巻 1号 63	(R-15)
	現下の戦時食糧問題	9巻 12号 62	(R-18)
仙田清吾	農業学校に於ける公民科教授の実際	3巻 3号 48	(R- 5)
	非常時に直面して農業学校卒業生に贈る	4巻 3号 102	(R- 7)
仙波直心	「公民訓練」の提唱と其一例	3巻 1号 71	(R- 5)
	公民科に於ける社会問題取扱上の危険とその対策	4巻 3号 76	(R- 7)

## た

平	實	統制思想と公民教育	6巻 11号 36	(R-12)
		家族制度と公民教育	7巻 3号 28	(R-13)
		公民教育と経済政策	7巻 6号 21	(R-13)
		社会正義と公民教育	7巻 12号 36	(R-14)
		公民教育と労作教育	8巻 3号 15	(R-15)
		公民教育と民族国家の完成	8巻 7号 18	★

平	實	生産経済の促進と公民教育	8巻10号	26	(R-16)
		実業教育と公民精神	9巻	3号	29 (R-17)
		公民教育とヒューマニズム	9巻	8号	7 (R-18)
		都市生活と公民教育	10巻	6号	1 (R-19)
		技術としての公民教育	10巻	10号	30 (R-20)
		国土計画と公民教育	11巻	6号	8 (R-21)
		新経済倫理と公民教育	12巻	4号	20 (R-22)
高	木 孝 男	公民科予備試験初陣記	12巻	7号	111 (R-22)
高	木 友 三 郎	日本産業界の現状並に前途	7巻	2号	81 (R-13)
高	木 陸 郎	支那の海関に就いて	8巻	1号	47 (R-15)
高	瀬 莊 太 郎	公民教育の内容改善整備の目標	6巻	8号	33 (R-12)
高	瀬 廣 雪	公民科教科書に関する諸問題	6巻	2号	81 (R-11)
高	田 信 三	ソヴィエトに於ける教育	3巻	4号	103 (R- 5)
高	野 六 郎	都市生活と公衆衛生	2巻	10号	21 (R- 4)
		公衆衛生道徳	8巻	6号	75 (R-15)
高	橋 龜 吉	統制経済の現段階と其の将来	10巻	7号	46 (R-20)
高	橋 久 一	本校に於ける公民教育の一端	3巻	12号	34 (R- 6)
高	橋 幸 雄	含笑上船	12巻	6号	102 (R-22)
		島	12巻	7号	96 (R-22)
高	橋 俊 吉	蔣介石政権を巡る支那の現状	6巻	5号	57 (R-11)
高	橋 清 吾	憲法政治の原則	2巻	5号	28 (R- 3)
高	橋 雄 豹	公民教育と警察	2巻	11号	2 (R- 4)
高	見 正	貧しき経験を語る	4巻	10号	121 (R- 8)
高	山 潔	公民教育の社会的基礎	3巻	6号	76 (R- 5)
田	川 大 吉 郎	これを如何せんこれを如何せん	1巻	7号	22 (R- 2)
		公德は果たして不振であろうか	3巻	10号	4 (R- 6)
武	田 馬 三	徹頭徹尾独学で公民科へ	6巻	10号	129 (R-12)
武	田 貞 之 助	美濃部博士の選挙制度と官吏制度を読み更なる教を請う	2巻	11号	93 (R- 4)
		立憲自治に関する公民教育への期待	5巻	6号	11 (R- 9)
武	部 欣 一	女性の社会的地位と公民教育	2巻	4号	9 (R- 3)
		時局と公民教育	3巻	1号	5 (R- 5)
建	部 遯 吾	公民科新設の頌	5巻	1号	3 (R- 9)
		公民教育近事雑説	6巻	1号	20 (R-11)
		公民教育の実際化	6巻	9号	2 (R-12)

建部 遯吾	公民科の本義と其教授要目の改正	7巻 5号 18	(R-13)
	支那事変と国民精神	7巻12号 12	(R-14)
	公民教育の要諦	8巻 7号 1	(R-16)
武部 六藏	物価賃金等の引上禁止に就て	9巻10号 66	(R-18)
武政 房吉	青年訓練所の学科指導に就て (一)	1巻 7号 74	(R- 2)
	青年訓練所の学科指導に就て (二)	1巻 8号 72	(R- 2)
武用 種吉	公民科教材の取扱方と日本精神の発揚	4巻 4号 25	(R- 7)
	公民科教材中の一研究に就て	5巻 3号 91	(R- 9)
	公民科教授に際し、国体観念を明徴にする実地教授に就きて	5巻12号 34	(R-10)
	善良なる公民は家庭教育より	6巻 9号 81	(R-12)
田子 一民	府県会議員選挙と公民修養	1巻 7号 16	(R- 2)
	公民教育と政界の浄化	2巻 7号 26	(R- 4)
田澤 義鋪	青年団と公民教育	1巻 1号 55	(R- 1)
	公民教育座談会	2巻 2号 36	(R- 3)
	国家の為に我々の為に	5巻 9号120	(R- 9)
田代 重徳	時局と国際宣伝	7巻11号 40	(R-14)
田制 佐重	教育社会学より見たる公民並に公民教育の意義	2巻11号 8	(R- 4)
	公民教育の方法と大集団意識の養成	2巻12号 10	(R- 4)
	公民教育と道德教育	3巻 5号 11	(R- 5)
	非常時に於ける公民教育	5巻 2号 7	(R- 9)
	選挙肅正と教育・教化運動	5巻 9号 15	(R-10)
	公民教育最近の趨勢	6巻 3号 27	(R-11)
	転回期に於ける公民教育	6巻 9号 29	(R-12)
	最近の本誌に寄せて	7巻 6号 37	(R-13)
	持久戦対処の公民教育	8巻 2号 7	(R-15)
	立体的公民科	8巻 8号 71	(R-16)
	東亜協同体と今後の公民教育	9巻 6号 26	(R-17)
	公民教育の新展望	10巻 4号 22	(R-19)
	「教学新体制と公民教育」問答	10巻 8号 24	(R-20)
	翼賛体制の公民教育的基調	11巻 7号 6	(R-21)
多田 不二	ラジオと公民教育	3巻 8号 22	(R- 6)
太刀川 判次	新体制と公民科教材との関係	11巻 2号 84	(R-21)
龍山 義亮	公民教育と公民的訓練の徹底	1巻 8号 9	(R- 2)
	思想問題と公民教育	4巻 3号 16	(R- 7)

龍山義亮	国際的地位の躍進と公民教育	5巻 4号 1	(R- 9)
	総合教育の思想と公民科	7巻 2号 15	(R-13)
	時局と公民教育の実践	7巻11号 4	(R-14)
	現下公民教育上の諸問題	9巻 3号 17	(R-17)
	戦時即応の公民教育	12巻 4号 5	(R-22)
田中貢太郎	村の出来事	1巻 5号 87	(R- 1)
	静岡の思い出	2巻 6号 72	(R- 3)
田中重之	青年学校教育義務制の実施に就て	9巻 2号 26	(R-17)
	青年学校教育義務制実施に際して	9巻 6号 39	(R-17)
田中子葉	時局と公民教育の一断想	8巻 7号 50	(R-16)
田中宗市	公民教育の根本問題	4巻 8号 14	(R- 8)
田中光顯	明治天皇に咫尺奉りて	1巻 2号 42	(R- 1)
	明治大帝の御聖徳	1巻 8号 2	(R- 2)
	明治大帝を偲びまつりて	4巻 1号 6	(R- 7)
	多摩聖蹟健全道場の設立に就て	6巻 3号109	(R-11)
棚倉純二	青年学校修身及公民科教科書の特異性と其の映画化に就いて	7巻 9号109	(R-14)
	修身及公民科の映画化に就て	8巻 6号 40	(R-15)
	青年学校義務制実施と修身及公民科の再認識	9巻 4号 60	(R-17)
	新体制と公民教育	11巻 4号 59	(R-21)
棚橋源太郎	公民教育と郷土博物館	3巻 8号 20	(R- 6)
田部重治	山の産み出す力	2巻 8号 46	(R- 4)
谷川貞夫	セツルメントに於ける公民教育	3巻 3号 86	(R- 5)
谷口恒二	金融統制団体の設立	12巻 5号 66	(R-22)
谷口政秀	公民教育に於ける職業教育の必要性	2巻 6号 4	(R- 3)
谷原義一	世界の強国運動と大日本精神	4巻 5号 1	(R- 7)
谷本富	公民教育唱道の由来	3巻 8号 10	(R- 6)
	公民教育の再認識	6巻 2号 29	(R-11)
	公民教育概念の変遷	7巻 9号 33	(R-14)
谷本梨庵	公民新論の種々	5巻 1号 34	(R- 9)
田畑忍	政治と法律との連関	9巻 5号 17	(R-17)
田林豊次	十年度文検公民科を受験して	5巻11号130	(R-10)
田淵藤藏	公民科教授と経済知識の涵養	2巻 2号 30	(R- 3)
	公民教育に於ける帝国憲法の教授を論ず	2巻 7号 51	(R- 4)
	公民科の本質と教授指導案の実例	3巻 3号 44	(R- 5)

田淵藤藏	実業補修学校に於ける公民教育と公民的訓練	4巻 7号 82	(R- 8)
	公民科教授に於ける農村社会研究	5巻 5号 92	(R- 9)
	立憲政治教育の徹底 (一)	5巻11号 85	(R-10)
	立憲政治に対する報恩行為	5巻12号114	(R-10)
	公民科教授要目の研究	6巻 8号 59	(R-12)
	修身及公民科要目の実際的取扱	7巻 7号 24	(R-14)
	修身及公民科教授及訓練の批判と希望	8巻 9号 40	(R-16)
	青年学校修身及公民科の難点とその克服	9巻 7号 13	(R-18)
田淵利一郎	商業都市の公民教育	3巻 8号 89	(R- 6)
田村眞一	世界知識	7巻 4号 58	(R-13)
	世界知識	7巻 5号 74	(R-13)
	世界知識	7巻 6号 80	(R-13)
	世界知識	7巻 7号 90	(R-14)
	世界知識	7巻 8号 86	(R-14)
	世界知識	7巻 9号 88	(R-14)
	世界知識	7巻10号 96	(R-14)
	世界知識	7巻11号 81	(R-14)
	世界知識	7巻12号 76	(R-14)
	国際事情	8巻 1号 94	(R-15)
	国際事情	8巻 2号 86	(R-15)
	国際事情	8巻 3号 72	(R-15)
	国際事情	8巻 4号 85	(R-15)
	国際事情	8巻 5号 84	(R-15)
	国際事情	8巻 6号 92	(R-15)
	国際事情	8巻 7号 90	(R-16)
田村 浩	皇道精神と東亜協同体	9巻 3号 7	(R-17)
爲藤五郎	教育に還る	8巻 8号 57	(R-16)

## ち

近松秋江	田園に帰らん	2巻 1号118	(R- 3)
千年源太	公民科統合的教授細目 (上)	6巻 9号 90	(R-12)
	公民科統合的教授細目 (下)	6巻10号 97	(R-12)
千葉龜雄	公民教育座談会	2巻 2号 36	(R- 3)

千葉 龜 雄	新聞紙と教育	2巻 5号 20	(R- 3)
千葉 敬 止	疲弊の声なき農村と教育	1巻 1号 96	(R- 1)
	訓練されつつある農村	1巻 3号 32	(R- 1)
	公民科教授指導案と教授指導例	1巻 8号 20	(R- 2)
	農村更正問題と公民教育	2巻 9号 38	(R- 4)
	公民科教授と教材の研究	4巻 5号 18	(R- 7)
	青年学校の修身及公民科に就て	5巻 5号 8	(R- 9)
	青年学校修身及公民科要目の取扱方	7巻11号 17	(R-14)
	青年学校教員養成問題	8巻10号 1	(R-16)
	普通学科と修身及公民科との関連	9巻 3号 24	(R-17)
	修身及公民科の授業を見て	10巻 1号 67	(R-19)
長 義 正	日本教育道の底流	3巻 9号 92	(R- 6)
	公民教育と日本精神	4巻 1号 21	(R- 7)
	公民的訓練と学校施設	5巻 5号 87	(R- 9)
	公民科研究会記事	5巻 7号 98	(R-10)
	公民科の教育的使命並教授方針	5巻 8号 93	(R-10)
	公民科教授要目に対する見方	6巻 8号 70	(R-12)
	公民教育・人・学問・健康・献身	6巻10号 35	(R-12)
	宗教教育の問題と国民教育	7巻 1号 41	(R-13)
張 秋 金	公民教育の理念	6巻 4号 67	(R-11)
千 代 田 謙	公民科に於ける歴史教育的立場	8巻 8号 7	(R-16)

つ

塚 越 文 雄	公民科の要目に就いて	5巻12号 45	(R-10)
塚 原 政 次	非常時と公民教育	3巻 2号 2	(R- 5)
	公民教育について	5巻12号 4	(R-10)
辻 民 吾	手紙	2巻 5号123	(R- 3)
對馬 敬 五 郎	公民的訓練の実際	3巻 6号 86	(R- 5)
	東京市民教育の実際	3巻12号 60	(R- 6)
辻 本 與 次 郎	私とは何のことか	5巻 6号 86	(R- 9)
	隣組と公民教育夜話	11巻 7号 82	(R-21)
	聖戦我の見直し	12巻 1号 30	(R-22)
	隣組から大東亜へ	12巻 3号 74	(R-22)

辻本與次郎	団結	12巻 5号105	(R-22)
土屋 準	我等を巡る世界の動き	12巻 2号 48	(R-22)
土屋 四郎	親族法に就ての若干の考察	5巻 4号 35	(R- 9)
坪内武四郎	ファシズムと立憲政治	2巻 7号 10	(R- 4)
	独裁政治の一考察	2巻 8号 70	(R- 4)
	独裁政治の一考察	2巻 9号 77	(R- 4)
	政党政治家の告白を回想して	2巻11号 76	(R- 4)
	公民教科書読後感	3巻 2号103	(R- 5)
	聖徳憲法寸感	3巻 8号 72	(R- 6)
坪内如水	回教に就いて	9巻 8号 85	(R-18)
坪富司	文検公民科第一、二問の準備対策	5巻 5号127	(R- 9)
津山三郎	公民的教養の重要性	5巻12号 1	(R-10)
鶴岡 彌	実践的公民教育としての集団勤行	8巻 9号 47	(R-16)
	長期建設と教育者の任務	9巻 7号 79	(R-18)
	皇国民としての立場	10巻10号 44	(R-20)
	新意識に於ける公民科教授	12巻 3号 86	(R-22)
鶴藤幾太	宗教と教育	3巻 7号 54	(R- 6)
	人生に宗教は何故必要か	4巻 9号 33	(R- 8)
	神祇教育に含まるる諸要素	5巻 4号 9	(R- 9)
	国家の本質と国家主義	5巻10号 6	(R-10)
	公民科に於ける宗教教授の目的及びその内容の問題	11巻 1号 9	(R-21)
	現代の知識人と宗教	11巻 7号 24	(R-21)
	師範学校宗教科に就て	12巻 4号 83	(R-22)

て

寺島 健	大東亜戦争と海運	12巻 1号 82	(R-22)
寺田 瑛	時事解説三題	6巻 9号 46	(R-12)
寺本慧達	神 社	1巻 5号 25	(R- 1)
天 鬼 生	文検公民科の経済に就いて	7巻 1号140	(R-13)

## と

道家齊一郎	満蒙新国家の教育問題に対する一提唱	2巻 3号 17	(R- 3)
東郷 實	農村振興教育の根本策	2巻 9号 34	(R- 4)
	公民教育の指導精神	3巻10号 72	(R- 6)
東條英機	極東の情勢に就て	3巻12号 7	(R- 6)
	日本の興廢は人類の盛衰	12巻 7号 72	(R-22)
藤 範 晃	小学校に於ける児童融和教育の具体的方法	3巻 3号 62	(R- 5)
母井千秋	公民教育実施案に就て	4巻 2号 89	(R- 7)
砥上峰次	資格試験としての文検公民科への要望	6巻10号127	(R-12)
	十一年度公民科口述の発問要項	7巻 5号138	(R-13)
徳崎好夫	皇国不動の公民教育論	7巻 5号 60	(R-13)
徳富猪一郎	公民教育の要諦	2巻 1号 4	(R- 3)
	奉公小言	2巻 2号 2	(R- 3)
	幕府の瞞着政策と志士の公憤	2巻 5号 96	(R- 3)
	国史より観たる我が国体	5巻11号 30	(R-10)
	国家不滅の立脚点	6巻 6号 72	(R-11)
	精神国防と教育	7巻11号 55	(R-14)
徳富蘇峰	日本歴史の特色	3巻 5号 31	(R- 5)
	事変解決の鍵	8巻 8号 82	(R-16)
	東亜新秩序の枢軸は日満一体より始まる	10巻 3号 41	(R-19)
	三国同盟成立と米国	10巻11号 62	(R-20)
都田恒太郎	学校に於ける宗教教育に就て	3巻 7号 77	(R- 6)
	公民科と他学科	3巻11号 30	(R- 6)
戸田貞三	新要目に於ける家の生活の意味	7巻 7号 14	(R-14)
	文部省視学委員復命書抄	8巻 3号 33	(R-15)
	職業とその分野の変遷	8巻10号 18	(R-16)
	公人関係と私人関係	9巻 5号 1	(R-17)
富田幸次郎	憲政の回顧と国民の覚悟	7巻 1号 3	(R-13)
友枝高彦	大東亜戦争と日本国民の責任	12巻 6号 5	(R-22)
紬木志雄	産業組合精神に就て	4巻12号 7	(R- 8)
友次壽太郎	公民科教材 時の法令解説 (一)	12巻 1号 94	(R-22)
	公民科教材 時の法令解説 (二)	12巻 2号 84	(R-22)
	公民科教材 時の法令解説 (三)	12巻 3号102	(R-22)

友次壽太郎	公民科教材 時の法令解説 (四)	12巻 4号110	(R-22)
	公民科教材 時の法令解説 (五)	12巻 5号100	(R-22)
	公民科教材 時の法令解説 (六)	12巻 6号106	(R-22)
	公民科教材 時の法令解説 (七)	12巻 7号100	(R-22)
友安亮一	我国人口増加の趨勢	4巻11号 68	(R- 8)
鳥谷尾友次郎	我が校の郷土教育	2巻 3号100	(R- 3)
外山節夫	五箇条の御誓文謹解	9巻 5号 33	(R-17)
豊田雅孝	企業整備と転業対策	12巻 6号 88	(R-22)
豊原又男	青少年と職業指導	2巻 6号 27	(R- 3)
鳥井行雄	公民科の考査と採点	9巻 8号 80	(R-18)

## な

内藤智秀	バルカンに於ける国際的禍根	4巻 4号 70	(R- 7)
中尊量	教育界と選挙肅正運動	5巻 8号 8	(R-10)
永井享	人と社会	2巻 4号 55	(R- 3)
	我が家	2巻 5号 33	(R- 3)
	一体としての社会	5巻 3号 4	(R- 9)
永井三樹三	国際連盟の平和維持に関する行動	3巻 1号 22	(R- 5)
	近く開かれる国際経済会議と其の問題	3巻 3号 28	(R- 5)
	マルセイユの凶変	4巻11号 37	(R- 8)
	世界の大勢と日本の地位	5巻 2号 62	(R- 9)
永井柳太郎	青年日本の建設	3巻 7号 86	(R- 6)
	亜細亜再建の義戦	7巻11号 73	(R-14)
	国民皆兵総突撃	9巻 3号 85	(R-17)
	大東亜教育体制の確立	12巻 2号 40	(R-22)
仲榮眞助八	文検公民科直前準備法	11巻 1号108	(R-21)
長尾和生	支那風景	1巻 9号 52	(R- 2)
	吾輩は低気圧である	2巻 1号 87	(R- 3)
	金を語る (趣味の科学)	2巻 4号 92	(R- 3)
	扶清洋滅	2巻 7号 21	(R- 4)
	支那の国難を語る	2巻12号 75	(R- 4)
長尾半平	鴻爪外遊余録	2巻 1号 70	(R- 3)
中川善之助	公民教育と法律	8巻 4号 1	(R-15)

中川善之助	文部省視学委員復命書抄	8巻 4号 45	(R-15)
中川竹三	女子の二大特性と情操教育(上)	2巻 5号 62	(R- 3)
	女子の二大特性と情操教育(下)	2巻 6号 84	(R- 3)
中川竹洞	奥利根と越の奥(上)	1巻 9号106	(R- 2)
	奥利根と越の奥(下)	2巻 1号129	(R- 3)
	公民教育座談会	2巻 2号 36	(R- 3)
	十日町紀行	2巻 7号114	(R- 4)
仲木貞一	公民教育座談会	2巻 2号 36	(R- 3)
	公民教育の放送に就いて	2巻 4号 68	(R- 3)
長倉矯介	警察会報	2巻 8号 38	(R- 4)
	公民科教授上問題となる諸点	3巻10号 17	(R- 6)
	公民科教授上問題となる諸点	4巻 1号 45	(R- 7)
	日支親善の方策如何	4巻10号 69	(R- 8)
	公民科教授上の疑義数点(一)	5巻 4号 28	(R- 9)
	公民科教授上の疑義数点(二)	5巻 5号 16	(R- 9)
	公民科教授上の疑義数点(三)	5巻 6号 39	(R- 9)
	公民科の核心	5巻12号 15	(R-10)
	公民科より見たる近時二題	6巻 5号 33	(R-11)
	公民科に関する新行事	6巻12号 91	(R-12)
	中等学校公民科改正教授要目の精神	7巻 5号 6	(R-13)
	公民科関係問題三件	8巻10号 8	(R-16)
	公民科教授実状の投影種々相	9巻 6号 19	(R-17)
	師範公民書を読みて	10巻 6号 9	(R-19)
	公民教育乃至公民科と新体制	11巻 8号 54	(R-21)
	公民教育及び公民科の公民の意義	12巻 5号 24	(R-22)
長坂勝一	公民科に於ける神社に就て	3巻 7号 68	(R- 6)
	公民科に於ける「社会改善」の教授法に就て	4巻 3号 81	(R- 7)
	公民科に於ける「社会改善」の教授法に就て	4巻 6号 82	(R- 7)
	公民科要目中改善を要する諸点	6巻 8号 64	(R-12)
中澤かすめ	裁縫科に於ける公民科的内容の取扱	3巻 6号 93	(R- 5)
中澤信治	教科に於ける実用主義的指導に就いて	1巻 9号 20	(R- 2)
	臨終の言葉	2巻 6号 66	(R- 3)
	清淡枯泊の国民性について	2巻 8号 62	(R- 4)
	背後の世界の認識	2巻10号 54	(R- 4)

中 島 徳 藏	公吏醜悪相の診断	3巻 1号 90	(R- 5)
中 島 彌 團 次	昭和十二年度予算の解説	7巻 1号 92	(R-13)
中 田 俊 造	公民教育と映画	3巻 8号 16	(R- 6)
	新時代の公民教育と映画	8巻 6号 29	(R-15)
永 田 鐵 山	国家総動員と青少年訓練	5巻 9号 50	(R-10)
永 田 秀 次 郎	選挙肅正に就いて	5巻 9号119	(R-10)
中 沼 郁	公民教育に於ける児童観	6巻 5号 73	(R-11)
中 野 佐 三	子供と時局の認識	11巻 6号 90	(R-21)
長 野 長 廣	青年の心理傾向と公民訓練 (上)	1巻 1号 33	(R- 1)
	農村青年の心理傾向と公民訓練 (下)	1巻 2号 32	(R- 1)
	農村教育上の重点	1巻 3号 41	(R- 1)
	日本農村生活の特質	1巻 4号 38	(R- 1)
	移植民教育運動を提唱す	1巻 8号 16	(R- 2)
	青年教育振興運動の必然性とその対策 (上)	2巻 1号 6	(R- 3)
	青年教育振興運動の必然性とその対策 (下)	2巻 2号 12	(R- 3)
	農村問題と青年教育 (一)	2巻 3号 22	(R- 3)
	青年教育と公民科	2巻 8号 7	(R- 4)
	農村物価惨落と農家収入	3巻 2号 19	(R- 5)
	政治の本義と政治教育の重点	7巻 4号 1	(R-13)
	青年学校義務制に対する所見	8巻 2号 18	(R-15)
中 原 孝 治	支那最近の社会教育の概況	7巻 4号109	(R-13)
中 村 明 人	青訓の一面観	1巻 1号 39	(R- 1)
	殖える日本こそ伸びる日本	9巻10号 20	(R-18)
中 村 健 三	学校教育に於ける宗教教育の問題	6巻12号 34	(R-12)
中 村 行 二	公民科筆記試験を顧る	8巻 4号115	(R-15)
中 村 信 二	台湾の公民科教育一ヶ年の反省	7巻 4号114	(R-13)
	公民科は健在なりや	8巻11号 71	(R-16)
中 村 正 治	公民科の内容に関する一考察	6巻12号 44	(R-12)
	公民科教授要目改正の趣旨	7巻 4号 4	(R-13)
	白川村の大家族制度	7巻12号 51	(R-14)
	翼賛議会と総選挙	12巻 4号 67	(R-22)
長 屋 喜 一	公民教育と民族主義	2巻 9号 14	(R- 4)
那 須 皓	人口問題と国際関係の動向	7巻 2号 71	(R-13)
奈 良 武 次	御側近に奉仕して	7巻 1号 64	(R-13)

奈良岡良二	新興ドイツの教育断片	7巻 8号 81	(R-14)
南山生	公民科私法経済問題の動向に就て	11巻 4号104	(R-21)

## に

西晋一郎	国民思想統一の所在	4巻 8号 21	(R- 8)
	国民の教育	5巻 7号 33	(R-10)
	訂補国民の教育	5巻 9号 62	(R-10)
西岡義融	公民科教材の宗教に就いて	5巻12号 49	(R-10)
西川光二郎	論語の教訓	2巻 1号 48	(R- 3)
西川幸次郎	公民教育の使命と映画の任務	3巻12号 78	(R- 6)
西山哲治	左右に傾く現代の悪思想の善導について	2巻 7号 5	(R- 4)
西脇英逸	公民科教授の反省と振興	7巻 1号 48	(R-13)
	我国公民教育の性格	7巻 3号 98	(R-13)
	第三の教育	9巻11号 48	(R-18)
	皇国文政の新体制	10巻10号 50	(R-20)
新渡戸稻造	民間外交の期益々迫る	3巻 6号 2	(R- 5)
蜷川新	日本と世界 (一)	1巻 4号 29	(R- 1)
	日本と世界 (二)	1巻 5号 18	(R- 1)
	世界の立憲政治に於ける我国の地位	5巻 2号 44	(R- 9)
	憲法研究の資料二題	5巻 8号 18	(R-10)
二之宮英雄	数学教育より見たる公民教育の展開	11巻10号 27	(R-21)
	公民科教材としての国民学校教育	12巻 5号 62	(R-22)

## の

野口援太郎	公民科は教育時期全体を通じて課すべきである	2巻11号 42	(R- 4)
	新教育と公民教育	6巻 1号 15	(R-11)
野崎泰秀	公民教育と其の背景	3巻10号 48	(R- 6)
	公民生活指導の一面としての娯楽及び娯楽機関の統制について	4巻 2号 39	(R- 7)
	都会生活の動向と公民教育	4巻11号 9	(R- 8)
	社会的成層より観たる職業とその教育的指導	5巻11号 52	(R-10)
	公民科から忘れられた一項目	6巻 9号 15	(R-12)
	国民精神総動員と公民教育	7巻10号 32	(R-14)

野崎泰秀	公民科と映画教育	8巻 7号 10	(R-16)
	興亜建設の教化工作	9巻10号 11	(R-18)
	新政治体制と公民教育的「課題」	10巻 9号 1	(R-20)
	翼賛選挙の認識と実践	12巻 3号 19	(R-22)
野崎龍七	高橋財政と馬場財政	6巻 5号 46	(R-11)
野尻重雄	農村研究の台頭とその重要性	2巻 2号 18	(R- 3)
	農村調査の内容と方法に就いて	2巻 3号 44	(R- 3)
野田義夫	公民教育の根本問題	1巻 5号 7	(R- 1)
	青年学校の公民訓練に就て	5巻 6号 1	(R- 9)
	国体観念と公民教育	6巻 3号 2	(R-11)
	青年学校修身公民科要目に期待	6巻 8号 83	(R-12)
野村一義	我校に於ける公民教育	4巻 8号 33	(R- 8)
野村芳兵衛	国民教育と小公民を作る教育	3巻 5号 81	(R- 5)

## は

白澄生	文検公民科の新動向	7巻12号123	(R-14)
橋田邦彦	年頭所感	11巻 1号 1	(R-21)
	青年教育の振興	12巻 3号 5	(R-22)
橋本増吉	公民教育の目標	4巻 2号 1	(R- 7)
長谷孝之	社会政策に於ける指導精神の転換	4巻 3号 71	(R- 7)
	社会政策的施設とその意義	5巻 1号 92	(R- 9)
長谷川乙彦	公民科の教科書につきて	4巻 2号 9	(R- 7)
長谷川幸太郎	現代の新聞紙と経済生活	8巻 8号 45	(R-16)
長谷川喬	文検公民科応試の経過	7巻 3号136	(R-13)
長谷川如是閑	思想傾向と教育家の任務	4巻 3号 11	(R- 7)
	紙屑の道徳	5巻 1号 30	(R- 9)
波多野述磨	梅巖の思想撰取と公民教育	11巻 1号 55	(R-21)
	山鹿素行の「士道」に就て	12巻 4号 77	(R-22)
パチラー八重子	ウエベケレ物語	1巻 7号125	(R- 2)
八田薫	公民科教育断片	8巻 9号 61	(R-16)
	公債の発行限度に就いて	9巻 1号 91	(R-17)
八田嘉明	大東亜戦争と日本の技術	12巻 1号 86	(R-22)
服部 纘	ナチスの教育方針と其の実施状況	4巻 3号 5	(R- 7)

服部文四郎	米国金融恐慌の世界的影響	3巻 4号 40	(R- 5)
	経済解説	8巻 1号 84	(R-15)
	経済解説	8巻 2号 64	(R-15)
	経済解説	8巻 3号 52	(R-15)
	経済解説	8巻 4号 76	(R-15)
	経済解説	8巻 5号 60	(R-15)
	経済解説	8巻 6号 80	(R-15)
鳩山一郎	教育施政に対する予の理想	2巻 1号 2	(R- 3)
	年頭の辞	3巻 1号 2	(R- 5)
	年頭の辞	4巻 1号 1	(R- 7)
花見朔巳	大戦の教訓	12巻 2号 22	(R-22)
馬場鏐一	事変と国民の協力一心	7巻10号 76	(R-14)
馬場啓之助	公民教育と人間性倫理学	6巻 7号 21	(R-12)
馬場文翁	学科考察の根本的出発	9巻 3号 1	(R-17)
	理想的教育者	9巻11号 1	(R-18)
馬場孫一郎	時局下に於ける我校の公民訓練	9巻11号102	(R-18)
	皇民錬成と公民訓練の問題	10巻 1号 90	(R-19)
早川清吾	我が受験道を顧みて	7巻10号127	(R-14)
林毅陸	立憲国民の權威	3巻11号 6	(R- 6)
	公民教育の主眼点	5巻 7号 1	(R-10)
林重信	日本人養成を目指す教育	6巻 4号 47	(R-11)
林胤吉	公民教育の方針と力点	3巻 9号100	(R- 6)
林鐵郎	選挙の研究 (一)	1巻 5号 30	(R- 1)
	選挙の研究 (二)	1巻 6号 38	(R- 2)
	刑法に於ける応法主義と目的主義	2巻 4号 76	(R- 3)
林博太郎	速かに公民教育を行うべし	1巻 9号 2	(R- 2)
早瀬利雄	公民教育理念の社会哲学的考察	3巻 3号 36	(R- 5)
	公民教育と社会学	6巻 3号 38	(R-11)
	転換期の文化と公民教育の目標	6巻 5号 9	(R-11)
	ファッシズムの公民教育 (一)	6巻 6号 61	(R-11)
	ファッシズムの公民教育 (二)	6巻 8号 9	(R-12)
	ファッシズムの公民教育 (三)	6巻 9号 58	(R-12)
	ファッシズムの公民教育 (四)	6巻10号 69	(R-12)
	自由主義の公民教育 (一)	7巻 1号 55	(R-13)

早瀬利雄	自由主義の公民教育（二）	7巻 2号 64	(R-13)
	自由主義の公民教育（三）	7巻 3号 82	(R-13)
	公民教育と新道徳原理	9巻 8号 1	(R-18)
原房孝	公民教育と現代	7巻 1号 15	(R-13)
	現下の時局と公民教育	7巻10号 22	(R-14)
原龍之助	法律生活と経済生活	8巻 1号 68	(R-15)
原田實	公民精神の激奨が根本なり	2巻12号 2	(R-4)
	住みよい社会	5巻 1号 42	(R-9)
	公民教育と徳義の複雑性	6巻 6号 15	(R-11)
	公民精神第一歩	7巻 8号 64	(R-14)
原田義藏	公民知徳の再建設	9巻 2号 6	(R-17)

## ひ

樋貝詮三	今期議会を通過したる重要法律案	7巻 9号 51	(R-14)
	今期議会を通過したる法律案に就いて	9巻 4号 53	(R-17)
氷川清一	実業補習学校に於ける公民教育	2巻 1号 38	(R-3)
樋田豊太郎	国体の本義の明徴と公民科との関係	7巻 9号 1	(R-14)
	機関説の掃蕩（一）	8巻 4号 6	(R-15)
	機関説の掃蕩（二）	8巻 5号 22	(R-15)
	機関説の掃蕩（完）	8巻 6号 6	(R-15)
	公民科の精神並に其の取扱方（一）	8巻10号 34	(R-16)
	公民科の精神並に其の取扱方（二）	8巻11号 9	(R-16)
	公民科の精神並に其の取扱方（三）	8巻12号 33	(R-16)
	公民科の精神並に其の取扱方（完）	9巻 1号 19	(R-17)
	師範公民書編纂の趣旨	9巻 8号 35	(R-18)
	公民科論考（一）	9巻 9号 29	(R-18)
	公民科論考（二）	9巻10号 27	(R-18)
	公民科論考（三）	9巻11号 15	(R-18)
	公民科論考（四）	9巻12号 37	(R-18)
	公民科論考（五）	10巻 1号 23	(R-19)
	公民科論考（六）	10巻 2号 39	(R-19)
	公民科論考（七）	10巻 3号 13	(R-19)
	公民科論考（八）	10巻 4号 33	(R-19)

樋田豊太郎	公民科論考 (九)	10巻 5号 21	(R-19)
	公民科論考 (十)	10巻 6号 27	(R-19)
	公民科論考 (十一)	10巻 7号 19	(R-20)
	公民科論考 (十二)	10巻 8号 33	(R-20)
	師範公民書 (下巻) に就いて	10巻 9号 31	(R-20)
	公民科論考 (十三)	10巻 9号 53	(R-20)
平井 恒	母の立場から	2巻 7号 88	(R- 4)
平出英夫	世界を開く日本	12巻 1号 68	(R-22)
平生鈞三郎	年頭の所感	7巻 1号 1	(R-13)
平田 正	教学一体の教師	11巻 2号 96	(R-21)
	教育の一断面	11巻 5号 51	(R-21)
平田のぶ	子供の心親知らず	2巻 7号 76	(R- 4)
平林廣人	地方自治百年の大成を目指して	8巻 4号 39	(R-15)
	隣組と公民教育の現段階	12巻 4号 47	(R-22)
	隣組の科学と実践 (一)	12巻 6号 66	(R-22)
	隣組の科学と実践 (二)	12巻 7号 52	(R-22)
廣田 麥 秀	早春の伊香保	2巻 2号104	(R- 3)
廣濱 嘉 雄	私法生活と公民道德	2巻 5号 46	(R- 3)
	職業について	4巻11号 16	(R- 8)
	小学校における公民教育について	6巻 2号 49	(R-11)
	青年学校修身及公民科の使命	7巻 7号 7	(R-14)
	隠れたる努力	8巻 5号 43	(R-15)
	ある高女生徒の答案抄	8巻 8号 66	(R-16)
	時局と公民教育 (上)	9巻 6号 11	(R-17)
	公民教育の時局への寄与	9巻 9号 8	(R-18)
	公民教育者の矜持	10巻10号 1	(R-20)

## ふ

フォスター・A	愛国公民読本 (一)	4巻 9号 89	(R- 8)
	愛国公民読本 (二)	4巻10号108	(R- 8)
	愛国公民読本 (三)	4巻11号 95	(R- 8)
	愛国公民読本 (四)	4巻12号 93	(R- 8)
	愛国公民読本 (五)	5巻 1号 65	(R- 9)

フォスター・A	愛国公民読本 (六)	5巻 2号 100	(R- 9)
	愛国公民読本 (七)	5巻 3号 112	(R- 9)
	愛国公民読本 (八)	5巻 4号 108	(R- 9)
	愛国公民読本 (九)	5巻 5号 118	(R- 9)
	愛国公民読本 (十)	5巻 6号 107	(R- 9)
	愛国公民読本 (十一)	5巻 7号 108	(R- 10)
	愛国公民読本 (十二)	5巻 9号 122	(R- 10)
	愛国公民読本 (十三)	5巻 10号 119	(R- 10)
	愛国公民読本 (十四)	5巻 11号 118	(R- 10)
	愛国公民読本 (十五)	5巻 12号 123	(R- 10)
	愛国公民読本 (十六)	6巻 1号 109	(R- 11)
深 作 安 文	公民教育の理論	1巻 1号 23	(R- 1)
	日支問題と公民教育	2巻 3号 6	(R- 3)
	新生共産党事件	3巻 2号 23	(R- 5)
	公民科と公民道徳	5巻 1号 14	(R- 9)
	公民教育の原理としての連帯責任	5巻 9号 1	(R- 10)
	公民教育上より見たる神道	7巻 1号 8	(R- 13)
	如何にして公民科の効果を収むべきか	8巻 1号 15	(R- 15)
	非常時局と公民教育	8巻 9号 1	(R- 16)
	国際政局と選挙	9巻 9号 1	(R- 18)
	女子の公民的覚醒	10巻 5号 1	(R- 19)
	時局と公民教育	11巻 5号 1	(R- 21)
	武力的快捷と精神的快捷	12巻 1号 6	(R- 22)
福 井 武 治	青年学校教員養成所に於ける修身及公民科の教育方針	9巻 9号 20	(R- 18)
	大東亜戦争と修身及公民科教育	12巻 3号 47	(R- 22)
福 島 利 雄	本年度口述の実際と対策	7巻 11号 134	(R- 14)
福 島 政 雄	聖徳太子と日本教育	7巻 1号 76	(R- 13)
福 田 義 郎	二元性の諸相と議会主義	7巻 7号 71	(R- 14)
福 家 惣 衛	ムッソリニーの教育政策	1巻 1号 101	(R- 1)
	ローシュ学校 (一)	1巻 2号 64	(R- 1)
	ローシュ学校 (二)	1巻 4号 72	(R- 1)
藤 井 甚 太 郎	帝国憲法制定の歴史	5巻 5号 36	(R- 9)
藤 井 利 譽	東京市連合防護団について	2巻 10号 90	(R- 4)
藤 江 喜 久 夫	天皇の神聖不可侵性に対する我國民の信念	3巻 3号 55	(R- 5)

藤田 たき	女子公民教育について	2巻 4号 42	(R- 3)
藤谷 保	文検公民科研究範囲と参考書の選択	3巻10号 90	(R- 6)
	文検公民科研究範囲と参考書の選択	3巻11号104	(R- 6)
	文検公民科研究範囲と参考書の選択	3巻12号 89	(R- 6)
	公民科準備より見たる時事問題	4巻 1号 82	(R- 7)
	公民科研究範囲と参考書の選択 (私法の部)	4巻 2号 99	(R- 7)
	公民科の研究範囲と参考書の選択 (経済の部)	4巻 3号113	(R- 7)
	公民科問題の解答とその構成	4巻 4号 85	(R- 7)
	公民科問題の解答とその構成	4巻 5号 77	(R- 7)
	公民科問題の解答とその構成	4巻 6号 97	(R- 7)
	本年度予備試験問題の解答	4巻 7号100	(R- 8)
	公民科本試験問題の解答	4巻 8号112	(R- 8)
	公民科問題の解答とその構成	4巻 9号 97	(R- 8)
	公民科問題の解答とその構成	4巻10号114	(R- 8)
	公民科問題の解答とその構成	4巻11号102	(R- 8)
	公民科問題の解答とその構成	4巻12号100	(R- 8)
	公民科問題の研究	5巻 1号125	(R- 9)
	公民科問題の研究	5巻 2号110	(R- 9)
	公民科問題の研究	5巻 3号117	(R- 9)
	公民科の予備試験対策	5巻 4号118	(R- 9)
	公民科問題の研究	5巻 5号122	(R- 9)
	公民科予備試験問題解答	5巻 6号112	(R- 9)
	公民科本試験の対策	5巻 7号112	(R-10)
	公民科本試験問題解答速報	5巻 8号110	(R-10)
	公民科問題の研究	5巻 9号127	(R-10)
	公民科問題の研究	5巻10号123	(R-10)
	公民科問題の研究	5巻11号126	(R-10)
	公民科問題の研究	5巻12号127	(R-10)
	公民科問題の研究	6巻 1号113	(R-11)
	公民科問題の研究	6巻 2号119	(R-11)
	公民科問題の研究	6巻 3号127	(R-11)
	公民科教授資料 (第一講)	6巻 4号 92	(R-11)
	公民科問題の研究	6巻 4号120	(R-11)
	公民科教授資料 (第二講)	6巻 5号 94	(R-11)

藤谷保	公民科予備試験対策	6巻 5号125	(R-11)
	公民科教授資料 (第三講)	6巻 6号 89	(R-11)
	公民科予備試験問題解説速報	6巻 6号122	(R-11)
	公民科教授資料 (第四講)	6巻 7号111	(R-12)
	文検公民科本試験対策	6巻 7号129	(R-12)
	公民科教授資料 (第五講)	6巻 8号126	(R-12)
	文検公民科本試験問題解答速報	6巻 8号140	(R-12)
	公民科教授資料 (第六講)	6巻 9号101	(R-12)
	文検公民科問題の研究	6巻 9号116	(R-12)
	公民科教授資料 (第七講)	6巻10号108	(R-12)
	文検公民科問題の研究	6巻10号123	(R-12)
	公民科教授資料 (第八講)	6巻11号 99	(R-12)
	文検公民科問題の研究	6巻11号112	(R-12)
	公民科教授資料 (第九講)	6巻12号106	(R-12)
	文検公民科問題の研究	6巻12号120	(R-12)
	公民科教授資料 (第十講)	7巻 1号110	(R-13)
	文検公民科問題の研究	7巻 1号132	(R-13)
	公民科教授資料 (第十一講)	7巻 2号 90	(R-13)
	文検公民科問題の研究	7巻 2号124	(R-13)
	公民科教授資料 (第十二講)	7巻 3号104	(R-13)
	文検公民科問題の研究	7巻 3号132	(R-13)
	文検公民科問題の研究	7巻 4号120	(R-13)
	文検公民科問題の研究	7巻 5号129	(R-13)
	文検公民科予備試験問題の解説	7巻 6号103	(R-13)
	文検公民科本試験問題の解説	7巻 8号110	(R-14)
	文検公民科問題の研究	7巻 9号117	(R-14)
	文検公民科問題の研究	7巻10号120	(R-14)
	文検公民科問題の研究	7巻11号128	(R-14)
	文検公民科問題の研究	7巻12号115	(R-14)
	文検公民科問題の研究	8巻 1号116	(R-15)
	文検公民科問題の研究	8巻 2号122	(R-15)
	文検公民科問題の研究	8巻 3号119	(R-15)
	文検公民科問題の研究	8巻 4号108	(R-15)
	公民科予備試験及本試験対策	8巻 5号 90	(R-15)

藤 谷	保	公民科予備試験問題解答	8巻 6号 98	(R-15)
		文検公民科問題の研究	8巻 7号103	(R-16)
		公民科本試験問題解説	8巻 8号108	(R-16)
		文検公民科問題の研究	8巻 9号 94	(R-16)
		文検公民科問題の研究	8巻10号 83	(R-16)
		文検公民科問題の研究	8巻11号 90	(R-16)
		文検公民科問題の研究	8巻12号112	(R-16)
		文検公民科問題の研究	9巻 1号 95	(R-17)
		文検公民科問題の研究	9巻 2号 86	(R-17)
		文検公民科問題の研究	9巻 3号118	(R-17)
		文検公民科問題の研究	9巻 4号121	(R-17)
		文検公民科予備試験問題解答	9巻 5号113	(R-17)
		文検公民科問題の研究	9巻 6号 86	(R-17)
		文検公民科問題の研究	9巻 7号106	(R-18)
		公民科本試験問題解答例	9巻 8号 95	(R-18)
		文検公民科問題の研究	9巻 9号 88	(R-18)
		文検公民科問題の研究	9巻10号 97	(R-18)
		文検公民科問題の研究	9巻11号109	(R-18)
		文検公民科問題の研究	9巻12号 91	(R-18)
		文検公民科問題の研究	10巻 1号 97	(R-19)
		文検公民科問題の研究	10巻 2号 95	(R-19)
		文検公民科問題の研究	10巻 3号 97	(R-19)
		文検公民科問題の研究	10巻 4号 86	(R-19)
		文検公民科予備試験問題解答	10巻 5号 79	(R-19)
		文検公民科問題の研究	10巻 5号 87	(R-19)
		文検公民科問題の研究	10巻 6号100	(R-19)
		文検公民科本試験問題解答	10巻 7号 83	(R-20)
		文検公民科問題の研究	10巻 8号 89	(R-20)
		文検公民科問題の研究	10巻 9号 99	(R-20)
		文検公民科問題の研究	10巻10号 97	(R-20)
		文検公民科問題の研究	10巻11号 94	(R-20)
		文検公民科問題の研究	10巻12号 92	(R-20)
		文検公民科問題の研究	11巻 1号 72	(R-21)
		文検公民科問題の研究	11巻 2号 72	(R-21)

藤谷 保	文検公民科問題の研究	11巻 3号 92	(R-21)
	文検公民科問題の研究	11巻 4号 90	(R-21)
	文検公民科問題の研究	11巻 5号 62	(R-21)
	文検公民科問題の研究	11巻 6号 40	(R-21)
	文検公民科本試験問題解答	11巻 7号 91	(R-21)
	公民科問題の研究	11巻 8号 58	(R-21)
	公民科問題の研究	11巻 9号 70	(R-21)
	公民科問題の研究	11巻10号 80	(R-21)
	公民科予備試験問題解答	12巻 7号104	(R-22)
伏見 寛次	銀行の窓口より見た財界諸相	1巻 4号 98	(R- 1)
伏見 猛彌	教育目的としての公民	3巻 7号 26	(R- 6)
藤村 成助	都市と少年保護	2巻 3号 77	(R- 3)
藤本幸太郎	新要目の「国民生活」及「国民経済」	7巻 6号 1	(R-13)
文野 庄七	我校に於ける公民教育施設状況	3巻 8号 95	(R- 6)
古川 秀雄	児童の実際的公民教育	1巻 9号 49	(R- 2)
古林 光雄	女学校に於ける公民科の難点	2巻 6号 74	(R- 3)
	郷土に於ける寺子屋研究	3巻 4号 89	(R- 5)
不破 祐俊	社会教育概念の一考察	8巻 5号 16	(R-15)

## ほ

保科 孝一	公民教育と言語の修養	3巻 9号 27	(R- 6)
細谷 章	小学校に於ける公民的訓練に就て	3巻11号 48	(R- 6)
堀田 静	尋常小学校に於ける公民教育に就て	3巻 2号 56	(R- 5)
堀 公一	支那に於ける英米の策動	12巻 7号 81	(R-22)
堀 七藏	公民教育と作業教育	2巻10号 2	(R- 4)
堀 経夫	私有財産制度の経済的意義	4巻 7号 1	(R- 8)
堀 眞琴	議会制度に対する現代の批判	3巻 7号 10	(R- 6)
	多数決の原理について	5巻 6号 48	(R- 9)
	行政機構改革問題	6巻12号 70	(R-12)
堀之内 恒夫	小学校の公民的訓練	3巻 5号 72	(R- 5)
本間 雅晴	連盟脱退と其の前後	3巻 3号 2	(R- 5)

## ま

前川周太郎	自力更生教化運動と農村青年	2巻11号 83	(R- 4)
前田多門	都市生活と公民教育	2巻10号 14	(R- 4)
前田若尾	日満親善と女子教育を語る	4巻12号 70	(R- 8)
	全女性に対して御願	5巻 1号132	(R- 9)
	満蒙視察旅行報告書	5巻 3号 95	(R- 9)
	北地旅行雑感	6巻12号 99	(R-12)
	国民体位の向上と現代生活の実相	7巻 9号 66	(R-14)
	旅先で拾った話	8巻 8号101	(R-16)
	大陸発展と女性の協働	8巻12号 83	(R-16)
前原光雄	支那の租界制度に就いて	8巻 1号 56	(R-15)
牧健二	文部省視学委員復命書抄	8巻 4号 53	(R-15)
	公民教育と国史の知識	8巻 9号 6	(R-16)
槇山榮次	女子の公民教育	2巻 4号 19	(R- 3)
益田豊彦	スペイン動乱を巡る諸問題	6巻10号 52	(R-12)
増田抱村	職業問題の展望	2巻 6号 9	(R- 3)
町田忠治	政界の浄化	5巻 9号117	(R-10)
松井石根	支那事変の意義と大亜細亜主義	9巻 1号 74	(R-17)
松井茂	政党の刷新と政治教育の向上	2巻 2号 9	(R- 3)
	公民教育と国民警察	2巻 4号 2	(R- 3)
	国体明徴と国民精神の作興	6巻 6号106	(R-11)
松井春生	国家総動員の態勢に就いて	7巻11号 33	(R-14)
松尾長造	宗教団体法案に就て	9巻 2号 35	(R-17)
松尾寅雄	学校中心の理想農村へと	3巻 8号 98	(R- 6)
松尾信資	受験を通して見た公民科	4巻 3号123	(R- 7)
松岡駒吉	我国労働運動の将来	4巻 3号 29	(R- 7)
松岡忠一	集団勤労作業に就いて	8巻11号 28	(R-16)
松岡洋右	須く堅忍持久せよ	8巻 2号 79	(R-15)
松坂忠則	漢字廃止の弁と文字の進化論	6巻 7号 87	(R-12)
	文字のナヤミとその対策	10巻10号 89	(R-20)
松阪廣政	時局に処する検察の運用	11巻10号 20	(R-21)
松崎繁衛	日本精神と公民教育	6巻12号 56	(R-12)
松下專吉	非常時に於ける教育	3巻 5号 87	(R- 5)

松田克三	公民科に於ける学習資料の調査蒐集について	2巻10号 26	(R- 4)
	公民科に於ける時事問題の取扱	3巻 2号 98	(R- 5)
	再び時事問題の取扱に就いて	4巻 2号 62	(R- 7)
	公民科に於ける詔勅取扱の研究	6巻10号 42	(R-12)
	修身教材の三分類と公民科との関係	7巻 7号 50	(R-14)
	忠孝和の精神と公民科	7巻11号114	(R-14)
	時局に協力する公民科の態度	8巻 9号 77	(R-16)
	大政翼賛運動と公民科教授の実際	11巻 4号 64	(R-21)
	大東亜戦争と公民教育者の実践態度	12巻 4号 95	(R-22)
松田源治	年頭の辞	5巻 1号 1	(R- 9)
松田令輔	本年度資金計画並に貿易計画に就て	12巻 6号 94	(R-22)
松波仁一郎	國務大臣	2巻 7号 33	(R- 4)
	枢密顧問	2巻 8号 28	(R- 4)
	選挙肅正の方法	5巻 8号 1	(R-10)
松野憲治	公民科と時事問題に	6巻 2号 86	(R-11)
松原一彦	選挙に見る青年の政治的関心	6巻10号 28	(R-12)
	公民道のみち草	8巻 3号 80	(R-15)
	肅正選挙から見た公民教育的收穫	12巻 7号 12	(R-22)
松原寛	公民教育と宗教の問題	2巻 9号 25	(R- 4)
松村勝治郎	農村問題と小作問題	5巻 1号 70	(R- 9)
松本喜一	公民教育の効果に関する諸問題	1巻 4号 61	(R- 1)
	公民科教授要目に関する考察	3巻10号 12	(R- 6)
松本浩記	児童生徒の校外生活指導	6巻10号 83	(R-12)
松本定敏	公民科教授要目に関する一考察	1巻 5号 36	(R- 1)
	日本民族の海外飛躍	1巻 8号 40	(R- 2)
	教材としての財産に関する一考察	1巻 9号 44	(R- 2)
	公民教材「おち穂ひろい」(上)	2巻 9号 60	(R- 4)
	公民教材「おち穂ひろい」(下)	2巻10号 47	(R- 4)
	結婚礼式の改善	3巻 4号 78	(R- 5)
	結婚礼式の改善	3巻 5号100	(R- 5)
	結婚礼式の改善	3巻 6号 99	(R- 5)
	農村と共同貯金	3巻 9号 81	(R- 6)
	公民教育方法としての全村教育	4巻11号 88	(R- 8)
松本重敏	立憲政治と公民教育	4巻 6号 10	(R- 7)

松本重敏	天皇・国民と帝国議会	5巻 5号 44	(R- 9)
松本忠雄	事変後の支那の実情	7巻10号 51	(R-14)
松本時雄	公民教育と思想問題	1巻 8号 32	(R- 2)
松本彦次郎	聖徳太子憲法の精神	1巻 3号 10	(R- 1)
松本久雄	教授要目の改正に伴う公民科学習指導の一私案	8巻 2号 43	(R-15)
松本 齋	公民科合格の鍵	4巻 2号109	(R- 7)
馬淵陸軍報道部長	戦時下国民の心構へ	11巻 9号 83	(R-21)
丸山勝衛	文検公民科合格の回顧	11巻 3号106	(R-21)
丸山三郎	独逸教育の管見	3巻 4号100	(R- 5)
丸山鶴吉	正しい選挙を	5巻 9号121	(R-10)
丸山良二	公民へまでの発達過程	3巻 5号 65	(R- 5)

## み

三浦 一	成都・北海両事件と日支関係	6巻10号 57	(R-12)
三島新吉	公民科口述試験の実際	10巻12号107	(R-20)
水田信利	教育から観た蘭印の素描	6巻10号 91	(R-12)
水谷徳男	公民教育と映画の問題	8巻 6号 34	(R-15)
水野常吉	公民教育と職業指導	1巻 1号 92	(R- 1)
水野譽志松	文検公民科の体験と問題の傾向に就いて	7巻 1号137	(R-13)
水野錬太郎	市制町村制御上諭を拝誦して	8巻 5号 49	(R-15)
水町 清	非常時局と公民教育の動向	3巻 6号 60	(R- 5)
三谷隆信	満州国に於ける治外法権の撤廃	7巻12号 85	(R-14)
三邊長治	選挙肅正と教育	5巻10号 29	(R-10)
美濃口時次郎	我国刻下の人口問題と失業問題	5巻 1号 85	(R- 9)
	内閣調査局の現在及び将来	6巻 7号 58	(R-12)
美濃部洋次	統制経済下の物資配給	9巻10号 60	(R-18)
宮川造六	公民科教授要旨及要目の批判	6巻 8号 52	(R-12)
宮崎和生	映画教育の経験より公民教育を語る	4巻12号 62	(R- 8)
	文検公民科受験雑感	6巻 2号123	(R-11)
	時局下の映画による公民教育	8巻 6号 49	(R-15)
宮崎清明	公民科指導上の難点とその対策	5巻12号 31	(R-10)
宮瀬睦夫	青年学校修身公民科要目への要望	6巻 8号 90	(R-12)
	先学の日本的学問観	7巻 1号 30	(R-13)

宮 瀬 睦 夫	公民科に於ける祭祀に就いて	7巻 8号 32	(R-14)
	公民教育上より見たる洪範の価値	10巻 1号 53	(R-19)
	公論尊重と菊池武重の家憲	10巻10号 5	(R-20)
	皇祖の神勅を拝読せよ	11巻 7号 21	(R-21)
	公民教育の行者小林榮先生	11巻 8号 23	(R-21)
	文部省編纂青年修身公民書編纂の趣旨と内容	12巻 1号 51	(R-22)
	教材行脚	12巻 6号 52	(R-22)
宮 田 脩	女子公民教育の方法について	2巻 8号 11	(R- 4)
	高等女学校に於ける公民教育と公民的訓練	4巻 6号 67	(R- 7)
宮田喜代藏	国民経済学に於ける目的論	8巻 8号 31	(R-16)
宮 地 直 一	官国幣社に就いて	5巻 7号 79	(R- 9)
宮 西 一 積	日本の世界人生観の確立	12巻 7号 18	(R-22)
宮 原 武 雄	泰仏印協定の重大意義	11巻 4号 38	(R-21)
宮 原 信 夫	公民科教授指針と其取扱の実際	3巻11号 39	(R- 6)
	公民科教材の実際的取扱方	4巻 1号 68	(R- 7)
宮本武之輔	大政翼賛と技術の問題	11巻 3号 56	(R-21)
宮 本 哲 僊	支那事変の解決と公民教育	10巻 3号 91	(R-19)
茗 荷 房 吉	立憲政治の将来と政治教育の問題	2巻12号 23	(R- 4)
三好豊太郎	セツルメントと公民教育	3巻 3号 78	(R- 5)
三輪田元道	女子公民科の実施について	2巻 4号 24	(R- 3)
	形式よりも内容	6巻12号 2	(R-12)

## む

棟 尾 松 治	新聞大学講座 (一)	2巻 1号 74	(R- 3)
	新聞大学講座 (二)	2巻 2号 86	(R- 3)
村 上 義 男	本年度公民科受験の回顧	8巻10号 96	(R-16)
村 木 武	文検公民科に於ける私法	7巻 2号128	(R-13)
村 瀬 直 養	消費の節約と国民の覚悟	8巻 7号 94	(R-16)

## も

モスドルフ・O	伊太利の陸軍と空軍	10巻 8号 71	(R-20)
持 永 義 夫	不良住宅地の改良	5巻 1号 78	(R- 9)

茂手木元藏	希臘悲劇を通じて見たる古代アテネの市民	11巻 5号 18	(R-21)
	工場青年学校生徒の趣味娯楽	12巻 3号 58	(R-22)
泉二新熊	公民遵法の要義	2巻 9号 21	(R- 4)
	司法の独立と国民の協力	9巻12号 34	(R-18)
本山政雄	教師教養生活の充実	11巻 2号 14	(R-21)
守内喜一郎	公民教育と公民科	5巻12号 6	(R-10)
森川覺三	独逸に於ける統制経済	11巻10号 55	(R-21)
	独逸に於ける統制経済	12巻 1号 98	(R-22)
	独逸に於ける労働者指導	12巻 3号107	(R-22)
森川正雄	幼年期に於ける公民的訓練	3巻 5号 70	(R- 5)
森口繁治	憲政の運用と公民教育	4巻 6号 1	(R- 7)
森島種雄	生産力拡充と価格対策	11巻 9号 53	(R-21)
森田孝	公民科と国民経済の新指標	7巻 3号 37	(R-13)
守田義廣	大東亜建設と自主的研究態度	12巻 6号 60	(R-22)
守武幾太郎	公民教育座談会	2巻 2号 36	(R- 3)
森本鬼義	日本的思惟について	6巻 4号 54	(R-11)
森本厚吉	日本人の生計費について	3巻 5号 43	(R- 5)
	日米の生計費比較について	4巻 6号 72	(R- 7)
	生計に苦しむ日本人	5巻 5号 60	(R- 9)
守屋東	公民教育座談会	2巻 2号 36	(R- 3)
森山鋭一	今議會を通過した法律案	10巻 4号 60	(R-19)
諸藤良山	現下の財政諸問題論評	6巻 8号104	(R-12)
	国策と財政の現局面	6巻10号 64	(R-12)
	世界資源の再分割論	7巻 2号 85	(R-13)

や

安井英二	国民精神総動員に就いて	7巻10号 84	(R-14)
安井誠一郎	時局と満州移民	7巻11号 48	(R-14)
安井哲子	随感	2巻 1号 56	(R- 3)
楊井克巳	公民科を担当して	3巻 4号 84	(R- 5)
柳英生	雀と瓢	1巻 9号112	(R- 2)
矢野孤山	公民科を去って公民科を想う	8巻 3号 23	(R-15)
矢野酉雄	我校に於ける公民教育の実際	3巻 1号 60	(R- 5)

矢野 酉雄	公民時言	8巻 5号 80	(R-15)
	公民時言	8巻 6号 89	(R-15)
	公民時言	8巻 7号 86	(R-16)
	公民時言	8巻 9号 90	(R-16)
	街頭で拾う公民訓練の問題	9巻 2号 38	(R-17)
	「御手身吾れ」の一票	12巻 3号 37	(R-22)
矢吹 慶輝	社会信念と仏教の願行	1巻 2号 5	(R- 1)
	外来文化の輸入と自主的精神	4巻10号 10	(R- 8)
山岡 道武	最近に於けるソ連の外交大観	4巻 9号 61	(R- 8)
	最近に於けるソ連の外交大観	4巻10号 89	(R- 8)
山口 啓市	青年学校に於ける修身及公民科の取扱に就いて	6巻 4号 43	(R-11)
	修身及公民科要目実施上の注意	8巻 1号 42	(R-15)
山崎 一郎	人事調停の話	10巻 4号 76	(R-19)
山崎 犀二	公民科の教授要目に就いて	4巻 6号 23	(R- 7)
	公民科の教授要目に就いて	4巻 7号 7	(R- 8)
	公民科教科書批判	4巻 9号 13	(R- 8)
	公民科教科書批判 (その二)	4巻10号 32	(R- 8)
	公民科教科書批判 (その三)	4巻11号 24	(R- 8)
	公民科教科書批判 (その四)	4巻12号 15	(R- 8)
	公民科教科書批判 (その五)	5巻 1号 45	(R- 9)
	公民科教科書批判 (その六)	5巻 2号 19	(R- 9)
	氏族制度と家族制度とに關して	5巻 5号 27	(R- 9)
	公民科教授上の疑義を解く	5巻 7号 25	(R-10)
	小学校に於ける公民教育の充実	6巻 1号 60	(R-11)
	公民科教授要目の再検討	6巻 8号 27	(R-12)
	公民教育と郷土教育	7巻 3号 1	(R-13)
	公民科の独自性に就いて	7巻10号 43	(R-14)
	公民科教科書の選定に就いて	8巻 2号 29	(R-15)
	中等学校改正公民科教授要目論解	8巻 4号118	(R-15)
	中等学校改正公民科教授要目論解 (二)	8巻 5号101	(R-15)
	中等学校改正公民科教授要目論解 (三)	8巻 6号113	(R-15)
	中等学校公民科教授要目論解 (四)	8巻 7号117	(R-16)
	中等学校公民科教授要目論解 (五)	8巻10号101	(R-16)
	中等学校公民科教授要目論解 (六)	8巻11号109	(R-16)

山崎犀二	中等学校公民科教授要目論解(七)	8巻12号 93	(R-16)
	中等学校改正公民科教授要目論解(八)	9巻 1号111	(R-17)
	中等学校改正公民科教授要目論解(九)	9巻 2号101	(R-17)
	中等学校改正公民科教授要目論解(十)	9巻 3号 59	(R-17)
	中等学校改正公民科教授要目論解(十一)	9巻 4号 87	(R-17)
山崎誠一郎	満州里籠城七十日間	3巻 3号 94	(R- 5)
	日満新条約の検討と其効果	6巻 7号 52	(R-12)
山崎博	都市小学校の公民教育	3巻12号 48	(R- 6)
	小学校公民教育の振興方法	6巻 1号 63	(R-11)
	戦時体制の青年学校修身及公民科	7巻12号 44	(R-14)
山路章	コミンテルンの概貌と日独協定	7巻 1号 85	(R-13)
山道襄一	庶政一新の真意義	6巻10号 77	(R-12)
山下谷次	公民教育に就いて	2巻 6号 2	(R- 3)
山田雲鳳	唐の太宗と蘭亭序	2巻11号107	(R- 4)
山田龍雄	税制改革の精神について	6巻11号 54	(R-12)
山田義雄	常会と公民教育	12巻 7号 46	(R-22)
山根眞治郎	合法悪と新聞紙	2巻 7号 58	(R- 4)
山榊儀重	思想対策と教育方針	3巻10号 2	(R- 6)
山本勝市	所謂統制経済論を評す	6巻 7号 75	(R-12)
	戦時経済生活の基礎精神	8巻 8号 19	(R-16)
山本秀一	公民科本試験の実際	6巻 4号125	(R-11)
山本正次	改正要目高等女学校公民科教授細目私案	7巻 5号 51	(R-13)
	改正要目と公民科の独自性	7巻10号105	(R-14)
	青年学校修身及公民科教授及訓練細目私案(一)	9巻 2号 81	(R-17)
	青年学校修身及公民科教授及訓練細目私案(二)	9巻 3号110	(R-17)
	青年学校修身及公民科教授及訓練細目私案(完)	9巻 4号 96	(R-17)
	集団勤労奉仕の教育的意義	9巻 9号 62	(R-18)
山本二郎	小学校に於ける公民教育の重点	6巻11号 42	(R-12)
	社会化された学級とは果してどんなものか	7巻 3号119	(R-13)
山本生	新体制下の中小商工業問題	10巻11号 74	(R-20)
山本忠興	オリンピック競技に於ける我が国民精神の発揚	2巻10号100	(R- 4)
	発明と公民教育	4巻11号 5	(R- 8)
山本孫義	公民科口述試験の実際	5巻 7号116	(R-10)
山本良吉	公民科の設置からして我が国教育界の思想傾向を論ず	2巻 5号 2	(R- 3)

ゆ

結城豊太郎	大東亜戦争と戦費の調達	12巻 2号109	(R-22)
湯村惣太郎	公民教育の使命管見	3巻 6号 54	(R- 5)
	公民科と公民的訓練に就いて	4巻 9号 82	(R- 8)

よ

横尾大次郎	公民教育の実際と社会浄化について	4巻 8号 92	(R- 8)
横田勝穂	台湾の農村	2巻 8号 62	(R- 4)
吉井孝次郎	地方女子公民の自覚とその活動について	4巻 2号 72	(R- 7)
	我校に於ける公民訓練の実際	5巻12号 40	(R-10)
	公民科教授に於ける郷土資料の活用	8巻 3号 99	(R-15)
吉江 勳	公民教育と国史教育の緊密化	9巻 8号 83	(R-18)
吉川 尚	皇民と新文化	12巻 6号 18	(R-22)
吉田悦郎	本年度公民教育概論の問題を通して	9巻10号111	(R-18)
吉田喜市郎	文検公民科口述試験案内	5巻 6号121	(R- 9)
吉田 清	ニルス・ブック体操の素描	1巻 7号 64	(R- 2)
吉田絃二郎	故郷の田園	1巻 1号117	(R- 1)
吉田通達	新理想主義の社会観	1巻 6号 65	(R- 2)
	組合の原理と労働の精神	1巻 7号 40	(R- 2)
	理想的共同団体への到達の道	1巻 8号 46	(R- 2)
吉村 正	一元的及多元的国家の理論	5巻 4号 42	(R- 9)
吉村冬彦	教育映画について	2巻 8号 34	(R- 4)
吉本俊二	公民科教授に対する一管見	3巻 7号 33	(R- 6)
	青年学校と公民教育の重要性	6巻 9号 41	(R-12)
米田 稔	新理想主義と公民教育	4巻11号 84	(R- 8)
四方田義茂	劇薬ジャーナリズム	2巻 5号 13	(R- 3)

り

立仙淳三	公民科教員よ何処へ行く	6巻 4号 69	(R-11)
	公民科教員再教育問題 (一)	9巻 4号 15	(R-17)
	公民科教員再教育問題 (二)	9巻 5号 40	(R-17)

立 仙 淳 三	「日本公民学会」設立の提唱	9巻11号 7	(R-18)
	「日本経済学」建設者なきか	10巻 9号 23	(R-20)

## ろ

蠟 山 政 道	公民教育と地方自治政	1巻 1号 60	(R- 1)
ロツソーニ・E	社会主義並に自由主義に対するファシストサンディカリズム	3巻 8号 78	(R- 6)

## わ

我 妻 榮	家庭紛議と法律	3巻 4号 50	(R- 5)
和 田 秀 義	文検公民科受験回顧録	5巻10号127	(R-10)
渡 邊 三 郎	戦争と青年と公民科	12巻 3号 80	(R-22)
渡 邊 保	公民科の歴史的取扱について	9巻 5号 29	(R-17)
	時局と政治教育の喫緊	11巻 7号 58	(R-21)
渡 邊 鐵 藏	世界の財政経済に於ける我国の地位	5巻 2号 53	(R- 9)
渡 邊 徳 治	文検公民科の準備法	3巻12号100	(R- 6)
	本試験受験者の心得	4巻 7号110	(R- 8)
渡 部 政 盛	公民教育の諸形態と其批判	6巻 3号 18	(R-11)
	現代社会大衆と公民教育	7巻 2号 24	(R-13)
	独特の憲法政治と公民教育	7巻 8号 8	(R-14)
	事変と公民教育への反省	7巻12号 27	(R-14)
	国防国家と公民教育	8巻 5号 6	(R-15)
	アルバイツディンストと公民教育	8巻 9号 31	(R-16)
	全体主義と公民教育	8巻12号 5	(R-16)
	日本主義と全体主義	9巻 4号 3	(R-17)
	民族主義と国際協同体の問題	9巻 7号 1	(R-18)
	戦争と選挙	9巻10号 1	(R-18)
	公民教育と日本的性格	9巻12号 1	(R-18)
	公民教育と其の理論的基礎づけの問題	10巻 4号 1	(R-19)
	一国一党と憲政の問題	10巻 7号 1	(R-20)
	新政治体制と公民教育	10巻 9号 12	(R-20)
	事変下公民教育上反省すべき公民的欠陥	10巻12号 83	(R-20)
	国防と外交	11巻 2号 1	(R-21)

渡部政盛	世界建設とルネサンス運動	11卷 3号 15	(R-21)
	経済的国家と先験的国家	11卷 4号 6	(R-21)
	所謂政治性とは何ぞや	11卷 5号 7	(R-21)
	皇道と臣道	11卷 6号 16	(R-21)
	現下公民教育上注意すべき二、三の問題	11卷 8号 14	(R-21)
	精神的新体制の建設	11卷 9号 1	(R-21)
	公民教育の理念と現実	12卷 6号 38	(R-22)
渡邊昌雪	文検公民科口述受験記	4卷 1号 92	(R-7)
渡邊光重	経済解説	8卷 7号 72	(R-16)
	経済解説	8卷 8号 90	(R-16)
	経済解説	8卷 9号 64	(R-16)
	経済解説	8卷10号 68	(R-16)
	経済解説	8卷11号 74	(R-16)
	経済解説	8卷12号 72	(R-16)
	経済解説	9卷 1号 80	(R-17)
	経済解説	9卷 2号 71	(R-17)
	経済解説	9卷 3号100	(R-17)
	経済解説	9卷 4号 66	(R-17)
	経済解説	9卷 5号 68	(R-17)
	経済解説	9卷 6号 66	(R-17)
	経済解説	9卷 7号 85	(R-18)
	経済解説	9卷 8号 58	(R-18)
	経済解説	9卷 9号 66	(R-18)
	経済解説	9卷10号 71	(R-18)
	経済解説	9卷11号 62	(R-18)
	経済解説	9卷12号 76	(R-18)
	経済解説	10卷 1号 80	(R-19)
	経済解説	10卷 2号 58	(R-19)
	経済解説	10卷 3号 75	(R-19)
	経済解説	10卷 4号 66	(R-19)
	経済解説	10卷 5号 34	(R-19)
	経済解説	10卷 6号 67	(R-19)
	経済解説	10卷 7号 62	(R-20)
	経済解説	10卷 8号 62	(R-20)

渡 邊 光 重	経済解説	10巻 9号 63	(R-20)
	経済解説	10巻10号 55	(R-20)
	経済解説	10巻12号 74	(R-20)
	経済解説	11巻 1号 62	(R-21)
	経済解説	11巻 2号 46	(R-21)
	経済解説	11巻 3号 40	(R-21)
	経済解説	11巻 4号 50	(R-21)
	経済解説	11巻 5号 54	(R-21)
	経済解説	11巻 6号 26	(R-21)
綿 貫 數 夫	公民生活への契機	7巻 1号124	(R-13)
亘 理 章 三 郎	公民科の指導精神	1巻 4号 8	(R- 1)
	公民教育の指導精神	7巻 3号 4	(R-13)

〈団 体 名〉

〈論 文 名〉

石の巻高等女学校	石の巻高女の公民教科資料	2巻 7号 70	(R- 4)
大阪朝日新聞	変態社会の責任、制度か人か	2巻 9号104	(R- 4)
海軍軍事普及部	予算上より見たる帝国海軍	7巻 4号 90	(R-13)
外務省情報部	ラインランド問題	6巻 5号 64	(R-11)
帝国公民教育協会			
(巻 頭 言)	社団法人帝国公民教育協会設立の趣旨	1巻 1号 1	(R- 1)
	本誌の使命	1巻 2号 1	(R- 1)
	国民的理想の建設	1巻 3号 1	(R- 1)
	時弊の匡救	1巻 4号 1	(R- 1)
	我が国民性の弱点	1巻 5号 1	(R- 1)
	国家主義と国際主義	1巻 6号 1	(R- 2)
	赤い先生	1巻 7号 1	(R- 2)
	臥薪嘗胆	1巻 8号 1	(R- 2)
	氷塊を溶くもの	1巻 9号 1	(R- 2)
	年頭更に一盛事を加う	2巻 1号 1	(R- 3)
	師範教育の改善	2巻 2号 1	(R- 3)
	公民教育の創造	2巻 3号 1	(R- 3)
	女子の公民教育	2巻 4号 1	(R- 3)
	ジャーナリズムの欠陥	2巻 5号 1	(R- 3)

(巻頭言)	怒濤に抗して	3巻 1号 1	(R- 5)
	有備無患	3巻 2号 1	(R- 5)
	民心の和会	3巻 3号 1	(R- 5)
	新読本に関連して	3巻 4号 1	(R- 5)
	教員赤化と公民教育	3巻 5号 1	(R- 5)
	五・一五事件は語る	3巻 6号 1	(R- 5)
	神社と宗教	3巻 7号 1	(R- 6)
	夏季休暇論	3巻 8号 1	(R- 6)
	各科と公民教育	3巻 9号 1	(R- 6)
	教育も国防である	3巻10号 1	(R- 6)
	教育の勘定日	3巻11号 1	(R- 6)
	準備教育の問題	3巻12号 1	(R- 6)
(記者)	札幌の印象	1巻 6号 88	(R- 2)
	学校風聞記 (神奈川県立平塚農業学校)	1巻 7号 94	(R- 2)
	学校風聞記 (東京府立第一商業学校)	1巻 8号100	(R- 2)
	学校風聞記 (私立山脇高等女学校)	1巻 9号 98	(R- 2)
	学校訪問記 (東京府立第六中学校)	2巻 1号114	(R- 3)
(調査部)	学校訪問記 (成城学園)	2巻 2号 98	(R- 3)
	公民科調査資料 (第一輯)	2巻 6号106	(R- 3)
	公民科調査資料 (第二輯)	2巻 7号 66	(R- 4)
	公民科調査資料 (第三輯)	2巻 8号 58	(R- 4)
	公民科調査資料 (第四輯)	2巻 9号 90	(R- 4)
(編集部)	公民科指導講座 (一)	4巻 4号 42	(R- 7)
	公民教育家録	4巻 4号101	(R- 7)
	公民科指導講座 (二)	4巻 5号 36	(R- 7)
	公民科指導講座 (三)	4巻 6号 30	(R- 7)
	公民科指導講座 (四)	4巻 7号 24	(R- 8)
	公民科指導講座 (五)	4巻 9号 36	(R- 8)
	公民科指導講座 (六)	4巻10号 42	(R- 8)
	公民科指導講座 (七)	4巻11号 42	(R- 8)
	公民科指導講座 (八)	4巻12号 27	(R- 8)
	公民科指導講座 (九)	5巻 1号 98	(R- 9)
	公民科指導講座 (十)	5巻 2号 68	(R- 9)
公民科指導講座 (十一)	5巻 3号 70	(R- 9)	

(編輯部)	公民科指導講座 (十二)	5巻 4号 58	(R- 9)
	公民科指導講座 (十三)	5巻 5号 65	(R- 9)
	公民科指導講座 (十四)	5巻 6号 63	(R- 9)
	公民科指導講座 (十五)	5巻 7号 48	(R- 9)
	公民科指導講座 (十六)	5巻 9号 79	(R-10)
	公民科指導講座 (十七)	5巻10号 75	(R-10)
	公民科指導講座 (十八)	5巻11号 64	(R-10)
	公民科指導講座 (十九)	5巻12号 98	(R-10)
	公民科指導講座 (二十)	6巻 1号 72	(R-11)
	公民科指導講座 (二十一)	6巻 2号 91	(R-11)
	公民科指導講座 (二十二)	6巻 3号 47	(R-11)
	現行公民科教科書調	6巻 5号120	(R-11)
	オリンピック大会の歴史	6巻 7号 63	(R-12)
	文検公民科の既往問題一覧	7巻 2号135	(R-13)
	世界教育会議について	7巻 8号104	(R-14)
	文検公民科既往問題一覧	8巻 5号 99	(R-15)
	現行公民科教科書調	9巻 2号129	(R-17)
	昭和十五年度全国専門学校公民科入学試験問題調	10巻 7号 77	(R-20)
	「いろは」の書けない中等教育	12巻 6号114	(R-22)
企画庁	企画庁の新設と其の機能及構成	7巻 6号 90	(R-13)
義務教育延長促進同盟	何故義務教育は今延長すべきか	6巻 9号 52	(R-12)
教育審議会	「社会教育に関する件」答申	11巻 8号 65	(R-21)
教育審議会特別委員長	「社会教育に関する件」答申説明要領	11巻 8号 73	(R-21)
国民精神総動員中央連盟	非常時国民生活様式ニ関スル決定事項	8巻 9号110	(R-16)
支那派遣軍総司令部	派遣軍将兵に告ぐ	10巻 5号 55	(R-19)
生活改善中央会	非常時局対応生活改善実行要目	7巻12号110	(R-14)
全国中学校長協会	中学校四年修了より専門学校連絡を非とする理由に就いて	5巻11号122	(R-10)
全国連合青年学校長会	青年学校義務制実施に伴う具体案	8巻 4号104	(R-15)
大政翼賛会	翼賛選挙訓	12巻 4号101	(R-22)
大東文化協会研究部	漢字廃止論者の迷蒙を啓く	6巻 7号 96	(R-12)
中学校長協会	中学修業年限四年を非とする理由	5巻 1号138	(R- 9)
東京朝日新聞	学生左傾思想問題対策案	2巻 6号 80	(R- 3)
東京市	東京の青少年学徒と翼賛選挙	12巻 4号105	(R-22)
東京日日新聞	小学校長の優遇案	2巻 5号120	(R- 3)

東京日日新聞	学生思想問題の「対策」	2巻 6号 81	(R- 3)
	教育費負担増額に就て	2巻 9号103	(R- 4)
東京府・東京市	東京市会議員選挙と東京の青少年学徒	12巻 6号110	(R-22)
徳島県鴨島小学校	郷土教育研究の実例	1巻 9号 81	(R- 2)
内務省	改正選挙法の話 (一)	5巻 9号102	(R-10)
	改正選挙法の話 (二)	5巻10号105	(R-10)
内務省社会局	サラリーマンの生活標準の調査	2巻 7号 61	(R- 4)
南洋庁	委任統治の由来及其根拠	3巻 6号105	(R- 5)
日本国勢総覧編集部	地名爐談	3巻12号124	(R- 6)
	地名爐談	4巻 1号128	(R- 7)
	地名爐談	4巻 2号125	(R- 7)
広島高等師範附属中学校	公民科関係諸調査	5巻12号 81	(R-10)
	公民科教授細目案	6巻 4号104	(R-11)
三重県二見小学校	郷土教育の実際 (一)	2巻 4号 86	(R- 3)
	地理歴史の郷土教育	2巻 8号 88	(R- 4)
	理科の郷土教育	2巻 9号 98	(R- 4)
	図画唱歌の郷土教育	2巻11号102	(R- 4)
茗溪会教育制度調査部	国策の根本義としての文教の振興	5巻 5号106	(R- 9)
文部省	全国教育統計	2巻 1号 90	(R- 3)
	全国学生統計概要	2巻 1号 91	(R- 3)
	学生思想左傾の原因	2巻 2号100	(R- 3)
	公民科教授事項取扱上の参考	7巻 5号140	(R-13)
	青年学校普通科教授及訓練要目	8巻 9号113	(R-16)
	青年学校令改正及同施行規則制定ノ要旨並ニ施行上ノ注意事項	9巻 7号120	(R-18)
	青年学校普通科教授及訓練要目	9巻 7号125	(R-18)
	国民学校教則案説明要領	10巻 8号 78	(R-20)
	新家庭教育訓	12巻 3号111	(R-22)
文部省	高等女学校に於ける学科目の臨時取扱について	12巻 7号114	(R-22)
文部省社会教育局	映画場は如何に児童生徒を吸収するか	2巻 2号 94	(R- 3)
	改正青年学校令及同施行規則ノ運用ニ関スル件	9巻 8号120	(R-18)
文部省統計課	各府県別に依る直轄学校在学比例	2巻 4号116	(R- 3)
読売新聞	弾圧を加味した思想対策	2巻 5号121	(R- 3)
	公民教育の五ヶ年計画	2巻 9号102	(R- 4)
陸軍省情報部	支那事変の意義	10巻 3号 36	(R-19)

